

神奈川県立歴史民俗資料館第14集

# 中国湖南省藍山県 ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅱ

2012年3月

神奈川県立歴史民俗資料館研究科



《2011年還家願儀礼写真》



写真1：祭場のある村の入口の様子  
(撮影者 廣田律子)



写真2：祭場側壁に設置されたお祝いの看板  
(撮影者 吉野晃)



写真3：紙馬を刷り、紙銭を作る  
(程序no. 45/撮影者 財津直美)



写真4：受礼者5軒分の家先单を作る  
(程序no. 50/撮影者 廣田律子)



写真5：かまどの火で線香と灯明をともし  
(程序no. 59/撮影者 廣田律子)



写真6：「昇香」、線香を立てるための碗や供物を置く  
(程序no. 67/撮影者 廣田律子)



写真7：寄進者一覧の記入作業  
(撮影者 譚静)



写真8：「安祖先(安家先)」、鶏の血のついた紙銭を祖先壇に貼りつける  
(程序no. 86/撮影者 廣田律子)



写真9：「請聖/大序意者」、唱えごとをし、紙銭を捧げる  
(程序no. 161/撮影者 廣田律子)



写真10：祭場の入口前に張り巡らせた対聯  
(程序no. 171/撮影者 廣田律子)



写真11：囃子方、儀礼だけでなく食事開始の合図もする  
(撮影者 廣田律子)



写真12：「掛家灯」、師棍を使って腰掛を移動させる  
(程序no. 198/撮影者 廣田律子)



写真13：「掛家灯」、故盤林古氏の紅衣と神頭を調える  
(程序no. 204／撮影者 廣田律子)



写真14：「掛家灯／吹米」、受礼者の口に米を吹き入れる  
(程序no. 237／撮影者 三村宜敬)



写真16：「招兵願／還催春願」、紙銭を燃やし、唱えごとをする  
(程序no. 354／撮影者 廣田律子)



写真15：「招兵願」、唱えごとと献酒を行う  
(程序no. 351／撮影者 廣田律子)



写真17：「招兵願／昇五穀」、祭壇の下に五穀を置く  
(程序no. 362／撮影者 浅野春二)



写真18：「招兵願／開天門」、紙銭の束を一つずつ捧げる  
(程序no. 433／撮影者 廣田律子)



写真19：「招兵願／開天門／招五穀魂」、五穀の魂の重さを量り唱えごとをする  
(程序no. 448／撮影者 森由利亜)



写真20：「招兵願／開天門／招五穀魂」、五穀を各受礼者の家に運ぶ  
(程序no. 463／撮影者 廣田律子)



写真21：「大運銭」、竹席を中心に回り、唱えごと  
(程序no. 632／撮影者 廣田律子)



写真22：「大運銭」、師父と弟子による問答の様子  
(程序no. 657／撮影者 廣田律子)



写真23：「大運銭」、弟子による師棍を用いた運銭舞  
(程序no. 658／撮影者 廣田律子)



写真24：「盤王願」、盤王のための祭壇  
(程序no. 681／撮影者 三村宜敬)



写真25：「盤王願」、唱えごとと献酒を行う  
(程序no. 696／撮影者 廣田律子)



写真26：「盤王願／流楽」、祭壇前に並んだ歌娘  
(程序no. 732／撮影者 吉野晃)



写真27：「流楽」、祭壇前で手訣を行う  
(程序no. 821／撮影者 廣田律子)



写真28：「流楽」、家先単の名前を読み上げる  
(程序no. 877／撮影者 廣田律子)



写真29：「流楽」、盤王のために主厨官が長鼓舞を舞う  
(程序no. 903／撮影者 廣田律子)



写真30：「盤王願／唱盤王大歌」、テキストを読誦する  
(程序no. 994／撮影者 廣田律子)



写真31：師棍に神面を結び、帰りたく  
(撮影者 譚静)



写真32：「上馬酒」、受礼者に祖先壇への供物を渡す  
(程序no. 1181／撮影者 三村宜敬)



写真33：「分紅」、宗教職能者らへ肉等を分配する  
(程序no. 1184／撮影者 廣田律子)





写真34：遷家願儀礼関係者集合写真  
(撮影者 廣田律子)

《2011年遷家願に使用された神画一覽》



三將軍 (盤保古所蔵)



太尉 (盤保古所蔵)



海番張趙二郎 (盤保古所蔵)



総壇 (盤保古所蔵)



三將軍 (盤喜古所蔵)



太尉 (盤喜古所蔵)



海番張趙二郎 (盤喜古所蔵)



総壇 (盤喜古所蔵)

(撮影者 譚静)

# — 目 次 —

はじめに .....	ii
1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し .....	1
2. 刀山表・迎兵表・迎真表・補充加職迎兵表の2008年儀礼文書と校訂用資料 .....	15
3. 還家願儀礼調査日程 .....	23
4. 還家願儀礼に関わる宗教職能者と受礼者の名簿及び主催者盤家系図 .....	27
5. 祭場平面図 .....	29
6. 還家願儀礼程序 .....	33
7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録 .....	117
8. ヤオ族儀礼神画 トレース画と複製画 .....	127
9. 藍山県の年中行事 .....	131
10. 張勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳 .....	137
11. 還家願儀礼の調査参加記 .....	169
おわりにかえて .....	183

# はじめに

「中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅰ」に引き続き「中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅱ」を刊行することができ、まず調査地の祭司、調査対象の儀礼の主催者をはじめとする関係者の方々、そして学生の指導に関わって下さった研究者の先生方に心より感謝申し上げたい。

神奈川大学歴史民俗資料科学研究科において、廣田は「比較民俗資料学」の分野を担当し、調査地を中国としている。「ヤオ族の儀礼と儀礼文献の総合的研究」を課題とし2008年～2012年科学研究費補助金（基盤研究（B））及びトヨタ財団2009年度アジア隣人プログラム 特定課題「アジアにおける伝統文書の保存、活用、継承」企画題目「中国湖南省藍山県のユーミエンの度戒儀礼に使用される儀礼文献・儀礼文書の保存と活用と継承」を得、神奈川大学プロジェクト研究所ヤオ族文化研究所を拠点として活動しているが、院生が全面的に参加し、実践的学修の場となっている。

具体的な年度ごとの活動をまとめる。

## 2008年度

2008年11月24日～12月12日 「ヤオ族度戒儀礼調査」実施 於中国湖南省藍山県

2009年3月29日 『瑶族文化研究所通訊』第1号発行

## 2009年度

2009年8月5日～8月11日 「第1回湖南瑶族伝統文化研討会」及び「第1回度戒儀礼補足調査」実施 於中国湖南省長沙

2009年8月6日 「第1回湖南瑶族伝統文化研討会 シンポジウム」開催 於中国湖南省長沙

2010年3月13日～3月21日 「ドイツバイエルン州立図書館資料閲覧」実施 於ドイツミュンヘン

## 2010年度

2010年4月28日～5月5日 「第2回度戒儀礼補足調査」実施 於中国湖南省藍山県

2010年7月29日 『瑶族文化研究所通訊』第2号発行

2010年8月10日～8月15日 「第3回度戒儀礼補足調査」実施 於中国湖南省藍山県

2010年8月12日～8月26日 「オックスフォード大学ボードレアン図書館所蔵ヤオ族関連文献資料閲覧」実施 於イギリスオックスフォード

2010年11月20日～11月22日 「第4回度戒儀礼補足調査」実施 於神奈川大学

2010年11月23日 「ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム」開催 於神奈川大学

2010年11月24日 講演会「ヤオ族の儀礼文化と文献——アジアの少数民族が伝える多元的な文化伝統」開催 於早稲田大学

2010年11月25日 講演会「ヤオ族の祭司による開光儀礼」開催 於神奈川大学

2011年1月10日 「ラオス北部のランテンヤオ族民間伝統文書の保存・集成・解題」プロジェクト・神奈川大学ヤオ族文化研究所 共同研究会」開催 於東京大学

2011年3月15日～3月16日「南山大学人類学博物館所蔵文献閲覧」実施 於南山大学

2011年度

2011年6月17日～6月18日「南山大学人類学博物館所蔵文献閲覧」実施 於南山大学

2011年11月10日 『瑶族文化研究所通説』第3号発行

2011年11月14日～11月22日「藍山県還家愿儀礼調査」実施 於中国湖南省藍山県

2011年3月26日～3月31日「藍山県送船儀礼調査」実施 於中国湖南省藍山県

中国湖南省藍山県に居住するヤオ族（ユーミエン）に伝承される最大規模の通過儀礼の度戒儀礼全行程（15日間）に渡って読誦される経典（50冊）及び作成・使用される文書（数百件）の収集記録を行ない、儀礼で使用された大量の儀礼文献及び文書の録文作成、校訂作業、解読分析、現代語訳を進め同時に儀礼内容との対応関係を明確に記録した上分析を行ない、研究成果を随時発表している。

なおヤオ族文化研究所は年に6回程度研究会を開催し研究成果を共有している。『ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム予稿集』及び『瑶族文化研究所通説』1～3号を刊行し、さらに神奈川大学歴史調査報告第12集「中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅰ」でも研究成果の公表に努めた。この際映像資料に字幕を付すことで儀礼の実践と読誦されるテキスト及び呪文を明確化する取り組みをした。儀礼文献・文書及び画像資料は、ヤオ族文化研究所ウェブサイト(<http://www.yaoken.org/>)で順次公開している。

ヤオ族文化研究所の主催する全活動に院生は積極的に参加し、成果を上げている。

本報告書もまたその成果の一つに数えられるが、度戒儀礼と他の儀礼との関係をあきらかにする為に2011年11月に実施した還家愿儀礼の調査報告を中心に、授業時間を利用しての講読の成果などで構成されている。2011年度の授業は丸山宏先生担当「アジア史特論」では本書に収めた度戒儀礼で使用された文書の解読を進め、廣田担当「比較民俗資料学研究」では、還家愿儀礼調査の準備の為本書に収めた張勁松著「還家愿」『藍山県瑶族伝統文化田野調査』第3章の翻訳を進めた。2011年3月・6月に行なった南山大所蔵の白鳥文献の調査報告も載せたかったが、整理に時間を要するため次号に譲りたい。

本研究の意義について述べるが、遠く離れる湖南のヤオ族とタイ北部やラオスのヤオ族が継承する儀礼知識が相当程度相同であることは、すでに実施した度戒儀礼調査で記録した儀礼文献から確認可能となった。これはヤオ族の儀礼が儀礼文献の読誦により進行し、文献をお手本として文書が作成されるからであるが、道教的な宗教儀礼知識の総体が広い地域にわたり、長年維持・伝承されてきたことは驚嘆すべきことであり、この複雑にして大量の文献・文書を保存することは意義深い。本研究によって儀礼文献・文書のみならず、それが如何なる目的でどの段階でどのように作成・使用されるか儀礼の実践との対応を明確に記録化し保存することで、宗教儀礼知識の総体を立体的に保存することになる。ヤオ族の貴重な文化遺産として自身の儀礼の保存継承に活用が可能となる。これはまさに人類の文化遺産といっても過言ではない。

学術的には、ヤオ族の儀礼の全体が明らかになれば、文献学的儀礼研究との接合が可能になり、儀礼史の上に位置づけることにも繋がる。儀礼文献の内容は、正一道教の影響を伺わせるもので、漢族の生み出した道教文献の影響を強く受けながらもヤオ族独自の体系を作り上げており、単純に漢族の道教文献を基準にできない民間宗教的な複雑な内容の文献を含んでいる。いわゆる法師、法教の文献

の伝統と密接に関係しているが、このような種類の文献の研究は、中国でも最近、急速に進展してきているので、ヤオ族儀礼文献の整理分析を行なう学術的な条件も整ってきている。

ヤオ族の儀礼文献・儀礼文書は、多面的で、豊富な内容をもつにも関わらず、解読すること自体が充分に実現してこなかった。儀礼文献・儀礼文書の整理と分析は、今後引き続き重要な成果を必ず上げ得ると考える。

今後の課題としては、研究を進める中でヤオ族の儀礼全体において度戒儀礼をどう位置付けるかという問題が浮上してきた。それ故、まず膨大なヤオ族の儀礼知識の総体を明らかにすることが不可欠となった。そのため本研究ではヤオ族が日常行なっている儀礼（治病儀礼・葬送儀礼・婚姻儀礼・建築に関する儀礼・年中行事等）の実践と使用される儀礼文献（経典・文書）及び言説について明らかにすることが今後の課題となる。

儀礼の実践及び儀礼で使用される文献の両面から、ヤオ族の儀礼知識の全容を把握し、儀礼間の関係、儀礼の構成要素の異同を明確にすることで度戒儀礼の体系的な位置付けを引き続き行ないたい。特に今回程序等にまとめたが、中規模の通過儀礼の還願儀礼との関係を明らかにする必要がある。度戒儀礼と他の儀礼の類型を重ね合わせることでその豊富な儀礼知識が日々行なわれる儀礼生活の中でどのように伝承されているかの詳細についても探求を進めることができると考えている。

さらにヤオ族の文献を収集している国内外の諸機関（バイエルン州立図書館・ボードリアン図書館・オランダ国立民族学博物館・ハイデルベルク大学中国学研究所・ライデン大学・米国議会図書館・麗水学院畚族文化研究所・南山大学人類学博物館）で資料の閲覧収集を進め、複数の異本と対校することで藍山県の文献の個性と普遍性を明確にする必要がある。諸機関との連携関係を確立し、ヤオ族文化研究所をヤオ族の儀礼文献の保存・活用・継承に資する研究拠点とし、国際的な研究ネットワークの構築を図りたい。

南山大学収蔵の白鳥調査団が収集した文献を調査した結果、文献的儀礼知識が相当程度相同であることが確かめられたタイのヤオ族の儀礼調査を併せて行なうことで、儀礼的背景を確認し、ヤオ族の儀礼全体の地域間比較を行ない、儀礼における不易と変差の両側面を明らかにすることも今後の課題である。

今後の活動を通じて、歴史民俗資料学研究科の院生の中から将来この分野の研究者が輩出されることを期待している。

（文：廣田 律子）

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」  
の校訂と書き下し





## 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

指導：丸山 宏

「アジア史特論」履修者：D3：三村 宜敬 広川 英一郎  
M2：譚 静 財津 直美 阿部 宇洋 中村 慧  
M1：佐山 貴史 瀨崎 壮 于 京璋 張 媛娣

### 前置き：

本資料は、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科の講義科目の一つである、「アジア史特論」において書き下し作業を行った。もちろん、講義を履修する院生たちは、資料の作成者であるヤオ族に関する知識は皆無に等しく、また、漢文に精通しているわけでもない。そのため、書き下しにあたっては、文書資料に造詣が深く、講義の担当者である丸山宏先生のご教示が欠かせないものであった。

講義内容としては、前期は、丸山先生の指導を受けつつ履修者ひとりひとりが順に資料を読み下し、後期は、前期に作成した書き下し文をさらに補足・訂正し、ヤオ族の宗教世界をより正確に理解できるよう試みるという構成であった。

こうした一連の学びを通して履修者は、漢文資料の読解方法を知ったり、歴史分野と民俗分野の連携の必要性や可能性に気付くことができたりしたことだろう。本資料は、文字だけ見てもいまひとつ内容が分からず、実際の儀礼での用いられ方を知ることで、初めてその機能や意味を理解することができるものだからである。

アジアの文化や歴史を、大国の民である漢族ではなく、少数民族であるヤオ族の視点から学べたことは、きわめて貴重な経験であった。そして、本講義で学んだ資料の読み解き方や新たな視点は、履修者各自の研究領域でも参考にし、応用できるものであるといえるだろう。 (文：財津 直美)

### 伝度大疏 書き下し

底本 森由利亜教授撮影 森フォト 文書 3301-3313

校訂資料 A-3 40a-48a , A-5 41a-46a , A-10 36b-44b , E-1 森フォト 文書 2973-2975 等

封皮：大道光中御前呈伝度請聖大疏 百拜上奏

大道<sup>1</sup>光中御前に進呈する傳度請聖大疏。百拜して上奏す。

- 1、北極驅邪院醮壇給出請聖大疏一道 今據  
北極驅邪院醮壇の給出せる請聖大疏一道。今據<sup>よる</sup>に
- 2、娑婆世界 南膳部州 未通人民 先通州縣  
娑婆<sup>2</sup>世界の南膳部州、未だ人民を通ぜず。先に州縣を通<sup>3</sup>ず。

1 道教の神々のことであろう。  
2 A-2により「娑」につくる。  
3 住所を知らせる。

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 3、大中華湖南省藍山縣匯源郷湘藍村小地名沖口処 立壇傳度 奉  
大中華湖南省藍山縣匯源郷湘藍村小地名沖口の處に、壇を立て傳度し、
- 4、真傳度完燈三戒保安醮主馮法有 偕妻趙氏四娘 同新度師男  
真<sup>4</sup>を奉じて傳度し、完燈<sup>5</sup>し、三戒し、保安せんとする醮主の馮法有、偕妻趙氏四娘、<sup>とも</sup>同なる新度師男
- 5、趙法佑 李法財 趙維 趙法余 趙法法官 盤法壇 馮法有 馮法維  
趙法佑 李法財 趙法維 趙法余 趙法法官 盤法壇 馮法有 馮法維
- 6、盤法祿 趙法保 趙法旗 陰平度 馮法旺 馮法亮 趙法貴 趙法雲  
盤法祿 趙法保 趙法旗 陰平度 馮法旺 馮法亮 趙法貴 趙法雲
- 7、趙法秀 趙法青 馮法祿 趙法保 趙法用 受度信女盤氏一娘  
趙法秀 趙法青 馮法祿 趙法保 趙法用 受度信女盤氏一娘
- 8、李氏一娘 盤氏二娘 盤氏二娘 趙氏一娘 盤氏一娘 趙氏一娘 趙氏一娘  
李氏一娘 盤氏二娘 盤氏二娘 趙氏一娘 盤氏一娘 趙氏一娘 趙氏一娘
- 9、趙氏一娘 盤氏一娘 趙氏一娘 等合衆 即  
趙氏一娘 盤氏一娘 趙氏一娘 等合衆、
- 10、日誠心皈依 冒干<sup>6</sup> 洪造<sup>7</sup> 伏以威光府<sup>8</sup> 垂鑒納 言念醮主 同小  
即日おもに誠心もて帰依し、洪造を冒干す<sup>9</sup>。伏しておも以えらく、威光もて俯垂し鑒納せんことを。<sup>こ</sup>言に念えらく、醮主、<sup>とも</sup>同なる小
- 11、師 合堂衆等 罪有多般 功無一羽 托天地蓋載之 荷日月  
師、合堂の衆等は、罪は多般有り、功は一羽も無し。天地蓋載の恩<sup>10</sup>に托し、日月
- 12、照臨之徳 況弟子合室 常嚴持恭敬 不曾抵退之 意者  
照臨の徳をい荷う。況んや弟子合室、は常に恭敬を嚴持して、曾てせざて抵退せざる<sup>11</sup>の心<sup>12</sup>を有す。意者もて
- 13、投誠 伏惟 醮主馮法有 生於乙未年十一月二十五日辰時 一命上属中天  
誠を投ず。伏して惟うに、醮主馮法有は、乙未年十一月二十五日辰時に於いて生まれ、一命は中天
- 14、南斗第六位武曲金徳星君 注照 偕妻趙氏四娘 生於己亥年十月  
南斗第六位武曲金徳星君に上属し、注照せらる。偕妻趙氏四娘は、己亥年十月
- 15、十一日吉時 一命上属中天北斗第二位巨門木徳星君 生照 行庚四十九歳  
十一日吉時に於いて生まれ、一命は中天北斗第二位巨門木徳星君に上属し、生<sup>13</sup>照せらる。行庚四十九歳。
- 16、趙法佑 生於乙酉年十二月初五日酉時 一命上属中天西斗第四位文  
趙法佑は、乙酉年十二月初五日酉時に於いて生まれ、一命は中天西斗第四位文

4 神のこと。

5 十二燈を掛けること。

6 分不相応な事をする。

7 創造主。玄造・聖造ともいう。

8 A-3により「俯」につくる。

9 大いなる存在に祈願する身分ではないのに申し上げる事。「おそれながら」のニュアンス。

10 A-10より「恩」を補う。

11 A-10では「不能」であるため、「あたわざる」となる。

12 A-10、E-1より「心」を補う。A-10より「有」を補う。

13 「注」の誤りか。

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 17、曲水徳星君 注照 行庚六十三歳 偕妻盤氏一娘 生於丙戌年  
曲水徳星君に上属し、注照せらる。行庚六十三歳。偕妻盤氏一娘は、丙戌年
- 18、六月十八日戌時 一命上属中天西斗第三位禄存土徳星君 注照  
六月十八日戌時に於いて生まれ、一命は中天西斗第三位禄存土徳星君に上属し、注照せらる。
- 19、行庚六十二歳 李法財 生於甲午年十月十二日卯時 一命上属  
行庚六十二歳。李法財は、甲午年十月十二日卯時に於いて生まれ、一命は
- 20、中天南斗第七位破群金徳星君 注照 行庚五十四歳 偕妻李氏  
中天南斗第七位破群金徳星君に上属し、注照せらる。行庚五十四歳。偕妻李氏
- 21、一娘 生於己亥年九月二十五日吉時 一命上属中天北斗第二位巨  
一娘は、己亥年九月二十五日吉時に於いて生まれ、一命は中天北斗第二位巨
- 22、門木徳星君 行庚四十九歳 趙法維 生於壬午年四月二十九日  
門木徳星君に上属す。行庚四十九歳。趙法維は、壬午年四月二十九日
- 23、丑時 一命上属中天南斗第七位破群木徳星君 行庚六十六歳  
丑時に於いて生まれ、一命は中天南斗第七位破群木徳星君に上属す。行庚六十六歳。
- 24、偕妻盤氏二娘 生於甲申年六月十二日寅時 一命上属中天西斗  
偕妻盤氏二娘は、甲申年六月十二日寅時に於いて生まれ、一命は中天西斗
- 25、第五位廉真水徳星君 注照 行庚六十四歳 趙法余生  
第五位廉真水徳星君に上属し、注照せらる。行庚六十四歳。趙法余は、
- 26、於壬寅年十二月二十五日己時 一命上属中天東斗第三位禄存金徳  
壬寅年十二月二十五日己時に於いて生まれ、一命は中天東斗第三位禄存金徳
- 27、星君 注照 偕妻盤氏二娘 生於丙午年正月十一日卯時 一命上属  
星君に上属し、注照せらる。偕妻盤氏二娘は、丙午年正月十一日卯時に於いて生まれ、一命は
- 28、中天南斗第七位破群水徳星君 注照 行庚四十二歳 陰平度師男趙  
中天南斗第七位破群水徳星君に上属し、注照せらる。行庚四十二歳。陰平度する師男趙
- 29、法貴 生於丁己年吉月吉時 一命上属中南斗第六位武曲星君  
法貴は丁己年吉月吉時に於いて生まれ、一命は中南斗第六位武曲星君に上属し、
- 30、注照 寿生行庚五十二歳 偕妻趙氏一娘 生於 年 月 日吉  
注照せらる。寿生は行庚五十二歳。偕妻趙氏一娘は、□年□月□日吉
- 31、時 一命上属中天 斗第 位 徳星君 注照 寿生行庚 歳  
時に於いて生まれ、一命は中天□斗第□位□徳星君に上属し、注照せらる。  
寿生は行庚□歳。
- 32、陰平度趙法雲 生於辛己年八月十五日吉時 一命上属中天南斗第六  
陰平度する趙法雲は、辛己年八月十五日吉時に於いて生まれ、一命は中天南斗第六
- 33、位武曲金徳星君 注照 寿生行庚 十 歳 陽妻趙氏一娘 生於  
位武曲金徳星君に上属し、注照せらる。寿生は行庚□十□歳。陽妻趙氏一娘は
- 34、辛己年二月二十八日 一命上属中天南斗第六位武曲金徳星君 注照  
辛己年二月二十八日に於いて生まれ、一命は中天南斗第六位武曲金徳星君に上属し、注照せらる。
- 35、新承弟子趙法官 生於己亥年十月二十九日亥時 一命上属中天  
新承弟子趙法官は、己亥年十月二十九日亥時に於いて生まれ、一命は中天
- 36、北斗第二位巨門木徳星君 注照 偕妻盤氏一娘 生於癸卯年三月十三

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 北斗第二位巨門木德星君に上属し、注照せらる。偕妻盤氏一娘は、癸卯年三月十三
- 37、日丑時 一命上属中天東斗第四位文曲金德星君 注照 行庚四十五歳  
日丑時に於いて生まれ、一命は中天東斗第四位文曲金德星君に上属し、注照せらる。  
行庚四十五歳。
- 38、陰平度趙法 生於 年 月 日 吉時 寿生行庚 十 歳一  
陰平度趙法□は、□年□月□日吉時に於いて生まる。寿生は行庚□十□歳。一
- 39、命上属中天 斗第 位 德星君 注照 同妻黄氏 娘生於  
命は中天□斗第□位□德星君に上属し、注照せらる。同妻黄氏□娘は、
- 40、 年 月 日吉時、一命上属中天 斗第 位 德星君 注照  
□年□月□日吉時に於いて生まれ、一命は中天□斗第□位□德星君に上属し、注照せらる。
- 41、新承師男盤法壇 生於己卯年二月十七日午時 一命上属中天東斗第  
新承師男盤法壇は、己卯年二月十七日午時に於いて生まれ、一命は中天東斗第
- 42、四位文曲土德星君 注照 行庚六十九歳 偕妻趙氏 娘 生於癸酉  
四位文曲土德星君に上属し、注照せらる。行庚六十九歳。偕妻趙氏□娘は、癸酉
- 43、年九月初六日子時 一命上属中天西斗第四位文曲金德星君 注照  
年九月初六日子時に於いて生まれ、一命は中天西斗第四位文曲金德星君に上属し、注照せらる。
- 44、行庚六十五歳 新度師男馮法青 生於甲辰年五月初十日吉  
行庚六十五歳。新度師男馮法青は、甲辰年五月初十日吉
- 45、時 一命上属中天東斗第五位廉真火德星君 注照 行庚四十四歳 偕  
時に於いて生まれ、一命は中天東斗第五位廉真火德星君に上属し、注照せらる。  
行庚四十四歳。偕
- 46、妻趙氏一娘 生於甲辰年十二月初四日吉時 一命上属中天東斗第五位廉  
妻趙氏一娘は、甲辰年十二月初四日吉時に於いて生まれ、一命は中天東斗第五位廉
- 47、真火德星君 注照 行庚四十四歳 馮法維 生於癸卯年八月十四日吉時  
真火德星君に上属し、注照せらる。行庚四十四歳。馮法維は、癸卯年八月十四日吉時に於いて生  
まれ、
- 48、一命上属中天東斗第四位文曲金德星君 注照 行庚四十五歳 偕妻  
一命は中天東斗第四位文曲金德星君に上属し、注照せらる。行庚四十五歳。偕妻
- 49、盤氏一娘 生於癸卯年四月初九日吉時 一命上属東斗第四位文曲金德  
盤氏一娘は、癸卯年四月初九日吉時に於いて生まれ、一命は東斗第四位文曲金德
- 50、星君 注照 行庚四十五歳 陰平度趙法青生 於乙卯年九月十二日吉時  
星君に上属し、注照せらる。行庚四十五歳。陰平度する趙法青は、乙卯年九月十二日吉時に於い  
て生まれ、
- 51、一命上属中天東斗第四位文曲水德星君 注照 同妻馮氏一娘 生於  
一命は中天東斗第四位文曲水德星君に上属し、注照せらる。同妻馮氏一娘は、
- 52、甲寅年八月初三日吉時 一命上属中天東第三位禄存水德星君 注照  
甲寅年八月初三日吉時に於いて生まれ、一命は中天東第三位禄存水德星君に上属し、注照せらる。
- 53、陽寿行庚 十 歳 馮法禄 生於癸未年八月初五日吉時 一命上属  
陽寿は行庚□十□歳。馮法禄は、癸未年八月初五日吉時に於いて生まれ、一命は
- 54、中天南斗第六位武曲木德星君 注照 寿生行庚 十 歳 陽

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 中天南斗第六位武曲木德星君に上属し、注照せらる。寿生は行庚□十□歳。陽
- 55、妻馮氏三娘生 於壬五午年十一月十七日申時 一命上属中天南斗第七  
妻馮氏三娘は、壬五午年十一月十七日申時に於いて生まれ、一命は中天南斗第七
- 56、位破群木德星君 注照 行庚六十五歳 新度師男盤法禄 生於  
位破群木德星君に上属し、注照せらる。行庚六十五歳。新度師男盤法禄は、
- 57、丁亥年二月二十一日子時 一命上属中天北斗第二位巨門土德星君 注照  
丁亥年二月二十一日子時に於いて生まれ、一命は中天北斗第二位巨門土德星君に上属し、注照せ  
らる。
- 58、行庚六十一歳 陰妻 氏 娘 生於 年 月 日吉時 一命上属中天 斗 第 位  
行庚六十一歳。陽妻趙氏一娘は、辛卯年十二月二十八日に於いて生まれ、一命は中天東斗第四位
- 59、 德星 注照 寿生行庚 十 歳  
文曲木德星君に上属し、注照せらる。寿生は行庚五十七歳。
- 60、新承師男趙法寶 生於辛卯年十月十八日亥時 一命上属中天東  
新承師男趙法寶は、辛卯年十月十八日亥時に於いて生まれ、一命は中天東
- 61、斗第四位文曲木德星君 注照 行庚五十七歳 同妻趙氏一娘 生於  
斗第四位文曲木德星君に上属し、注照せらる。行庚五十七歳。同妻趙氏一娘は、
- 62、辛卯年十月初九日吉時 一命上属中天東斗第四位文曲木德星  
辛卯年十月初九日吉時に於いて生まれ、一命は中天東斗第四位文曲木德星
- 63、君 注照 行庚五十七歳  
君に上属し、注照せらる。行庚五十七歳。
- 64、新承師男趙法旗 生於甲辰年十一月初六日亥時 行庚四十八  
新承師男趙法旗は、甲辰年十一月初六日亥時に於いて生まる。行庚四十八
- 65、歳 上属中天東斗第五位廉真火德星君 注照 偕妻盤氏一娘 生於  
歳。中天東斗第五位廉真火德星君に上属し、注照せらる。偕妻盤氏一娘は、
- 66、乙巳年二月十六日丑時 行庚四十七歳 上属中天南斗第六位武  
乙巳年二月十六日丑時に於いて生まる。行庚四十七歳。中天南斗第六位武
- 67、曲火德星君 注照  
曲火德星君に上属し、注照せらる。
- 68、陰平度趙法用 生於 年 月 日吉時 寿生行庚 十 歳  
陰平度する趙法用は、□年□月□日吉時に於いて生まる。寿生は行庚□十□歳。
- 69、一命上属中天 斗第 位 德星君 注照 同陰妻 氏 娘  
一命は中天□斗第□位□德星君に上属し、注照せらる。同なる陰妻□氏□娘は
- 70、生於 年 月 日吉時 寿生行庚 十 歳 一命上属中  
□年□月□日吉時に於いて生まる。寿生は行庚□十□歳。一命は中
- 71、天 斗第 位 德星君 注照  
天□斗第□位□德星君に上属し、注照せらる。
- 72、陰平度趙法保 生於癸酉年九月二十三日吉時 寿生行庚  
陰平度する趙法保は、癸酉年九月二十三日吉時に於いて生まれる。寿生は行庚
- 73、 歳 一命上属中天西斗第四位文曲金德星君 注照  
□歳。一命は中天西斗第四位文曲金德星君に上属し、注照せらる。

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 74、陽妻 氏 娘 生於壬申年十月初四日吉時 行庚七十六歳  
陽妻□氏□娘は壬申年十月初四日吉時に於いて生まれる。行庚七十六歳。
- 75、一命上属中天西斗第五位廉真金徳星君 注照  
一命は中天西斗第五位廉真金徳星君に上属し、注照せらる。
- 76、衆等 新承師男及偕妻 出世以来 命帯三型六害、華蓋重逢、  
衆等、新承師男及び偕妻は、出世より以来、命は三刑六害を帯び、華蓋<sup>14</sup>は重ねて逢い、
- 77、難以自救 宜奉太上師門香火 願將躬身投師学法 原于  
以て自ら救い難し。宜しく太上師門<sup>15</sup>の香火を奉ずべし。願わくは躬身を將て師に投じ、法を  
学ばんことを。<sup>もと</sup>原
- 78、吉年吉月吉時良辰 請到開教師 入家本壇 啓白家奉聖衆  
吉年吉月吉日良辰に於いて開教師を請到す。家に入り本壇にて、家にて奉じたる聖衆に啓白し
- 79、鑒知 將身心潔淨 対聖躰掛三台護命銀燈 抛立法名  
鑒知せしむ。身心を將て潔淨し、聖に対し三台護命銀燈を體掛し、法名を抛立す。
- 80、吹囀縛白 撥將護身 年深月久以来 未蒙傳度 若不完燈  
吹囀縛白(?)す。將を撥して身を護らしむ。年深く月久しくして以来、未だ傳度を蒙けず。も  
し完燈し
- 81、三戒奏名 衆聖縁何知會 況醮主馮法有夫妻 合意請人  
三戒し奏名せざれば、衆聖は何に縁りてか知會せん。況んや醮主  
馮法有夫妻は、合意して人を請い、
- 82、虔備香油錢幣凡供之儀 取向今庚十一月 日吉良大利  
香油錢紙凡供の儀を虔備す。今庚十一月□日吉良大利を取向す。
- 83、乃當老君度法之辰 又於十月二十九日 主醮師帶聖像而  
乃ち老君度法の辰に當たる。又十月二十九日に於いて、主醮師は聖像<sup>16</sup>を帶して而して
- 84、來本壇 安壇落馬 位筈兵頭 切思 聖門遙遠 凡信  
本壇に來り。壇を安じて馬より落りる。兵頭を住<sup>17</sup>筈す。切に思えらく、聖門は遙遠にして凡  
信は
- 85、難通 又於十月三十日 衆師封立齋門 又於十一月初三日  
通じ難しと。又十月三十日に於いて衆師は齋門を封立す。又十一月初三日に於いて
- 86、普立華壇 張掛聖像金容 吉時門外升進雲雷鼓樂、  
華壇を普立し、聖像金容を張掛す。吉時に門外に雲雷鼓樂を升進し、
- 87、関告天地水陽当日功曹使者 賣馳請狀脚引 各府門  
天地水陽當日功曹使者に関告す。請狀脚引を馳す。各府門
- 88、下投進禮請 又今月 命師恭就醮壇 落禁在壇内 就時  
下に投進し禮請す。又今月、師に命じ、恭しく醮壇に就きて、落禁すること壇内に在り。  
時に就きて、
- 89、衆師 請聖鑒醮壇 執香師兼同吹笛師 啓建安兵

14 星の名。人間の運命を左右するとされる。

15 老君の教えを受け継ぐ法師の教えの門を指す。

16 神画。

17 A-3、E-1より「住」とつくる。

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 衆師は聖に醮壇を鑿することを請う。執香師は吹笛師と兼同し、安兵
- 90、落馬道場一宵 就時 引度師趙法盛 給出初夜黄表  
落馬道場<sup>18</sup>を啓建すること一宵なり。時に就きて、引度師趙法盛は、初夜黄表
- 91、一函 財馬一百二十分 法師具纂吉方 上奏昊天金闕鑒知  
一函、財馬一百二十分を給出す。法師は吉方に具纂して、昊天金闕に上奏し鑒知せしむ。
- 92、回壇 酒盃賞駕完満 筭歸壇 伏夜道場 交於 日  
壇に<sup>もと</sup>回り、酒盃もて賞賀<sup>19</sup>し完満す。筭して壇に帰さしむ。伏夜道場<sup>20</sup>、<sup>か</sup>口日に交わりて
- 93、衆師迎請聖來臨 茶酒師兼同鼓楽師 啓建  
衆師は聖を迎請し、來臨せしむ。茶酒師は鼓楽師と兼同し、
- 94、還願道場一宵 酒盃賞駕 筭兵師壇 書表師馮法龍 虔備  
還願道場<sup>21</sup>を啓建すること一宵なり。酒盃もて賞賀し、兵を師壇に筭す。書表師馮法龍は、  
疏文<sup>22</sup>を虔備し、
- 95、拝賀衆星再保 保拳醮壇新度師男信女 合家清潔 老幼  
衆星を拝賀し、再び保ちて、醮壇の新度師男信女を保拳す。合家をして清潔ならしめ、老幼をし  
て
- 96、均安 坐壇師 証盟師二位 啓建糧星道場一宵 酒盃賞賀  
均しく安ず。坐壇師、証盟師の二位は、糧<sup>23</sup>星道場を啓建すること一宵なり。酒盃もて賞賀し
- 97、完満 至夜 金鶏報曉 衆師請上聖來臨 吉時 將小師馮法友  
完満す。夜に至る。金鶏曉を報ず。衆師は上聖を請いて來臨せしむ。吉時に、小師馮法友
- 98、趙法佑 李法財 趙法維 趙法余 盤法壇 馮法青 馮法維 盤法祿  
趙法佑 李法財 趙法維 趙法余 盤法壇 馮法青 馮法維 盤法祿
- 99、趙法官 趙法寶 趙法旗等 住壇潔淨身心 躰掛七星銀  
趙法官 趙法寶 趙法旗等を將て、壇に住して身心を潔淨し、七星銀燈を躰掛し
- 100、燈完満 掛大羅十二曜星燈以了 引度師引過小師 開  
完満す。大羅十二曜星燈を掛け以て了す。引度師は小師を引過し、天門を開く。
- 101、天門 度撥水槽一面 承將小師十二人 引上刀山 申明意者  
水槽一面を度撥し、承けて小師十二人を將て、刀山に引上し、意者を申明し、
- 102、玉帝鑒知 回壇 引過勒床一所 日午 迎接部籙衆兵  
玉帝をして鑒知せしむ。壇に回りて、勒床一所に引過す。某日の午に、部籙衆兵を迎接し、
- 103、踢兵帰壇 和合一炉香火 掛職封官 仰寫硃詞 入晚 衆師簽  
兵を踢り壇に歸す。一爐の香火に和合せしむ。職を掛け官に封ず。硃詞を仰寫し、晚に入り、  
衆師は
- 104、押大疏一通 陰陽二據 合同花號分明 伏師引進戒壇 問  
大疏一通、陰陽二拠に簽押す。合同花號は分明なり。師に伏<sup>24</sup>して戒壇に引進し、問

18 初夜道場のことか。

19 A-10により「賀」とつくる。

20 中夜道場のことか。

21 中夜道場における還四府願を指す。

22 A-10により「疏文」を補う。

23 「糧 (liang)」ではなく、「禳 (rang)」の可能性もある。

24 「仗」か。

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

- 105、答授戒 六十日 潔淨身心 将合兵 銅錢一百二十文米一斗  
答して授戒す。六十日、身心を潔淨にして、将を抛して兵を撥す<sup>25</sup>。銅錢一百二十文、米一斗
- 106、(二) 升 白布金橋一丈二尺 對聖前交給分明 兵將給度 護  
二升、白布金橋<sup>26</sup>一丈二尺、聖前に對し交給すること分明なり。兵將は給度され、
- 107、佑師男 受職之時<sup>27</sup> 呼叫仰穹 立彰顯應 従口随心 至夜 重整  
師男を護佑す。受職の時、呼叫して穹を仰げば<sup>たちどころ</sup>立に顯應を彰らかにす。口に従い、心に随う。  
夜に至り、重ねて
- 108、華壇 敷舒黄道 迎迓三清大道 九帝高真 四府群仙 聖衆  
華壇を整え、黄道を敷舒す。三清大道、九帝高眞、四府群仙、聖衆
- 109、大壇 家奉神衆兵聖 三廟神王 家先香火 居住龍 合宮  
大壇、家奉神衆兵聖、三廟神王、家先香火、居住龍神<sup>28</sup>、合宮
- 110、本命星君 俵錢使者 火場土地大神 随縁案主 祖本兵頭  
本命星君、俵錢使者、火場土地大神、隨縁案主、祖本兵頭
- 111、玉女 仙官 功曹使者 醮筵内外神祇 神空飛馬 来赴華壇  
玉女、仙官、功曹使者、醮筵内外神祇を迎迓す。空に乗<sup>29</sup>りて馬を飛ばす。華壇に来赴し
- 112、証盟傳度 至戌亥二宵 引過小師 含犁頭火磚 入晚 虔備  
傳度を證盟す。戌亥二宵に至り、小師を引過し、犁頭火磚を含む。晩に入りて、
- 113、謝表 銀刀一張 財馬一百二十分 法師具纂天庭吉方 上奏  
謝表、銀刀一張、財馬一百二十分を虔備し、法師は天庭吉方に具纂し、
- 114、昊天金闕玉皇大帝陛下投進 陰據一道 隨師上奏火化  
昊天金闕玉皇大帝陛下に上奏し投進す。陰據一道は詞<sup>30</sup>に随いて上奏し火化して、
- 115、上申九郎門下功德司官案前 収貯為憑 就充  
九郎門下功德司官案前に上申す。収貯して憑となす。<sup>すなわち</sup>就、
- 116、太上奉行北極驅邪院川通閻梅二教三戒弟子 職位分別充在  
太上奉行北極驅邪院川通閻梅二教<sup>31</sup>三戒弟子に充つ。職位は分別して充在す。
- 117、馮法友職位陞在 湖南省長沙府  
馮法有の職位は陞らせて湖南省長沙府に在り。
- 118、趙法佑職位陞在 廣東省蘆州府  
趙法佑の職位は陞らせて廣東省蘆州府に在り。
- 119、李法財職位陞在 廣西省南寧府  
李法財の職位は陞らせて廣西省南寧府に在り。
- 120、趙法維職位陞在 雲南省昆明府  
趙法維の職位は陞らせて雲南省昆明府に在り。
- 121、趙法余職位陞在 貴州省貴陽府  
趙法余の職位は陞らせて貴州省貴陽府に在り。

25 A-2により「抛將撥兵」とする。

26 A-20により「橋」とつくる。

27 A-10により「時」を補う。

28 A-10により「神」とつくる。

29 A-10により「乗」とつくる

30 A-10により「詞」とつくる。

31 閻山教と梅山教のこと。



- 122、趙法官職位陞在 江蘇省蘇州府  
趙法官の職位は陞らせて江蘇省蘇州府に在り。
- 123、盤法壇職位陞在 河南省開封府  
盤法壇の職位は陞らせて河南省開封府に在り。
- 124、馮法青職位陞在 江蘇省南市府  
馮法青の職位は陞らせて江蘇省南市府に在り。
- 125、馮法維職位陞在 湖北省武昌府  
馮法維の職位は陞らせて湖北省武昌府に在り。
- 126、盤法祿職位陞在 江西省南昌府  
盤法祿の職位は陞らせて江西省南昌府に在り。
- 127、趙法寶職位陞在 江蘇省蘇州府  
趙法寶の職位は陞らせて江蘇省蘇州府に在り。
- 128、趙法旗職位陞在 浙江省杭州府  
趙法旗の職位は陞らせて浙江省杭州府に在り。
- 129、陽據一道 當天 拋給三戒新度師男 生身収照為憑 如遇百年  
陽據一道は、當天に、三戒新度師男に拋給し、生身に收照して憑と為す。如し百年の
- 130、香盡滿 將此陽據牒 赴金闕九郎門下 對比硃墨合同花號 相同  
香が儘く滿つるに遇えば、此の陽據牒を將て、金闕九郎門下に赴き、硃墨合同花號を對比し、相同じければ、
- 131、即係老君御前弟子 不行地府 不與<sup>32</sup> 閻羅所管 名標玉簿 主管兵頭<sup>33</sup> 醮  
即ち老君御前の弟子に係る。地府に行かず、閻羅所管に與せず。名は玉簿に標し、兵頭を主管す。  
醮
- 132、筵滿散 于中 化煉傳度財馬六十分 具立錢關 開列聖名  
筵は滿散し、中に于いて、傳度財馬六十分を化煉す。錢關を具立し、聖名を開列す。
- 133、遂一照關上進 伏勞使者分明 上答聖恩 下祈集福 乃保  
遂一關に照らして上進す。伏して使者を勞すること分明たり。上は聖恩に答え、下は集福を祈る。  
乃ち保つらくは、
- 134、弟子<sup>34</sup> 清潔 壽命延長 兒女安泰 合家興隆 人財進益 耕種  
弟子は清潔にして壽命は延長し、兒女は安泰にして合家は興隆し、人財は益を進め、耕種は
- 135、百倍全収 求謀遂意 六畜成群 火盜永消 公私吉慶 賜祈  
百倍全収し、求謀は意を遂げ、六畜は群を成し、火盜は永らく消え、公私は吉慶なるを。  
賜祈すらくは、
- 136、書表字墨差漏批錯 大開放宥 再保 衆弟子 人人清潔 個個均  
書表の字墨の差漏批錯は、大いに赦宥を開かんことを。再保つらくは、衆弟子は人人  
清潔にして個個均しく
- 137、安 況弟子 受戒完燈以後 聖助心靈 香火興旺 十方相請 居住  
安んぜんことを。況や弟子の、受戒し完燈して以後、聖は心靈を助け、香火は興旺にして、十

32 A-10により「不與」を補う。

33 A-10により「兵頭」を補う。

34 A-10により「子」を補う。

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

方 は相請いて、居住は

138、千載 長寿萬年 醮主下情無任之至<sup>35</sup>

千歳にして、長寿は萬年ならんことを。醮主、下情無任の至りなり。

139、大中華公元二零零八年戊子歳十一月 日 奉真傳度清齋新承

大中華公元二零零八年戊子歳十一月（某）日 眞を奉じて傳度する清齋新承の

140、弟子馮法有 趙法佑 李法財 趙法維 趙法余 趙法官 盤法壇

弟子 馮法有 趙法佑 李法財 趙法維 趙法余 趙法官 盤法壇

141、馮法青 馮法維 盤法祿 趙法保 趙法旗等 合壇弟子 百拜具疏

馮法青 馮法維 盤法祿 趙法保 趙法旗等合壇の弟子、百拜して疏を具す。

142、鼓樂師

鼓樂師

143、吹笛師

吹笛師

144、茶酒師

茶酒師

145、執香師

執香師

146、坐壇師

座壇師

147、総壇師

総壇師

148、保拳師

保拳師

149、証明師

証明師

150、紙縁師

紙縁師

151、書表師

書表師

152、引度師

引度師

153、主醮師

主醮師

154、太上奉行北極驅邪院醮壇川通閭梅二教三戒弟子主醮師

太上奉行北極驅邪院醮壇の川通閭梅二教三戒弟子たる主醮師、

155、職位陞在四川省成都府花職為號

職位は陞らせて四川省成都府に在り、花職を號と為す。

---

35 A-10 により「至」を補う。

大道光中御前呈傳度請聖大疏 百拜上奏

北極星邪院醜煙給出請聖大疏一道 今據

漢婆世界 南勝神州 未通人氏 充通州縣

大中華湖南省益州縣源源相宜利小地者中以外五種傳度 奉

真傳度定燈三威保安醜主為法有僧聖趙氏四娘同朝度脚男

趙法德 李法前 趙法維 趙法余 趙法官 盤法輝 馮法清 馮法維

盤法祿 趙法保 趙法源 陰平度馮法旺 馮法亮 趙法貴 趙法雲

趙法 趙法青 馮法得 趙法保 趙法用 段度信女 盤法四娘

李法破 盤法二娘 盤法一娘 趙法一娘 趙法二娘 趙法三娘

趙法四娘 趙法五娘 趙法六娘 趙法七娘 趙法八娘 趙法九娘

日誠心皈依月千 洪造伏以感光者垂鑒 言念醜主向心

師合堂衆等 罪有多般 功無一羽 把天地蓋載之 荷日月

照臨之德 况弟子合室 常嚴持恭敬 不啻自抵退之意者

投誠伏惟醜主為法有 生於乙酉年 七月二十五辰時 一命上屬中夫

南斗第六位武曲金德星君注照 僧妻趙氏四娘 生於乙酉年十月

十五日吉時 一命上屬中夫南斗第一二位三門木德星君注照 行庚申九歲

趙法德 生於乙酉年正月初五日辰時 一命上屬中夫南斗第四位文

曲水德星君注照 行庚六十三歲 僧妻盤法一娘 生於丙戌年

六月十八日戌時 一命上屬中夫南斗第三二位祿存土德星君注照

行庚六十二歲 李法財 生於甲午年十月十五日卯時 一命上屬

中夫南斗第七位破群金德星君注照 行庚五十五歲 僧妻李氏

一娘 生於乙酉年九月二十五日亥時 一命上屬中夫南斗第二二位巨

門木德星君 行庚四十九歲 趙法維 生於壬午年四月二十七日

早時 一命上屬中夫南斗第七位破群木德星君 行庚六十六歲

僧妻盤法二娘 生於甲申年六月十五日寅時 一命上屬中夫南斗

第五位廉真水德星君注照 行庚六十四歲 趙法余 生

於乙酉年十月二十五日巳時 一命上屬中夫南斗第三二位祿存金德

星君注照 僧妻盤法二娘 生於丙午年正月十七日卯時 一命上屬

中夫南斗第七位破群水德星君注照 行庚五十二歲 陰平度師男趙

28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29

法貴 生於丁巳年五月廿五日吉時 一命上屬中夫南斗第六位武曲星君  
注照 生於庚子年十二月廿二歲 僧妻趙氏一娘 生於 年 月 日吉  
時 一命上屬中夫 斗第 位 德星君注照 壽生行庚 歲  
陰平度趙法雲 生於辛巳年八月十五日吉時 一命上屬中夫南斗第六  
位武曲金德星君注照 壽生行庚 十歲 陽妻趙氏一娘 生於  
辛巳年二月二十八日 一命上屬中夫南斗第六位武曲金德星君注照  
新度師男趙法官 生於乙酉年七月十九日亥時 一命上屬中夫北  
斗第二二位巨門木德星君注照 僧妻盤法一娘 生於癸卯年二月五  
日丑時 一命上屬中夫南斗第四位文曲金德星君注照 行庚四十五歲  
陰平度趙法 生於 年 月 日吉時 壽生行庚 十歲 一  
命上屬中夫 斗第 位 德星君注照 同妻 氏娘 生於  
年 月 日吉時 一命上屬中夫 斗第 位 德星君注照  
新度師男盤法德 生於乙卯年二月十七日午時 一命上屬中夫南斗第  
四位文曲土德星君注照 行庚六十九歲 僧妻趙氏一娘 生於癸酉  
年九月初六日子時 一命上屬中夫南斗第四位文曲金德星君注照  
行庚六十五歲 新度師男馮法青 生於甲辰年五月初十日吉  
時 一命上屬中夫南斗第五位廉真火德星君注照 行庚四十四歲 僧  
妻趙氏一娘 生於甲辰年十月初四日吉時 一命上屬中夫南斗第五位廉  
真火德星君注照 行庚四十四歲 馮法維 生於癸卯年八月廿五日吉時  
一命上屬中夫南斗第六位文曲金德星君注照 行庚四十五歲 僧妻  
盤法一娘 生於癸卯年九月初九日吉時 一命上屬中夫南斗第四位文曲金德  
星君注照 行庚四十五歲 陰平度趙法青 生於乙卯年九月十五日吉時  
一命上屬中夫南斗第六位文曲金德星君注照 同妻馮法一娘 生於  
中夫南斗第八位初三月吉時 一命上屬中夫南斗第二二位巨門木德星君注照  
陽壽行庚十歲 馮法祿 生於癸卯年八月初五日吉時 一命上屬  
中夫南斗第六位武曲木德星君注照 壽生行庚 十歲 陽  
妻馮法三娘 生於壬午年六月廿七日卯時 一命上屬中夫南斗第七  
位破群木德星君注照 行庚六十五歲 新度師男盤法祿 生於  
丁丑年二月二十日午時 一命上屬中夫南斗第二二位巨門木德星君注照  
行庚六十一歲 陰平度 生於 年 月 日吉時 一命上屬中夫南斗  
第五位廉真水德星君注照 行庚五十七歲  
新度師男趙法官 生於辛卯年十月十八日亥時 一命上屬中夫南  
斗第四位文曲木德星君注照 行庚五十七歲 同妻趙氏一娘 生於

1. 「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し

95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62

平卯年十月初九日吉時。一命上屬中夫赤斗第廿四位。艾由米德星  
 君注照。行庚五十七歲。  
 新水師男趙法源。生於甲辰年。七月初六日。亥時。行庚四十八  
 歲。上屬中夫赤斗第廿五位。康真火德星君注照。僧妻盤氏一娘。生於  
 乙巳年。二月十六日。丑時。行庚四十七歲。上屬中夫赤斗第廿六位。武  
 由火德星君注照。  
 陰平度趙法同。生於 年。月。日。吉時。壽生行庚 十 歲  
 一命上屬中夫。斗第 位。 德星君注照。同陰妻 氏 娘  
 生於 年。月。日。吉時。壽生行庚 十 歲。一命上屬中  
 夫。斗第 位。 德星君注照。  
 陰平度趙法保。生於癸酉年九月二十三日。吉時。壽生行庚  
 一命上屬中夫。面斗第廿四位。艾由米德星君注照。  
 甲陽妻 氏 娘。生於壬申年十月初四日。吉時。行庚七十六歲  
 一命上屬中夫。面斗第廿五位。康真火德星君注照。  
 兼掌新水師男。借妻出世。又未。命第 三 組。大字華五重。建  
 難以自散。宜奉大上師門香火。願將躬身投師學法。原于  
 吉年吉月吉日辰。請到開教師。入隊本隊。敢自家奉聖眾。  
 監如。將身心潔淨。對聖懸掛。三台之護命銀燈。拋立法衣。  
 吹罽。縛自撰持。護身。年深月久以來。未蒙傳度。若不完成。  
 三戒。表聖聖緣。何如會。况懸主。為法有夫妻合意。請人  
 虔備香油。鐵絡。允信之儀。取向合庚十月。日。吉。良。火。利  
 乃當若若度法之辰。又於十月十九日。主願師帶聖像。而  
 來本壇。安壇。淨馬。位。獨。兵。頭。功德。聖。門。遠。遠。允。信  
 難。道。又。於。十。月。三。十。日。眾。師。對。五。帝。門。又。於。十。月。初。三。日  
 普。立。華。壇。張。掛。聖。像。金。容。吉。時。門。外。并。進。雲。雷。鼓。樂。  
 聞。告。天。地。水。陽。當。日。功。曹。使。者。齎。請。狀。脚。引。各。府。門  
 下。投。進。禮。請。又。今。月。命。師。恭。就。離。壇。淨。禁。在。壇。內。就。時  
 眾。師。請。聖。臨。離。壇。執。香。師。兼。同。吹。笛。師。被。建。安。兵  
 浩。馬。道。場。一。宵。就。時。引。度。師。趙。法。成。感。給。進。初。道。苦。表  
 一。函。財。馬。一。百。二。十。分。法。師。具。其。苦。方。上。奏。吳。天。金。關。監。知。  
 回。壇。酒。盃。賞。資。完。滿。齋。歸。壇。伏。夜。道。場。交。於。日  
 眾。師。迎。請。聖。來。臨。茶。酒。師 兼。同。鼓。樂。師 敢。建  
 還。願。道。場。一。宵。願。至。賞。資。獨。兵。師。理。書。主。師。為。法。執。度。備  
 游。資。眾。星。再。保。保。奉。願。壇。新。度。師。男。信。女。合。家。清。潔。老。幼

126 125 124 123 122 121 120 119 118 117 116 115 114 113 112 111 110 109 108 107 106 105 104 103 102 101 100 99 98 97 96

均安。坐壇師。位。盟。師。二。位。敢。建。糧。星。道。場。一。宵。酒。盃。賞。資。完  
 完。滿。至。夜。金。鷄。報。曉。眾。師。請。上。聖。來。臨。吉。時。將。小。師。馮。法。友  
 趙。法。佑。李。法。財。趙。法。維。趙。法。余。盤。法。壇。馮。法。音。為。法。維。盤。法。祕  
 趙。法。官。趙。法。寶。趙。法。廣。等。任。壇。潔。淨。身。心。并。掛。斗。星。銀  
 燈。完。滿。掛。大。羅。士。曜。星。燈。以。了。引。度。師。引。過。小。師。開  
 天。門。度。撥。水。槽。一。面。承。將。小。師。十。二。人。引。上。刀。山。申。明。志。者  
 玉。帝。監。知。回。壇。引。過。勤。床。一。所。日。午。迎。接。部。隊。眾。兵  
 陽。兵。歸。壇。和。念。一。妙。香。大。掛。職。封。官。似。為。疎。詞。八。稅。眾。師。答  
 押。大。疏。一。道。陰。陽。二。據。合。同。花。號。八。分。伏。師。引。進。戒。壇。問  
 答。授。戒。六。十。日。潔。淨。身。心。將。金。銀。錢。一。百。二。十。分。米。一。斗  
 升。白。布。金。梭。一。丈。二。尺。對。聖。御。前。交。給。分。明。兵。將。給。度。道  
 佑。師。男。受。職。之。呼。叫。仰。寫。正。勤。願。從。口。隨。心。至。度。至。聖  
 華。壇。敢。舒。黃。道。迎。送。二。清。大。道。九。帝。高。真。皆。群。仙。聖。眾  
 大。壇。眾。奉。神。眾。兵。聖。三。相。神。王。原。先。香。火。居。住。龍。宮。唐  
 本。命。星。暗。儀。儀。使。者。火。場。土。地。大。神。隨。籍。案。上。祖。本。兵。頭  
 王。女。仙。官。功。曹。使。者。懸。道。內。外。神。祇。神。空。飛。鳥。來。赴。華。壇  
 敬。盟。傳。度。至。成。差。二。僧。引。過。小。師。念。經。頭。火。磚。入。晚。虔。備  
 謝。表。銀。刀。一。把。財。馬。一。百。二。十。分。法。師。具。其。苦。方。上。奏。  
 吳。天。金。關。玉。皇。大。帝。陛下。投。進。陰。陽。一。道。隨。師。上。奏。火。化  
 一。章。九。帝。門。下。功德。司。官。察。前。收。貯。為。憑。就。充  
 太。上。奉。行。北。極。驅。邪。院。川。通。閣。樞。二。教。三。戒。弟。子。職。位。分。別。充。在  
 馮。法。財。職。位。在 省  
 趙。法。佑。職。位。在 省  
 李。法。財。職。位。在 省  
 趙。法。維。職。位。在 省  
 趙。法。余。職。位。在 省  
 趙。法。官。職。位。在 省  
 盤。法。壇。職。位。在 省  
 馮。法。音。職。位。在 省  
 馮。法。維。職。位。在 省  
 盤。法。祕。職。位。在 省

155 154 153 152 151 150 149 148 147 146 145 144 143 142 141 140 139 138 137 136 135 134 133 132 131 130 129 128 127



本写真は森由利亜により 2008 年 12 月 3 日に撮影されたもので、文書は作成途中にある。



2. 刀山表・迎兵表・迎真表・  
補充加職迎兵表の  
2008年儀礼文書と校訂用資料





## 刀山表・迎兵表・迎真表・補充加職迎兵表の 2008年儀礼文書と校訂用資料

校訂：丸山 宏

[ ]は欠字の補足、( )は別字の提案、下線は固有情報を示す。いずれも筆者による加工。  
校訂用資料の書表書の書誌は、『中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告 I』神奈川大学歴史民俗調査報告第12集 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科 2011年3月 47-56頁を参照  
儀礼文書の比較研究作業の基礎として、標点を施した儀礼文書と校訂用資料のみを提示する。

◎刀山表 底本

森フォト 文書 3183

筒 昊天金闕玉皇上帝御前 投進 刀梯表一封

表文本文

北極驅邪院醮壇内給 [出] 刀梯黄表一封 今拠  
具、今月 日、奉真醮壇伝度、引度師臣趙法盛、叩誠秘典、護佩靈靈(文)、  
同醮主馮法友、同妻趙氏四娘等、稽首頓首、百拜奏言、  
中華人民共和国湖南省藍山県滙源郷湘藍村冲口、立壇伝度、祭拜  
本部盤王、龍仙、紫雲、烏鴉二社、六郎廟王、土地、社令、神祇、祠下、奉  
真醮主馮法友(有)、行度新戒弟子趙法佑、李法財、趙法惟、趙法余、趙法官、  
盤法壇、馮法青、馮法[維]、盤法祿、[趙法宝]、[趙法旗]等、習学巫教、久奉  
聖真、未蒙伝度、取向十一月 日、入壇修設  
太上正一三戒教主清醮、一昼二宵、到 日夜早晨、將 [新] 承小師馮法友(有)、馮法旺、  
馮法亮、趙法右(祐)、李法財、趙法惟、趙法余、趙法[貴]、趙法[雲]、趙法官、[趙法秀]、  
趙(盤)法壇、馮法青、馮法[維]、[趙法青]、[馮法祿]、盤法祿、[趙法宝]、[趙法旗]、[趙法用]、  
[趙法保]等、  
引上刀梯一座、恐有邪師、吹念本法、邀請刀山祖師、便行、礼(理)[合行]奏分明、  
虔備黄表一函、財馬三十六分、[法師]具纂、上述(達)  
昊天金闕玉皇上帝陛下投進、伏願 帝化(在)高真、本言詞上述(達)、  
重[念]小師衆人、行過刀山、望 玉帝[之]洪恩、若有邪師害瑤(撩、擾)、争旗奪印(鼓)、  
差時神(辰)速報監察、此等邪師、反滅本身魂命、去除民害、祈保法  
事興隆、広開赦佑之門、但醮主、衆小師男、下情無任瞻天望聖  
激切屏營之至、謹表、  
公元二〇〇八年戊子歲十一月初三日、奉真鳴楊伝度小師馮法友(有)、同妻趙  
氏四娘等、合衆人、百拜謹表上申、  
太上奉行北極驅邪院川通閭梅二教三戒主醮師趙法明、職位陞在  
四川省成都府花印為号

2. 刀山表・迎兵表・迎真表・補充加職迎兵表の2008年儀礼文書と校訂用資料

校訂用資料

A-2) 52 頁 a 以下

刀山表意

太上奉行北極驅邪院醮壇内 給出新戒弟子 刀山表文一道

大清某年某月某日、奉真主醮師某、叩成(誠)秘典、護佩靈文、醮主某、同妻某氏等、誠隍(惶)誠恐、稽首頓首、百拜言奏、今拋、  
大清国湖広道某州某府某県某都某郷某地名、祭拝  
仁恩福主本部某廟、社令、祠下、立壇伝度、[奉]  
真鳴揚伝受戒弟子某、合家衆等、小師、叩習巫教、九(久)  
奉聖真、未蒙伝度、衆姓小師、合共謫議、虔備凡儀、涓  
向某月某日、命師入家安壇、啓建修設  
太上正一三戒清醮、一昼二夜、至日夜早晨、將新承  
小師某、引上刀梯一座、恐有邪師、次(吹)念本師、逃(邀)請刀  
山、便難行、理奏合(合奏)、今虔備黃表一函、財馬一百二十  
忿、具纂上達于昊天金闕玉皇上帝陛下投進、  
伏願 帝在高真、本言奏詞上達、重[念]小師衆弟子、行  
過刀山、望 玉帝之洪恩、若有邪師害撩、争旗奪[鼓]、仰差  
時辰速報監察、此等邪師、反滅本身魂命、去除民害、  
祈保法事興隆、広開赦佑之門、但醮主、衆小師男、下情無任瞻天望聖  
激切屏營之至、謹表、  
皇上某年某月某日、奉真鳴揚伝度新戒小師某、同妻某氏、合衆人等、  
百拜謹表上申、  
太上奉行驅邪院川通閭梅二教三戒主醮師某

A-10) 上本、9 頁 a 以下

刀山表語

娑婆世界 南膳部州

今拋

大清国某府某州某県某郷某里某源小地名某冲、祭拝  
本部某廟王、祠下、立宅居住、奉  
真伝度小師某、姓(信)女某、習成(承)巫教、久奉  
聖真、未蒙伝度、向取今月某日、吉良黄道、  
迎師于家、修建  
太上正一伝度保安清醮一供、三昼三夜、至日  
早晨、將小師某、引上刀山一座、恐有邪師、念吹本法、外恨刀

山一座、以難便行、理合行奏、如(為)此、備办黄表一函、脚引一紙、金銀財馬  
一百二十忿、法師具纂天庭吉方、上奏  
昊天金闕玉皇大帝陛下投  
進、伏願 五(玉)帝高真、本無言詞上達、  
重念小師某、行過刀山一座、望祈上品  
玉皇之洪恩、若有邪師侵害、仰差時辰速  
報監察、此等邪師收滅、祛除民害、祈保  
法事興隆、広開赦宥之門、但保合家、[醮主等]下情  
無任瞻天望聖恩繳(激)切屏營之至、以聞  
謹表上奏、  
皇上某年某月某日、奉真伝度醮主[某]、小師某、信女[某氏]  
合[衆]等、百拜謹表伸、  
具師職

E-1)10 頁

刀山表

上言奏、拋  
娑婆世界、南膳部州、今拋、奏為  
中華人民共和国某省某県某郷某村、立壇伝度、奉真小師某、習成巫教、  
久奉聖真、未蒙伝度、取向今庚某月某日吉良、於壇修建太上[正]一伝度  
保安清醮一供、某昼某夜、是日早赴、將小師某、引上刀山一座、恐有邪師、  
念吹本法、外(逃、迹)限(恨、請)刀山一座、難以便行、理合行奏、為此、虔備黄表  
一函、財馬六十分、法師具纂天庭吉方、上奏昊天金闕玉皇大帝陛下  
呈進、伏願 帝真、本無言詞上達、重念小師、行過刀山一座、望五(玉)帝  
之洪恩、若有邪師擾害、撩乱旗鼓、仰着時辰速[報]監察、此等  
邪師、收滅本身魂命、驅除民害、祈保法事興隆、広開赦宥之門、  
醮主某、下情無任仰天望聖激切屏營之至、謹表以聞上奏、  
公元某年某月某日、奉真伝度醮主某、妻某氏、新度小師等、百拜上奏

E-2)69 頁 卅九

上刀梯黄表

是(具)、今月某日、奉真設壇伝度、引度師臣某、  
叩成(誠)秘典、護佩靈文、醮主某人、同妻某氏某良(娘)等、稽首頓首、  
百拜奏言、  
今拋、  
大清国某府某州某県某郷地名、某廟王、祠下、

## 2. 刀山表・迎兵表・迎真表・補充加職迎兵表の2008年儀礼文書と校訂用資料

奉真醮主、引度新戒弟子小師某人、習学巫教、九(久)奉聖真、  
未蒙伝度、涓向今月某日、入家修設  
太上正一三戒教主清醮一供、一昼二宵、到 日夜早晨、  
係(将)[新]承小師某人、引上刀梯一座、恐有邪師、次(吹)念本法、迺(邀)請刀山、  
難便行、理奏合明、虔備黄表一函、財馬三十六分、具纂  
上達昊天金闕玉皇上帝陛下投進、伏願 帝在高真、本言詞上達、  
重[念]小師某人、行過刀山、望玉帝之洪恩、若有邪師害撩、争旗  
奪[鼓]、仰差時辰速報監察、此等邪師、反天(滅)本身魂命、  
去除民害、祈保法事興隆、広開赦佑之門、但醮主某人、下情  
無任瞻天望聖激切屏營之至、謹表、  
大清国皇号某年某月某日、奉真醮主某人、同妻某氏等、謹表、  
太上奉行某人、職位、花押

◎迎兵表 底本

森フォト 文書 3251

筒 昊天金闕玉皇上帝御前 投進 迎兵表一封

表文本文

北極驅邪院醮壇内給出迎兵黄表一道

中華人民共和国湖南省藍山県滙源郷湘藍村小地名冲口、立壇伝度、祭拜  
仁恩福主盤王、龍仙、紫雲、烏鴉二社、六郎廟王、神祇、土地、祠下、奉  
真、右伏以、叩誠巫教、護佩靈文、醮主馮法友(有)、同妻趙氏四娘、  
合衆姓小師人等、涓向十一月 日、命師入家、安壇修設  
太上鳴揚伝度円灯三戒補職奏名清醮一供、一昼二夜道場、中分法事  
当行、日午欲求伸、迎接部籙衆兵、承(誠)恐天門遙遠、凡信難  
通、謹具表文、迎請東方九夷兵、南方八蛮兵、西方六戎兵、  
北方五狄兵、中央三煞兵、伏願、各領官軍諸兵將吏、[彰]明  
有顯、不至停留、早赴道場、听師撥行、佑行法事、但醮  
主、下情無任瞻天望聖、夜影已瑤(遙、搖)楊神(柳)月、晚香灯[照]  
滿堂煙(紅)、祖本伝度新承弟子、聖筆能還[日上東]、  
中華人民共和国公元二〇〇八年戊子歲十一月 日、奉真鳴楊伝  
度行香弟子馮法友(有)、趙法佑、李法財、趙法維(惟)、趙法余、趙法官、  
盤法壇、馮法青、馮法維、盤法祿、[趙法宝]、[趙法旗]、合衆、謹表上伸、  
太上奉行北極驅邪院川通閭梅二教三戒弟子主醮師趙法明、  
職位陞在四川省成都府花職為号

◎迎真表 底本

森フォト 文書 3192

筒 天府群仙聖衆御前 呈進 迎真表一函 百拜上奏

表文本文

北極驅邪院醮壇 給出 迎真表一通 今拋

右、伏以、叩誠巫教、佩奉靈文、向取今庚十一月 日吉良、  
於壇啓建

大(太)上鳴揚伝度三戒奏名保安清醮一供、三昼三宵道場、  
中分法事当行、日午申奏、迎接召請衆兵、恐慮天門遙

遠、凡信難通、具表迎請東方九夷兵、南方八蠻(蛮)

兵、西方六戎(戎)兵、北方五狄兵、中央三旬兵、伏願、各  
管兵將吏、彰明有顯、不至停留、早赴道場、

听師撥兵撥將、護右(佑)行兵、法事興隆、但願醮主、

馮法有、趙法右(佑)、李法財、趙法維(惟)、趙法余、趙法官、盤法壇、馮法青、

馮法維、盤法祿、趙法保(宝)、趙法旗等、下情無任瞻天望聖激

切屏營之至、謹表以聞上奏、

即曰、夜影已揺楊柳月、晚香灯照[滿]堂紅、

祖師伝度新弟子、聖筆能還月(日)上東、

大中華公元二零零八年戊子歲十一月 日、奉真伝度主醮師

趙法明、同充新度弟子馮法友(有)、趙法佑、李法財、趙法維(惟)、

趙法余、趙法官、盤法壇、馮法青、馮法維、盤法祿、趙法宝、趙法旗、百拜謹表、

校訂用資料

A-2)55 頁 a 以下

末夜日里午迎兵黃表

又具迎兵黃表意 自通郷管(貫)、

右、伏以、叩成(誠)巫教、護佩靈文、醮主某、同妻某氏、合衆  
姓小師人等、涓向某月某日、命師入家、安壇修設

太上鳴揚伝度完灯三戒補職奏名清醮一供、一昼

二夜道場、中分法事当行、日午欲求伸、迎接部籙衆

兵、承(誠)恐天門遙遠、凡信難通、謹表文、迎請

東方九夷兵、南方八蛮兵、西方大(六)戎兵、北方

五狄兵、中央三黎兵、伏願、各領官軍諸兵[將

吏]、[彰]明有顯、不至行(停)留、早赴道場、聽師撥入、佐(佑)行[法事]、

但醮主、下情無任瞻天望聖、夜影已[瑤](遙、揺)傷(楊)神(柳)目(月)、脫(晚)

2. 刀山表・迎兵表・迎真表・補充加職迎兵表の2008年儀礼文書と校訂用資料

香灯〔照〕満堂煙（紅）、祖本伝度新承弟子、聖筆能還〔日上東〕、  
皇上某年某月某日、奉真鳴楊伝度行香弟子某某、合  
家衆等、謹表上伸、太上奉行主醮師某、職位花号

A-10) 上本、7頁b以下

新度迎兵表

右、以、叩誠巫教、佩奉靈文、  
取向今月某日吉良、命師于家修建  
太上正一鳴揚完灯伝度三戒奏名保安  
清醮一供、三昼三夜道場、分中（中分）法事  
当行、即日午申奏、迎接召礼請部籙衆兵、  
恐慮天庭遙遠、凡信難通、具表接請  
東方九夷兵、南方八蛮兵、西方六戎兵、  
北方五狄兵、中央三秦兵、伏願、各管（官）  
〔軍諸〕兵将吏、彰明有顯応、不至留停、早赴壇場、  
听師撥将、護祐法事興隆、  
但醮主某、下情無任瞻天望  
聖激切屏営以聞之至、謹表上奏、  
詩曰、夜影  
已遙傷楊柳月、脱（晚）灯焼点満堂紅、祖本  
伝度新徒弟、聖筆能還日上東、  
皇上某年某月某日表、奉真伝度醮主某、小師  
某、姓（信）女某、合家、百拜謹表上伸

E-1) 10頁

迎真表（是聖名惧要提稿）

右、伏以、叩誠巫教、佩奉靈文、〔取〕向今庚某月某日吉良、於壇啓建太上正一鳴揚伝度完灯三戒某  
保奏名保安清醮一供、凡某昼某夜宵道場、中分法事当行、日午申奏、迎接召  
請衆兵、恐慮天門遙遠、凡信難通、具表迎請東方九夷兵、南方八蛮兵、西方六  
戎兵、北方五狄兵、中央三甸（甸）兵、伏願、各管（官）兵将吏、彰明有顯、不至留停、早赴道場、  
听師撥兵撥将、護佑行兵、法事興隆、但願醮主某、下情無任瞻天望聖激切  
屏営之已（至）、謹表以聞上奏、  
偈曰、夜影已搖傷楊柳月、晚香灯照満堂紅、祖師伝度新弟子、聖筆能還月（日）  
上東、  
公元某年某月某日、奉真伝度主醮師某、同充新度弟子某某、下情謹奏

E-2) 71 頁 四十

日里午迎兵黄表意

右、以、叩陳(誠)巫教、護佩靈文、醮主某人、涓向今

月今日、入家啓建修設

太上鳴揚完灯三戒補職奏名清醮一供、一昼二

夜道場、分中法事当行、日午欲求伸、迎接

部籙衆兵、承(誠)恐天門遙遠、凡信難通、謹表迎請

東方九夷兵、

南方八蛮兵、

西方六戎兵、

北方五狄兵、

中央三煞兵、

伏願、各領官軍諸兵將吏、[彰]明有顯、不至停留、

早赴壇場、听師撥付、佐行法事、但主醮

某人、下情無[任]瞻天、夜形(影)已瑤(搖)楊神(柳)月、脱(晚)

香灯照滿散(堂)煙、祖本伝度新承弟子某人、

聖筆能還日月上、請

東方九夷兵、

南方八蛮兵、

西方六戎兵、

北方五狄兵、

中央三煞兵、

須至表者、右表給付

乾隆某年某月某日、奉真醮主某人、同妻某氏等、百拜謹表、

太上奉行某人、職位花号

◎加職補充迎兵表 底本

森フォト 文書 2788

北極驅邪院醮壇内 給出加職補充迎賓(兵)表一道 今拋

右、臣叩承(誠、成)巫教、(護)佩靈義(文)、教(醮)主取向今年 月 日、于家修設啓建

太上鳴陽(楊)補充加職奏名清醮一供、一昼二宵、一日三時朝度道場、

至夜敷舒黄道、歉(欲)伸迎請、尤恐天門遙遠、凡信難通、謹具

補充加職迎兵表一函、迎請

玉清聖境之(元)始天尊、

上清真境靈宝天尊、

太清仙境道德天尊、

昊天金闕玉皇大帝、

2. 刀山表・迎兵表・迎真表・補充加職迎兵表の2008年儀礼文書と校訂用資料

南極天皇大帝、  
北極紫微大帝、  
後(后)土皇帝地只(祇)、  
勿(勾)陳星宮前(長)生大帝、  
東極青玄上帝、  
張天大法師君  
李天静玄真君  
伏願、  
九御高真、暫就(離)各案、来赴分花之会、受師歌舞、薄施凡供之情、証果師童、  
撥法退壇、但醮主、下情無任瞻天望聖恩、百拝謹表、  
天運皇曆 年 月 日、奉真補充加職弟子 郎、百拝上申  
北極驅邪院川通閭梅二教三戒心(新)補充詩(師)、職位升在 府

校訂用資料

E-2)52頁 廿九

加職補充迎兵表

右、臣叩承(誠、成)巫教、(護)佩靈文、醮主某、涓向今年某月某某某、于家修設  
太上鳴陽(楊)補充加職奏名清醮一供、一昼二宵、一日三時  
朝度道場、至夜敷舒黃道、歉(欲)伸迎請、尤恐  
天門遙遠、凡信難通、謹具補充加職迎兵表一函、迎請  
玉清聖境元始天尊、  
上清真境靈寶天尊、  
太清仙境道德天尊、  
昊天金闕玉皇大帝、  
南極天皇大帝、  
北極紫微大帝、  
后土皇帝地祇、  
勾陳星宮長生大帝、  
東極青玄上帝、  
張天大法師君  
李天静応真君  
伏願、  
九御高真、暫離各案、来赴分表(花)之宮、受師歌舞、薄施凡供之情、証果師童、  
撥法退壇、但醮主、下情無任瞻天望聖恩、百拝謹表、  
天運皇上某年某月某日、奉真補充加職弟子某郎、百拝  
補充加職二師、職位花号

以上



### 3. 還家願儀礼調査日程



## 還家願儀礼調査日程

参加メンバー

参加資格	職 位	氏 名
所 長	神奈川大学 教授	廣田 律子
客員教授	東京学芸大学 教授	吉野 晃
客員教授	筑波大学 教授	丸山 宏
客員教授	國學院大學 教授	浅野 春二
客員教授	早稲田大学 教授	森 由利亚
研究協力者	神奈川大学 院生	三村 宜敬
研究協力者	神奈川大学 院生	譚 静
研究協力者	神奈川大学 院生	財津 直美
研究協力者	神奈川大学 院生	岡田 浩司

11/14 (月)

12:30 (日本時間) 羽田空港集合。復旦大学に留学中の三村宜敬を除く8名が定刻通りに集まる。

14:30 (中国時間) FM816 便、定刻通り羽田空港を発つ。

16:35 上海虹橋国際空港到着。三村と合流後、出迎えてくれていた元留学生の張氏に見送られ上海浦東国際空港に日中平和観光株式会社の手配した車で移動。上海浦東国際空港において中国における初の食事をする。

22:10 MU5341 便、40分遅れで上海浦東国際空港を発つ。

24:10 40分遅れで長沙に到着。張勁松先生と同夫人の出迎えを受ける。車でホテル、「湖南同天大酒店」に移動。

25時過ぎ 「湖南同天大酒店」に到着、宿泊。残念ながら遅い時間であったため買い出しや夜の散策は断念。

11/15 (火)

09:00 趙金付氏の娘で湖南師範大学院生の趙付佑氏が道案内役として合流。近くの店にて水やトイレトペーパーなどを購入後、同天大酒店を出発。車で藍山県に向かう。

道中 途中の店にて昼食をとる。道が日本の道路のようには整えられておらず、積んでいた荷物が人の上に崩れかかってくるほどであった。途中交通事故で道が渋滞していたが、特に大きな問題のない道中であった。

10:30～10:45 朱亭服務区で休憩。

13:02～13:12 永興服務区で休憩。

13:42 郴州收費站で高速道路をおりる。

13:50～14:40 「鳴九山庄」で昼食。

17時頃 藍山県に入り、「藍山公安局城南派出所」にて調査の為に必要な登録を行う。その後、趙金付氏の自宅に移動し夕飯をいただく。犬が多いという情報の通り、食事をしている足元を数頭の犬が徘徊していた。鶏の骨などの、人間が食べられないものを投げて与えており、半野良のような状態であった。

### 3. 還家願儀礼調査日程

- 18:30頃 趙金付氏の家に到着。
- 18:45～ 趙金付氏宅の近所で新築祝いを行う。儀礼撮影の練習も兼ね、その様子をカメラに収める。機材のトラブルなどは無い模様。
- 22:30 趙金付氏と馮榮軍氏の自宅に別れて宿泊。テレビや大型スピーカーといった家電も充実しており、裕福そうな家庭であるという印象を受けた。

11/16 (水)

- 05:00 吉野先生が趙金付氏について引越し前の家から香炉をとってくるのを撮影。
- 07:00～ 趙金付氏と馮榮軍氏の家を出発後、町において馮榮軍氏にヤオ族式朝食の油茶を御馳走になる。ヤオ族の民族衣装店に寄ったり、お祝いの品として額を買ひもとめたりと諸事を済ませたのち、還家願儀礼を行なう村、所城に移動。本格的に調査に入る。

前情報では部屋に窓はあってもガラスがなく、お湯が出ないという以前にそもそも水道がないといった村を想定していたのだが、窓にはガラスがあり、男性陣の宿泊した家はお湯でシャワーを浴びることすら可能であった。また、気候も最終日以外は温暖で過ごしやすく、想像以上に恵まれた環境で調査を行うことができた。また、所城において男性陣が宿泊した家にも、馮榮軍氏の自宅と同種の大型スピーカーがあったので、もしかしたらヤオ族の中で流行しているものなのかもしれない。

儀礼の日程は下記の通りであった。

日付			執行儀式
旧暦	新暦	時間帯	
21	16	午前	落兵落将
		午後	落兵落将、脱鞋酒、做紙馬、写愿簿、石鑿錢酒、紙馬進堂、落脚酒、掛聖、冷排盞、点香、恭賀主家
		晩	恭賀主家、昇香、請聖（三請、催春愿）、安祖先、接外祖、写家先対聯
22	17	午前	請聖（三請、大庁意者、安洞落馬など）、添香
		午後	封齋、掛家灯
		晩	開壇還愿（上光、還催春愿、還元盆愿、小運錢など）
23	18	午前	招兵愿（還催春愿、開天門、祭五谷魂、祭七星、分兵分旗など）
		午後	招兵愿（引帶）、還招兵愿
		晩	大運錢、送狐神、鑿牲、謝師、鑿香、収聖
24	19	午前	盤王愿（添香、剪花酒）
		午後	盤王愿（流楽）
		晩	盤王愿（唱盤王大歌）
25	20	午前	盤王愿（唱盤王大歌、退席、打令放船、解鍵放船）
		午後	盤王愿（送王）、拜師、散袱酒、散袱拜師、唱賀歌
		晩	
26	21		分紅、拆兵（唱拆兵歌など）、奉倉庫、上馬酒

### 3. 還家願儀礼調査日程

11/21 (月)

- 09:52 調査を終え、所城を出発。盛大な見送りをうける。
- 道中 村の方々からおみやげに貰ったみかんやバナナを食べつつ長沙に向かう。途中のサービスエリアで個々人のお土産を購入。
- 13:10～14:27 「萬福酒楼」で昼食。(郴州市)
- 14:30 郴州收費站から高速道路に入る。
- 16:05～16:23 雁城服務区で休憩。
- 18:17 長沙機場に到着。趙付佑氏と別れ搭乗手続きを行う。
- 20:40 FM9394 便、定刻どおり長沙を出発。
- 21:40 予定より40分ほど早く上海に到着。3組に別れタクシーでホテル、上海逸和龍柏酒店に向かう。
- 23時頃 上海逸和龍柏酒店に宿泊。ユニットバスではあるが、久しぶりに湯船に浸かることができた。動画データのチェックやバックアップ作成などの作業を行う。

11/22 (火)

- 07:30 朝食を済ませホテルをチェックアウト。タクシーで空港に向かう。
- 09:40 三村と別れ、定刻通り上海を発つ。
- 13:05 (日本時間) 予定よりも30分ほど早く羽田に到着。解散。

(文：岡田 浩司)



4. 還家願儀礼に関わる  
宗教職能者と受礼者の名簿  
及び主催者盤家系図

還家願儀礼を行う際、宗教職能者は還願師、招兵師・賞兵師と掛燈師の役割を分担する。今回は、それぞれ盤保古・趙金付・盤喜古が担当し、盤喜古は賞兵師と掛燈師の二職を担当した。また、三人の弟子趙子清・趙橋古・趙桂仔も一緒に儀礼を行った。供物の準備など、儀礼の進行係ともいえる主厨官を馮基華が担当し、その他楽器を演奏する人たちや歌娘、歌女と称される歌を担当する女性などもいた。

今回還家願儀礼を行った盤家は、長男の盤栄富が跡継ぎなのだが、盤栄富は既に藍山県県城に引っ越しているため、実家は妹婿の盤明古が継いでいる。盤栄富は県城の家へ実家の先祖の祭壇を移す必要があり、また、自分と妹婿が先祖の祭壇の香炉に象徴される家を継ぐ資格を得るため、法名を得たいと考え、掛灯儀礼を行う運びとなった。なお、今回一緒に掛灯儀礼に参加するのは、盤栄富の従兄弟の長男盤継生・次男盤認仔・三男盤新富である。彼らもそれぞれの祖先の香炉を分け、家を継ぐ資格を得るために、法名を得る必要があった。また兄弟三人の父親（盤林古）が生前に掛灯したことがなかったため、今回掛灯させ、法名を与えた。

ここの内容に関して以下に示す。

(文：譚 静)



## 還家願儀礼に関わる宗教職能者と 受礼者の名簿及び主催者盤家系図

作成者：譚 静

## I 宗教職能者名簿

役割（職名）	俗名	法名	生年月日	居住地
還願師	盤保古	法旗	1964	荊竹村桐古坪組
招兵師	趙金付	法明	1963	匯源鄉湘藍村黃竹埂組
賞兵師 掛燈師	盤喜古	法良	1933	所城鄉團源村
還願師 弟子	趙子清			匯源鄉荊竹村金竹坪組
招兵師 弟子	趙橋古			匯源鄉荊竹村金竹坪組
賞兵師 掛燈師 弟子	趙桂仔			所城鄉團源村
主厨官	馮基華	法青	1964	匯源鄉湘藍村大團圓組
厨官	盤雄義			紫良鄉桐村村
厨官娘	趙運香			匯源鄉湘藍村芭蕉田組
厨官女	盤永紅			匯源鄉荊竹村寒鷄沖
	盤運姣			匯源鄉荊竹村寒鷄沖
歌娘	馮友妹			匯源鄉大源村小團源
歌女	盤永紅			匯源鄉荊竹村寒鷄沖
	盤運姣			匯源鄉荊竹村寒鷄沖
	趙■華			匯源鄉荊竹村寒鷄沖
接待人員	李民古			匯源鄉大源村半嶺組
	趙秀英			匯源鄉湘藍村芭蕉田組
	盤啓福			所城鄉團源村
書表師	馮榮軍	法龍	1951	匯源鄉湘藍村鄧脚嶺
吹笛師	盤友亮		1947	所城鄉岩口村
	盤保古		1942	所城鄉高良頭村
鑼鼓師	黃昌仁		1941	匯源鄉湘藍村黃竹坪組
	盤基古		1941	所城鄉青布源村
	李庚林		1949	紫良鄉高源村

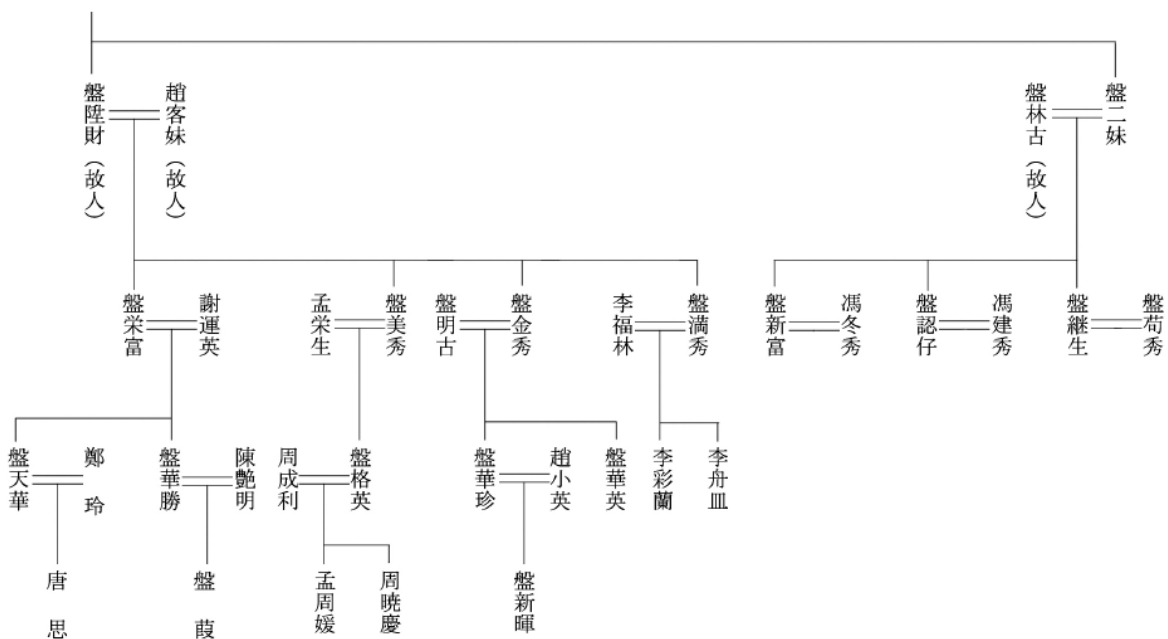
■は不明

4. 還家願儀礼に関わる宗教職能者と受礼者の名簿及び主催者盤家系図

II 受礼者の名簿

俗名	施主との関係	法名	生年月日	居住地
盤榮富	施主	法富	1951	藍山県皇城
盤明古	妹婿	法金	1968	所城郷幼江村
盤林古	姑母の夫(故人)	法靈	1936	所城郷幼江村
盤繼生	従兄弟(長男)	法龍	1957	所城郷幼江村
盤認仔	従兄弟(次男)	法任	1962	所城郷幼江村
盤新富	従兄弟(三男)	法張	1968	所城郷幼江村

III 主催者盤家系図



## 5. 祭場平面図



# 祭場平面図

作成者：譚 静

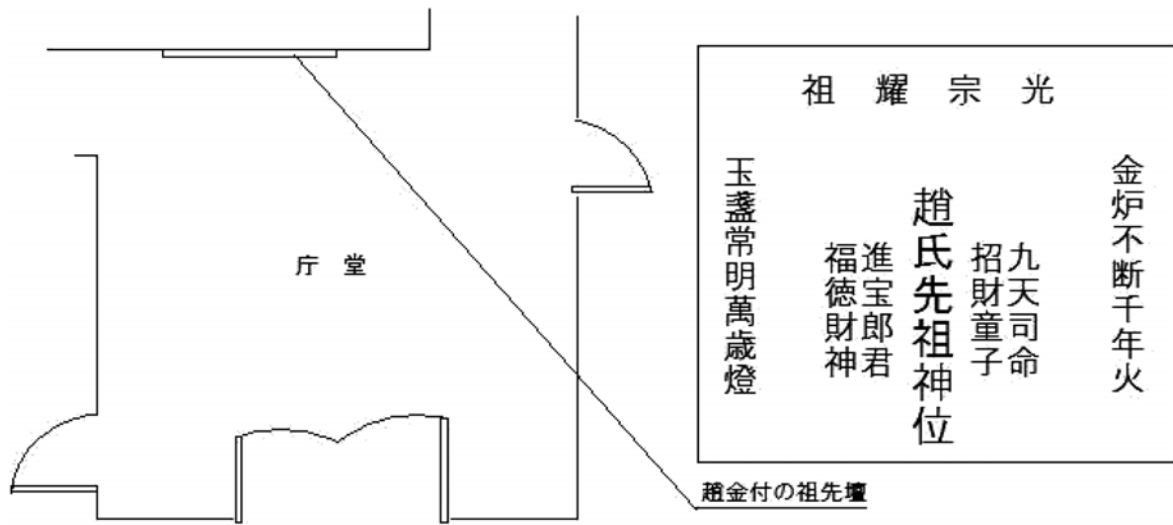


図1：趙金付の祖先壇（還家願儀礼程序 11月16日 05：39～07：16）

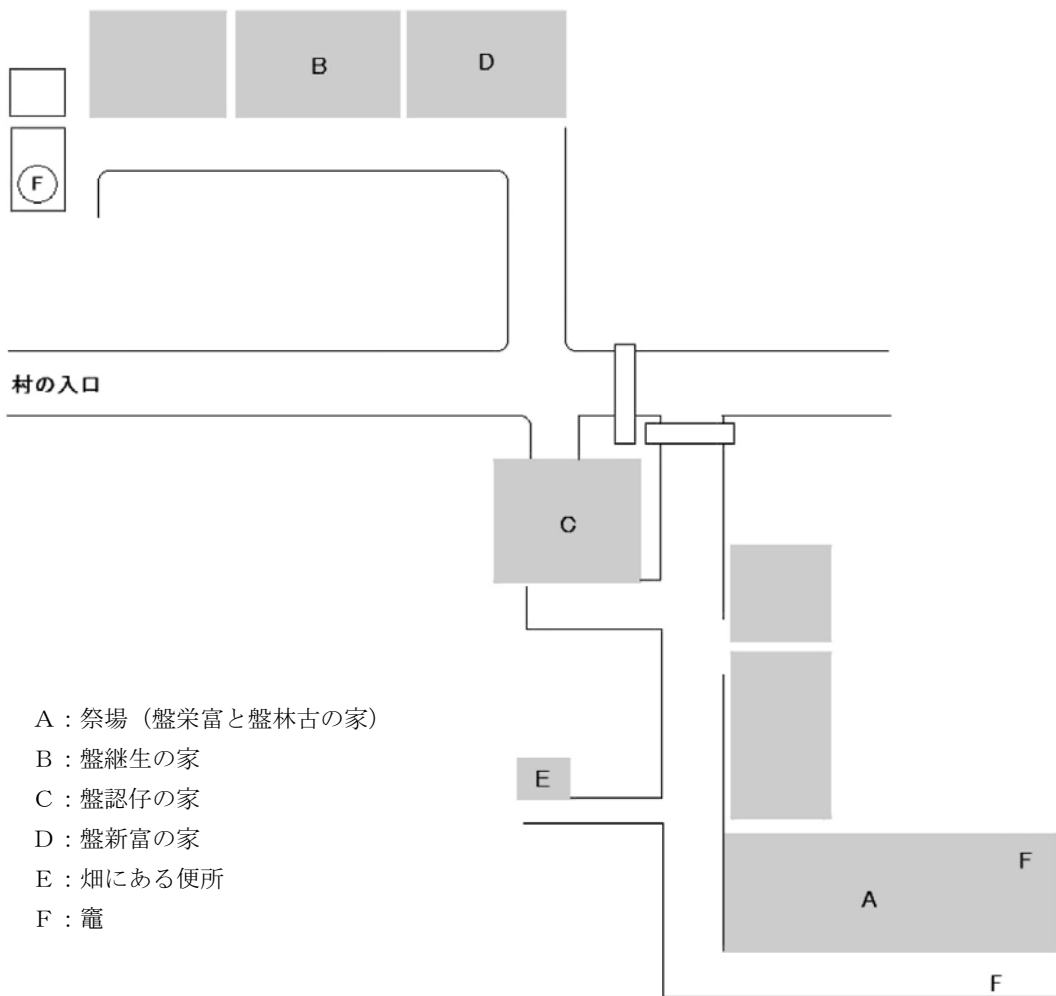


図2：還家願儀礼を行う家の配置図

5. 祭場平面図

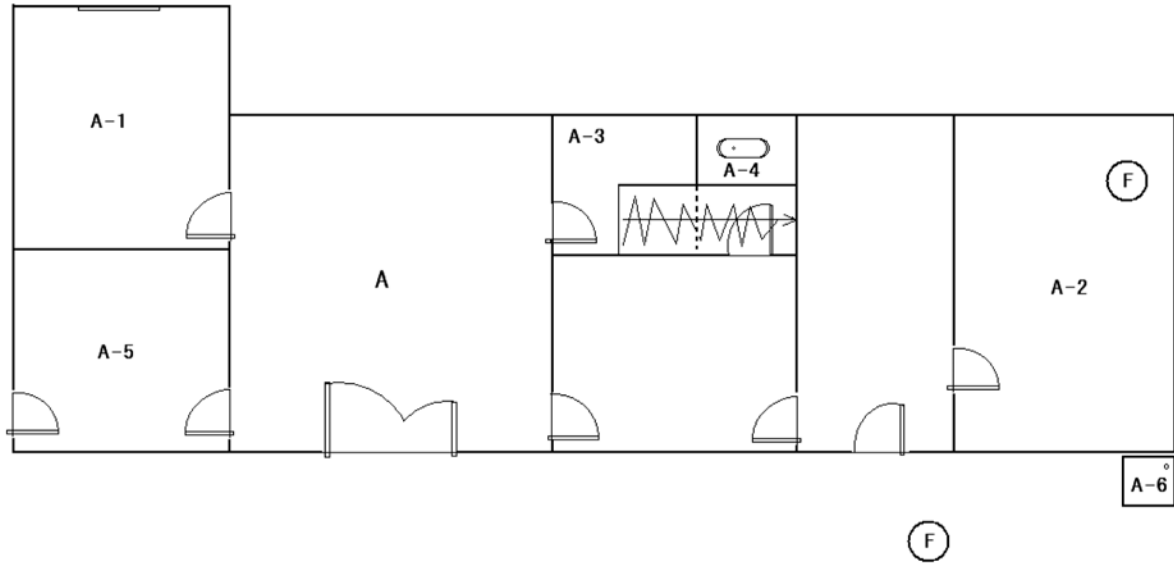


図3：祭場平面図

- |           |              |         |
|-----------|--------------|---------|
| A：儀礼を行う部屋 | A-1：宗教職能者の寝室 | A-2：厨房  |
| A-3：物置場   | A-4：トイレ      | A-5：接待室 |
| A-6：水道    | F：竈          |         |

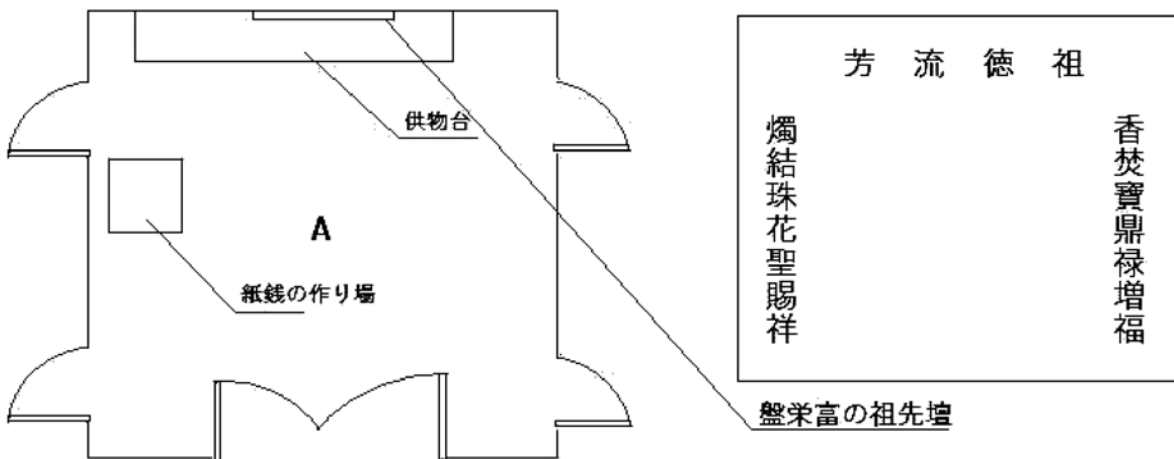


図4：施主盤栄富の祖先壇（還家願儀礼程序 11月16日 11：35～）

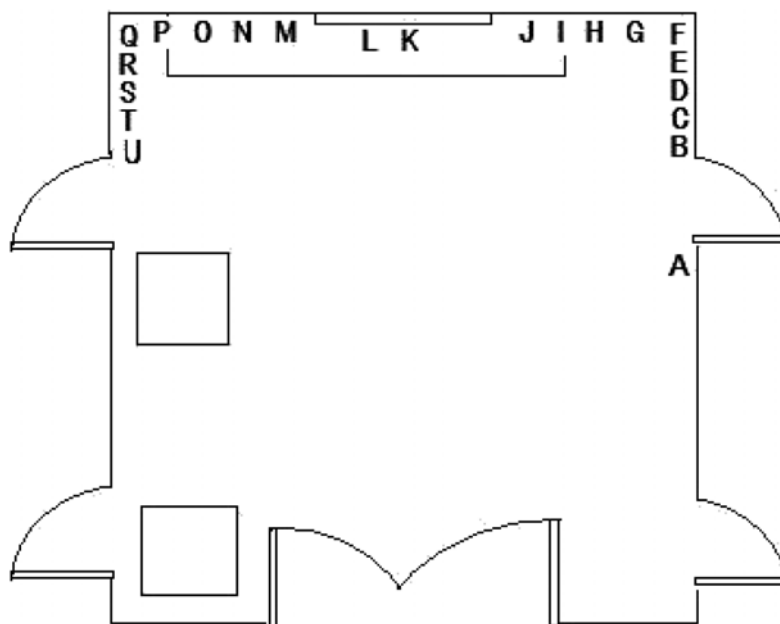


図5：神画配置図（還家願儀礼程序 11月16日17：18〈掛聖〉）

- A：鑿斎大王 B：天府 C：三將軍（盤喜古所蔵） D：三將軍（盤保古所蔵）  
 E：張天師① F：張天師② G：総壇（盤保古所蔵） H：総壇（盤喜古所蔵）  
 I：玉皇 J：靈寶天尊 K：元始天尊 L：道德天尊  
 M：聖主 N：太歳（盤保古所蔵） O：太歳（盤喜古所蔵）  
 P：十殿 Q：李天師 R：地府 S：大海番  
 T：海番張趙二郎（盤保古所蔵） U：海番張趙二郎（盤喜古所蔵）・把壇師

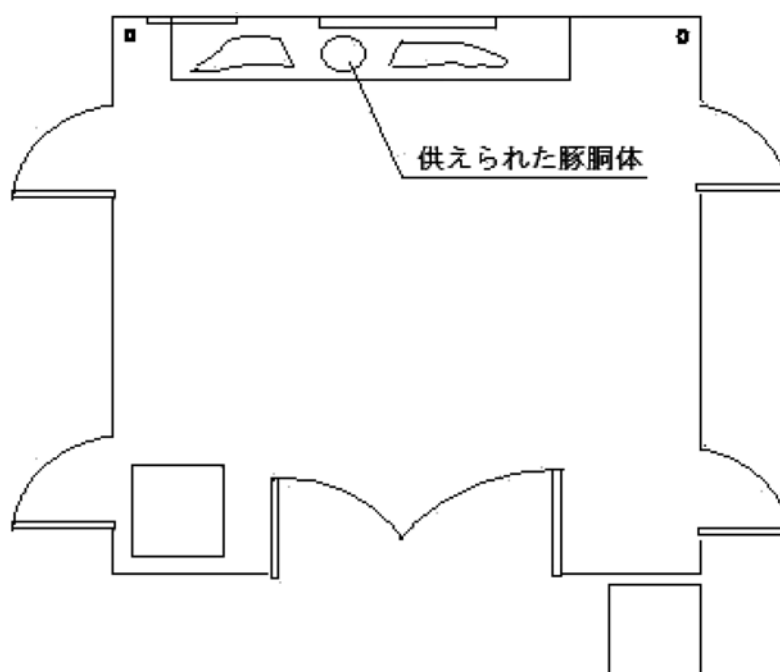


図6：還盤王願祭壇平面図（還家願儀礼程序 11月19日06：33～）





## 6. 還家願儀礼程序



## 還家願儀礼程序

還家願儀礼進行の程序を作成したが、項目は、番号・日付・時間・大儀礼名・小儀礼名・場所（大項目）・場所（小項目）・行動主・行動・読誦テキスト・記録者・備考である。

儀礼は、3人の祭司（趙金仔・盤保古・盤喜古）とそれぞれの弟子（趙橋古・趙子清・趙桂仔）によって、数カ所の祭場に分かれ同時進行で行なわれる。さらに昼夜を選ばず儀礼が続けられる。そのため複数でチームを組んで調査にあたってても全儀礼を漏らさず記録に残すことは困難である。今回の程序は廣田撮影の静止画データのみを基本にして作成しているため、いまだ完全なものとはいえないことをお断わりしておく。

還家願儀礼は、2011年11月16日～21日（旧暦10月21日～26日）に盤榮富宅において実施された。

程序は、祭司のリーダーを務める趙金仔宅で行なわれた旧宅から新宅に香炉を移す儀礼及び還家願儀礼に赴く際に行なわれる儀礼から作成した。

還家願儀礼の前半は、盤榮富を筆頭に妹婿の盤明古そして盤榮富の父の妹の夫である盤林古（故人）とその子（盤榮富にとっていとこ）の盤継生・盤認仔・盤新富の兄弟の6名の受礼者に宗教職能者となる法名を得させる掛三灯儀礼が中心となるが、儀礼の後半はヤオ族の始祖とされる盤王（ビエンフン）を祀る儀礼が中心となる。

儀礼において祭司（招兵師・還愿師・程行師・賞兵師・掛燈師）の他、供物を準備し、儀礼の段取りをとりしきる主厨官の馮基華、文書作成を担当する書表師の馮榮軍、歌を担当する歌娘の馮友妹、囃子方の吹笛師及鑼鼓師数名等、それぞれ役割を分担している。

儀礼では一族の行ってきた願掛けや先祖の法名が記され綴じられた家先単、そして祭司によって伝承されるテキスト等の文献が読誦され儀礼が進行される。テキストは内容によって賞光書・伝度書・請聖書・意者書・歌堂書・超度書・曆書に分けられるが、今回25点を確認し静止画に記録し、ヤオ族文化研究所の分類番号をほどこした。程序には儀礼を進行する祭司の所作と儀礼中に使用されるテキストの頁を示すことで、ヤオ族の儀礼を立体的に記録に残す試みを行なった。

（文：廣田 律子）

9. 種別祭禮札付

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1	11/16	05:39	不明		趙金付宅	祖先壇前	趙金付	祖先壇上の灯明に火を点け、盃5を置く。		廣田	
2	11/16	05:45	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	趙金付旧宅に向け出発。 祖先壇に向かい唱えごとを開始。		廣田	Z-1b Z-2b 金付家先単
3	11/16	06:04	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	腰を掛けて唱えごとを続ける。		廣田	
4	11/16	06:10	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	家先単をもち、読む。		廣田	
5	11/16	06:11	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	
6	11/16	06:13	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	祖先壇上の盃5に献酒。唱えごとを続ける。		廣田	
7	11/16	06:26	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	
8	11/16	06:27	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	献酒。唱えごとを続ける。		廣田	
9	11/16	06:29	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	紙銭を積む。唱えごとを続ける。		廣田	
15	11/16	06:30	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	紙銭を積む。家先単を読む。		廣田	
12	11/16	06:35	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	紙銭を積む。唱えごとを続ける。		廣田	
11	11/16	06:36	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	
13	11/16	06:37	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	剣を祖先壇から下ろしてもつ。唱えごとを続ける。		廣田	
14	11/16	06:38	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	
10	11/16	06:39	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	唱えごとを続ける。		廣田	
16	11/16	06:40	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	
17	11/16	06:45	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	剣と水碗をもち、罡歩。唱えごとを続ける。		廣田	
19	11/16	06:46	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	
18	11/16	06:47	安家先		趙金付宅	祖先壇前	趙金付	旧宅から香炉をもつて来る。 香炉には線香3。		廣田	
20	11/16	06:47	安家先		趙金付宅	祖先壇前	趙金付	香炉を祖先壇に置く。		廣田	
21	11/16	06:49	安家先		趙金付宅	祖先壇前	馮栄軍	鶏の首を切り、積んであった紙銭の上に垂らす。		廣田	
22	11/16	06:50	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	血の付いた紙銭3を祖先壇の表面に貼り付ける。		廣田	
23	11/16	06:52	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	祖先壇に向かって唱えごとをする。		廣田	
24	11/16	06:52	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	献酒。唱えごとを続ける。		廣田	
25	11/16	06:54	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごとを続ける。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
26	11/16	06:55	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	剣と水碗をもち、罡歩。剣で水をはじく所作。卦。唱えごとをする。これを3回繰り返す。		廣田	
27	11/16	06:59	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	紙銭を取り、卦。		廣田	
28	11/16	06:59	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	保古意者書を読誦。紙銭と剣をもつ。卦。東南西北の兵を集める。	Z-1b 保古意者書	廣田	1 頁目。
29	11/16	07:01	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	紙銭を丸める。卦。Z-1 を読誦。	Z-1b 保古意者書	廣田	
30	11/16	07:03	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	丸めた紙銭を香炉に挿す。唱えごと。		廣田	
31	11/16	07:03	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごと。		廣田	
32	11/16	07:04	安家先		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	献酒。唱えごと。		廣田	
33	11/16	07:05	安家先		趙金付宅	家の前	盤保古	祖先壇の灯明から紙銭に火を点け、戸外に出て、家の前で燃やす。紙銭を加える。唱えごと。		廣田	野鬼を送去。
34	11/16	07:07	点兵		趙金付宅	家の前	盤保古	卦。唱えごと。		廣田	
35	11/16	07:07	点兵		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	祖先壇前に積んであった紙銭を燃やす。唱えごと。		廣田	
36	11/16	07:12	点兵		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	卦。唱えごと。		廣田	
37	11/16	07:13	点兵		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	献酒。唱えごと。卦。		廣田	
38	11/16	07:16	点兵		趙金付宅	祖先壇前	盤保古	唱えごとが終了。		廣田	
39	11/16	07:16	送書		趙金付宅	庁堂	盤保古 馮采車	馮から盤に還良愿への招待状と紅包が渡される。		廣田	
40	11/16	11:24	落兵落俘		盤采富宅	祖先壇前	趙金付	祖先壇に線香3・灯明・酒盃5が供えられる。唱えごとをする。		廣田	
41	11/16	11:35	落兵落俘		盤采富宅	祖先壇前	趙金付	唱えごとが終了。		廣田	
42	11/16	13:14	落兵落俘		盤采富宅	祖先壇前	盤保古	師棍と神面をもちつつ唱えごと。		廣田	
43	11/16	13:22	落兵落俘		盤采富宅	祖先壇前	盤保古	唱えごとが終了。		廣田	
44	11/16	13:35	脱鞋酒		盤采富宅	祖先壇前	盤采富 盤明古 趙金付 盤保古 盤喜古 趙子清 趙桂子 馮基華	屋敷。		廣田	陰師も脱鞋。
45	11/16	14:19	做紙馬		盤采富宅	祖先壇前	趙桂子 趙子清 趙橋古	紙銭を作る。		廣田	

6. 種別願儀礼程序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
46	11/16	15:20	石鑿錢酒(做〔糸 +帟〕酒)		盤栄富宅	祖先壇前	趙金付 盤保古 盤喜古 趙子清 趙柱仔 趙橋古 馮基華 もう1人の厨官 盤栄富	酒を飲む。		廣田	
50	11/16	15:29	写愿簿		盤栄富宅	祖先壇前	盤保古	家先名単作り。 受礼者5軒分。		廣田	
49	11/16	15:30	做紙馬酒/ 石鑿錢酒(做〔糸 +帟〕酒)		盤栄富宅	祖先壇前	趙金付 盤保古 盤喜古 趙子清 趙柱仔 趙橋古 馮基華 もう1人の厨官 盤栄富	酒を飲み終わる。		廣田	
48	11/16	15:30	做紙馬		盤栄富宅	祖先壇前	趙柱仔 趙橋古 趙子清	紙錢を作る。(六十念、百二十念)		廣田	
52	11/16	15:35	紙馬進堂		盤栄富宅	祖先壇前	趙金付	紙錢の束を祖先壇に置く。唱えごと。家 先単を見る。		廣田	
53	11/16	16:00	紙馬進堂		盤栄富宅	祖先壇前	趙金付	唱えごとが終了。		廣田	
54	11/16	16:28	落脚酒		盤栄富宅	祖先壇前	盤栄富付 趙金付 馮基華生 盤継生古 盤喜古 馮友妹 盤認仔 趙橋古 趙明古 趙子清 盤運效 盤新富 趙柱仔 盤永紅	酒を飲む。家先単1頁を見つつ趙金付が 唱えごとをする。 還良愿の趣旨説明。意者書。		廣田	
51	11/16	17:10			盤栄富宅	祖先壇前	盤保古	家先単作り終了。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
55	11/16	17:18	掛聖		盤栄富宅	祖先壇前	盤喜古 趙柱仔 趙橋古	神像を掛ける。		廣田	
56	11/16	17:52	冷排盞		盤栄富宅	祖先壇前	馮基華 盤保古 趙金付 盤喜古	厨官は盆をもって祖先壇に向かって礼。		廣田	厨官(馮基華) 盆(盃5・あげ・紅包)
57	11/16	17:59	冷排盞		盤栄富宅	祖先壇前	馮基華 趙柱仔 趙子清 趙橋古	厨官は盆をもって祖先壇に向かって礼。 紅包を弟子に渡す。		廣田	厨官(馮基華) 盆(盃5・あげ・紅包)
58	11/16	18:05	冷排盞		盤栄富宅	祖先壇前	盤保古 受礼者1人	盤保古は家先単をもつて唱える。受礼者 1人が盆をもって隣に座る。		廣田	盆(盃5・あげ)
59	11/16	18:06	点香		盤栄富宅	かまど 祖先壇前	馮基華	かまどの火で線香3に火を点け、祭壇に 挿す。灯明に火を点す。		廣田	
60	11/16	18:12	鑼鼓開始		盤栄富宅	庁堂入口脇	囃子方	ソナー2・小ドラ・大鼓が鳴らされる。 食事を報せる。		廣田	ソナーは昔は使わなかつ た。
61	11/16	18:13	恭賀主家		盤栄富宅	庁堂左奥の 部屋	趙金付 馮栄軍	紅包を用意する。		廣田	紅包は表に招兵師・呈行師・ 賞兵師・厨官師・厨官娘・ 厨官女と書かれている。
62	11/16	18:26	恭賀主家		盤栄富宅	庁堂左奥の 部屋	趙金付 馮栄軍	紅包の用意終了。		廣田	
63	11/16	19:41	恭賀主家		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	盆に紅包と塩信を載せる。		廣田	
64	11/16	19:52	恭賀主家		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	あぶらあげを祖先壇に置く。酒・線香の 準備をする。		廣田	
65	11/16	19:53	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	弟子2人	ターバンを巻き、その上に神像をつける。 紅衣を着る。		廣田	
66	11/16	19:54	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	紅衣を着、帽子をかぶり、唱える。		廣田	
67	11/16	19:57	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	正面祭壇に線香を立てるための碗を置 く。4カ所に酒5・水1・灯明・あぶら あげの入った碗・線香を立てるための碗 を置く。		廣田	
68	11/16	20:02	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	祖先壇に線香を挿す。		廣田	
69	11/16	20:03	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 受礼者5人	喜古が対面する弟子と受礼者の間に立 ち、何かを話す。		廣田	
70	11/16	20:04	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	盤栄雷	先ほどの紅包と塩信の載せられた盆を もつて礼。		廣田	先ほど(11/16 19:41 参 照)

9. 焼酎祭儀礼順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
71	11/16	20:14	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華 囃子方1人	馮基華が盆を運んで礼。囃子方の1人が盆をもって礼。盆に載せられた物を囃子方のテーブルに置く。		廣田	盆 (酒5・料理・紅包)
72	11/16	20:14	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	囃子方	ドラ・シンバル・太鼓を鳴らす。 線香の車をもって来て弟子・盤保古に渡す。弟子は笏・線香をもち、鈴を振って舞う。ひざまずいて礼拝。 保古は祭壇上に供える。 繰り返す。		廣田	
73	11/16	20:19	昇香		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華 弟子3人 盤保古	馮基華は笏・線香をもち、鈴を振って舞う。ひざまずいて礼拝。 保古は祭壇上に供える。 繰り返す。		廣田	
74	11/16	20:23	昇香		盤栄富宅	戸口	弟子3人 馮基華 盤保古	弟子は戸口のところで外に向かい、馮基華から線香を受け取って舞う。ひざまずいて礼拝。 盤保古は線香を集め、戸口等に挿す。 繰り返す。		廣田	
75	11/16	20:25	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 受礼者5人	鈴を振る。立つ、ひざまずいて礼拝するを繰り返す。 受礼者は後ろに控える。 爆竹が鳴らされる。		廣田	第1回三請(一請・二請・三請)、引聖のため。 儀礼の経過・日程を報告。
76	11/16	20:32	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇左側壁	盤栄富 盤明古	盤明古家用の祭壇を作る。		廣田	
77	11/16	20:33	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 盤保古	弟子は鈴を振る。 保古は唱えごと。家先単使用。		廣田	
78	11/16	20:40	安祖先(安家先)		盤栄富宅	祭壇正面	盤継生 盤認仔 盤新富	家先単をもち、家に戻るために盤家を出る。		廣田	盤家が行なってこなかった 分家を実施。
79	11/16	20:43	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	盤新富 趙金付	家の前で趙金付が待っている。 盤新富が家に入り、家先単を祖先壇に置く。 香炉に灰がなかったので準備する。		廣田	安家先と安祖先は違ふ。 老大と老二…違ふ。 老大は全ての祖先を祀る。 家先単が異なる。
80	11/16	20:46	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	趙金付は唱えごとを始める。家先単を使用。		廣田	
81	11/16	20:47	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	盤新富	盤新富が紙銭を積み、線香に火を点ける。 祖先壇の香炉に挿す。		廣田	
82	11/16	20:51	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	座って唱えごと。家先単を使用。卦。		廣田	
83	11/16	21:10	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	献酒。卦。唱えごと。		廣田	祖先壇上には、盃5・あぶ らあげの入った碗1・灯明 1・水碗1。
84	11/16	21:16	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	紙銭を積む。家先単を使用。卦。唱えごと。		廣田	
85	11/16	21:23	安祖先(安家先)		盤新富宅	祖先壇前	盤新富	鶏の首を切り、紙銭の上に血を垂らす。		廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
86	11/16	21:24	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	血の付いた紙銭3を祖先壇に貼る。唱えごと。		廣田	
87	11/16	21:25	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	水碗と剣をもつて罡歩。剣で水碗の上に符を描く。祖先壇の方向にも符を描く。水を口に含み、吹く。卦。唱えごと。		廣田	
88	11/16	21:28	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	座って紙銭をもち、唱えごと。卦。		廣田	
89	11/16	21:29	安祖先 (安家先)		盤新富宅	戸口	趙金付	紙銭に火を点け、戸口外に行き燃やす。唱えごと。		廣田	戸口には祭壇があり、酒盃5・水碗1・線香3×3・あげの入った碗1が供えられている。
90	11/16	21:31	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	祖先壇前に紙銭7を敷く。剣をもつて罡歩。唱えごと。手訣。卦。		廣田	
91	11/16	21:33	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	紙銭を丸める。家先単を使用。卦。		廣田	
92	11/16	21:37	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	紙銭重ねてを丸める。それを回す。卦。		廣田	
93	11/16	21:38	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	丸めた紙銭を香炉に挿す。		廣田	
94	11/16	21:38	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	紙銭を積む。家先単を使用。卦。唱えごと。		廣田	
95	11/16	21:40	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	紙銭の山に向かい、ト具を使って紙銭7を集める。卦。		廣田	
96	11/16	21:41	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	罡歩。剣で水碗の上に符を描く。水を口に含み、吹く。剣で祖先壇の方向に符を描く。剣で水をはじく。卦。唱えごと。		廣田	
98	11/16	21:43	接外祖		盤新富宅	戸口祭壇	趙金付	戸口で唱えごと。卦。献酒。		廣田	
97	11/16	21:45	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	碗を祭壇に戻す。		廣田	
99	11/16	21:50	接外祖		盤新富宅	戸口祭壇	趙金付	紙銭を立てるように積む。唱えごと。		廣田	
100	11/16	21:53	接外祖		盤新富宅	戸口祭壇	趙金付	紙銭を燃やす。唱えごと。卦。紙銭を丸め、卓上に置く。		廣田	
101	11/16	21:57	接外祖		盤新富宅	戸口祭壇	趙金付	剣で碗の水をはじく。罡歩。卦。		廣田	
102	11/16	21:58	接外祖		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	丸めた紙銭を香炉に入れる。卦。		廣田	
103	11/16	21:59	接外祖		盤新富宅	戸口祭壇	趙金付	唱えごと。卦。		廣田	
104	11/16	22:00	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	紙銭を積む。唱えごと。家先単使用。卦。		廣田	
105	11/16	22:04	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	献酒。		廣田	
106	11/16	22:05	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	盤新富	紙銭が不足し、紙銭を作る。		廣田	
107	11/16	22:05	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付 盤新富	盤新富は紙銭に火を点ける。 趙金付は紙銭を足す。卦。唱えごと。		廣田	
108	11/16	22:06	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付	剣で紙銭を集め燃やす。唱えごと。卦。		廣田	

9. 燭列願儀札順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
109	11/16	22:13	安祖先 (安家先)		盤新富宅	祖先壇前	趙金付 盤新富	唱えごとが終わる。盤新富から趙金付へ紅包が渡される。		廣田	
110	11/16	22:15	安祖先 (安家先)		盤認仔宅	祖先壇前	趙金付 盤認仔	盤認仔は燭燭2・線香3を祖先壇に供える。 趙金付は卦をうち、唱え始める。 以降、離れる。		廣田	
111	11/16	22:20	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 弟子3人	盤保古は『三宝書』を読誦し続ける。 弟子は鈴を鳴らす。	B-8 三宝書	廣田	第2回三請、請聖のため。 「命灶君六十忿宅堂土地…」の頁。
112	11/16	22:22	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 弟子3人	盤保古は『三宝書』を読誦し続ける。	B-8 三宝書	廣田	「傑出大廳意者記落分明…」の頁。
113	11/16	22:24	安祖先 (安家先)		盤栄富宅	盤明古祖先壇	馮基華	新築した盤明古の祖先壇の上に厨音が神位の紅紙を貼る。		廣田	
114	11/16	22:27	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	読誦。	B-8 三宝書	廣田	「許上寶書請許上大廳」の頁。
115	11/16	22:29	写家先対聯		盤栄富宅	戸口脇	馮栄軍	盤明古祖先壇用の聯を書く。		廣田	祖先壇の完成写真
116	11/16	22:33	請聖		盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	読誦。	B-8 三宝書	廣田	「陽人無處〔イ+又〕臍扎在竹筒…」の頁。
117	11/16	22:35	安祖先		盤栄富宅	盤明古祖先壇前	盤喜古	唱えごと。紙銭を積む。		廣田	
118	11/16	22:38	安祖先		盤栄富宅	盤明古祖先壇前	盤喜古 馮基華	厨官は鶏の首を切り、血を紙銭に付ける。 紙銭を祖先壇に貼り付ける。 外で紙銭を燃やす。		廣田	
119	11/16	22:43	安祖先		盤栄富宅	盤明古祖先壇前	盤喜古	水碗を左手にもち、卦を右手にもって唱えごと。		廣田	
120	11/16	22:49	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	読誦。	B-8 三宝書	廣田	「有許上不敢完納轉上…」の頁。
121	11/16	22:54	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	読誦。	B-8 三宝書	廣田	「前歲許上不席頭上…」の頁。
122	11/16	22:54	安祖先		盤栄富宅	盤明古祖先壇前	盤喜古	紙銭を積む。家先単を使用。唱えごと。卦。獻酒。紙銭を燃やす。		廣田	
123	11/16	23:00	安祖先		盤栄富宅	盤明古祖先壇前	盤喜古	唱えごと終了。紙銭を燃やし終わる。		廣田	
124	11/16	23:00	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	読誦。	B-8 三宝書	廣田	「還願四脚性頭男女…」の頁。
125	11/16	23:04	安祖先		盤栄富宅	盤明古祖先壇前	盤喜古 馮基華	馮基華は紅包と米を盤喜古へ渡す。		廣田	
126	11/16	23:51	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	読誦。	B-8 三宝書	廣田	「家主還元益招兵良愿明香賞兵…」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	場 所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
127	11/17	00:22	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「北斗咒」の頁。	
128	11/17	00:23	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「李十一咒」の頁。	
129	11/17	00:23	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「錢出世咒」の頁。	
130	11/17	00:24	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「馬出世咒」の頁。	
131	11/17	00:26	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「誦身咒」の頁。	
132	11/17	00:29	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「廣州買米清水不浄」の頁。	
133	11/17	00:30	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「請上壇兵」の頁。	
134	11/17	00:32	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「請下壇兵將」の頁。	
135	11/17	00:35	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。	A-32a	廣田	「請福江」の頁。	
136	11/17	00:37	請聖	三請	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔 趙金付	趙橋古がA-32aを誦誦。 趙子清と趙桂仔は隣席し鈴を鳴らす。 趙金付がサポート。	A-32a	廣田	「家先単」の頁。	
137	11/17	00:48	請聖	三請／ 催春愿	盤米富宅	祭壇正面	趙橋古 趙子清 趙桂仔 趙金付	全員で神名を唱える。 家先単を使用。	A-32a	廣田	掛三灯をするので守護を願う内容。	
138	11/17	06:35	做紙馬		盤米富宅	祭壇前	趙桂仔	紙錢を作る。		廣田		
139	11/17	07:06	做紙馬		盤米富宅	祭壇前	弟子3人	紙錢を作る。		廣田		
140	11/17	07:27	請聖	三請／ 洗浄	盤米富宅	祭壇前	趙子清 盤臺古 盤保古	趙子清はターバンを巻き・紅衣を着る。 盤臺古は唱えごと。		廣田		

9. 種別祭儀礼和序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
142	11/17	07:49	請聖	三請／洗淨	盤栄富宅	祭壇前	弟子 盤保古 趙金付 盤保古	弟子は鈴を鳴らす。 師父は唱えごと。		廣田	
141	11/17	07:58	請聖	洗淨	盤栄富宅	祭壇前	弟子 盤保古 趙金付 盤保古	弟子は鈴を鳴らす。 師父は唱えごと。 弟子はテキストを開く。	Z-18	廣田	「方本坊地主中央五方五位本坊地主」の頁
143	11/17	08:13	請聖	洗淨	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔	盤保古はドラをもち、外に向かって唱える。 趙桂仔は水碗と剣をもつ。		廣田	
145	11/17	08:14	請聖	洗淨	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔	盤保古はト具を戸口にあてて清める。唱えごと。		廣田	
144	11/17	08:19	請聖	洗淨	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 盤保古 盤保古	師父は唱える。 弟子は鈴を振る。		廣田	
146	11/17	09:53	添香		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	線香を供える。 灯明に火を点ける。		廣田	
147	11/17	09:58	準備五穀幡		盤栄富宅	戸外		竹の準備。		廣田	
148	11/17	10:02	入席		盤栄富宅	庁堂入口脇	囃子方 盤保古 盤保古	ドラ・太鼓・ソーナを鳴らす。		廣田	
149	11/17	10:12	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	請聖書を読誦する。	A-32a	廣田	「酒過無計草来献…」の頁。 献茶・献酒・献花・献果を行なう。笹は花にあたる。
150	11/17	10:17	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 盤保古	笹を盤明古の祭壇に供える。 盤保古は唱えごと。		廣田	
151	11/17	10:22	請聖	三請	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	趙橋古はテキストを読誦する。	Z-18	廣田	「大疏源来古樹皮～三名童子落東」の頁。
152	11/17	10:23	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 趙金付	趙金付は唱えごと。 弟子3人は鈴を振る。		廣田	
153	11/17	10:45	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 趙金付	“宝書”“許上”の唱えごとをする。(丸山)		廣田	
154	11/17	10:53	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	線香の代わりに檀香の木を削ったものをつくべる。		廣田	
155	11/17	11:06	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子3人	趙金付は唱えごとを続ける。 弟子3人は鈴を振る。		廣田	
156	11/17	11:10	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	檀香を追加する。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
157	11/17	11:15	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	趙金付と会話の後、弟子は鈴を振るのをやめる。		廣田	
158	11/17	11:18	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙金付から引き継ぎ、盤喜古が唱えごと。弟子は鈴を振る。		廣田	
159	11/17	11:31	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	うずまき形の線香に火を点す。		廣田	
160	11/17	11:41	請聖	大庁意者	盤栄富宅	左側机	盤保古	対聯の下郡に切り紙をする。		廣田	
161	11/17	12:12	請聖	大庁意者	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付	盤喜古は唱えごと。 趙金付は紙銭をもって戻り唱えごと。紙銭を積む。 弟子は家先単を趙金付に見せる。鈴を振る。		廣田	盤喜古と趙金付は別の唱えごと。 儀礼の経過、儀礼の内容を分担。
162	11/17	12:16	請聖	大庁意者/ 安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付	盤喜古は唱えごと。卦。 趙金付は紙銭を積む。唱えごと。 趙柱仔は紙銭を積むのを手伝う。 2人の弟子は鈴を振る。		廣田	趙金付の唱えごととは“安…落馬”と聞こえる。
163	11/17	12:18	請聖	大庁意者/ 安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付	弟子は立つ。 趙橋古はテキストを読誦。 盤喜古は唱えごと。 趙金付は唱えごと。	A-32a	廣田	趙橋古が読誦しているのは「請聖完満又○〔口+声〕接神歌○」の頁。
164	11/17	12:19	請聖	大庁意者/ 安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付 盤保古	趙金付は紙銭を燃やす。唱えごと。卦。 盤喜古は唱えごと。卦。 弟子は立つて鈴を振る。 趙橋古はテキストを読誦。盤保古も加わってフシをつけて唱える。	A-32a	廣田	趙橋古が読誦しているのは「趙子鳳自○請聖書一…」の頁。 盤保古が唱えていたのはA-32a「請聖了」部分。 師父3人はそれぞれ別の唱えごと。
165	11/17	12:21	請聖	大庁意者/ 安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付 盤保古	盤喜古は紙銭をくべて燃やす。唱えごと。 趙橋古はテキストを読誦。 趙金付は唱えごと。 盤保古はフシをつけて歌う。 弟子は鈴を振る。 趙橋古はテキストを読誦。		廣田	
166	11/17	12:22	請聖	大庁意者/ 安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付 盤保古	弟子は鈴を振る。 趙橋古はテキストを読誦。 盤喜古は紙銭が燃えるそばで唱えごと。 趙金付は唱えごと。卦。 盤保古はフシをつけて歌う。	A-32a	廣田	趙橋古が読誦しているのは「三壇歌」の頁。
167	11/17	12:23	請聖	大庁意者/ 安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付 盤保古	趙橋古はテキストを読誦。 盤喜古の唱えごとが終わる。	A-32a	廣田	趙橋古が読誦しているのは「雷霆歌」の頁。

9. 種別祭儀礼順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
168	11/17	12:25	請聖	安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付 盤保古	趙金付は唱えごと。卦。		廣田	紙銭が燃え尽きる。
169	11/17	12:26	請聖	安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人 趙金付 盤保古	趙金付の唱えごとが終了。		廣田	
170	11/17	12:29	請聖	安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 趙橋古 趙子清	盤保古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子2人は鈴を振る。	A-32a	廣田	「三名童子来接聖」の頁。
171	11/17	12:31			盤栄富宅	戸外	受礼者たち	対聯を張り巡らす。		廣田	
172	11/17	12:34	請聖	安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	盤保古はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「聴我文章唱得好」の頁。
173	11/17	12:34	請聖	安洞落馬	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古	盤保古はフシを見ずにフシをつけて 読誦。	A-32a	廣田	「手拿銅鈴唱几聲」の頁か ら。
174	11/17	12:36	請聖	謝神舞	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人	弟子・趙桂仔・趙橋古が右手に鈴、左手 に笏をもって舞う。		廣田	
175	11/17	12:36	請聖	定陰陽	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子3人	趙金付はドラを打つ。 趙桂仔・趙橋古は笏を後ろに落とす。 何かを終了。		廣田	
176	11/17	13:46	準備		盤栄富宅	戸外	女性たち	五穀の束を5人分準備する。		廣田	五穀(コウリヤン・[米+産] 子・粟・トウモロコシ・稻)
177	11/17	14:29	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	紙銭を積み。家先単を使用。唱えごと。 紙銭を丸める。唱えごと。		廣田	
178	11/17	14:36	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 趙金付	趙金付は祭壇下に盆を5つ準備する。 祭壇前に腰掛けを5つ並べる。 盤喜古は紙銭を積み、家先単を使用。唱 えごとを続ける。		廣田	盆には紅紙が敷かれ、その 上に米碗2・白布・紅包が 置かれている。
179	11/17	14:41	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	女性たち	小銭を数えて盆に置く。		廣田	祭壇下の盆。趙金付が準備 したもの。
180	11/17	14:42	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	紙銭を丸める。唱えごと。		廣田	
182	11/17	14:42	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	丸めた紙銭を盤栄富の祖先壇の下枠と神 画を掛けるために張られた鉄線との間に 挟む。		廣田	
181	11/17	14:44	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	受礼者 盤喜古	受礼者は正装して居並び、ひざまずく。 盤喜古は紙銭をもって唱えごとを続け る。		廣田	
183	11/17	14:44	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	腰掛けに白布を掛ける。		廣田	
184	11/17	14:44	封齋		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華 嚙子方	盆をもって嚙子方の1人と共にあげの 入った碗を嚙子方のテーブルに置く。		廣田	盆(酒5・あげの入った碗)

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
185	11/17	14:46	封斎		盤米富宅	祭壇正面	盤喜古	水碗をもって置。ト具を使って碗の水に符を描く。唱えごと。卦。		廣田	
186	11/17	14:47	封斎		盤米富宅	祭壇正面	趙金付 受礼者	趙金付が紙銭を受礼者たちに渡す。		廣田	
187	11/17	14:47	封斎		盤米富宅	祭壇正面	受礼者 盤喜古	盤喜古から渡された水碗の水を受礼者が飲む。飲んだ後、礼をし、上着を脱ぎ、その上着を腰掛けの上に置く。		廣田	
188	11/17	14:49	封斎		盤米富宅	祭壇正面		6つ目の腰掛けが置かれ、白布が掛けられる。		廣田	この腰掛けは盤林古用。
189	11/17	14:51	掛家灯		盤米富宅	祭壇正面	受礼者 馮基華 盤喜古 盤保古 趙金付 馮栄軍	厨官は盆をもつて盤喜古と共に礼をした後、盤喜古そして馮栄軍と共に酒を飲み、あげを食べる。 受礼者は祭壇に向かって腰掛けの前に居並び。盤保古・趙金付は紅衣をまといし神頭を頭につける。		廣田	盆 (酒5・あげのに入った碗)
190	11/17	14:53	掛家灯		盤米富宅	祭壇正面	趙金付	祭壇右側で紙銭を積む。唱えごと。		廣田	
191	11/17	14:55	掛家灯	勅変水	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	祭壇左側で水碗をもち、剣で水に符を描く。テキストを誦誦。卦。	Z-13	廣田	「傳灯用 勅変水碗」の頁。
192	11/17	14:57	掛家灯	勅変米	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	剣で祭壇下の盆上の米、腰掛け等に符を描く。		廣田	符は出口令。
193	11/17	14:58	掛家灯	勅変檜	盤米富宅	祭壇正面	趙金付	テキストを誦誦。	Z-13	廣田	「打燈甲用」の頁。
194	11/17	14:59	掛家灯		盤米富宅	戸口脇	囃子方	ドラ・太鼓・ソーナを鳴らす。		廣田	
195	11/17	15:00	掛家灯	打檜	盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古	笏をもって腰掛けにかざしつつ、腰掛けの周りを舞いながら時計と逆方向に回る。テキストを誦誦。	Z-13	廣田	「打燈甲用」の頁。
196	11/17	15:02	掛家灯	昇檜	盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古	師棍を腰掛けの足に通し、腰掛けをもち上げ、戸口へ移動させる。		廣田	
197	11/17	15:03	掛家灯		盤米富宅	戸口	趙金付 盤保古	戸口で唱えごと。 爆竹が鳴らされる。		廣田	
198	11/17	15:06	掛家灯		盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古	また祭壇正面に戻る。 唱えごとが続く。		廣田	
199	11/17	15:08	掛家灯		盤米富宅	戸口	趙金付 盤保古	さらに戸口に行き、唱えごと。		廣田	
200	11/17	15:10	掛家灯		盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古	また祭壇正面に戻る。唱えごと。		廣田	
201	11/17	15:11	掛家灯		盤米富宅	庁堂の脇部 屋	馮基華 盤喜古	灯明の準備。		廣田	

9. 種別祭儀礼順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
202	11/17	15:13	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 馮基華	趙金付と盤保古は腰掛けをもち上げたまま唱えごとを練ける。 厨官は灯明を置いた盆を運ぶ。		廣田	
203	11/17	15:14	掛家灯	穿衣	盤栄富宅	祭壇正面	受礼者	腰掛けが並べて置かれ、受礼者は腰掛けの上の衣装を着て腰掛けに座る。		廣田	
204	11/17	15:17	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	盤林古分の腰掛け前の長い腰掛けに紅衣を着せ、神頭をつける。		廣田	
205	11/17	15:17	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを開く。	A-32b	廣田	「三尺六寸白…」の頁。
206	11/17	15:17	掛家灯	臈身	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 馮基華	趙金付と盤保古は受礼者の周りを舞いながら時計と逆方向に回る。唱えごと。 厨官は祖先壇・祭壇の蠟燭に火を点す。		廣田	
207	11/17	15:18	掛家灯	踏蓮花	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 受礼者	受礼者の足の下に碗を敷く。 盤林古のところにも碗を置く。		廣田	
208	11/17	15:19	掛家灯	変吾身	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 受礼者	受礼者の周りを時計と逆方向に回る。その時、腕を広げ伸ばす所作等をす。唱えごと。		廣田	
209	11/17	15:20	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを読誦。	A-32b	廣田	「又起寸」の頁。
210	11/17	15:21	掛家灯	起寸	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古	笏を右手にもち、時計と逆方向に回る。腕を広げたり、笏を構えて刺すような所作をす。		廣田	
211	11/17	15:23	掛家灯	収伏断	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 受礼者	紙錢をもち唱えごと。紙錢をたたんで卦。外に向かって受礼者の頭越しに紙錢を投げる。		廣田	
212	11/17	15:27	掛家灯	昇灯	盤栄富宅	戸口	趙金付 盤保古 盤喜古	趙金付と盤保古は灯明盆を2人でもち、戸口へ運ぶ。唱えごと。テキストの読誦を練ける。	A-32b	廣田	「師男受得師父李十六…」の頁。
213	11/17	15:31	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者 馮基華	趙金付と盤保古は灯明盆をもって祭壇正面に戻る。唱えごと。礼。 盤喜古はテキストを読誦。 受礼者は腰掛けに座ったまま。 厨官は盆の灯明の管理。	A-32b	廣田	「師男受得師父李十六蓋灯」の頁。
214	11/17	15:35	掛家灯	掛三灯	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者	受礼者の灯明台に灯明を置く。 爆竹が鳴る。		廣田	
215	11/17	15:43	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを開き、読誦。	A-32b	廣田	「師男受得師父李十六蓋灯了強如月出山頭」の頁。
216	11/17	15:43	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	盤林古分の灯明台にも灯明。			廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
217	11/17	15:44 ~ 15:49	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 盤喜古 趙金付 受礼者	受礼者に向かい盤喜古は卦と数種の手訣を繰り返す。唱えごと。 受礼者に向かい盤保古は卦と数種の手訣・荏歩を繰り返す。唱えごと。 受礼者に向かい趙金付は卦と数種の手訣・荏歩をずっと繰り返す。唱えごと。 時々テキストを見る。		廣田	
218	11/17	15:49	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面		趙金付は笏と鈴をもち、テキストを開き誦読。 盤保古は笏を打ち鳴らしつつ、受礼者の周りを時計と逆方向に回る。	Z-13	廣田	テキスト「又抽火立衆聖三人」の頁が開かれている。
219	11/17	15:51	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古		A-32a	廣田	「太極分高厚一」の頁。
220	11/17	15:53	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古	趙金付はテキストを開き誦読しつつ、受礼者の周りを時計と逆方向に回る。 盤保古は笏を打ち鳴らしつつ受礼者の周りを時計と逆方向に回る。	A-32a	廣田	「宝天尊降齊臨火急…」の頁。
221	11/17	15:57	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	テキストを誦読。	A-32a	廣田	「財馬咒…祖師咒…」の頁。
222	11/17	15:58	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを開き誦読。	A-32b	廣田	「又退灯」の頁。
223	11/17	15:58	掛家灯	退灯	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古	受礼者前の灯明を下げ、祖先壇と祭壇に置く。		廣田	祖先壇（盤栄富・盤明古）
224	11/17	16:00	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	厨官は灯明台を片付ける。		廣田	
225	11/17	16:01 ~ 16:02	掛家灯	撥橋 撥兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 趙金付 盤保古 受礼者	祭壇下の盆を出し、受礼者の足元に置き、布を膝に掛け、その布の端を盆の上を覆うように垂らす。		廣田	
226	11/17	16:02	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古	テキストを誦読。唱えごと。	A-32b	廣田	「老君合香掛神王母王母合香天〇」の頁。
227	11/17	16:06	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古	盤喜古は卦。唱えごと。 盤保古は卦。唱えごと。 趙金付は家先単を読み唱えごと。卦。家先単に受礼者の法名を書き付ける。		廣田	
228	11/17	16:06 ~ 16:12	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者	盤保古は受礼者盤栄富から1人ずつ布の上に笏を載せその上で卦。唱えごと。 趙金付は家先単を読み唱えごと。卦。 盤喜古は唱えごと。卦。		廣田	
229	11/17	16:16	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者	盤喜古は5人目からさかのぼって布の上に笏を載せその上で卦。唱えごと。 趙金付は祭壇前で家先単を読む。		廣田	

9. 種別祭儀礼程序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
230	11/17	16:18 ~ 16:23	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 盤保古 受礼者	盤喜古は引き続き受礼者の布の上に笏を載せその上で卦。唱えごと。 趙金付は6人目の受礼者からさかのぼって受礼者の前で家先単を誦む。 盤保古は1人目の受礼者から受礼者の前で手訣。		廣田	
231	11/17	16:23	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 盤保古 受礼者	盤喜古が右手で手訣。戒を授ける。 盤保古は5人目の受礼者から順に受礼者の前で唱えごと。卦。		廣田	
232	11/17	16:23	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 盤保古 受礼者	趙金付が右手で手訣。		廣田	
233	11/17	16:26	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 盤保古 受礼者	盤喜古と趙金付が師棍を布の下に入れる。		廣田	
234	11/17	16:28 ~ 16:32	掛家灯	分兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 盤喜古 盤保古 受礼者	趙金付はテキストを読誦。 籥に米と錢を入れ白布で包む。布を切る。Z-13 受礼者一人ずつ。	Z-13	廣田	「分兵歌」の頁。
235	11/17	16:33	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 盤保古 受礼者	米等の入った白布の包みをそれぞれの家先壇に置く。		廣田	
236	11/17	16:33 ~ 16:35	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 盤保古 受礼者	盤保古は錢を数える。		廣田	
237	11/17	16:36 ~ 16:37	掛家灯	吹米	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 盤保古 受礼者	趙金付は笏の先に米を載せ受礼者の口に吹き入れる。 盤喜古と盤保古も分担して行なう。		廣田	
238	11/17	16:38	掛家灯	退蓮花	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 盤保古 受礼者	足元の碗をどける。		廣田	
239	11/17	16:39	掛家灯	接香炉	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	香炉と酒盃を盤栄富の祖先壇から下ろし、盤栄富から順に嗅がせる。		廣田	
240	11/17	16:40 ~ 16:41	掛家灯	学打鐘	盤栄富宅	祭壇正面	受礼者 盤喜古	盤喜古がドラを叩き盤栄富から順にまねをして叩く。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
242	11/17	16:42	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	テキストを読誦。	Z-13	廣田	「苦有十方人相講羅〔口+声〕〇响付歌室」の頁。
241	11/17	16:42～ 16:46	掛家灯	学吹牛角	盤栄富宅	祭壇正面	受礼者 盤保古	盤保古は角笛を吹く。師糖をもち、卦。受礼者は1人ずつまねて行なう。盤林古のところでは、吹かせるまねをする。卦。卦のまねをする。		廣田	
243	11/17	16:49～ 16:55	掛家灯	定陰陽	盤栄富宅	祭壇正面	受礼者 趙金付 盤保古	受礼者はおの鈴に錢7を入れて振る。床に撒いて錢の裏表で“定了”したかを占う。良い結果が出ないと趙金付は唱えごとこの後もう一度占う。盤保古は唱えごと。		廣田	
244	11/17	16:58～ 17:00	掛家灯	学走罡歩	盤栄富宅	祭壇正面	受礼者 趙金付 盤保古	趙金付は白布に錢7を並べ、罡歩を行なう。それをまねて受礼者がおのおの罡歩を行なう。		廣田	
245	11/17	17:03～ 17:06	掛家灯	学揺鈴	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者	受礼者は鈴を振る者、笏をもつ者がいる。趙金付と盤保古はフシをつけてテキストを唱える。	Z-13	廣田	「講師教 講師教 不教師 男教何人…」の頁。
246	11/17	17:07	掛家灯	学舞	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者	趙金付と盤保古は舞いの見本を見せる。盤喜古はテキストを読誦。受礼者はまねる。		廣田	
247	11/17	17:08	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 盤喜古 受礼者	趙金付は上衣を脱ぐ。何かを終了。		廣田	
248	11/17	17:14～ 17:21	掛家灯		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	盆の米を片付ける。袋に入れる。		廣田	
249	11/17	19:23	入席		盤栄富宅	戸口脇及び祭壇	隣子方 盤保古 盤喜古 馮基華	隣子方は樂器を鳴らす。盤保古は祭壇を片付ける。酒盃を空にして洗う等。		廣田	
250	11/17	19:25	做紙馬		盤栄富宅	庁堂左側の部屋	弟子3人	紙錢を刷って準備する。		廣田	
251	11/17	19:44	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華 盤明古	厨官は盆をもった盤明古と共に礼拝。盤明古は祭壇前に盆をもったまま着席。		廣田	盆（酒盃5・あぶらあげの皿に入った碗）
252	11/17	19:47	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 弟子3人	盤保古は盤明古の隣に着席し、唱えごと。弟子は立ったまま左手に笏、右手に鈴をもって振る。		廣田	
253	11/17	19:48	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子3人	弟子はひざまずき礼拝。趙金付はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「另有三清上光拜願父歌誦」の頁（左）に続き「拜得通拜得通…」の頁（右）。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場 所 (大項目)	場 所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
254	11/17	19:50	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	趙金付はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「又差光在此處…」の頁。
255	11/17	19:51	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	趙金付はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「羅帯出世」の頁。
256	11/17	19:51	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	弟子の趙橋古と趙子清は神頭をもって揺らす。		廣田	神頭 (太歳)
257	11/17	19:52	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	趙橋古と趙桂仔は神頭をもってドラに合わせて舞ったのち、神頭を頭につける。		廣田	
258	11/17	19:53~ 19:55	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	趙橋古と趙桂仔は羅帯をもって、ドラに合わせて舞ったのち、羅帯を頭に巻く。		廣田	
259	11/17	19:54	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	テキストを読誦。ドラを叩く。	A-32a	廣田	「又開山頭歌…」の頁(左)。
260	11/17	19:55	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人	右手で鈴を鳴らす。		廣田	
261	11/17	19:57	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	テキストを読誦。ドラを叩く。	A-32a	廣田	「三同白紙〔**+蓋〕郎面 面前海岸不通行」の頁(左、 最終行)
262	11/17	19:57	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 盤喜古	趙桂仔と趙橋古は左手に笏、右手に鈴をもってドラに合わせて舞う。ケンケン、片足跳び、クロスして舞う。 趙子清は鈴を振る。 盤喜古は冢先卓を見つつ唱えごと。		廣田	
263	11/17	19:59	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 盤喜古	弟子が引き継ぎ、フシをつけてテキストを読誦。 盤喜古は唱えごと。	A-32a	廣田	「拾頭看天〇不見低頭…」の頁。
264	11/17	20:01	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 盤喜古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「皇帝借問廟祝道…」の頁 (左、最終行)。
265	11/17	20:04	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 盤喜古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「天堂便有三條路…」の頁 (左、最終行)。
266	11/17	20:05	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 盤喜古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「冢主今日還良愿…」の頁 まで。
267	11/17	20:06	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人	鈴を鳴らす。		廣田	
268	11/17	20:06	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 盤喜古	趙橋古と趙桂仔は左手に笏、右手に鈴をもってドラに合わせて舞う。 趙子清は鈴を鳴らす。 盤喜古はしゃがんで唱える。卦。		廣田	
269	11/17	20:07	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 盤喜古 趙金付	趙橋古はテキストを読誦。 盤喜古は懐中電灯でテキストを照らしつつ唱える。 趙金付はそらで唱える。フシあり。	A-32a	廣田	「賞浪献酒歌」の頁(右)、「功 曹到功曹到」の頁(左、最 終行)。
270	11/17	20:08	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「還官任〇坐壇前」の頁(右、 最終行下段)。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
272	11/17	20:08	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「人話銅盆分一盞又怕人多分不完」の頁。
271	11/17	20:09	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔	紙銭を燃やす。		廣田	
273	11/17	20:09	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 盤喜古	趙橋古はフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古は祭壇上の盃に献酒。	A-32a	廣田	「吹清便吹双盃酒…李十六…」の頁。
274	11/17	20:11	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「公不坐壇找不到、公不坐壇不敢行」の頁(左、最終行)。
275	11/17	20:13 ~ 20:17	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 盤喜古 趙金付	祭壇上にテキストを開く。その前で弟子は鈴を振る。 盤喜古はしゃがんで紙銭を積む。唱えごと。 趙金付はそらでフシをつけて唱える。	A-32a	廣田	「三清大道玉皇宮 北極紫微同一官」の頁(左、最終行)。
276	11/17	20:18	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 盤喜古 趙金付	趙橋古・趙桂仔・趙子清は左手に笏、右手に鈴をもち、趙金付のドラに合わせて舞う。 盤喜古は家先単をもって唱える。		廣田	
278	11/17	20:19	開壇還愿	上光	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子3人	趙金付はフシをつけてそらで唱える。フシを変えてドラを速く叩く。その後ゆっくりフシをつけて唱える。 弟子は鈴を鳴らす。ドラのリズムに合わせて鈴を速く横に揺する。その後ゆっくに戻す。		廣田	
277	11/17	20:21 ~ 20:38	開壇還愿	接三清	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古 趙金付 盤喜古 馮基華	趙橋古はフシをつけてテキストを読誦。 趙金付と盤喜古は共にフシをつけて唱える。その後趙金付はテキストを読誦。 厨官は盃などを整える。	A-32a 不明	廣田	趙橋古が読誦しているのは「趙子鳳…」「観音出世」「三壇歌」「雷霆歌」「南嶺歌」「黄衣」「三將軍」「雲頭歌」「李十一」「李十二」「盤古出世」「灶鬼歌」「土地公」「家先歌」「公主出世」までの頁。 趙金付が読誦しているのは「唐王出世」(右頁)「五婆伏出世伏靈廟」(左頁)「接盤王」「本師歌」「地主歌」「元宵歌」「管千歌」「上元」の前「芥々整々下香壇」まで。
279	11/17	20:40	開壇還愿	謝神舞	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 趙金付	弟子は左手に笏、右手に鈴をもって振り、舞う。 趙金付はドラを鳴らす。		廣田	
280	11/17	20:43	開壇還愿	小献酒	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子3人	趙金付はそらでフシをつけて唱える。 弟子は左手に笏と酒盃をもち、右手に鈴をもって鳴らす。		廣田	

9. 瀬川 彌 義 礼 神 事

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場 所 (大項目)	場 所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
281	11/17	20:44	開壇還愿	小献酒	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子3人	趙桂仔と趙子清は左手に師棍をもち、右手に鈴をもって鳴らす。 趙橋古はフシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「半巻油 蕨半豆 油 蕨生子 豆 生花」の頁。
282	11/17	20:46	開壇還愿	請上元	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「買 将 牯 牛 三 百 雙 又 買 牯 牛 四 百 頭」の頁。
283	11/17	20:47	開壇還愿	請上元	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「又把牛脚○架又把牛皮做○餽」の頁。
284	11/17	20:48	開壇還愿	請上元	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「不怕爺娘兄弟衆○過爺娘兄○○」の頁「師公棍出世」の前まで。
285	11/17	20:49 ~ 20:51	開壇還愿	請上元 / 謝神舞	盤栄富宅	祭壇正面	弟子3人 趙金付	趙金付はドラを鳴らす。唱える。 趙桂仔と趙子清は左手に師棍、右手に鈴を もって舞う。 趙橋古は鈴を振る。		廣田	
287	11/17	20:51	開壇還愿	請上元 / 点聖	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 趙金付	趙桂仔と趙子清は師棍の先を正面に向けて 構える。ドラに合わせ2人でクロスし て舞う。 趙金付はドラを鳴らす。フシをつけて唱 えごと。		廣田	
288	11/17	20:53 ~ 20:58	開壇還愿	請七官	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	趙橋古はフシをつけてテキストを読誦。 趙桂仔と趙子清は左手で師棍をもち、右 手で鈴を振る。	A-11	廣田	「師公棍出世」から「大話歌」 「出世未曾扛大話」の頁「請 七官」「又唱歌」の前まで。
289	11/17	21:00	開壇還愿	請七官 / 謝神舞	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子	フシをつけて、そらで唱える。ドラを鳴 らす。 趙桂仔と趙橋古は師棍をもって舞う。 趙子清は鈴を振る。		廣田	
290	11/17	21:02 ~ 21:03	開壇還愿	請七官 / 点聖	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 弟子 盤喜古	趙金付はフシをつけて唱えごと。ドラを 鳴らす。 趙橋古は師棍の先を正面に向け て構える。師棍の先を正面と逆の方向に 向けて構える。趙金付のドラに合わせ て舞う。 趙子清は鈴を鳴らす。 盤喜古は紅衣を着、家先単を読み、鈴を 振り、笏をもって礼、唱えごと。		廣田	
293	11/17	21:04 ~ 21:05	開壇還愿	献蒸果	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華 弟子	厨官は弟子に笹の葉の包み及びあげを渡 す。 弟子は鈴に入れて運び、庁堂の中心に置 かれたテーパーの上の2つの真に入れ る。 真には碗10ずつが置かれ、其の脇には 7つの盃が半円形に置かれるがそこにも 笹とあげを置く。		廣田	

番号	日付	時間	大儀還愿	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
291	11/17	21:06～ 21:08	開壇還愿	排盞	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 趙金付	趙橋古はテキキストを読誦。 趙金付はフシをつけてそらで唱える。	A-11	廣田	「家主奉還何物道場位…」 「何物登輪在何轉…」の頁。
292	11/17	21:09	開壇還愿	還催春愿	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	鈴を振って唱えごと。家先単を使用。		廣田	
294	11/17	21:10～ 21:13	開壇還愿	開酒壺	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	弟子は笏を酒盃に付けて横に振る。 趙橋古はテキキストを読誦。	A-11	廣田	「上面高掉献了衆聖又献四 府歌日」「上聖兵馬下壇兵 将借何聖…」の頁。
295	11/17	21:14	開壇還愿	還催春愿	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 盤喜古	趙柱仔と趙子清は左手に師棍、右手に鈴 をもつて振る。 盤喜古は左手に笏、右手に鈴をもつて唱 えごと。		廣田	
296	11/17	21:16～ 21:17	開壇還愿	還催春愿/ 還元盆愿/ 請上元衆聖	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 盤喜古 趙金付	趙柱仔と趙子清は鈴を振る。 趙橋古はテキキストを閉じて唱えごと。フ シをつける。 盤喜古は左手で鈴と笏をもち、唱えごと。 家先単も使用。 趙金付はフシをつけて唱えごと。		廣田	
297	11/17	21:19	開壇還愿	謝神舞	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 趙金付	趙金付はドラを鳴らす。 趙柱仔と趙子清は左手に師棍をもち、右 手に鈴をもつて鳴らし、ドラに合わせて 舞う。		廣田	
298	11/17	21:20	開壇還愿	還催春愿	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	ひざまずき左手に笏と鈴をもち、卦、唱 えごと。		廣田	
299	11/17	21:21～ 21:26	開壇還愿	献酒（勸酒）	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	趙子清と趙橋古は卦、唱えごとをしつつ 箕の上の碗に酒を注ぐ。趙柱仔祖先壇祭 壇にも献酒。 趙橋古は家先単を読みつつ碗に酒を注 ぐ。		廣田	箕は1つが催春愿、1つが 元盆愿。8つの盃は開壇用。
300	11/17	21:24			盤栄富宅	祭壇正面	盤栄富	祖先壇に貼られていた財神の図を剥が す。		廣田	
302	11/17	21:28～ 21:50	開壇還愿	献酒	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	唱えごと。祖先壇に献酒。		廣田	祖先壇の献酒は以前行なっ た願ほどのため。
301	11/17	21:30	開壇還愿	還元盆愿/ 献酒	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 趙金付	趙橋古は紙銭を積む。家先単を唱える。 趙金付はフシをつけてそらで唱える。		廣田	献酒は開壇、還催春愿、元 盆愿に行なう。
303	11/17	21:34	開壇還愿	還催春愿/ 献酒	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 趙金付 弟子	家先単を読む。 趙金付はフシをつけてそらで唱える。 趙橋古は紙銭を積む。		廣田	紙銭は開壇、還催春愿、還 元盆愿に用いる。
304	11/17	21:37	開壇還愿	請埠老	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	庁室中心のテーブルの上の盃を祖先壇に 供える。		廣田	3人の埠老を招へいし、証 盟を行なう。
305	11/17	21:39 ～ 21:40	開壇還愿	給銭	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	紙銭を積む。卦。卦。その後も紙銭を積む。		廣田	

番号	日付	時間	大儀還愿	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
307	11/17	21:39	開壇還愿	領酒	盤米富宅	祭壇正面	趙金付	庁堂中心のテーブルのところで唱えごと。卦。		廣田	
306	11/17	21:41	開壇還愿	添香	盤米富宅	祭壇正面	馮基華	線香と灯明に火を点す。		廣田	
308	11/17	21:42	開壇還愿	証盃酒	盤米富宅	祭壇正面	趙金付	庁堂中心のテーブルに戻りテキストを読誦。	A-11	廣田	「奉酒歌」(左頁)。陽人に対して酒を勧め、証盃を行なう。
309	11/17	21:42 ~ 21:49	開壇還愿	証盃酒	盤米富宅	祭壇正面	弟子	受礼者に酒を勧める。その場にいた人々に酒を勧める。外で紙銭を作る人にもご祝儀を計算する人にも調査者にも勧める。		廣田	
310	11/17	21:50	開壇還愿	退席	盤米富宅	祭壇正面	弟子	碗を伏せる。		廣田	
311	11/17	21:53	開壇還愿		盤米富宅	祭壇正面	弟子	紅衣を脱ぐ。		廣田	
312	11/17	21:55	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	紅衣を着て帽子をかぶる。唱えごと。		廣田	
313	11/17	21:56	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	卦。		廣田	
314	11/17	21:57	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	祖先壇に献酒。		廣田	
315	11/17	22:00 ~ 22:08	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	紙銭を積む。卦。唱えごと。東の紙銭も積む。		廣田	
316	11/17	22:12 ~ 22:15	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	竹筒から黒糸を結んだ願書を出し笏と鈴と一緒にもつて祖先壇に向かい唱えごと。鈴を鳴らす。		廣田	
317	11/17	22:18 ~ 22:23	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	笏をもつて時々動かす。テキストを読誦。A-11		廣田	「唱還愿歌」(左頁)「何人到壇還良愿何人還愿々無番」(左頁最終行)「當初許愿請師許世今還請師還」(右頁最初行)「又招兵歌」前まで。
318	11/17	22:23	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	卦。		廣田	
319	11/17	22:24 ~ 22:31	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	唱えごとをしながら黒糸を結んだ願書を細かく破く。それを笏の上に置き、鈴ですりつぶすようにする。卦。		廣田	
320	11/17	22:32	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	立って唱えごと。祖先壇に献酒。		廣田	
321	11/17	22:32	開壇還愿	還元盆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古	ひざまずいて唱えごと。卦。		廣田	
322	11/17	22:34	開壇還愿	還元盆愿/ 還惟春愿	盤米富宅	祭壇正面	盤保古 盤喜古	盤保古は紅衣を脱ぐ。 盤喜古は紅衣を着る。		廣田	
323	11/17	22:42	開壇還愿	擺惟春愿	盤米富宅	祭壇正面	馮基華	祖先壇に供え物。		廣田	還元盆愿と還惟春愿の供え物を換える。
324	11/17	22:43	開壇還愿	還惟春愿	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古	右手に笏、左手で鈴を振り唱えごと。		廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
325	11/17	22:45	開壇還愿	添香	盤米富宅	祭壇正面	馮基華	線香に火を点す。酒盃を下ろし、洗面器内で洗い、戻す。		廣田	
326	11/17	22:50～ 22:58	開壇還愿	還椎春愿	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古	家先単を唱える。左手に笏、右手に鈴をもって鳴らす。唱えごと。卦。		廣田	
327	11/17	23:01	開壇還愿	還椎春愿/ 献酒	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古	祖先壇に献酒。唱えごと。		廣田	以前に掛けた願をほどくための酒。
329	11/17	23:08～ 23:25	開壇還愿	還椎春愿/ 放紙銭	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古	唱えごとをしつつ紙銭を積む。家先単を讀みつつ紙銭を1枚ずつ積む。卦。東の紙銭も積む。卦。		廣田	以前の願掛けで約束した紙銭。唱えごとに“身体健康”と聞こえる部分あり。
328	11/17	23:26～ 23:29	開壇還愿	還椎春愿	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古 盤保古	盤喜古はしゃがんで紙銭の山の前で唱えごとを続ける。 盤保古は唱えごとを始めさらに紙銭を積む。卦。		廣田	
330	11/17	23:31～ 23:34	開壇還愿	還椎春愿/ 拆愿	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古 盤保古	祖先壇のところに挟んでおいた丸めた紙銭を下ろし細かくちぎる。家先単を取り出しさらにちぎる。盤保古は唱えごとをしつつ、紙銭を積む。東の紙銭も積む。唱えごと。卦。		廣田	以前の願掛けを解消する。
331	11/17	23:36	開壇還愿	還椎春愿/ 退埠老	盤米富宅	祭壇正面	盤喜古 盤保古 趙金付 受礼者	盤喜古と盤保古は立ち上がって唱えごと。趙金付は速いペースでテキストを讀誦。紙銭の山に火を点ける。	A-11	廣田	「賞浪兵頭」から「去時有功帰有償」の頁。
333	11/17	23:38～ 23:52	開壇還愿	退埠老	盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 弟子	趙金付はそらで唱える。テキストを讀誦。	A-11	廣田	「去時有功帰有償」の頁。
1190	11/17	23:38～ 23:52	開壇還愿	還椎春愿等 退席	盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 弟子	3つの盃の酒を交互に移しつつ、フシをつけてテキストを讀誦。筈・あげを投げる。碗を紙銭の火で清める。卦。	A-11	廣田	「賞浪」からフシをつけて讀誦。「當初字法第一先…」「人不耕田一般過…」「師男便是雲刃月…」「七星明月歌」「奉酒歌」(左頁)まで。
1191	11/17	23:38～ 23:52	開壇還愿	小運銭	盤米富宅	祭壇正面	趙金付 盤喜古 盤保古 弟子	盤喜古はテキストを讀誦。そらで唱える。盤保古はフシをつけてテキストを讀誦。弟子は鈴を鳴らす。	A-32a 不明	廣田	盤喜古の讀誦は「衫破世是運銭…」「李枝子 李枝子…」。盤保古の讀誦は「化財馬火呪」(左頁)から「串銭童子得來…」(右頁最初)「李十二」「李十一」「財馬呪」「銭呪」「紙馬呪」「領銭呪」。

9. 種別 類義札付

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
334	11/17	23:53 ~ 23:54	開壇還愿	小運銭 収齋	盤栄富宅	祭壇正面	弟子	趙橋古と趙桂子は師棍をもって灰の周りで舞う。紙銭を燃やした灰を拾い祭壇に置く。紅衣の裾を翻して紙銭を燃やした周りを回って舞う。 趙子清はドラを叩く。		廣田	
335	11/17	23:55 ~ 00:03	開壇還愿	脱童	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 馮基華 盤栄富 趙金付 弟子3人	趙金付はテキストを読誦。掛灯師の塩信を火にくべる。弟子が上に紙銭を加える。盤栄古はテキストを開き、そらで唱える。盤保古はそらで唱える。ひさまずいで礼。	A-11 不明	廣田	趙金付の最初の読誦は「嗚角声々不乱叫…」「賞浪師父」「脱童歌」の頁。「師男逢蛇々不咬」「你把人魂交付我」「銅鑼鉄應交安主」「師鬼條鬼々為真」の頁。 盤栄古が開いたのは「李枝子 李枝子…」の頁。
337	11/18	07:00			盤栄富宅	戸外	女性	五穀樹の準備。		廣田	
338	11/18	07:28			盤栄富宅	戸外	趙金付	紅紙を切り抜いて招兵旗を作る。		廣田	
339	11/18	07:32	招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	線香を挿す。		廣田	
340	11/18	07:34	招兵愿	排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	馮基華 趙金付	ドラを鳴らす。灯明に火を点ける。盆をもって来て趙金付と共に礼。	盆 (酒盃5・あげの入った碗1)	廣田	
342	11/18	07:49	招兵愿	冷排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤栄富 盤保古	盤栄富は盆をもち趙金付と共に礼。その後腰掛ける。 盤保古は帽子をかぶり盤栄富の隣に腰掛け唱え始める。	祖先に儀礼の次第を伝える。家に帰るよう促す。	廣田	
343	11/18	07:51	招兵愿	排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	盆をもって礼。	盆 (酒盃5・あげの入った碗1)	廣田	
344	11/18	07:56	招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	馮基華	鶏と卵を祖先壇に供える。		廣田	
341	11/18	07:56	招兵愿	請師	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	卦を鳴らし、唱え始める。		廣田	
345	11/18	08:03	招兵愿		盤栄富宅	戸外	馮基華	戸口前の祭壇の準備。		廣田	卵5・丸餅5を入れた碗・鶏丸ごと1羽入れた碗・酒盃5・水盃1・灯明1・線香3
346	11/18	08:04	招兵愿		盤栄富宅	戸外	趙橋古 趙子清	紙銭作り。		廣田	
347	11/18	08:06	招兵愿	請師	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付	家先単を読む。唱えごと。卦。献酒。		廣田	米入り竹筒の上に紅包・あげの入った碗・酒盃5が加えられている。献酒したのはこの盃。
348	11/18	08:10	招兵愿	冷排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 盤栄富	唱えごと。献酒。 盤栄富は盆をもって礼。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	場 所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
349	11/18	08:11	招兵愿	冷排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	保古 盤栄富	唱えごとが終了。		廣田	
350	11/18	08:12 ~ 08:25	招兵愿	請師	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	趙金付	家先単を使用。卦。献酒。紙銭を積む。		廣田	“兵”と聞こえる。
351	11/18	09:06	招兵愿	還催春愿	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	盤喜古	唱えごと。祖先壇に献酒。		廣田	
352	11/18	09:07	入席		盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	隼子方 盤保古			廣田	ソーナ2・ドラ1・太鼓1 ドラは盤保古が担当。
354	11/18	09:08 ~ 09:12	招兵愿	還催春愿	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	盤喜古	紙銭を燃やす。唱えごと。卦。		廣田	還催春愿で燃やし忘れた紙 銭。
353	11/18	09:29	招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	馮基華 隼子方	厨官は盆をもって隼子方と共に礼。隼子 方のテーブルに碗を置く。		廣田	盆 (酒盃5・あげの入った 碗)
355	11/18	09:31	招兵愿	排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	馮基華 盤喜古	厨官は盆をもって盤喜古と共に礼。		廣田	
357	11/18	09:31	招兵愿	排蓋	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	馮基華 趙子清 趙柱仔	厨官は盆をもって弟子と共に礼。		廣田	
356	11/18	09:34	招兵愿	昇五穀	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	盤喜古 趙金付	紅衣を着る。帽子をかぶる。趙金付は背 に白布を付ける。		廣田	
358	11/18	09:35	招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	馮基華	線香を供える。		廣田	
359	11/18	09:36 ~ 09:38	招兵愿	昇五穀	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	趙金付	五穀の束に物差し・鉢・銀の指輪・銀の ボタン等の装飾品、黒糸を付ける。 受礼者5人分作る。		廣田	
360	11/18	09:39 ~ 09:43	招兵愿	昇五穀	盤栄富宅	戸口	戸口	趙金付 盤喜古	箕に五穀の束5組を入れ2人でもって戸 外に向かかって礼。唱えごと。時々礼。祭 壇前に戻る。		廣田	
361	11/18	09:44	招兵愿	昇五穀	盤栄富宅	戸口脇	戸口脇	隼子方			廣田	ソーナ1・小ドラ1・ドラ1・ 大シンバル1・小シンバル 1・太鼓1
362	11/18	09:46	招兵愿	昇五穀	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	盤喜古 趙金付	五穀を祭壇の下に入れる。		廣田	隼子がやむ。調子が変わる。
363	11/18	09:47 ~ 09:48	招兵愿	昇五穀	盤栄富宅	祭壇正面	祭壇正面	趙金付	角笛及び師棍・剣をもって唱えごと。礼。 ひざまずく・立つ・礼を繰り返す。		廣田	
364	11/18	09:49 ~ 09:54	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	戸外	趙金付	角笛・師棍・剣をもって板の上に立つ。 杖を置き、左手に剣、右手に角笛をもっ て数回吹く。となえごと。剣で角笛を叩 く。卦。角笛を吹く。卦。 厨官が金付の前にある3本足の台の上の 金属の皿に線香3を置く。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
365	11/18	09:54 ~ 10:02	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 趙桂仔	紅衣を脱いだ盤喜古は祭壇上の盃に献酒。家先単を読んで唱えごと。 趙桂仔は紙銭を積む。紙銭を祭壇の下に入れて読む。		廣田	
366	11/18	09:55 ~ 10:01	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	角笛をもって礼。唱えごと。剣で角笛を叩く。唱えごと。意者書を出してフシをつけて読む。	意者書	廣田	
367	11/18	10:01	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	フシをつけて意者書を読誦。	A-16a 意者書	廣田	「時父母生下〇師男懐胎〇」の頁(左、最終行)。
376	11/18	10:03	招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古	趙子清と趙桂仔は礼をして紅衣を着る。神頭をつける。		廣田	神頭(太歳)
368	11/18	10:05	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	意者書を読誦。	A-16a 意者書	廣田	「走馬行到〇壇…」の頁(右、最初)。
384	11/18	10:05 ~ 10:11	招兵愿	祭五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	盤保古	立ったまま唱えごと。座って唱えごと。		廣田	祭壇上には米を満たした竹筒上に紅包が置かれ招兵旗5・綿香が挿してある。鶏1羽を入れた碗、卵5。その下に餅5を入れた碗、水碗、キクラゲとハルサメを入れた碗、灯明、酒盃10、水盃2、線香3、紙銭が置かれている。
369	11/18	10:06	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	意者書を読誦。	A-16a 意者書	廣田	「主齋引度師…」の頁(右、3行目)。
370	11/18	10:07	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	意者書を読誦。	A-16a 意者書	廣田	「引度師巻起刀山…」の頁(右、3行目)。
377	11/18	10:07	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古	趙橋古はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「另有三清上光拜師父歌話」の頁(左)。
378	11/18	10:08	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「拜得通 拜得通 先々禮拜老師公」の頁(右)。
379	11/18	10:08	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古	趙子清と趙桂仔はひざまずいて鈴を鳴らす。		廣田	
380	11/18	10:09	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「山頭出世」の頁(左)。
371	11/18	10:10	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	意者書を読誦。	A-16a 意者書	廣田	「名押字主齋引度師証明保主師」の頁(右、4行目)。
381	11/18	10:10	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古 盤喜古	盤喜古はフシをつけずにフォローと唱える。趙子清と趙桂仔は笏と鈴をもつ。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
382	11/18	10:12	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古 盤喜古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「十一十二聰明女三十四...」の頁。
383	11/18	10:13	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙橋古 盤喜古	趙子清と趙桂仔は羅帯をもって盤喜古のドラに合わせて舞う。		廣田	
390	11/18	10:14	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	盤喜古は唱える。 趙桂仔と趙子清は羅帯をつける。		廣田	
391	11/18	10:14	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「画起有頭有眼又無身太尉 衆官上郎頭」の頁。
392	11/18	10:15	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙桂仔と趙子清は舞う。片足で跳ぶ。鈴を もって舞う。両足跳びで舞う。		廣田	
393	11/18	10:17	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「三同白紙蓋郎面面前海岸 不通行」の頁(左、最終行)。
385	11/18	10:18	招兵愿	祭五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	盤保古	献酒。		廣田	
394	11/18	10:18	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙桂仔と趙子清は右手に鈴をもって振 る。左手に笏をもつ。		廣田	
395	11/18	10:18	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「人話鵝毛清水大 鉄缸流 過十三灘」の頁(左、最終 行)。
372	11/18	10:19	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	フシをつけて唱える。		廣田	
396	11/18	10:20	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「起頭望見季三〇玉女把般 入海身」の頁。
397	11/18	10:20	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙桂仔と趙子清は右手に鈴、左手に笏を もって鈴を鳴らす。 盤喜古はドラを鳴らす。		廣田	
398	11/18	10:21	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「我兄不敢問前路小哥在係 便射身」の頁。
373	11/18	10:22	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	剣・角笛をもって唱える。		廣田	
374	11/18	10:23	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	剣・角笛をもって唱える。		廣田	
386	11/18	10:23	招兵愿	祭五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	盤保古	卦。		廣田	
387	11/18	10:23	招兵愿	祭五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	盤保古	献酒。		廣田	
399	11/18	10:23	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「賞浪献酒歌」の頁。

9. 神楽舞臺礼拝

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
400	11/18	10:24～ 10:25	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙桂仔と趙子清は左手に笏、右手に鈴を もって舞う。 盤喜古はドラを打ち、フシをつけて唱え る。		廣田	
388	11/18	10:25	招兵愿	祭五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	盤保古	紙銭を積む。		廣田	
401	11/18	10:27	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙桂仔は紙銭に火を点ける。		廣田	
402	11/18	10:28	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はテキストを読誦。	A-32a	廣田	「人話銅盃分一蓋又怕人多 分不完」の頁。
403	11/18	10:28	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人	趙橋古はフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古はドラを叩き、フシをつけて唱え る。 趙桂仔と趙子清は祭壇前に立ち鈴を振 る。	A-32a	廣田	「李十六」の頁。
404	11/18	10:28	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古 弟子3人			廣田	
375	11/18	10:29	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	剣・角笛をもって唱える。		廣田	
405	11/18	10:30	招兵愿	祭七星	盤栄富宅	入口右脇祭 壇	盤保古	盃を並べる。		廣田	七星の祭壇は餅・海草の 入った碗、水盃5、酒盃7、 さらに盃1、灯明1、線香 3が置かれる。
389	11/18	10:30頃	招兵愿	祭五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	盤保古	紙銭を積み終わる。		廣田	
410	11/18	10:31	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「祖師去得閻浮界…」の頁。
413	11/18	10:32～ 10:34	招兵愿	分兵分旗	盤栄富宅	戸外入口左 側祭壇	馮基華	竹筒の米を小竹筒5に入れ招兵旗をそれ ぞれに挿す。		廣田	
411	11/18	10:33	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 趙子清 盤喜古	盤喜古のドラに合わせて左手に笏、右手 に鈴をもって2人で舞う。 盤喜古は唱えごと。		廣田	
412	11/18	10:33～ 10:34	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 趙子清 盤喜古	弟子は笏の上に酒盃を載せて鈴を振る。		廣田	
414	11/18	10:35	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	木の板に乗り、角笛と剣をもって唱え続 ける。		廣田	
418	11/18	10:35	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「趙子鳳自〇〇聖書一本」 の頁。
419	11/18	10:36	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙桂仔 盤喜古	左手に笏、右手に鈴をもって鈴を鳴らす。 盤喜古は唱える。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
420	11/18	10:36	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「三壇歌」「真武歌」「海嶺歌」の頁。
406	11/18	10:37	招兵愿	祭七星	盤栄富宅	入口右脇祭壇	盤保古	唱えごと。		廣田	
416	11/18	10:37	招兵愿	準備招五穀魂	盤栄富宅	祭壇正面～戸外入口左側祭壇	馮基華	祭壇下の五穀の束の入った箕を戸外の左手祭壇に移す。		廣田	
421	11/18	10:39	招兵愿	接三清	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを開く。頁を戻してフシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	開いたのは「大運銭三清」の頁。「大三清」へ戻す。「大道原来龍虎伏…」の頁。
415	11/18	10:40	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	木の板に乗り、角笛と剣をもつて唱え続ける。		廣田	
417	11/18	10:40	招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面～戸外入口左側祭壇	馮基華	線香を供える。		廣田	
422	11/18	10:40	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙子清 趙桂仔	座って鈴を振る。		廣田	
423	11/18	10:40	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「南嶺歌」の頁。
407	11/18	10:41	招兵愿	祭七星	盤栄富宅	入口右脇祭壇	盤保古	唱えごと。献酒。		廣田	
424	11/18	10:41	招兵愿	接三清	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを読誦。	不明	廣田	「聞説今朝有状請○○整々下香壇」の頁。
425	11/18	10:41	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「黄衣歌」の頁。
426	11/18	10:42	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「李十一」の頁。
408	11/18	10:43	招兵愿	祭七星	盤栄富宅	入口右脇祭壇	盤保古	唱えごと。卦。		廣田	
432	11/18	10:43	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	しゃがんで右手で卦。左手に角笛と剣をもつ。唱えごと。		廣田	
427	11/18	10:44	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「李十二」の頁。
428	11/18	10:44	招兵愿	接三清	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを読誦。	不明	廣田	「海番」の頁。
433	11/18	10:45～ 10:46	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	紙銭の束を受け取り、1束ずつ三脚の皿に置く。1つずつ「何のために」と唱える。地面にも置く。		廣田	
434	11/18	10:47～ 10:48	招兵愿		受礼者の家	祖先壇	馮基華	受礼者盤継生・盤認仔・盤新富の家に盆を運ぶ。祖先壇に供える。		廣田	盆(鶏丸ごと1羽入った碗1、卵5、餅5の入った碗1、米の入った袋)
429	11/18	10:49	招兵愿	上光接兵	盤栄富宅	祭壇正面	趙橋古	テキストを読誦。	A-32a	廣田	「住宅土地」の頁。
430	11/18	10:49	招兵愿	接三清	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを読誦。	不明	廣田	「黄衣対○白衣坐…」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
409	11/18	10:50	招兵愿	祭七星	盤栄富宅	入口右脇祭壇	盤保古	紙銭を積む。唱えごと。		廣田	
431	11/18	10:50	招兵愿	接三清	盤栄富宅	祭壇正面	盤喜古	テキストを誦誦。	不明	廣田	「大旗歌」の頁。
435	11/18	10:51	招兵愿	開天門／ 收蠶	盤栄富宅	戸外	趙金付	師棍の先端に紙銭を挿し入口外左手の祭壇に向かい師棍を突き立て唱えごと。		廣田	
436	11/18	10:52	招兵愿	開天門／ 收蠶	盤栄富宅	戸外	趙金付	師棍の先端の紙銭に左手祭壇の灯明から火を点けて回す。		廣田	
437	11/18	10:53	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	しゃがんで卦。		廣田	
438	11/18	10:53	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	紙銭を師棍の先から外す。		廣田	
439	11/18	10:53	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	師棍を三脚に立てかけて卦。		廣田	
440	11/18	10:54～ 10:55	招兵愿	開天門／ 勅水	盤栄富宅	戸外	趙金付	水碗をもち、剣で水の上に符を描く。罡歩。水をはじく。卦。唱えごと。		廣田	
441	11/18	10:55	招兵愿	開天門／ 勅水	盤栄富宅	戸外	趙金付	水碗をもち、剣に水を付け、戸口脇の祭壇下に置かれた五穀の束に符を描き、清める。唱えごと。		廣田	
442	11/18	10:55～ 10:56	招兵愿	開天門／ 勅水	盤栄富宅	戸外	趙金付	水碗をもち、剣に水を付け、戸口脇の祭壇上の竹筒に挿された招兵旗に符を描き、清める。口に水を含んで吹く。卦。唱えごと。		廣田	
443	11/18	10:56～ 10:57	招兵愿	開天門／ 勅水	盤栄富宅	戸外	趙金付	水碗をもち、剣に水を付け、五穀樹に符を描き、清める。罡歩。卦。唱えごと。		廣田	
444	11/18	10:57～ 10:59	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外	趙金付	五穀の束をくくり、重さを量る。唱えごと。		廣田	
445	11/18	10:59～ 11:00	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	紙銭を取り出し、祭壇前に積む。唱えごと。		廣田	
446	11/18	11:01	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	罡歩。手を広げる所作。唱えごと。		廣田	
447	11/18	11:02	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	卦。唱えごと。		廣田	
448	11/18	11:03	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	もう1度五穀の束を秤に掛けてもつ。その時紙銭を丸める。唱えごと。		廣田	
449	11/18	11:03～ 11:04	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	秤と五穀を算の上に再び置き、しゃがんで紙銭を丸める。唱えごと。		廣田	
450	11/18	11:04～ 11:06	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	家先単を読み、紙銭を丸めてもつ。唱えごと。卦。		廣田	唱えごとに“鬼”と聞こえる部分あり。
451	11/18	11:06～ 11:07	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	紙銭を五穀に付ける。量る。唱えごと。		廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
452	11/18	11:08	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外左側祭壇脇	趙金付	しゃがんで卦。		廣田	
454	11/18	11:08～ 11:09	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左側祭壇	趙金付	五穀樹からも重さを加えるような所作。唱えごと。もう1度量る。		廣田	
453	11/18	11:10	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左側祭壇	趙金付	もう1度五穀樹から重さを加えるような所作。唱えごと。もう1度量る。		廣田	
455	11/18	11:11～ 11:12	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左側祭壇	趙金付 盤栄富	五穀を天秤ごとと盤栄富に担がせて入口に立たせる。 趙金付は左手に水碗をもち、右手にもつた剣に水を付ける。盤栄富の背後から剣で符を描き、清める。唱えごと。		廣田	
456	11/18	11:12	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左側祭壇	趙金付 盤栄富	水碗と剣を戸外入口左の祭壇に置き、盤栄富の背後で数種の手訣を組む。		廣田	
457	11/18	11:12	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸外入口左側祭壇	趙金付	戸外左手の祭壇上で卦。唱えごと。		廣田	
458	11/18	11:12～ 11:13	招兵愿	開天門／ 招五穀魂	盤栄富宅	戸口	趙金付	五穀樹の方を向き五穀樹に触れ、唱えごと。戸口の方を向き散米。また五穀樹の方を向き五穀樹に触れ、唱えごと。戸口の方を向き散米。		廣田	
459	11/18	11:13～ 11:15	招兵愿	開天門／ 送五穀魂	盤栄富宅	戸口	趙金付 盤栄富 弟子(趙桂仔)	弟子が師棍を盤栄富の右肩に置き、五穀に挿して担がせる。後ろに回り一緒に担いで家に入り、庁堂に置く。右手の倉庫に行き、盤栄富は桶に五穀を入れる。趙金付は唱えごと。		廣田	
460	11/18	11:17	招兵愿	開天門／ 送五穀魂	盤栄富宅	戸口	趙金付 盤栄富 弟子(趙桂仔)	師棍に五穀を載せ、盤明古と趙子清が担ぐ。 趙金付は五穀樹の方を向いてしやがみ、家先単を読んで卦。		廣田	盤明古が前、その後ろに趙子清。
461	11/18	11:17	招兵愿	開天門／ 送五穀魂	盤栄富宅	戸口	趙金付 趙子清 盤明古	戸口で五穀を師棍に掛け盤明古と趙子清が担ぐ。 趙金付は唱えごとをして米を2人に向かって撒く。		廣田	盤明古が前、その後ろに趙子清。
462	11/18	11:17	招兵愿	開天門／ 送五穀魂	盤栄富宅	家堂右の2階への上り口	趙子清 盤明古 盤明古夫人	五穀を夫人に渡し、夫人は2階へ移動。		廣田	
463	11/18	11:18～ 11:21	招兵愿	開天門／ 送五穀魂	3受礼者宅	盤栄富宅戸口から3受礼者の家	盤継生 趙桂仔 盤新富 趙子清 盤認仔 趙橋古 趙金付	五穀に師棍を掛けて受礼者と弟子が担ぎ、各自の家に行き、穀物を貯蔵する桶等に五穀を入れる。		廣田	受礼者が前、その後ろに弟子。

9. 種別 祭禮 和序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
464	11/18	11:23	招兵願	開天門	3 受礼者宅	戸外	趙金付	戸外左側の祭壇から兵旗を取り、開天門の板の上に乗り、唱えごと。		廣田	
465	11/18	11:24	招兵願	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	開天門の板の上に乗ったまましゃがんで卦。		廣田	
466	11/18	11:25～ 11:26	招兵願	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	立ち上がり兵旗を回しつつ“東西南北収鬼”等と唱える。しゃがんで卦。また立ち上がったって唱える。 11:26 からリズムを変えフシをつけて唱える。		廣田	
467	11/18	11:26	招兵願	祭七星	盤栄富宅	入口入って 右側祭壇	盤保古	赤い短冊の紙に何か書く。		廣田	祭壇上には茶7、水1、のりなどの入った碗、線香と灯明の置かれた碗、茶を入れた水差し、酒を入れた水差し、紙銭が見える。
468	11/18	11:26	招兵願	上光接兵	盤栄富宅	正面祭壇前	弟子 盤喜古	盤喜古はフシをつつけて唱える。 弟子は鈴を振る。		廣田	
469	11/18	11:27～ 11:31	招兵願	開天門/ 招兵旗	盤栄富宅	戸外	趙金付	開天門の板の上に乗り、しゃがんで卦。立て旗を振り、唱える。米を家に向かつて撒く。家先単を使う。家先単を見て兵旗を分ける仕草。		廣田	フシをつけて唱える時とフシをつけない時がある。
470	11/18	11:32	招兵願	開天門/ 分兵旗	盤栄富宅	戸外左側祭壇	趙金付	旗をもう1度竹筒に戻し入れる。米を取る。		廣田	
471	11/18	11:33	招兵願	開天門/ 分兵旗	盤栄富宅	戸口	盤栄富 趙金付	趙金付は盤栄富に兵旗の入った竹筒を渡し、家に向かつて米を撒く。		廣田	
472	11/18	11:33	招兵願	開天門/ 分兵旗	盤栄富宅	戸口	盤明古 趙金付	趙金付は盤明古に兵旗の入った竹筒を渡し、家に向かつて米を撒く。		廣田	
473	11/18	11:33	招兵願	開天門/ 分兵旗	盤栄富宅	祭壇正面	盤栄富 弟子 趙子清	共に祭壇に向かい礼をして竹筒を祖先壇に置く。 趙子清は粟の穂をもつ。		廣田	
474	11/18	11:33	招兵願	開天門/ 分兵旗			盤明古	やはり祖先壇に竹筒を置く。		廣田	
475	11/18	11:34～ 11:41	招兵願	開天門/ 收兵	盤栄富宅	戸口	趙金付	外に向かつてしゃがみ、祖先単を見つつ紙銭を丸める。紙は5本分丸める。唱えごと。“東西南北の鬼”を集める。卦。丸めた紙銭の上にもう1枚重ねて丸める。5本とも同じようにする。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
476	11/18	11:42～ 11:43	招兵愿	上光／ 棗兵	盤栄富宅	祭壇正面	盤保古 盤明古 盤継生 盤認仔 盤新富 弟子3人	盤保古は唱える。 師棍をもった盤明古を中心に弟子と受礼 者は棗標をもって並び、盤明古に棗標を 渡す。		廣田	
477	11/18	11:43～ 11:45	招兵愿	開天門／ 収兵／ 分兵	盤栄富宅	戸口	趙金付	家先単に書かれた受礼者の法名を確認し ながら唱えごと。卦。剣に紙銭を丸めた ものを結ぶ。		廣田	
478	11/18	11:45	招兵愿	開天門／ 分兵	盤栄富宅	戸口左脇祭 壇	趙金付	紙銭を丸めたものを残っていた兵旗を入 れた竹筒3本と大きな竹筒に入れる。		廣田	
479	11/18	11:46～ 11:54	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	三脚の鉄皿に紙銭を重ねて燃やす。何回 も卦。		廣田	
481	11/18	11:47～ 11:56	招兵愿	送五穀魂	盤栄富宅	戸口左脇祭 壇	盤保古	紙銭を燃やし、太鼓を叩き、テキストを 読む。	A-32a	廣田	「串銭童子稗来」「李十六」 「李十一呪」「北斗呪」「領 銭呪」前まで。
480	11/18	11:56	招兵愿	送五穀魂	盤栄富宅	戸口左脇祭 壇	盤保古	献酒。		廣田	
482	11/18	11:56	招兵愿	送五穀魂	盤栄富宅	戸外	趙金付	開天門の板の上に立ち、角笛を吹く。“三 声～”フシをつけて唱える。繰り返す。		廣田	
483	11/18	11:57	招兵愿	送五穀魂	盤栄富宅	戸口左脇祭 壇	盤保古	卦。		廣田	
484	11/18	11:58～ 12:01	招兵愿	開天門	盤栄富宅	戸外	趙金付	開天門の板の上に立ち、手訣。唱えごと。 しやがんで卦。立ち上がって右手に剣、 左手に角笛をもって吹く。しやがんで卦。		廣田	
485	11/18	12:02	招兵愿	帯兵	盤栄富宅	戸外	趙金付	剣を背中に挿す。唱えごと。		廣田	
486	11/18	12:02	招兵愿	拝天門				開天門の板の上に立ち、師棍と角笛を両 手で水平にもつ。唱えごと。		廣田	
487	11/18	12:06～ 12:08	招兵愿	引帯五穀幡	盤栄富宅	戸外～庁堂	盤栄富 趙金付	趙金付は師棍と角笛をもって先導して家 に入る。 盤栄富が五穀樹をもって家の中に入る。 庁堂右正面角に立てる。		廣田	
488	11/18	12:08～ 12:09	招兵愿	賀兵	盤栄富宅	祭壇正面	弟子 趙柱仔 趙子清	紅衣を着、大尉の面を顔につけ、羅帯を 巻き、正装をして右手に鈴、左手に笏を もって舞う。		廣田	
489	11/18	12:08～ 12:09	招兵愿	樹五穀幡			盤明古 馮基華	盤明古も五穀樹を庁堂に運び入れ、左正 面角に立てる。 厨官が手伝う。		廣田	

9. 種別祭禮之順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
490	11/18	12:09 ~ 12:17	招兵愿	踢兵回壇	盤栄富宅	祭壇正面	趙金付 盤保古 弟子	趙金付と盤保古は種々な五穀兵の到来を表現しつつ何回も行ったたり来たりする。最後に剣を足に載せて蹴り上げ家先壇に入れる。家先壇下に背に当てていた白布を広げ唱えごと。師棍をもってひざまずき、礼。紅衣を脱ぐ。 その間弟子は鈴を振る。		廣田	趙金付は右の盤栄富の家先壇前、盤保古は左の盤明古の家先壇前。
491	11/18	12:42	招兵愿	領席(賞席)	盤栄富宅	戸口左脇祭壇	趙金付	大振りの鉢に卵、鶏肉などを入れ、箸8、酒盃8を置いて唱える。献酒。		廣田	
492	11/18	14:23	招兵愿	引帯	盤継生宅	庁堂	受礼者たち 師父たち 弟子たち 囃子方	盤栄富宅戸外に置かれていた五穀樹を盤継生が運び、庁堂左角に置く。 受礼者たちが片付けける。 弟子、師父たち及び囃子方も同行する。		廣田	
493	11/18	14:26 ~ 14:33	招兵愿		盤継生宅	庁堂	趙金付 趙桂仔 趙子清 趙書古 盤保古 囃子方	趙金付は祖先壇前で五穀兵の到来を表現しつつ行ったり来たりを繰り返す。 趙桂仔と趙子清は太尉面をつけ、左手に笏、右手に鈴をもつて鈴を振ったり肩を組んで舞ったりする。 盤書古は家先単を戻しつつ唱えごと。 盤保古は紙銭の束を積む。 趙子方はソーナ等を鳴らす。 趙金付は足の甲に剣を載せて蹴り上げ、剣を祖先壇に入れる。祖先壇下に白布をあてて祈る。		廣田	
494	11/18	14:35 ~ 14:36	招兵愿		盤認仔宅	庁堂	盤保古	祖先壇上の酒盃に献酒。唱えごと。紙銭の束を1つずつ祖先壇に置く。		廣田	
495	11/18	14:37	招兵愿		盤認仔宅	庁堂	盤認仔 受礼者たち 師父たち	盤認仔は五穀樹を運び入れ、庁堂左角に置く。 受礼者が片付ける。 趙金付、弟子もやってくる。 竹筒に入れた兵旗が祖先壇に置かれる。		廣田	
496	11/18	14:37 ~ 14:45	招兵愿		盤認仔宅	庁堂	趙金付 趙桂仔 趙子清 趙子方 趙書古 盤保古 盤認仔	趙金付は祖先壇前で五穀兵の到来を表現しつつ、行ったり来たりを繰り返す。 趙桂仔と趙子清は鈴を振ったり、肩を組んで舞ったりする。 趙金付は足の甲に剣を載せて蹴り上げ、剣を祖先壇に入れる。祖先壇下に白布をあてて祈る。 盤子方はソーナ等を鳴らす。 盤書古は唱えごと。 盤保古も唱えごと。 盤認仔は最後にひざまずき、祖先壇に向かっけて礼拝。 趙金付はかぶり物を取り、紅衣を脱ぐ。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
497	11/18	14:47	招兵愿		盤新富宅	庁堂 祖先壇前	盤保古	盤保古は家先単を見つつ唱えごと。		廣田	
498	11/18	14:47	招兵愿		盤新富宅	庁堂	趙金付 趙桂仔 盤保古 盤喜古	趙金付は紅衣を着て正装をする。 趙桂仔・趙子清は鈴を振る。 盤保古は家先単を見つつ唱えごと。 盤喜古は唱えごと。		廣田	趙桂仔・趙子清は帽子太尉 面頭に羅帯を巻き、紅衣の 正装。
499	11/18	14:48～ 14:49	招兵愿		盤新富宅	戸口～庁堂	盤新富	五穀樹を運び入れ、庁堂左角に設置する。		廣田	爆竹が鳴らされる。
500	11/18	14:50	招兵愿		盤新富宅	祖先壇上				廣田	竹筒に挿された兵旗、丸め られた紙銭、卵の碗、酒盃 5、米の袋、香炉に線香、 蠟燭、鶏の入った碗、酒入 のヤカン、ソーナ。
501	11/18	14:50～ 14:54	招兵愿		盤新富宅	庁堂 祖先壇前	趙金付 盤保古 趙桂仔 趙子清	祖先壇前で五穀兵の到来を表現しつつ、 行ったり来たりを繰り返す。 盤保古はしゃがんで家先単を見つつ唱え ごと。さらに紙銭の束を家先壇に置く。 卦。家先壇を祖先壇に置く。 趙桂仔と趙子清は鈴を振ったり、肩を組 んで舞ったりする。		廣田	白布と剣は祖先壇下に置か れている。
502	11/18	14:55～ 14:56	招兵愿		盤新富宅	庁堂 祖先壇前	趙金付 受礼者	趙金付は足の甲に剣を載せて蹴り上げ、 剣を祖先壇に入れる。 剣は受礼者によって香炉に挿される。 趙金付は祖先壇下に白布をあてて祈る。 その後紅衣を脱ぎ、神頭を外す。		廣田	
503	11/18	15:04			盤栄富宅	庁堂 祖先壇前		盤栄富宅へ帰る。		廣田	祖先壇上には、竹筒に兵旗 と紙銭を丸めたもの（五穀 兵）、香炉（家神兵）、鶏1 羽を入れた碗、卵を入れた 碗、米の袋、酒盃5、水盃1、 灯明盃1、紙銭の束、家先 単を入れる竹筒等が置かれ ている。
504	11/18	15:06～ 15:26			盤栄富宅	戸外	馮栄軍 馮基華	豚のかごを蔓で作る。 馮基華は15:17にドラを叩く。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
505	11/18	15:30	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	各自ターバンをつけ直し、居ずまいを正す。 趙金付は祭壇正面右側に座り、フシをつけて唱える。 盤保古は庁堂中央の机の上にテキストを広げて座り、フシをつけて読誦。 盤喜古は庁堂左側にいる盤保古の後ろに座り、テキストを広げてフシをつけて読誦。		廣田	庁堂中央机の上には箕の上に碗10、馬丁形に酒盃8。
506	11/18	15:33	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「接大三清兵」部分。
507	11/18	15:33	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「太上老君」部分。
525	11/18	15:34	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「〔こざとへん+念〕(陰)陽師付〇〇清～」の頁。
553	11/18	15:34	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂	趙金付 趙柱仔 趙子清	趙金付は祭壇正面右側に座り、フシをつけて唱える。 弟子は正装し、立って鈴を振る。		廣田	
526	11/18	15:35	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「玉皇頭戴天平帽～」の頁。
508	11/18	15:35	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「黄安歌」部分。
509	11/18	15:36	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「甲辰之年我出世～」の頁。
527	11/18	15:37	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「聞説今朝有相請～」の頁。
510	11/18	15:38	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「又玉皇歌」の頁。
528	11/18	15:39	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「又請下壇歌」の頁。
511	11/18	15:40	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「聖主歌」の頁。
529	11/18	15:41	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「紫雲不是〇相請～」の頁。
512	11/18	15:41	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「張天師」の頁。
530	11/18	15:43	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「蛋家打網灘頭立～」の頁。
513	11/18	15:43	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「観音歌」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
514	11/18	15:45	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「聞説今朝有状請～」の頁。
531	11/18	15:45	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「盤王歌」盤古出世是何日の頁。
515	11/18	15:46	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「大旗頭歌」の頁。
532	11/18	15:47	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「請灶王歌」の頁。
516	11/18	15:47	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「大旗頭歌」の頁。
517	11/18	15:48	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「麒麟獅子」の頁。
533	11/18	15:49	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「請住宅土地」の頁。
518	11/18	15:49	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「犀牛出世」の頁。
534	11/18	15:50	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「請祖宗○○」「請家先歌」の頁。
519	11/18	15:51	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「猛虎出世」の頁。
535	11/18	15:51	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「請祖宗○○」「請家先歌」の頁。
520	11/18	15:52	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「毒蛇出世」の頁。
536	11/18	15:53	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「請公王歌」の頁。
521	11/18	15:54	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「白馬出世」の頁。
537	11/18	15:55	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「請仙娘歌」「請天堂○歌」の頁。
522	11/18	15:55	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「白鶴出世」の頁。以降読誦の部分戻つからず。別のテキストになる。
538	11/18	15:57	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「大道原来龍○状～」の頁。
539	11/18	15:59	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「一歳不吃爺娘奶飯～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
523	11/18	16:00	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「天府歌」「地府」「陽間」の頁。
540	11/18	16:01	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「上界之人無世界～」の頁。
524	11/18	16:02	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 左脇	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「水府歌」「公王歌」の頁。
541	11/18	16:03	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「又接三廟王」の頁。
542	11/18	16:03	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「出世遊師先出世～」の頁。
554	11/18	16:04	還招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 趙子清	弟子は椅子に腰掛けて鈴を振る。		廣田	
543	11/18	16:05	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「太白星君孤自座～」の頁。
544	11/18	16:06	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「太白星君孤自座～」の頁。
545	11/18	16:06	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-23	廣田	「聞説今朝有相請～」の頁。
546	11/18	16:08	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	テキストを見ずにそらでフシをつけて唱える。 弟子は左手に笏、右手に鈴をもって舞う。 盤喜古はドラを打つ。その後盤喜古はテキストを見ずにそらでフシをつけて唱える。	Z-23	廣田	「車字裡須漆刀字～」「献三清」の頁。
555	11/18	16:10	還招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 趙子清 盤喜古			廣田	
548	11/18	16:13	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	これまでとは別のテキストト。「請上元二聖」の頁。
547	11/18	16:14	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	最終行「五百有錢去買馬～」の頁。
549	11/18	16:16	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「買得牯牛三百[佳+双]～」の頁。
550	11/18	16:17	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「又把牛脚○架～」の頁。
551	11/18	16:18	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	盤喜古はそらで唱えごとをし、それを受けて盤喜古が唱えごとをする。	A-11	廣田	「不怕爺娘兄弟衆～」の頁。 問答のよう。
556	11/18	16:20	還招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 趙子清 盤喜古	弟子は左手に笏、右手に鈴をもち交差して舞う。 盤喜古はドラを打つ。		廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
557	11/18	16:21～ 16:24	還招兵愿		盤栄富宅	祭壇正面	趙桂仔 趙子清 盤喜古	弟子は師棍をもち、交差して舞う。 盤喜古はドラを打つ。 盤喜古は盤保古の唱えごとを受けて問答をすするよりに唱える。 それを受けて弟子は笑う。 盤喜古のドラに合わせて弟子が舞う。		廣田	問答のような唱えごととは5回くらい繰り返される。
552	11/18	16:24	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「不怕爺娘兄弟衆～」の頁。
558	11/18	16:25 ～16:27	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	趙桂仔 趙子清	弟子は師棍を机に立て掛け机前に立つ。 指を動かす。		廣田	
559	11/18	16:25	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「老君便把魯班門前過～」の頁。
560	11/18	16:26	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「出世未曾大話～」の頁。
561	11/18	16:28	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「請七官」の頁。
562	11/18	16:29	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「○邊便是你○邊～」の頁。
1188	11/18	16:30	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「當初細々肚其其～」の頁。
1189	11/18	16:31	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「當初細々肚其其～」 「大唱歌」前までの頁。
563	11/18	16:32	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙桂仔 趙子清	盤喜古のドラに合わせて弟子は師棍をもち舞う。		廣田	
564	11/18	16:34	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙桂仔 趙子清 盤保古	弟子は師棍を水平にもち師棍の先を中央机に向けるように立つ。 盤保古がそらで唱えるところを受けて盤喜古が唱える。		廣田	問答のよう。
565	11/18	16:35	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙桂仔 趙子清 盤保古	盤喜古のドラに合わせて弟子は師棍をもち舞う。 盤保古がそらで唱え、それを受けて盤喜古がそらで唱える。 弟子は師棍を水平にもち、先を祭壇正面に向けて立つ。		廣田	問答のような唱えごととは5回くらい繰り返される。
566	11/18	16:35	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙桂仔 趙子清 盤保古	弟子は笹を庁堂中央の机の上の箕に入れる。		廣田	

9. 神樂舞儀式順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
567	11/18	16:36	還招兵愿		盤栄富宅	台所	趙桂子 趙子清 厨官	弟子は豆腐を取りに台所に行き、鈴に入れてもらいもち帰る。		廣田	
568	11/18	16:37	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	趙桂子 趙子清	弟子は豆腐をちぎり、箕に置く。		廣田	
569	11/18	16:37	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机前	盤保古	テキストを読誦する。	A-11	廣田	「家主奉還何物道位～」の頁。
570	11/18	16:37	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂	盤保古 盤保古 趙桂子 趙子清	盤保古はそらで唱える。 盤保古は續けてそらでフシをつけて唱える。 弟子は祭壇正面に向かい師根を立ててもって立つ。		廣田	盤保古と盤保古の唱えごと は問答のよう。
571	11/18	16:39	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂子	笏に酒を付けて振る。		廣田	
572	11/18	16:40	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	テキストを唱える。	A-11	廣田	「上面高棹献了衆聖～」の頁。
573	11/18	16:40	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂子 趙子清	祭壇に向かつて立つ。		廣田	
574	11/18	16:40～ 16:41	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	趙桂子 趙子清 盤保古	趙桂子は卦を繰り返す。 盤保古は唱えごと。テキストを開く。	A-11	廣田	「上面高棹献了衆聖～」の頁。
575	11/18	16:43	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂子 趙子清 趙金付	祭壇に向かつて立ち、鈴を振る。 趙金付はそらでフシをつけて唱える。		廣田	
576	11/18	16:46	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	テキストを読誦。	A-11	廣田	「上面高棹献了衆聖～」の頁の続き。
577	11/18	16:46	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	テキストを読誦。	A-11	廣田	「地府一界金剛坐神～」の頁。
579	11/18	16:47	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古 趙金付	趙金付の指摘により頁を改める。テキストをフシをつけて読誦。 趙金付は一緒にそらでフシをつけて唱える。献酒。	A-11	廣田	「陽府功曹奏落陽間殿～」の頁。
578	11/18	16:48～ 16:49	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤保古	趙金付は紅衣を着る。帽子神頭をつける。 盤保古は中央机のところでフシをつけてそらで唱える。		廣田	
580	11/18	16:53～ 16:56	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙桂子 趙子清 盤保古	家先串を開き、左手に笏をもち、右手でもった鈴を早く振り、早口で唱える。 盤保古は中央机のところでフシをつけてそらで唱える。 弟子はゆつくり鈴を振る。左手に師根をもち、右手にもった鈴を振り、交差して舞う。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
581	11/18	16:57	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	家先単を見ながら唱える。右手で鈴を振る。		廣田	
582	11/18	16:58	還招兵愿		盤栄富宅	中央机	盤保古	唱える。卦。		廣田	
583	11/18	16:58～ 16:59	還招兵愿		盤栄富宅	中央机	盤保古 趙子清	盤保古はそらでフシをつけて唱える。 趙子清は机の上の碗盃に献酒。		廣田	
584	11/18	16:59	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇	趙桂仔 趙金付	趙桂仔は祭壇上の酒盃に献酒。 趙金付は鈴を振って早口で唱える。		廣田	
585	11/18	17:01	還招兵愿		盤栄富宅	中央机	趙桂仔 趙子清 盤保古	弟子は机の上の碗盃に献酒。 盤保古はそらでフシをつけて唱える。		廣田	
586	11/18	17:02～ 17:03	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇	趙桂仔 趙子清 趙金付 盤保古	趙金付は鈴を振り、早口で唱える。家先 単を誦む。 祭壇上の酒盃に献酒。		廣田	
587	11/18	17:03	還招兵愿		盤栄富宅	中央机	趙子清 盤保古	趙子清は机の上の碗盃に献酒。 盤保古はそらでフシをつけて唱える。		廣田	
588	11/18	17:04～ 17:05	還招兵愿		盤栄富宅	中央机	趙桂仔 趙子清 盤保古 盤喜古	趙桂仔と趙子清は机の上の碗盃に献酒。 盤保古は家先単を見ながらゆくりとし たフシで唱える。 盤喜古もフシをつけて唱える。		廣田	
589	11/18	17:06～ 17:07	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇	趙金付	左手に笏、右手に鈴をもち、そらで唱え る。礼。左手に鈴をもち、家先単を見つ つ右手で卦。		廣田	
590	11/18	17:07～ 17:08	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	唱えごとをししながら祖先壇の酒盃に献 酒。		廣田	
591	11/18	17:12	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古 趙子清 趙桂仔	盤保古はフシをつけて“招兵”を唱えて いたが、早口で唱えるようになり、卦。 趙子清は眞の酒の酒を片付ける。中 断。 趙桂仔は紙銭を積む。		廣田	
592	11/18	17:14～ 17:15	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	家先単を見ながら唱える。		廣田	
593	11/18	17:16～ 17:17	還招兵愿		盤栄富宅	祖先壇	盤保古	中央机上の酒盃を祖先壇へ置く。		廣田	
594	11/18	17:17	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机～ 祖先壇	盤保古	酒盃をもち、フシをつけて唱えごとをす る。その後祖先壇へ置く。		廣田	3 盃分繰り返す。
595	11/18	17:18～ 17:20	還招兵愿		盤栄富宅	戸外	弟子 受礼者	受礼者に眞の上の碗の酒を飲ませる。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
596	11/18	17:21	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	趙金付は紙銭の束を積む。 趙橋古が手伝う。		廣田	紙銭の束 (60、120)
597	11/18	17:22	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	家先単を見つつ、紙銭を1枚ずつ積む。 唱えごと。神の名を唱えつつ“撒飯”。		廣田	
598	11/18	17:22	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂左側	盤栄古 趙柱仔	盤栄古は家先単を見つつ唱えごと。 趙柱仔は1枚ずつ紙銭を積む。		廣田	
599	11/18	17:23	還招兵愿		盤栄富宅	戸外	趙子清	弟子は人々に酒を振る舞う。		廣田	
600	11/18	17:25～ 17:26	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	紙銭を1枚ずつ積む。唱えごと。卦。		廣田	
601	11/18	17:26	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-24	廣田	「請師到〇〇愿、俵你門年 五穀黄禾十三番～」の頁。
602	11/18	17:28	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-24	廣田	「香壇裡内相逢座～」の頁。
603	11/18	17:28～ 17:29	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	家先単を見つつ唱えごとをし、紙銭の束 を積む。卦。		廣田	
604	11/18	17:29	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	家先単を見つつ唱えごとをし、紙銭の束 を積む。卦。		廣田	
605	11/18	17:30	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-24	廣田	「我今借盃主人〇〇〇老師 吃一種～」の頁。
606	11/18	17:31	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-24	廣田	「帯個菓填婦付子～」の頁。
607	11/18	17:31～ 17:32	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	紙銭の束を積む。唱えごと。		廣田	
608	11/18	17:32	還招兵愿		盤栄富宅	庁堂 中央机	盤保古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-24	廣田	「帯個菓填婦付子～」の頁。
609	11/18	17:36	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	立ってフシをつけてテキストを読誦。笏 を右手にもち、祖先壇に向かって左右に 動かす。この時フシをつけずに唱える。	A-11	廣田	フシをつけての唱えごとと フシをつけない唱えごととを 交互に行なう。 「唱還愿歌」の頁。
610	11/18	17:36～ 17:37	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	フシをつけてテキストを読誦。	A-11	廣田	「簿書寛々殿上坐～」の頁。
611	11/18	17:37	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	笏を右手にもち、祖先壇に向かって左右 に動かす。		廣田	
612	11/18	17:38～ 17:39	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	フシをつけてテキストを読誦。 笏を右手にもち、左右に動かす。	A-11	廣田	「當初許愿請師許～」から 「又招兵歌」の前までの頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
613	11/18	17:40～ 17:45	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	紙銭を丸めたものを祖先壇から下ろしてひさますき、積んだ紙銭の上に紙銭を敷き、その上で紙銭を丸めたものを細かくする。唱えごと。卦をもちさらに粉々にした物を紙銭に包んでおく。卦。		廣田	唱えごとは“三清、上壇下壇〇念”(丸山)
614	11/18	17:46	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	立ち上がって紅衣を脱ぐ。		廣田	
615	11/18	17:46	還招兵愿		盤栄富宅	正面祭壇前	趙子清	箕、酒を入れた水差しを片付ける。		廣田	
616	11/18	19:19	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華	ドラを叩く。		廣田	
617	11/18	19:21	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	酒盃を2つもって唱えごと。		廣田	
618	11/18	19:21～ 19:22	大運銭		盤栄富宅	庁堂 中央机	趙金付	フシをつけてテキストを読誦。 箕の筥を祭壇方向へ投げる。	A-11	廣田	「七星明月歌～」の頁。
619	11/18	19:23	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 馮基華	馮基華が塩信をもって来て趙金付の確認を取った上で紙銭の山の上に載せる。		廣田	塩信(招兵師・法明金付)
620	11/18	19:23～ 19:24	大運銭		盤栄富宅	中央机～ 正面祭壇	趙金付	テキストを読誦。	A-11	廣田	「去時有功帰有償～」の頁。
621	11/18	19:24	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇～ 中央机	盤保古	中央机の方を向き、酒盃を2つもち、唱えごと。		廣田	
622	11/18	19:24～ 19:25	大運銭		盤栄富宅	中央机	趙金付	箕の上の碗を伏せる。		廣田	
623	11/18	19:25	大運銭		盤栄富宅	中央机	趙金付	箕の上の筥を紙銭の山に置く。		廣田	
624	11/18	19:27～ 19:28	大運銭		盤栄富宅	中央机	盤保古 盤喜古 趙金付	酒盃を左右の手にもち代わる代わる酒を入れる。フシをつけて唱えごと。最後に酒を飲む。		廣田	
625	11/18	19:28～ 19:29	大運銭		盤栄富宅	中央机	盤保古 盤喜古 趙金付	趙金付はフシをつけてテキストの読誦を続ける。	A-11	廣田	「去時有功帰有償～」の頁。
626	11/18	19:29	大運銭		盤栄富宅	中央机	盤保古 盤喜古 趙金付	趙金付はフシをつけてテキストの読誦を続ける。	A-11	廣田	「當初学法第一先～」の頁。
627	11/18	19:30	大運銭		盤栄富宅	中央机	盤保古 盤喜古 趙金付	趙金付はフシをつけてテキストの読誦を続ける。	A-11	廣田	「人不耕田一般過～」の頁。
628	11/18	19:32～ 19:33	大運銭		盤栄富宅	中央机	盤保古 盤喜古 趙金付	趙金付はフシをつけてテキストの読誦を続ける。	A-11	廣田	「師男便是雲(辺の力の面脇に点)月～」の頁。
629	11/18	19:33	大運銭		盤栄富宅	庁堂 中央机	趙金付	紙銭に火を点け箕の上の碗を清める。唱えごと。卦。		廣田	

9. 燗別強義礼和序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
630	11/18	19:39	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇	趙金付 盤喜古	紅衣を着て帽子・神頭・羅帯をつけ、正装する。		廣田	
631	11/18	19:39	大運銭		盤栄富宅	庁堂入口脇	囃子方	ソーナ・ドラ・太鼓・シンバルが鳴らされる。		廣田	
632	11/18	19:40～ 19:44	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤喜古 家族たち	趙金付と盤喜古は竹席を丸めて立たせ、その周りを回る。右手に笏をもち、竹席を打つ。 趙金付は左手にテキストをもって唱え、家族たちが庁堂に集まり始める。	A-11	廣田	唱えたのは「竹席出世」「賞浪兵頭」。家族たちは皆、エプロンをつけている。
633	11/18	19:45	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤喜古 家族たち	テキストを開いて祭壇に置く。 笏で竹席を打ちつつ竹席の周りで舞う。	A-11	廣田	「燈席出世」の頁。
634	11/18	19:45～ 19:50	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤喜古	趙金付は竹席を担ぎ、2人ともフシをつけてそらで唱え、祭壇に向かって舞った後、交差するなどして舞う。		廣田	
635	11/18	19:49～ 19:53	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	受礼者の生年等を書いた紅紙を笏に載せ、鈴を振りつつ三清像に近づけ、自然に貼り付くところに貼り付ける。		廣田	
636	11/18	19:51～ 19:52	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤喜古	竹席を祭壇前に敷き広げ、2人とも寧そべりつつ水碗の水を口にして吹き出す。卦。むしろを巻き上げる。フシをつけてそらで唱える。 盤喜古はむしろを担ぐ。		廣田	
637	11/18	19:54～ 19:56	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	受礼者の生年等を書いた紅紙を笏に載せ、鈴を振りつつ三清像に近づけ自然に貼り付くところに貼り付ける。		廣田	
638	11/18	19:54～ 19:56	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙金付	盤喜古は祭壇正面に向かって竹席を担ぎ、フシをつけてそらで唱える。 盤喜古が竹席を担ぎ2人で交差するようには舞う。 盤喜古は竹席を両手でもち、交差して舞う。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
639	11/18	19:57 ~ 20:02	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙金付	竹席を祭壇前に敷き広げ、2人とも腰そべりつつ水碗の水を口にして吹き出す。 卦。 むしろを巻き上げる。 趙金付がむしろを担ぐ。祭壇正面に向かかって2人ともフシをつけてそらで唱える。 2人が向かい合わせとなり、趙金付は竹席を担いだまま交差するように舞う。 趙金付は竹席を両手でもち、交差するよりに舞う。		廣田	
640	11/18	20:02 ~ 20:03	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙金付	竹席を祭壇前に広げ、2人とも腰そべりつつ水碗の水を口にして吹き出す。卦。		廣田	
641	11/18	20:03 ~ 20:04	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙金付 家族たち 離子方	2人は腰そべりつつのまま祭壇下から粟の穂を出し、後ろ向きに人々へ向かって投げつける。 人々はエプロンで受け止めようとする。		廣田	人々は大騒ぎ。 離子方の音も一段と大きくなる。
642	11/18	20:04	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙金付	2人でむしろを巻き上げる。 紅衣を脱ぐ。		廣田	
643	11/18	20:06 ~ 20:19	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤栄富 受礼者たち 趙桂仔 趙子清 趙橋古	盤栄富は師棍をもって立つ。 その周りを他の受礼者及び弟子がかごめのように手を繋いで回る。		廣田	ドラの音によって回る速さが変わったり逆向きに回ったりする。
644	11/18	20:06 ~ 20:19	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	盤栄富 受礼者たち 趙桂仔 趙子清 趙橋古	盤栄富は師棍をもって立つ。 その周りを他の受礼者及び弟子がかごめのように手を繋いで回る。		廣田	ドラの音によって回る速さが変わったり逆向きに回ったりする。
645	11/18	20:20 ~ 20:24	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 受礼者	盤明古は紙銭の山を庁堂中央に移動させる。 祖先壇に置かれていた紙銭の束を加える。 趙金付は冢先単を見つつ右手に卦をもち、唱えごと。 盤栄富の祖先壇から紙銭の束を下ろして加える。		廣田	
646	11/18	20:25 ~ 20:26	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙桂仔 趙子清	火をかける。 弟子は正装に着替える。太尉面をつける。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
647	11/18	20:26 ~ 20:33	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	趙金付は祭壇右脇にしゃがむ。そらで唱えごと。 盤保古は庁堂左脇に座り、太鼓を叩きつつフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 趙金付は唱えごと。家先単を見る。卦。	A-32a 不明	廣田	盤保古の読誦は「李十六呪」「李十二」「祖師呪」。 盤喜古の読誦は「大運銭三清」。
656	11/18	20:31 ~ 20:41	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂仔 趙子清	弟子は師棍を水平にして肩に担ぎ、右手に鈴をもって燃える紙銭の周りを回る。		廣田	師棍の上下に紙銭が撒かれ ている。
648	11/18	20:36	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「一来世得度銭使～」の頁。 「大運銭歌」
649	11/18	20:36	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤保古はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「紙馬呪」「納銭呪」の頁。
650	11/18	20:37	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤保古はフシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「領銭呪」の頁。
651	11/18	20:37	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「木橋元在木坑出～」の頁。 「大運銭歌」
652	11/18	20:39	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤保古は右手に角笛、左手にテキストをもつて立つ。フシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「運銭呪」の頁。
653	11/18	20:39	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤喜古は右手に角笛、左手にテキストをもつて立つ。フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「鉄橋原在鉄坑出～」の頁。 「大運銭歌」
655	11/18	20:40	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤喜古は右手に角笛、左手にテキストをもつて立つ。フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「玉皇問你銭几貫～」の頁。 「大運銭歌」
654	11/18	20:42	大運銭		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤喜古	盤喜古は右手に角笛、左手にテキストをもつて立つ。フシをつけてテキストを読誦。唱えごと。	不明	廣田	「仙娘出世」前まではフシあり。その後はそらで唱えごと。
657	11/18	20:44 ~ 20:48	大運銭		盤栄富宅	庁堂～ 戸外	趙桂仔 趙子清 趙金付 盤喜古	弟子は師棍を水平にして肩に担ぎ、右手に鈴をもって戸外へ出る。世を拾ってから戸口の内外と外で問答をする。その後家に入る。	不明	廣田	問答は、内が趙金付、外が盤喜古。 盤喜古の手にあるテキストは「仙娘出世」の頁が開か れている。



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
658	11/18	20:48～ 20:56	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂仔 趙子清 趙金付 盤喜古	趙金付はフシをつけてテキストを読誦。 その後そらでフシをつけて唱える。 弟子は師棍を左手でもち、右手にもった 鈴を鳴らしながら燃やした紙銭の周りを ドラに合わせて舞う。 盤喜古はフシをつけてそらで唱える。	A-11	廣田	趙金付の読誦は「又修斎歌」 「賞師歌」の頁。
659	11/18	20:56～ 20:57	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂仔 趙子清	弟子は紙銭の灰を拾い祭壇に置く。 灰の周りで衣を翻して舞う。		廣田	
660	11/18	20:58	大運銭		盤栄富宅	庁堂左側	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「賞師歌」から。
661	11/18	20:58	大運銭		盤栄富宅	庁堂左側	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「鳴角声々不舌叫～」の頁。
665	11/18	20:59～ 21:02	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂仔 趙子清 趙金付	弟子は酒盃に酒を入れて笏に載せ鈴を振 る。 趙金付はフシをつけてそらで唱える。		廣田	
662	11/18	21:00	大運銭		盤栄富宅	庁堂左側	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「脱童歌」の頁。
663	11/18	21:04	大運銭		盤栄富宅	庁堂左側	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「去時得見人種田～」の頁。
664	11/18	21:07	大運銭		盤栄富宅	庁堂左側	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	不明	廣田	「你把脚魂交付我～」の頁。
666	11/18	21:08～ 21:09	大運銭		盤栄富宅	正面祭壇前	趙桂仔 趙子清 趙金付	弟子は笏を後ろに落とす。祭壇に礼拝。 紅衣を脱ぐ。 趙金付は早口で唱える。		廣田	
667	11/18	21:29～ 21:33	送孤神		盤栄富宅	戸外	盤喜古 趙桂仔	盤喜古は戸外の田んぼの端に線香3を挿 し、酒盃1を置く。紙銭を燃やし、紙銭 を積みながら唱える。しゃがみつつ卦。 趙桂仔は師棍をもって立つ。		廣田	
668	11/18	21:30～ 21:31	監牲		盤栄富宅	戸外	馮基華 弟子	豚を運ぶ。		廣田	屠殺風景の写真なし
669	11/18	21:50～ 21:51	謝師		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	残った紙銭を燃やす。唱えごと。		廣田	
670	11/18	21:59～ 22:01	謝師		盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	唱えごと。献酒。紙銭をくべる。		廣田	
671	11/18	22:32～ 23:37			盤栄富宅	庁堂入口左	趙金付	切り紙をする。		廣田	
672	11/18	22:37～ 22:49	監香		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古 趙子清	線香に火を点す。フシをつけて唱えごと。 弟子は鈴を振る。紙銭を燃やす。		廣田	
673	11/18	22:51～ 23:05	收聖		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古 趙子清	神画を下ろす。神画を重ねて巻いて布で 包み、紐でくる。		廣田	

9. 種別祭儀礼順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
674	11/19	06:33 ~ 07:01	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	馮基華	厨官が作業開始。祭壇に豚の全身の姿となるよう豚の頭部・内臓・足・血の桶等を配置する。 厨官が祖先壇上の卵・鶏肉・米を下ろし、それぞれタンスの上・台所祭壇上に置く。		廣田	
675	11/19	07:13	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古 趙桂仔	豚の上になまきを載せ、その上に旗を飾る。		廣田	
676	11/19	07:14	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	馮基華	手伝いの女性（盤明古の妻）と一緒に酒入りのかめを祭壇の下へ置く。		廣田	酒（こうじ+水）
677	11/19	07:16 ~ 07:22	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	趙桂仔 盤保古	豚の上になまきを載せ、その上に旗を飾る。		廣田	
678	11/19	07:18 ~ 07:26	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	馮基華	碗6・米の入った碗2・碗1を豚の頭部に載せ、油を入れ灯明とする。 酒盃5・水盃・塩の入った盃・香炉用碗1・箸等を準備する。		廣田	
679	11/19	07:28 ~ 07:34	盤王愿		盤栄富宅	祖先壇	受礼者 弟子	盤栄富の祖先壇の左脇に聯を貼る。 盤明古の祖先壇の右脇に聯を貼る。 弟子は紅紙の切り紙を正面に貼る。		廣田	左脇に貼られた聯には「慶 樂盤王千載盛」と書かれて いる。 右脇に貼られた聯には「迎 接聖帝万年興」と書かれて いる。
680	11/19	07:32 ~ 07:33	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇 右 脇	馮基華	紅包を回収する。		廣田	受礼者の家々から米が回収 され、袋にしまわれる。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
681	11/19	07:45～ 08:04	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	—			廣田	祭壇の様子 紅紙の切り紙(上から柱菌・石榴花・大紅花・荷花・盤王印・天狗・香炉)。その下に黄紙の切り紙(金魚)。両脇に紙銭が吊るされている。 豚の頭部には脂の膜がかぶされ、その上に盤王の塩信・碗の灯明・箸の束が置かれる。両脇には内臓、その脇に胴・足が置かれる。右に2足、左に1足、胴の上はちまきに覆われ、色とりどりの切り紙の旗が挿してある。 さらに正面には背骨と1足が吊るされている。血の入った桶は右に置かれる。 豚の頭部前には、左右に3つずつの碗、中央に香炉碗、左右に米の入った碗・水盃・塩の入った盃。
682	11/19	07:49～ 08:20			盤栄富宅	戸外	—			廣田	家の外の壁に来賓礼単(ご祝儀の表)が貼られている。正面戸口左にあらためてヤ才族以外は話してはいけないと貼り紙がされる。
683	11/19	08:22～ 08:23	盤王愿	添香	盤栄富宅	祖先壇	馮基華	蠟燭・線香を挿す。		廣田	
684	11/19	08:23	盤王愿	剪花酒	盤栄富宅	正面祭壇	馮基華	ドラを叩く。		廣田	
685	11/19	08:24～ 08:31	盤王愿	剪花酒	盤栄富宅	正面祭壇 机	趙金付 盤保古 弟子3人 馮基華 歌娘4人(馮友妹・ 盤運妓・盤永紅・ 趙○華) 女性1人	机の周りに着座。酒を注ぐ。 趙金付は家先単を見ながら唱えごと。 全員箸を1本取り、酒盃につけてはじく。 酒を飲む。再び注ぐ。		廣田	机の上には豆腐と肉の入った碗・落花生・碗・酒盃・箸が置かれている。
686	11/19	09:25～ 09:26	盤王愿		盤栄富宅	戸外	馮友妹	歌娘用のかぶり物の台を竹ひごで作る。		廣田	
687	11/19	09:43	盤王愿		盤栄富宅	入口右横	雛子方	チャルメラを鳴らす。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
688	11/19	09:59 ~ 10:00	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤栄富 馮基華 趙子清 趙桂仔	厨官が盆を出し、盤栄富と共に礼。盤栄富は祭壇前に腰掛ける。弟子と共に礼。		廣田	盆(酒盃5・あげの入った碗1)
689	11/19	10:02	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古 盤栄富	盤栄富は祭壇前に盆をもって腰掛ける。盤保古は家先単を見ながら唱えごと。		廣田	
690	11/19	10:04 ~ 10:07	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古 趙桂仔 趙子清	盤保古は弟子に笛・カスタネット・長鼓を渡し、正装になる。		廣田	
691	11/19	10:08 ~ 10:10	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古 趙桂仔 趙子清	盤保古は笏と鈴をもって唱えごとをし、米を撒く。弟子は楽器をもって盤保古と共に並ぶ。礼。		廣田	
692	11/19	10:13 ~ 10:14	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古 趙桂仔 趙子清 囃子方1人	長鼓をもった1人が加わり、盤保古の後ろに並ぶ。盤保古は唱えごと。盤保古が鈴を振り、後ろの3人に礼。		廣田	
693	11/19	10:15	盤王愿		盤栄富宅	片堂右壁	—	歌娘のかぶり物が掛けられる。		廣田	
695	11/19	10:16	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	盤明古の祖先壇から盤明古の家先単を下ろし、見ながら唱えごと。		廣田	
694	11/19	10:30	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	しゃがんで卦。立って祭壇上で卦。		廣田	
696	11/19	10:30 ~ 10:34	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	唱えごとを続け、祭壇下のかめから酒をひしゃくですくい、祭壇上の碗に右から順に注ぐ。その時に家先単を見る。		廣田	
697	11/19	10:36 ~ 10:37	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	祭壇上で卦。唱えごと。		廣田	
699	11/19	10:37	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古 趙桂仔 趙子清	盤保古は右手に鈴、左手に笏をもって礼。後ろの弟子も礼。		廣田	
698	11/19	10:37 ~ 10:44	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	祭壇上で卦。唱えごと。しゃがみ、床の上で卦。唱えごとを続ける。		廣田	
700	11/19	10:45	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	酒かめから酒をくみ、祭壇上の碗に右から順につぐ。唱えごと。		廣田	
701	11/19	10:47	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	しゃがみ、床の上で卦。唱えごと。		廣田	
702	11/19	10:47	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	かめのふたを閉める。		廣田	
703	11/19	10:47	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	床の上で卦。唱えごと。		廣田	
704	11/19	10:49 ~ 10:52	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	祭壇下から紙銭を取り出し、唱えごとをししながら旗の挿されたところに紙銭を入れる。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
705	11/19	10:52～ 10:53	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	祭壇上で卦。床の上で卦。		廣田	
706	11/19	10:55	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	ひざまずいて座り直し、鈴を振って唱えごと。		廣田	卦は1回。
707	11/19	10:56	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	尻をついて座り直し、鈴を振って唱えごと。		廣田	
709	11/19	10:59	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	家先単を見つつ唱えごと。		廣田	
708	11/19	11:00	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤喜古 盤栄富	ずっと座って唱えていた盤喜古が立ち上がったって唱えごと。 盤栄富も盆をもったまま立ち上がる。		廣田	
710	11/19	11:00	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤継生 盤栄富	盤継生が盤栄富のもつ盆の酒盃に献酒。		廣田	
711	11/19	11:00～ 11:01	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	盤明古の家先単を取り出して唱える。家先単を祭壇上に戻して卦。		廣田	
712	11/19	11:02	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	ひざまずいて礼、立つを繰り返す。鈴を振って唱えごと。		廣田	
713	11/19	11:03～ 11:05	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	祭壇上で卦。かめのふたを開け、酒を注ぐ。		廣田	3回酒をつぐ。
714	11/19	11:06	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	祭壇上で卦。唱えごと。卦。		廣田	
715	11/19	11:07	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	かめにふたをしてひざまずき、礼。		廣田	この前まで馬頭意者を唱えていた。(丸山)
716	11/19	11:08	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	尻をついて座り直し、左手に笏をもち、右手にもった鈴を振りつつフシをつけて唱えごと。		廣田	
717	11/19	11:09～ 11:21	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	盤栄富用家先単を読みつつ鈴を振る。鈴を振り、笏をもつてそのまま唱えごと。 鈴・笏・卦を祭壇に戻し、さらに唱えごと。		廣田	唱えているのは大庁意者。 (丸山)
718	11/19	11:32	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	卦。唱えごと。		廣田	
719	11/19	11:43	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	馮基華	盆を下げる。		廣田	
720	11/19	11:52	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	馮基華	線香を挿す。		廣田	
721	11/19	11:56～ 11:57	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	馮基華 趙桂仔 趙子清 離子方	厨官は盆を出し、弟子たちと共に礼。 厨官の盆を隣の離子方がもち、再び皆で礼。 厨官は盆を下げる。		廣田	
722	11/19	11:58	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	盤保古は唱えごとを続ける。		廣田	
723	11/19	12:15～ 12:16	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	盤保古	床の上で卦。立ち上がったって笏をもち、鈴を鳴らし、礼をして終了		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場 所 (大項目)	場 所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
724	11/19	12:16 ~ 12:23	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇	歌娘 馮基華	厨官が盆をもって来る。 歌娘が盆をもって礼。 歌娘たちが酒盃を両手にもち、1つの盃に酒をまわめて人々に振る舞う。 厨官が酒を満たすのを手伝う。		廣田	
725	11/19	12:27	盤王愿		盤栄富宅	正面祭壇前	女性たち	机の上に食事の支度をす。		廣田	
726	11/19	12:28 ~ 12:33	盤王愿		盤栄富宅	片堂	馮基華 隼子方	厨官は盆をもち、隼子方と共に礼。次に厨官が盆をもち、2人で礼。 厨官が入り口左側の隼子方のテーブルにおかずの碗と紅包を置く。 チャルメラを吹く。		廣田	
727	11/19	13:52	盤王愿	流楽	盤栄富宅	片堂	隼子方	チャルメラ・ドラ等を鳴らす。		廣田	
728	11/19	14:02 ~ 14:03	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華	祖先壇の線香に火を点す。ドラを打ち、開始を報せる。		廣田	
729	11/19	14:04 ~ 14:05	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 馮基華	紅衣を羽織る。正装する。祭壇の線香に火を点す。		廣田	
730	11/19	14:06	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	フシをつけて唱える。	Z-15	廣田	「左落缸頭跪落缸尾～」の頁を開いたテキストが祭壇に置かれている。
732	11/19	14:07 ~ 14:08	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙桂仔 趙子清 隼子方 1人 歌娘 3人	趙金付の後ろに人々が並び、礼をする。		廣田	1列目：カスターネット・長鼓・笛をもち、隼子方 2列目：歌娘3人(中央の女性が大きなかぶり物)
733	11/19	14:09	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	最終行最後「～為婚回轉路頭婦」。
734	11/19	14:09 ~ 14:14	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	左側の旗の山に紙銭を入れる。卦。 右側の旗の山に紙銭を入れる。卦。		廣田	
735	11/19	14:15 ~ 14:16	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「左落缸頭跪落缸尾～」の頁。
736	11/19	14:16 ~ 14:17	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	最終行最後「～為婚回轉路頭婦」。
737	11/19	14:19	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	最終行初め部分「許上一个〇〇歌堂～」。
738	11/19	14:20	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「大壇衆聖三廟聖王～」の頁。
739	11/19	14:22	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「前者以来公位子～」の頁。
740	11/19	14:22	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを左手に、家先単を右手にもち、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「前者以来公位子～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
741	11/19	14:23	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いてフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「請男人出唱歌詞」の頁。
742	11/19	14:24	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙桂仔 趙子清 嚩子方 1人	趙金付が左手に笏をもち、右手にもった鈴を鳴らすと後ろの1列目の人々がひざまずいて礼拝。2列目は立ったまま。趙金付が卦。		廣田	
743	11/19	14:25	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	趙金付はそらでフシをつけて唱える。	Z-15	廣田	「請男人出唱歌詞」の頁が開かれている。
744	11/19	14:26	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	唱えつつ、紙銭を右側の旗の山に入れ、卦。		廣田	
745	11/19	14:27	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもってフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「請男人出唱歌詞」の頁が開かれている。
746	11/19	14:27	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもってフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「女人出唱歌詞～」の頁が開かれている。
747	11/19	14:27～ 14:28	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いたまま祭壇上に置き、そらで唱える。右側の旗の山に紙銭を入れて卦。	Z-15	廣田	「女人出唱歌詞～」の頁が開かれている。
748	11/19	14:28～ 14:29	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	米を撒く。唱えごと。		廣田	
749	11/19	14:30	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	左手に笏、右手に鈴をもつて鳴らす。卦。後ろの弟子たちも礼。唱えごと。		廣田	
750	11/19	14:30～ 14:31	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	米を撒く。卦。唱えごと。		廣田	
751	11/19	14:31～ 14:32	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	右側の旗の山に紙銭を入れて卦。唱えごと。		廣田	
752	11/19	14:33	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	米を撒く。唱えごと。		廣田	
753	11/19	14:34	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	卦。テキストを開いて手にもつ。Z-15	Z-15	廣田	「請男人出唱歌詞」の頁。
754	11/19	14:34	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもってフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「請男人出唱歌詞」の頁。
755	11/19	14:34	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを手にもってフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「女人出唱歌詞～」の頁。
756	11/19	14:34	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いて手にもち、フシをつけてそらで唱える。米を撒く。	Z-15	廣田	「女人出唱歌詞～」の頁。
757	11/19	14:35	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹	1列目・2列目は立ったまま。その横に座っていた歌娘がテキストを手にしたまま、そらで歌い始める。		廣田	
758	11/19	14:36	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開き、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	左頁「引歌引出唱歌詞」の頁。行○。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
759	11/19	14:36～ 14:37	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開き、フシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「引歌唱三斗油麻来引油頭～」。
760	11/19	14:37～ 14:39	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹	そらで歌う。		廣田	
761	11/19	14:39～ 14:42	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いてフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「今朝来是过已一奉～」の頁。
762	11/19	14:42～ 14:43	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いてフシをつけて読誦。	Z-15	廣田	「〔文+内〕客○今夜正開〔文+内〕客経書～」の頁。
763	11/19	14:45～ 14:46頃 まで	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いてフシをつけて読誦。笏と鈴をもって礼。後ろの弟子も礼。終了。	Z-15	廣田	「○禄問○禄伏問你家求孟～」の頁。
764	11/19	14:46～ 14:49	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹	テキストを開きつつも、ちらっと見るのみ。あとはそらで歌う。	Z-29	廣田	「那是○○那边是人那看～」の頁。
765	11/19	14:49～ 14:50	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華	線香3を香炉に置き、盆を運び、あげと脂身の碗と酒盃5を足して並べる。		廣田	
766	11/19	14:50～ 14:57	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹 盤運姣 盤永紅 趙○華 男性歌手 女性歌手	馮友妹はテキストを開いて歌う。男性歌手は活字本を見つつ歌う。2人で掛け合う。盤運姣・盤永紅・趙○華は並んで立つ。馮友妹の隣にもう1人女性歌手が増える。	Z-29	廣田	馮友妹が開いているのは「拜神聖～」の頁。活字本『藍山県瑶族歌謡集』は84～85頁。
767	11/19	14:52～ 14:54	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	祭壇上の碗を並べ直す。		廣田	あげ・脂身の入った碗の上 に線香3、碗の周りに酒盃5。
768	11/19	14:57～ 15:01	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹 男性歌手	馮友妹はテキストを開いて歌う。男性歌手は活字本を開いて2人で掛け合う。	Z-29	廣田	「引娘唱～」の頁。
769	11/19	14:59～ 15:03	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	祭壇前で唱えごと。		廣田	
770	11/19	15:02	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹	テキストを開いて歌う。	Z-29	廣田	「初也唱～初世逢～」の頁。
771	11/19	15:06	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	盤明古の家先単を見ながら唱えごと。		廣田	
772	11/19	15:07	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを開いてフシをつけて読誦。馮友妹の歌と一致	Z-15	廣田	「莫禄問～不唱了～出願歌詞～」の頁。一致箇所「不唱了…」(15:08頃)。
773	11/19	15:08	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮友妹	テキストを開いて歌う。	Z-29	廣田	「東海鯉魚○海散～不唱了～」の頁。
774	11/19	15:09	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	献酒。		廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
775	11/19	15:10	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	—		Z-26	廣田	祭壇上に「入換唱歌」の頁を開いたテキストが置かれている。
776	11/19	15:11	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで紙銭を積む。		廣田	
777	11/19	15:15	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 盤喜古	正装して笏と鈴をもち、ひざまずいて礼拝。テキストを見ながら読誦。	A-32a	廣田	「拜得通 拜得通～」の頁。
778	11/19	15:16～ 15:17	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 盤喜古	趙橋古は立つ。 盤喜古はテキストを見ながら読誦。	A-32a	廣田	「拜得通 拜得通～」の頁。
779	11/19	15:18	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを読誦。途中からフシをつけて読誦。	A-32a	廣田	「又差光在此處」まではフシなし。「山頭出世」からフシをつける。
780	11/19	15:19	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開く。	A-32a	廣田	「風運有頭有眼有人身太尉 衆官進士人」の頁。
781	11/19	15:20	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	太尉の面をもって振り、その後つける。		廣田	
782	11/19	15:20	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開く。フシをつけて読誦。	A-32a	廣田	「又開山頭歌」の頁。
783	11/19	15:21	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開く。	A-32a	廣田	「画起有頭有眼又無身 太尉衆官上郎頭」の頁。
784	11/19	15:22	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はドラを叩く。 趙橋古は礼。		廣田	
785	11/19	15:23	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 趙橋古は羅帯を両手をもって振る。	A-32a	廣田	「羅帯出世」の頁。
786	11/19	15:24	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「十一十二聰明女十三十四 繡羅花～」の頁。
787	11/19	15:25～ 15:26	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はドラを叩き、フシをつけて読誦を続ける。 弟子は羅帯を振りながら舞う。最後に礼。		廣田	
788	11/19	15:26	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	羅帯を頭につける。		廣田	
789	11/19	15:26	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開いてフシをつけて読誦。	A-32a	廣田	「人做喬脚在此處」の頁。
790	11/19	15:27	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	鈴を振る。		廣田	
791	11/19	15:28～ 15:29	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 趙橋古は鈴を振る。	A-32a	廣田	最終行「三同白紙蓋郎面、 面前海不通行」の頁。
792	11/19	15:29～ 15:30	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 趙橋古は鈴を振る。	A-32a	廣田	「抬頭看天○不見低頭看 地々膝々～」の頁。
793	11/19	15:31	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「起頭望見李三○玉女把缸 入海身～」の頁。
795	11/19	15:33	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	A-32a	廣田	「我兄不敢問前路小哥在係 便躬身～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
794	11/19	15:35	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。途中からそらでフシをつけて唱える。	A-32a	廣田	「二條通到郎壇下 真来真去向根源～」の頁。「實浪 献酒歌」の前まで。以降はそらで。
796	11/19	15:36～ 15:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はドラを叩く。フシをつけて唱える。弟子は左手に笏、右手に鈴をもって礼と舞いを繰り返す。		廣田	
797	11/19	15:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。弟子は鈴を振る。	A-32a	廣田	最終行上段「功曹到功曹到～」の頁。
798	11/19	15:38	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。弟子は鈴を振る。	A-32a	廣田	「雷聲不是雷声様～」の頁。
799	11/19	15:39	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。弟子はしゃがんで紙銭を燃やす。	A-32a	廣田	「人語銅盃分一盞～」の頁。
800	11/19	15:40	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。弟子は鈴を上向きにして横にかしきく振る。	A-32a	廣田	最終行「張面紅面將軍変身化身童子～」の頁。
801	11/19	15:40～ 15:42	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。途中でフシのリズムを速くする。趙橋古は鈴を上向きにして横にかしきく振る。途中でゆっくりと縦に振る。	A-32a	廣田	「吹酒便吹双盃酒莫吹双盃保老開」の頁。「李十六」前まででひと区切り。以降フシのリズムが遅くなり、それに合わせて鈴も遅くなる。
802	11/19	15:43	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。趙橋古は鈴をゆっくりと縦に振る。	A-32a	廣田	「祖師去得閻浮界〇見閻浮人便牛～」の頁。
803	11/19	15:46	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はテキストを替え、そらでフシをつけて唱え始める。弟子は礼拝。趙橋古は左手に笏・右手に鈴をもって舞う。礼。		廣田	
804	11/19	15:46	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	弟子は笏の上に酒盃を載せ、左手でもつ。右手で鈴を振る。盤喜古はそらでフシをつけて唱える。		廣田	
805	11/19	15:47	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開く。フシをつけて唱え続ける。	Z-26	廣田	「又唱歌」の頁。頁を探している様子。
806	11/19	15:47	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開く。フシをつけて唱え続ける。	Z-26	廣田	「又抛兵架橋」の頁。
807	11/19	15:49	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古は腰を掛けてフシをつけてテキストを読誦。弟子は左手に笏、右手に鈴をもって時計と逆回りに舞う。	Z-26	廣田	「入換唱歌」の頁から。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
808	11/19	15:50～ 15:52	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子は横に鈴を振る。 盤喜古のフシの調子が変わると弟子は 礼。手を下にして揺らす。	Z-26	廣田	「衆王聖帝来相請 且請修 山做路後～」の頁。
809	11/19	15:55	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子は縦に鈴を振る。	Z-26	廣田	「鉄鐵入炬煉網口鉄鉄入煉 好～」の頁。
810	11/19	15:56	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「又抛兵架橋」の頁。
811	11/19	15:57	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙柱古 趙柱仔	趙柱仔が長鼓・笛・カスタネット・角笛・ 鈴等をもつ。 趙橋古は卦をもつ。	Z-26	廣田	
812	11/19	16:00～ 16:03	盤王愿	流柴	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙子清 趙柱仔 嚙子方 1人	戸口のところ内外に別れて問答“連州 から来た”。周囲の人々は笑う。 盤喜古はテキストを開いてもつ。 問答後、家に入る。	Z-26	廣田	「又抛兵架橋」の頁。 外には盤喜古・趙柱仔・趙 子清（笛をもっている）・ 嚙子方 1人。 内には盤保古。
813	11/19	16:04～ 16:13	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 盤保古 趙子清 趙柱仔 嚙子方 1人	弟子と嚙子方 3人で卦を使って何かを表 現する。角笛・カスタネット・鈴も使 う。際の上の灯明から火を取って紙銭 を燃やす。紙銭を加える。笛を天秤にし て鈴と角笛を左右に吊るして量る所作を する。師棍を立てる。卦で叩いて倒すと、 弟子が転げる。師棍を倒し、また師棍を 立てる。		廣田	ドラを伏せ、その上に香炉 と酒盃 1 が置かれる。 盤喜古の言葉と弟子たちの 動作に周囲の人々は大笑い する。
814	11/19	16:14	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「又抛兵架橋」の頁。
815	11/19	16:14	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「金線纏橋引娘過通了正知 双好連〇～」の頁。
816	11/19	16:15	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 弟子	テキストを開くが中断。 弟子は鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	最終行「又献酒」の頁。
817	11/19	16:16～ 16:17	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	床に笏を置き、祭壇を背にして唱えごと。		廣田	
818	11/19	16:17～ 16:18	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで卦。		廣田	
819	11/19	16:19	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	立って数種の手訣。		廣田	
820	11/19	16:19～ 16:20	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで床に符を描く。		廣田	
821	11/19	16:20	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	立って数種の手訣。		廣田	
822	11/19	16:20	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで卦。		廣田	
823	11/19	16:20	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	笏をもって立ち上がる。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
824	11/19	16:21	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開いてフシをつけて読誦。	Z-26	廣田	「又抛兵」の頁。
825	11/19	16:21～ 16:23	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開いてフシをつけて読誦。	Z-26	廣田	最終行「又献酒」の頁。
826	11/19	16:23～ 16:24	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	左手で酒盃に酒を注ぎ、右手にもった鈴を振る。		廣田	
827	11/19	16:24	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開いてフシをつけて読誦。	Z-26	廣田	「又捕拾歌」の頁。
828	11/19	16:25	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開いてフシをつけて読誦。 弟子は鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	「又唱歌」の頁。「又抛兵」の前まで。
829	11/19	16:26	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前 ～戸口	盤喜古	紙銭を火に点けて戸口に運び、燃やす。		廣田	
830	11/19	16:27～ 16:28	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。 弟子は鈴を縦に振る。礼。	Z-26	廣田	「又抛兵」から。
831	11/19	16:30	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを開いてフシをつけて読誦。 弟子は左手に酒盃をもち、右手にもった鈴を振る。	Z-26	廣田	「又捕拾歌」の頁。
832	11/19	16:32	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストを開いたまま祭壇上に置き、読誦を中断。	Z-26	廣田	「又捕拾歌」の頁。
833	11/19	16:40	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「又捕拾歌」の頁。
834	11/19	16:41	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	最終行「～厨官仔腰上又担五把刀」の頁。
835	11/19	16:41～ 16:44	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。 弟子は左手に盃をもち、右手にもった鈴を振る。	Z-26	廣田	最終行「第一張刀殺猪頭～」の頁。
836	11/19	16:44	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「且唱河源出金水～」の頁。 「紅羅歌」の前まで。
837	11/19	16:45～ 16:48	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華 男性教人 盤喜古	豚を屠る。首を切り血を採る。 盤喜古はテキストをもつが、そらでフシをつけて唱える。 厨官は戸口で豚のおりを壊す。		廣田	
838	11/19	16:50～ 16:51	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 馮基華	2人で会話。		廣田	
839	11/19	16:51～ 16:53	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 趙橋古は紅羅の布を出して振る。	Z-26	廣田	「紅羅歌」の頁。
840	11/19	16:53	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 盤喜古	趙橋古は紅羅の布を正面の切り紙の上に飾る。	Z-26	廣田	盤喜古のテキストは「紅羅歌」の頁が開いている。
841	11/19	16:54	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子は鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	「且唱河源出金水～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1186	11/19	16:57	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子は鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	「紅羅帳～」の頁。
842	11/19	16:57	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	祭壇上に挿された旗を抜き、頭の左右に挿す。		廣田	
843	11/19	16:58	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はテキストを開くがそらでフシをつけて唱える。 弟子は鈴を振る。	Z-26	廣田	「紅羅帳～」の頁。
844	11/19	16:58	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	献酒。		廣田	
845	11/19	16:58	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 盤喜古	趙橋古は左手に旗をもち、右手にもった鈴を振る。 盤喜古はテキストを見ながらフシをつけて読誦。	Z-26	廣田	変わらず「紅羅帳～」の頁。
846	11/19	16:59～ 17:00	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。 趙橋古は左手に旗をもち、右手にもった鈴を振る。	Z-26	廣田	「娘小姓唐郎姓○共入花～」の頁。
847	11/19	17:01～ 17:02	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	フシをつけてテキストを読誦。 弟子は鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	「信王出世衣世着路逢～」の頁。「又唱行平」の前まで。
848	11/19	17:06～ 17:07	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを替えて開き、フシをつけて読誦。 弟子は座って左手に旗をもち、右手にもった鈴を横に振る。	Z-16	廣田	「歌堂良愿宝書一名童子賞～」の頁。
849	11/19	17:08	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストの頁をめくる。 テキストを横に放り、そらでフシをつけて唱える。		廣田	読誦の場所が違うと思った様子。 盤喜古は趙金付から4行目の「一行聖衆神抬頭」からと云われたが納得していない様子。
850	11/19	17:10	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストに目を戻し、フシをつけて読誦。	Z-16	廣田	「打得銀錢掛壁上～」の頁。
851	11/19	17:11	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	テキストをめくる。	Z-16	廣田	「早収糯米醸老酒～」の頁。 そらの部分もある様子。
852	11/19	17:13	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	酒かめから酒をすくい祭壇上の碗に注ぐ。		廣田	
853	11/19	17:13	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	もとのテキストに戻し、フシをつけて読誦。	Z-26	廣田	「又唱行年」の頁。
854	11/19	17:14～ 17:15	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子は左手に旗をもち、右手にもった鈴を振る。	Z-26	廣田	「寅卯二年天地早～」の頁。
855	11/19	17:16	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「老君勅得五雷水～」の頁。 「又唱福靈歌」の前まで。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
856	11/19	17:17	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを替えてフシをつけて読誦。 弟子は左手に盃と旗をもち、右手にもつた鈴を振る。	Z-16	廣田	「歌堂良愿宝書一名童子～」の頁。
857	11/19	17:18	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを開き、そらでフシをつけて唱えている様子。	Z-16	廣田	「早收糯禾醸老酒～」の頁。
858	11/19	17:20	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを戻し、フシをつけて読誦。 弟子は鈴を振る。	Z-26	廣田	「又唱行平」の頁から「一花謝二花開～」の頁。
859	11/19	17:23	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストをフシをつけて読誦。	Z-26	廣田	「伏靈聖在伏靈黄竹前求～」の頁の途中まで。
860	11/19	17:24	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はテキストを替え、頁を戻す。 弟子は左手に旗と酒盃をもち、右手にもつた鈴を振る。	Z-16	廣田	「歌堂良愿宝書一名童子」の頁。挟み込むよう。
861	11/19	17:26	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「早收糯禾醸老酒～」の頁。
862	11/19	17:28	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。 弟子は左手に旗をもち、右手にもつた鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	「又唱福江廟」の頁。
863	11/19	17:29	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はテキストを読誦。 弟子は左手に旗をもち、右手にもつた鈴を振る。	Z-26	廣田	「盤王坐得三年半～」の頁。
864	11/19	17:30	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はテキストの頁を戻す。 弟子は左手に旗と酒盃をもち、右手にもつた鈴を横に振る。	Z-16	廣田	「歌堂良愿宝書一名童子～」の頁。
865	11/19	17:31～ 17:33	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストの頁を戻す。	Z-16	廣田	「打得銀錢掛壁上～」の頁。
866	11/19	17:33	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「早收糯禾醸老酒～」の頁。
867	11/19	17:34	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストの頁を戻す。 弟子は左手に旗をもち、右手にもつた鈴を縦に振る。	Z-26	廣田	「盤王坐得三年半～」の頁。 盤王はピエンファンと発音。
868	11/19	17:35	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。 弟子は左手に旗をもち、右手にもつた鈴を振る。	Z-26	廣田	「五旗鬼 得見身班脚也班～」の頁。
869	11/19	17:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストの頁を戻す。 弟子は左手に旗をもち、右手にもつた鈴を横に振る。	Z-16	廣田	「歌堂良愿宝書一名童子」の頁。
870	11/19	17:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「打得銀錢掛壁上～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
871	11/19	17:39	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「深深拜 深々下地拝唐王～」の頁。
872	11/19	17:40	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-26	廣田	「第三張刀声気事～」の頁。
873	11/19	17:41～ 17:42	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。 弟子は鈴を振る。	Z-26	廣田	「抛兵踏上楊州廟～」の頁。
874	11/19	17:43	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	弟子はかめから酒を注ぐ。		廣田	
875	11/19	17:43	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古はテキストの頁を展す。 弟子は左手に盃をもち、右手にもった鈴を横に振る。	Z-16	廣田	「歌堂良愿宝書一名童子」の頁。
876	11/19	17:44	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「打得銀錢掛壁上～」の頁。
877	11/19	17:45～ 17:46	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 趙橋古	盤喜古は家先単の名前を読む。 弟子は左手に旗をもち、右手にもった鈴を振る。 盤喜古は家先単を置いた後、そらでフシをつけて唱える。		廣田	17.46に終了。
878	11/19	17:54	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	盤保古 趙桂仔 趙子清 隸子方男性	盤保古は家を背にしてテキストを読誦。 弟子たちはドラ・笛・長鼓・カステタネットをもって家に向かって並ぶ。		廣田	左から趙子清・笛・趙桂仔・ドラ・隸子方男性・長鼓・カステタネット。
879	11/19	17:54	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	盤保古 趙桂仔 趙子清 隸子方男性	盤保古はテキストを読誦。	Z-15	廣田	左頁最初行「即在湖南路上不知娘屋向東南」の頁から。
880	11/19	17:55～ 17:56	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	盤保古 趙桂仔 趙子清 隸子方男性	盤保古はテキストを読誦。 3名は楽器をもって並ぶ。	Z-15	廣田	「仔是伏江仔 仔是出門手不空」の頁。
881	11/19	17:57	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外～ 戸口	盤保古 趙桂仔 趙子清 隸子方男性	戸口に移動。		廣田	
882	11/19	17:57	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔 趙子清 隸子方男性 盤喜古	盤保古はテキストを見つつ戸口の外から内の盤喜古と掛け合う。 盤喜古もテキストを見る。 3名は盤保古の後ろにつく。		廣田	

9. 種別別儀式順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
883	11/19	17:57	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方 盤喜古	盤喜古はテキストを読誦。	Z-15	廣田	「即是遠郷遠来到～」の頁。
884	11/19	17:57～ 17:59	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方 盤喜古	盤保古はフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古はフシをつけてテキストを見ながら掛け合う。 周りは興味津々で聞く。	Z-15	廣田	左頁最終行上段「娘但開門把郎入」。その前行の上段「夜深蘭」の頁。
885	11/19	17:59～ 18:00	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方 盤喜古	盤保古はフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古と盤保古は同じ見を見ながら掛け合う。 周りは興味津々で聞く。	Z-15	廣田	「題目主家問答」の頁。
886	11/19	18:02～ 18:03	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方 盤喜古	盤保古はテキストを読誦。 盤喜古と盤保古は同じ見を見ながら掛け合う。	Z-15	廣田	「傳報妹 細句劉三説報娘」の頁。
887	11/19	18:04	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方	テキストを読誦。 盤喜古と盤保古は同じ見を見ながら掛け合う。	Z-15	廣田	左頁最終行上段「伏靈嶺上見誰怪」。その前行上段「伏問仔」の頁。
888	11/19	18:06	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方	テキストを読誦。 盤喜古と盤保古は同じ見を見ながら掛け合う。	Z-15	廣田	左頁最終行上段「難為風流行夜踏」の頁。
889	11/19	18:09	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方	盤喜古はテキストを替える。フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	左頁最終行「一心〇〇把郎入接郎入屋様神恩」の頁中央部分から。
890	11/19	18:10	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙桂仔 趙子清 男性 隼子方	盤喜古はフシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「湖南大門双搦〇鷓見大王白様在高台」の頁。



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
891	11/19	18:10～ 18:12	盤王愿	流柴	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙桂仔 趙子清 囃子方男性	盤喜古はテキストを読誦しながら盤保古から長鼓を受け取る。次に趙桂仔からド・ラ・カスタネット・笛を受け取る。受け取る間にテキストを盤保古がもつ。読んでいる場所を盤喜古が盤保古に教え、盤保古が引き継いで読誦。	Z-26	廣田	「湖南大門双揃〇謁見大王 白樺在高台」の頁。
892	11/19	18:12～ 18:20	盤王愿	流柴	盤栄富宅	戸口	盤喜古 盤保古 趙桂仔 趙子清 囃子方男性	盤喜古と盤保古は問答をする。 盤保古はテキストを閉じてもつ。 盤喜古は楽器をもつ。 周りは笑う。		廣田	2人の問答に飛び入りする者もあり、さらに笑いを誘う。
893	11/19	18:21	盤王愿	流柴	盤栄富宅	戸口	盤保古	にこやかに戸口から入る。		廣田	
894	11/19	18:21	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	にこやかに楽器を置く。		廣田	
895	11/19	18:24～ 18:27	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古 馮基華 趙橋古 趙桂仔 趙子清 囃子方男性 1人 趙金付	正装した厨官・盤保古・趙橋古は連州からやって来た趙桂仔・趙子清・囃子方男性に腕で酒を勧めめる。さらに酒を足す。返礼で逆に趙桂仔・趙子清・囃子方男性が厨官・盤保古・趙橋古に酒を勧めめる。この間趙金付はテキストを読誦。		廣田	
896	11/19	18:28	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「公位家先有面轉～」 「勸酒」の頁。
897	11/19	18:28～ 18:31	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	テキストを読誦。途中からそらでフシをつけて唱える。 趙橋古は笏を背から後ろに落とす。 趙橋古は笏を振る。	Z-16	廣田	「伏問仔問仔那州縣那郎～」 の頁以降そらでフシをつけて唱える。
898	11/19	18:32	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華 趙金付 盤保古	厨官は笏の上下に衞を巻いた物をもってしやがむ。 趙金付と盤保古が問答。		廣田	
899	11/19	18:33	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華 趙金付 趙橋古	厨官は笏を趙橋古に渡し、趙金付から長鼓を渡される。		廣田	
900	11/19	18:33～ 18:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古 趙桂仔 趙子清 囃子方男性 1人 馮基華 趙金付	盤保古から楽器が渡され、音を合わせる。 馮基華を囲んで楽器を鳴らす。 盤保古はシンバル、趙桂仔は笛、趙子清はドラ、囃子方男性はカスタネット、馮基華は長鼓をそれぞれもつ。 四方に向かって礼拝した後、舞う。 趙金付はテキストをもって読誦。		廣田	
901	11/19	18:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	左頁最終行「出門外圍堂」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
902	11/19	18:38	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。途中からそらで唱える。	Z-16	廣田	「上司高祖大王謹把席～」の頁「大哥頼」前まで。以降そらで唱える。
903	11/19	18:40～ 18:41	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華	長鼓舞を続けて戸外へ出る。		廣田	
904	11/19	18:41～ 18:43	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	趙金付	テキストを開き、フシをつけて唱えつつ戸外へ移動。 弟子と趙橋古は鈴を鳴らす。	Z-16	廣田	「大哥頼 大哥抄燈欄門前～」の頁。
905	11/19	18:44	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	馮友妹	馮友妹はテキストをもって歌い始める。	Z-29	廣田	戸外、家を背にして左側。
907	11/19	18:44～ 18:45	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「大王席上有盃水姉妹齊々来～」の頁。
906	11/19	18:44～ 18:49	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	盤運坂 盤永紅 趙○華 趙桂子 雛子方男性 趙子清 馮友妹 趙金付 趙橋古	歌娘3人と趙桂子・雛子方男性・趙子清が対面する。頭に赤旗を挿される。 馮友妹はテキストを見つつ歌う。 趙金付はテキストを見つつフシをつけて読誦。 趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった鈴を振りつつ対面する歌娘等の間を8の字に回る。	Z-16	廣田	
908	11/19	18:45	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	馮友妹	テキストを見つつ歌う。	Z-29	廣田	左頁最終行上段「鯉魚看塘清水底」の頁。
909	11/19	18:46	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	趙金付	フシをつけてテキストを読誦。	Z-16	廣田	左頁最終行上段「天光落日歌堂散」の頁。
910	11/19	18:48	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸外	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「後生年少年間 不作風流當那時～」の頁。
911	11/19	18:50	盤王愿	流楽	盤栄富宅	戸口	趙橋古 趙金付	弟子は入口で笏を背中から後ろに落とす。 趙金付が拾い、笏の笹を剥がして庁堂に入る。		廣田	
912	11/19	18:51	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	弟子は祭壇に向かって鈴を縦に振る。 趙金付はテキストを見つつフシをつけて読誦を続ける。		廣田	
913	11/19	18:51	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「奈何杵 水推杉木奈河流涼～」の頁。
914	11/19	18:53	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「請聖明香請聖明水海岸太白請聖明燈六～」の頁「連州廟」から。
915	11/19	18:53	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「日頭裏海沙洲上 照見連州連太平～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
916	11/19	18:54	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	左手に笏をもち、右手にもった鈴を縦に振る。		廣田	
917	11/19	18:55	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「老鳳偷喫猫兒飯 猫兒做 壯下街〇論」の頁。
918	11/19	18:56	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。途中からそらで唱える。	Z-16	廣田	「来到壇同前萬福復〔由+日〕下降鑿盤筵」の頁「点席」の前まで。以降そらで唱える。
919	11/19	18:57～ 18:58	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	テキストを開けてもち、そらで唱える。弟子は左手に笏をもち、右手にもった箸を祭壇に向ける。箸で祭壇上から卦を床に落とす。	Z-16	廣田	左頁2行目「拿筷子点席」の頁。
920	11/19	18:58	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	弟子は鈴を振る。		廣田	
921	11/19	18:59	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	趙金付はテキストの頁を戻し、読誦。	Z-16	廣田	「点席」「造寺魯班會造寺～」の頁。
922	11/19	19:01	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「火烧南安寺里佛～」の頁。
923	11/19	19:02	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった箸を祭壇に向ける。箸で祭壇上から卦を床に落とす。弟子は鈴を振る。テキストを読誦。	Z-16	廣田	「火烧南安寺里佛～」の頁。
924	11/19	19:03	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「聖要種香竹笋～」の頁。
925	11/19	19:04	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった箸を祭壇に向ける。箸で祭壇上から卦を床に落とす。		廣田	
926	11/19	19:05	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった箸を祭壇に向ける。箸で祭壇上から卦を床に落とす。趙金付はそらで唱える。		廣田	
927	11/19	19:05～ 19:06	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった箸を祭壇に向ける。箸で祭壇上から卦を床に落とす。		廣田	
928	11/19	19:06	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「福江廟」の頁。 （「起計盤王先起計」）
929	11/19	19:06～ 19:07	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 趙橋古	テキストを読誦。弟子は鈴を振る。	Z-16	廣田	「黃龍又定雷執傳望五雷轉式聲～」の頁。
930	11/19	19:07～ 19:08	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった箸を祭壇に向ける。箸で祭壇上から卦を床に落とす。趙金付はテキストを読誦。	Z-16	廣田	「黃龍又定雷執傳望五雷轉式聲～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
931	11/19	19:08 ~ 19:09	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	テキストを読誦。 趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。 趙金付はそらで唱える。	Z-16	廣田	「打在湖南大路上～」の頁。
932	11/19	19:10	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。		廣田	
933	11/19	19:10 ~ 19:11	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。		廣田	
935	11/19	19:11	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。		廣田	
934	11/19	19:12	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。 趙金付はテキストをちらちら見つつ読 誦。	Z-16	廣田	「番々覆々成両辺」の頁。
936	11/19	19:13 ~ 19:14	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。 趙金付はテキストを抱えてそらで唱え る。		廣田	
937	11/19	19:14 ~ 19:15	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。		廣田	
938	11/19	19:16	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。		廣田	
939	11/19	19:16	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「番々覆々成両辺手拿牙笏 再来求～」の頁。
940	11/19	19:17	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「六朝六夜門眉掛 六路等 双不了時～」の頁。
941	11/19	19:19	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「十二共腸十二様 楊州洞 口慢思量～」の頁。
942	11/19	19:19 ~ 19:20	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	趙橋古は左手に笏をもち、右手にもった 箸を祭壇上から卦を 床に落とす。		廣田	
943	11/19	19:20	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	趙金付はテキストを読誦。	Z-16	廣田	「解神意」の頁。
944	11/19	19:21	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「桃源丹竹頭 隨根生上尾 頭浮系」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
945	11/19	19:22	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙橋古はひざまずき、卦を手にもって揺する。 趙金付はテキストをもつて読誦。フシをつける。		廣田	
946	11/19	19:22	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙金付はテキストを読誦。	Z-16	廣田	「桃源丹竹頭 随根生上尾 頭浮糸」の頁。
947	11/19	19:22	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	趙金付はテキストを読誦。途中からそらで唱える。	Z-16	廣田	「去等下若弄多…」の頁「二月清雨水深」まで。以降そらで唱える。
948	11/19	19:23	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	趙橋古はひざまずき、卦を手にもって揺する。		廣田	
949	11/19	19:23	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	趙橋古は卦を後ろに落とす。		廣田	1回
950	11/19	19:24	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「打轉管唱」の頁。
951	11/19	19:24	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「衆姓子孫来謝聖～」の頁。
952	11/19	19:25	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「家主有心来謝聖～」の頁。
953	11/19	19:25～ 19:26	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	頭に挿していた旗を祭壇左右の旗の山に戻す。		廣田	
954	11/19	19:26	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古	鈴を振る。		廣田	
955	11/19	19:26	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「家主有心来謝聖～」の頁。
956	11/19	19:27	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「棟入歌堂討賊恋～」の頁。
957	11/19	19:28	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「十个主人壇中坐～」の頁。
958	11/19	19:30	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「廣東出世有盤米～」の頁。
959	11/19	19:31	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「賞浪兵頭兵歡喜～」の頁。
960	11/19	19:32	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「去時人過蛇頭嶺～」の頁。 非常に速いペースで読誦。
961	11/19	19:34～ 19:35	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「祖師父本師爺你把人魂交回我」の頁。
962	11/19	19:35	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	頁をめくる。テキストを読誦。	Z-16	廣田	「你把肚脚魂交回我～」の頁。
963	11/19	19:36	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。	Z-16	廣田	「高樓打鼓咚咚叫～」の頁。
964	11/19	19:37	盤王愿	流柴	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	テキストを読誦。途中からそらで唱える。	Z-16	廣田	「神頭脱脚箱裡住～」の頁。 「日裡定陽夜定陰」まで。 以降そらで唱える。

9. 焼酎祭礼礼拝

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
965	11/19	19:38	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙橋古 趙金付	弟子は笏を背から後ろに落とす。 左手に笏をもち、右手にもった鈴を振り つつ立った姿勢からひざまずいて礼を繰 り返す。 趙金付はそらで唱えごと。		廣田	
966	11/19	19:40～ 19:42	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤保古	盤保古は紙銭を積んで燃やす。唱えごと。 卦。 趙金付は祭壇の酒盃に献酒。唱えごと。		廣田	
967	11/19	19:43	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 馮基華	おかずの碗7・酒・箸7・酒盃7を机の 上に並べる。		廣田	おかず2種
968	11/19	19:45	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付	テキストを開いて机の上に置く。	Z-16	廣田	左頁最終2行「三十六段歌 曲、起聲唱、初八席唱、隔 席唱論娘唱」の頁。
969	11/19	19:45	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	盤保古は紅衣を着て笏をもち、そらで唱 えごと。 趙金付は紙銭をちぎる。		廣田	
970	11/19	19:46	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付はテキストを見つつ唱えごと。 盤保古は唱えごと。	Z-16	廣田	左頁最終2行「三十六段歌 曲、起聲唱、初八席唱、隔 席唱論娘唱」の頁。
971	11/19	19:47	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付は祭壇上右の旗の山に紙銭を入れ る。卦。 盤保古は唱えごと。		廣田	
972	11/19	19:47	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付は机の上の酒盃に献酒。卦。唱え ごと。		廣田	“平安”
973	11/19	19:48	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	盤保古は家先単を読む。 趙金付はそらで唱える。卦。	Z-16	廣田	机の上のテキストの頁は 「三十六段歌曲、起聲唱、 初八席唱、隔席唱論娘唱」。
974	11/19	19:49	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付は祭壇右側の旗の山に紙銭を入れ る。 盤保古は左手に笏をもち、右手にもった 鈴を伏せる。机の上に家先単を開き、唱 える。		廣田	
975	11/19	19:50	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付はフシをつけてテキストを読誦。	Z-16	廣田	「日出早、日出晏、月正中、 月正斜～」の頁、歌の目次 部分。
976	11/19	19:51	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	盤保古は唱える。 趙金付は焼けてフシをつけてテキストを 読誦。右手に卦、左手に紙銭をもつ。	Z-16	廣田	「第五南花子曲、彭祖、郎 老～」の頁。
977	11/19	19:51	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付は祭壇右側の旗の山に紙銭を入れ る。 盤保古は礼。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
979	11/19	19:51～ 19:52	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	趙金付は卦。唱えごと。 盤保古は家先単を見つつ唱えごと。		廣田	
978	11/19	19:53	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	盤保古は輪を伏せて左手にもち替え、右手で卦。唱えごと。 趙金付は卦。唱えごと。		廣田	
980	11/19	19:54～ 19:55	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	盤保古は机の左側に移動し、酒かめから酒を出し、祭壇上に献酒。 趙金付は卦。唱えごと。		廣田	
981	11/19	19:56	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	趙金付はテキストの頁を戻し、もう1度読誦。	Z-16	廣田	「三十六段歌曲」の頁。
982	11/19	19:57	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	趙金付はテキストを読誦。	Z-16	廣田	「日出早 日出晏 月正中 月正斜～」と大歌の目次。
984	11/19	19:57	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	趙金付はテキストを読誦。	Z-16	廣田	「第五南花曲 彭祖 郎老～」と大歌の目次。
983	11/19	19:58～ 20:00	盤王愿	流楽	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	趙金付はテキストを閉じる。卦。唱える。 祭壇右側の旗の山に紙銭を入れる。卦。再び紙銭を同じ旗の山に入れ。卦。 盤保古は卦。唱える。机の右側に移動。左手に笏、右手に伏せた鈴をもつ。		廣田	
985	11/19	21:33	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 趙金付	盤喜古は家先単を見つつ鈴を振り唱える。 趙金付はカスタネットを鳴らしつつ唱える。	Z-19	廣田	手元に『大歌書一 本上冊』あり。
986	11/19	21:34	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前	馮基華	厨官はドラを叩く。		廣田	
987	11/19	21:34	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	馮基華	厨官は碗・酒盃・脂身とあげの入った碗等運び、趙金付に手渡しし祭壇に並べってもらう。		廣田	
988	11/19	21:37～ 21:41	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 盤保古 趙金付	盤保古は唱える。 盤喜古はそらで唱える。 趙金付はテキストを速いペースでフジをつけて読誦。 師父のグループと歌娘は連うリズムで歌う。	Z-19	廣田	盤保古の手元に家先単あり。 趙金付が読誦しているのは「見大怪伏義相合為婚了」の頁。
989	11/19	21:45～ 21:46	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 盤保古 趙金付 趙子清	趙金付はフジをつけてテキストを読誦。 盤保古と盤喜古はそらでフジをつけて唱える。	Z-19	廣田	「四行坐老人 坐席後生～」の頁。
990	11/19	21:46	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇 右 脇	馮基華	子豚を丸ごと置いた盆の上にまる鶏1羽を入れた碗を5つ置いた盆を置く。		廣田	

9. 種別祭礼和声

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
991	11/19	21:47	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 盤保古 趙金付 趙子清	趙金付はテキストを読誦。	Z-19	廣田	「袖裡頭請出陰声陽氣龍女 ～」の頁。
992	11/19	21:54	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	馮友妹 盤運姦 盤永紅 趙○華	馮友妹はテキストを見つつ歌う。歌娘は聞いている。		廣田	テキストは師父たちと同じ内容だがリズムは違う。
993	11/19	21:55～ 21:57	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 盤保古 趙金付 趙桂仔 趙子清 囃子方男性	テキストを真ん中に置いてフシをつけて読誦。	Z-19	廣田	1頁目「人話郎村歌堂到 ～」。
994	11/19	21:58	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 盤保古 趙金付 趙桂仔 趙子清 囃子方男性	テキストを真ん中に置いてフシをつけて読誦。	Z-19	廣田	「第一自傳到水歩～」の頁。
995	11/19	22:12	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 盤保古 趙金付 趙桂仔 趙子清 囃子方男性	テキストを真ん中に置いてフシをつけて読誦。	Z-19	廣田	左頁最終行上段「日頭出早 娘担水」の頁。
996	11/19	22:13～ 22:15	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 男性たち	テキストを見つつ歌う。		廣田	活字本もあり。
1001	11/19	23:17	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右 端	盤喜古	座って唱えごと。紙銭を積む。		廣田	
997	11/19	23:18	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 男性たち		Z-29	廣田	テキスト右頁「伏問仔」が 見える。 ※写真のピン트가合っていない
998	11/19	23:25	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち	テキストを読誦。	Z-19	廣田	「深山竹木劉王種～」の頁。
1002	11/19	23:25	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右 端	盤喜古	座って家先単を見つつ唱えごと。紙銭を積む。		廣田	
999	11/19	23:33～ 23:34	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち	テキストを読誦。	Z-19	廣田	「盤王起計」の頁。
1000	11/19	23:34～ 23:36	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち	テキストを読誦。	Z-19	廣田	「起計盤王先起計 盤王起 計種芋麻糸」の頁。



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1003	11/19	23:38	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右端	盤喜古	立って水碗を左手でもち、唱えごと。		廣田	
1004	11/19	23:42	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右端	盤喜古 受礼者	受礼者は正装してひざまずく。		廣田	
1010	11/19	23:42～ 23:52	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち		Z-29	廣田	テキスト「伏間仔」の文字が見える。 テキスト「伏間仔 馬問仔 舩来元遠那行元～」の頁。
1005	11/19	23:43～ 23:44	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右端	盤喜古 受礼者	盤喜古が鶏を1人ずつ食べさせる。 禁欲が解け盤明古は奥さんを抱き上げる。笑いを誘う。		廣田	禁欲(17日夜から精進、奥さんとの会話の禁止、台所に入れない、同衾できない)
1006	11/19	23:46	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右端	盤喜古	祖先壇に献酒。		廣田	
1007	11/19	23:47	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右端	盤喜古	紙銭を燃やす。		廣田	
1008	11/19	23:59～ 00:00	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右端	盤喜古	卦。		廣田	
1009	11/20	00:02～ 00:16	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	台所	馮基華	鶏を下げ、料理する。		廣田	
1011	11/20	01:16～ 01:38	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	全員	夜食。		廣田	
1012	11/20	03:02	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇右側	歌娘3人	祭壇に向かって立つ。		廣田	
1013	11/20	04:24	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 馮友妹	馮友妹はテキストを見つつ歌い続ける。		廣田	
1014	11/20	04:24	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	盤保古が趙橋古に教えている。テキストを見てフシをつけて読誦。 1人が歌い、2人目が続ける。	Z-19	廣田	「高机織布布烟藏藏～」の頁。
1015	11/20	04:40～ 04:42	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。 2冊の本を開く。	Z-19	廣田	「四段荷葉盃」の頁。 ローリーレン
1016	11/20	04:42	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-19	廣田	「中葉過岸何帰海岸～」の頁。
1017	11/20	04:50	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前増設机	師父たち 盤保古 趙橋古 盤喜古	盤喜古はテキストを見ずにそらでフシをつけて唱える。		廣田	1人が歌い2人目が続ける 場合、同時に歌う場合、同時に歌うが、歌う部分が違う場合がある。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1018	11/20	04:55 ~ 04:56	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 馮友妹 男性	男性はテキストを読誦。 馮友妹はテキストを歌う。	Z-17 Z-29	廣田	男性は「初到門桜不到屋 望郎～」の頁。 馮友妹は「初到一郷不認二 郷人」の頁。
1019	11/20	05:02 ~ 05:03	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 馮友妹 男性	男性はテキストを読誦。 馮友妹はテキストを歌う。	Z-17 Z-29	廣田	男性は「架得車行停車扇轉 ～」の頁。 馮友妹は「人話郎村歌堂到 ～」の頁。
1020	11/20	05:11	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 馮友妹 男性	馮友妹はテキストを歌う。	Z-29	廣田	「今朝弟来若不来～」の頁。
1021	11/20	05:16	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古	盤保古はテキストを読誦。	Z-20	廣田	「新新愛入桃源洞～」の頁。
1022	11/20	05:18	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「新新愛入桃源洞～」の頁。
1023	11/20	05:21 ~ 05:22	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「二人相伴入桃源～」の頁。
1025	11/20	05:29	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「屋底又連梅火杵～」の頁。
1024	11/20	05:58	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち	皆寝込む。		廣田	
1026	11/20	06:01	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「鄧是几般鄧塘中再有几般 魚行」の頁。 ※写真のピン트가合っていない
1027	11/20	06:18	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古 趙金付 趙橋古	趙金付と盤保古が順に2人ともそらでフ シをつけて唱える。	Z-20	廣田	テキスト「又何物段」の頁 が開かれている。唱えてい るのがこの内容とは限らな い。
1028	11/20	06:50	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 盤保古 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「又第五南花子曲」の頁。
1029	11/20	06:55	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	祖先壇	馮基華	線香に火を点ける。		廣田	
1030	11/20	07:05	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 趙金付 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「北京為城四十里～」の頁。 それぞれが頁の左右を担当 している。
1031	11/20	07:18 ~ 07:27	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「娘要情不怕○四路○下網 行○」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1032	11/20	07:20	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 趙金付 趙橋古	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「単竹織夢為過外～」の頁。
1033	11/20	07:33～ 07:38	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂中央机	歌娘たち 馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「当去也装起大紅水歩○[辺 の力の両脇に点]～」の頁。
1034	11/20	07:57	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	師父たち 趙金付	テキストを読誦。 8時頃テキストを閉じる。	Z-20	廣田	8時前にドラが叩かれる。 「第六飛江南曲一段」の頁。
1035	11/20	09:56	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	紅衣を着、左手に笏、右手に鈴をもって 唱えごと。		廣田	
1036	11/20	09:58	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	祖先壇	馮基華	線香に火を点す。		廣田	
1037	11/20	10:02	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古	家先単を出して読む。卦。		廣田	
1038	11/20	10:03	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前	盤喜古 馮基華	刀を盆に載せてもって来る。灯明に火を 点す。 盤喜古は左手で家先単の上に鈴を伏せて もち、右手に笏をもって唱える。		廣田	
1039	11/20	10:04	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	祖先壇	馮基華	灯明を祖先壇に載せる。		廣田	
1040	11/20	10:14～ 10:15	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机左側	盤喜古	酒かめから酒を出し、祭壇上の碗に注ぐ。		廣田	
1041	11/20	10:16～ 10:35	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机左側	盤喜古	家先単を見つつ唱える。 さらにかめから酒を出して碗に注ぐ。		廣田	
1042	11/20	10:37	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	盤喜古 馮基華	盤喜古は紙銭を床に落とす。唱えごと。 厨官は盤喜古が取りやすいように紙銭を 開いて手伝う。		廣田	
1043	11/20	10:38～ 10:39	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	盤喜古 馮基華	盤喜古は家先単を読みつつ紙銭を床に落 とす。 厨官は盤喜古が取りやすいように紙銭を 開いて手伝う。		廣田	
1045	11/20	10:39～ 10:42	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	馮基華 盤喜古	馮基華は家先壇上の竹筒を下ろし、中か ら紙包みを出して鈴に縛り付ける。鈴を 祭壇上に置く。 盤喜古は家先単を見つつ、紙銭を床に落 とし唱える。		廣田	
1044	11/20	10:44	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	馮基華 盤喜古	馮基華は紙銭を広げて盤喜古に渡す。 盤喜古は家先単を見つつ唱えごと。床に 紙銭を落とす。		廣田	
1046	11/20	10:45～ 10:46	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	馮基華 盤喜古	盤喜古は紙銭を祭壇右側の旗の山に2回 置く。 手前に紙銭を重ね、ずっと唱える。手前 に積んだ紙銭は石山の下に置く。卦。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1048	11/20	10:47	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	盤喜古	家先単を読む。卦。		廣田	
1047	11/20	10:48~ 10:50	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机右側	盤喜古	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26	廣田	「出愿歌書」の頁。
1051	11/20	10:50~ 10:51	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	歌娘3人 馮友妹 趙桂仔 趙子清	歌娘3人は趙桂仔・趙子清と対面して並ぶ。 馮友妹はテキストをもって歌う。		廣田	鈴が馮友妹に渡される。
1052	11/20	10:51	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤喜古	趙金付は盤喜古を引き継ぎ、座ってフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古は机の右側に立ち、紙銭をもって唱えごと。	Z-26	廣田	「出愿歌書」の頁。 刀を手元においている。
1049	11/20	10:52	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付	フシをつけてテキストを読誦。	Z-26 Z-20	廣田	机上に「又復愿歌」の頁が開かれたテキストが置かれている。 大歌本テキスト最終行「女難」2行目「兄木大哥先兄木〜」の頁。
1050	11/20	10:53~ 10:54	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤喜古 馮基華	趙金付はフシをつけてテキストを読誦。 盤喜古は卦の後祭壇上の内臓を取り出し、盆の上に置く。 趙金付も手伝って内臓を盆に載せる。その後大歌を続ける。 厨官は刀を内臓の下に入れもち出す。 盤喜古は唱えごと。卦。紅衣を脱ぐ。	Z-20	廣田	大歌本テキスト最終行「女難」2行目「兄木大哥先兄木〜」の頁。
1053	11/20	10:56~ 10:57	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	歌娘3人 趙桂仔 趙子清 馮友妹 男性	歌娘3人は趙桂仔・趙子清と対面して並ぶ。 馮友妹と男性はテキストを見つつ歌う。	不明	廣田	男性のテキストは右頁最終行上段「当初愿断桃生子」の頁。
1054	11/20	10:57	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	厨房	馮基華	心臓を切る。内臓を切る。		廣田	
1056	11/20	10:59	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付	テキストを読誦。	Z-20	廣田	大歌テキスト「踏上船頭打相令船頭尾月初生○圍」の頁。
1055	11/20	11:00	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	馮友妹	歌い続ける。		廣田	
1057	11/20	11:01~ 11:02	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	盤保古はテキストを見つつフシをつけて読誦。 趙金付はそらでフシをつけて読誦。	Z-20	廣田	読誦は2人同時。 「南蛇不是南蛇様〜」の頁。
1058	11/20	11:06~ 11:10	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	右頁1行目「遊愿到〜」の頁、左頁2行目上段「天光落日歌堂歌」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1059	11/20	11:10	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	歌娘 趙子清 趙桂仔	対面して並ぶ。		廣田	
1060	11/20	11:14	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤喜古 趙金付 馮基華	趙金付は大歌を続ける。 馮基華は香炉に木からを加える。 盤喜古はそらで唱える。		廣田	
1061	11/20	11:15	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	馮友妹	テキストを歌う。 この後、鈴の紙を1部ちぎった。	Z-29	廣田	「不唱了 六〇花開伏〇収交～」の頁。
1062	11/20	11:16	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外	歌娘 趙子清 趙桂仔	対面して並ぶ。		廣田	
1063	11/20	11:17	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	戸外～ 庁堂	歌娘等	庁堂に戻る。		廣田	
1065	11/20	11:17	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	歌娘等	正面を向いて並ぶ。 馮友妹はテキストを見つつ歌を続ける。		廣田	
1064	11/20	11:18～ 11:20	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤喜古 盤保古	盤喜古は鈴をもつて卦。テキストを手に もつてフシをつけて読誦。 趙金付はフシをつけて大歌テキストを読 誦。 盤保古も同時進行でそらで歌う。	Z-26 Z-20	廣田	盤喜古は「又復愿歌」の頁。 趙金付は「湿得廻前自得知 今朝行過五州寨」の頁。
1066	11/20	11:22～ 11:23	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤喜古 盤保古	盤喜古はテキストを読誦。	Z-26	廣田	「復〇〇了 大王姐妹目寛 心遊」の頁「拜王歌」の前 まで。
1067	11/20	11:24	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	歌娘 馮友妹	歌娘は着席。 馮友妹はテキストを開いて歌う。	Z-29	廣田	「帰去也」の頁。
1068	11/20	11:25	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「三書百錢使会了 共留一 文嗣古錢」の頁。
1069	11/20	11:26	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	—				廣田	鈴は祭壇上に戻されてい る。
1070	11/20	11:27	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古	2人は1頁を分けてフシをつけてテキス トを読誦。	Z-20	廣田	左頁2行目「歌堂也…」の 頁。
1071	11/20	11:27	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	馮友妹 歌娘	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「帰去也」の頁。 歌娘は着席したまま。
1072	11/20	11:28	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「歌堂淋淋專是散白米排排 發出強門」の頁。
1073	11/20	11:31	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「改得福江盤王聖帝神帰去 ～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1074	11/20	11:31	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「送神帰去福江廟前車隊 轉双双〜」の頁。
1075	11/20	11:32	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「帰去也収什歌詞帰本〇〇 〜」の頁。
1076	11/20	11:33	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	テキストを読誦。	Z-20	廣田	「三更半夜人來請不曾把火 去連双」の頁。
1077	11/20	11:34	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	左頁1行目上段「帰去也」 の頁、2行目上段「缸頭開 傘逢々魁々轉」の頁。
1078	11/20	11:35	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	テキストを開く。	Z-20	廣田	「不唱了解開船覽放船流行 〜」の頁。
1079	11/20	11:36 ~ 11:38	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	盤保古 趙金付	テキストを1頁戻して歌う。	Z-20	廣田	「三更半夜人來請不曾把火 去連双」の頁。 「不唱了」の頁は歌娘の歌 を待って歌う。
1080	11/20	11:37	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	1行目上段「帰去也」、2行 目上段「収什歌詞帰本〇〇」 の頁。
1081	11/20	11:39	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	全員	片付けを始める。		廣田	
1082	11/20	11:42	盤王愿	唱盤王大歌	盤栄富宅	庁堂	馮基華	厨官は心臓の入った碗を膳に載せて運 ぶ。増設机の上に酒盃・箸と共に並べる。		廣田	
1083	11/20	11:44	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 退席(下席)	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙子清	弟子は酒を注ぐ。		廣田	
1084	11/20	11:45 ~ 11:46	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙柱仔 趙子清	2人は席に着く。卦を鳴らし、鈴に立て 掛ける。酒盃を倒して酒をこぼす。酒盃 の酒を床にこぼす。	不明	廣田	趙金付の手に「還良願答 家主声声還良願問何人席上 得分明答大王席〜」の頁を 開いたテキキストが置かれて いる。
1085	11/20	11:46	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙柱仔 趙子清	趙金付はテキストを読誦。	不明	廣田	「還良願答家主声声還良願 問何人席上得分明答大王席 〜」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1086	11/20	11:47	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	趙金付は早口でテキストを読誦。	不明	廣田	「第一大男出来騎龍第二男出来騎百馬第三大男～」の頁。
1087	11/20	11:47	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	趙金付は盃を倒して酒をこぼす。		廣田	
1088	11/20	11:48	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	趙金付はテキストの頁を戻して読誦。	不明	廣田	「還良願答家主声声還良願問何人席上得分明答大王席～」の頁。
1089	11/20	11:48	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	趙金付はテキストを読誦。	不明	廣田	「第一大男出来騎龍第二男出来騎百馬第三大男～」の頁。
1090	11/20	11:49	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 打令放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	趙金付は盃を戻し、弟子の盃を倒させる。		廣田	
1091	11/20	11:50～ 11:51	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 解鍵放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	趙金付はテキストを早口で読誦。盃の底を打ち、倒す。弟子は盃を戻す。趙金付と盤保古は鈴を卦で鳴らす。	不明	廣田	「又打禾令」の頁。
1092	11/20	11:52	盤王愿	唱盤王大歌 ／ 解鍵放船	盤栄富宅	正面祭壇前 増設机	趙金付 盤保古 趙橋古 趙桂子 趙子清	テキストを読誦。盃の底を打ち、倒す。音を鳴らして倒し、元に戻す。鈴を卦で鳴らす。	不明	廣田	「床脚貼床〇児孫代出照明～」の頁。
1093	11/20	12:44			盤栄富宅	庁堂等	全員	お客も含めて会食。		廣田	
1094	11/20	14:08	盤王愿	送王	盤栄富宅	祖先壇	馮基華	線香を供える。		廣田	
1095	11/20	14:09	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	紅衣を着る。		廣田	
1096	11/20	14:12	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	左手に笏、右手に鈴をもって礼。鈴を振って唱えごと。		廣田	
1097	11/20	14:15	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	家先単を見ながら鈴を振りつつ名を唱える。		廣田	

9. 種別祭儀礼順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1098	11/20	14:17	盤王愿	送王	盤栄富宅	入口脇	囃子方	チャルメラ等を鳴らす。		廣田	
1099	11/20	14:20	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	家先単を見ながら鈴を振りつつ唱える。		廣田	
1100	11/20	14:22	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで左手に鈴をもち、右手で卦。		廣田	
1101	11/20	14:24	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	家先単を見ながら鈴を振りつつ唱える。		廣田	
1103	11/20	14:25	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで左手に鈴をもち、右手で卦。		廣田	
1102	11/20	14:26	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	祭壇上の盃に献酒。酒を注ぎつつ家先単を見ながら唱えごと。		廣田	
1104	11/20	14:28	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで卦。		廣田	
1105	11/20	14:28	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	唱えごとをしながらかめから酒をすくい、右から順に、左から順に、また左から順に、そして右から順に酒を碗に注ぐ。		廣田	
1106	11/20	14:30	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	しゃがんで卦。		廣田	
1107	11/20	14:31	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前 左側	盤保古	いすに腰掛けて紙銭を積む。唱えごと。		廣田	
1108	11/20	14:34～ 14:35	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前 左側	盤保古	家先単を床に置き、それを見ながら紙銭を重ねる。唱えごと。卦。		廣田	
1109	11/20	14:36～ 14:37	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前 左側	盤保古	さらに紙銭を出してフシをつけて唱えつつ、家先単を見ながら紙銭を積む。		廣田	
1110	11/20	14:38～ 14:52	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前 左側	趙金付 盤保古	盤保古は家先単を見ながら紙銭を積む。フシをつけて唱える。卦。 趙金付はしゃがんで紙銭を積む。唱える。卦。		廣田	
1111	11/20	14:54～ 15:02	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤保古	趙金付は立って祭壇から鈴を取り、鈴に付けられていた紙を外す。また家先単の1頁目を引きちぎる。盤保古の横で唱えつつ、卦。 盤保古はひざまずき、紙銭の上で家先単の1頁目願掛けの頁を細かくちぎる。さらに赤糸の結はれた紙も糸を外してちぎる。ちぎった紙をさらに笏の上で鈴を用いてすりつぶす。紙銭に包んで紙銭の山に置く。卦。		廣田	
1112	11/20	15:02～ 15:06	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付 盤保古	趙金付は盤王印(布)を外して置く。 趙金付と盤保古は旗・紅羅・箸等を紙銭の上に載せ、さらに塩信(盤王)も載せる。 盤保古が上から米を撒く。火をかける。		廣田	
1113	11/20	15:06～ 15:08	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古 趙金付	盤保古は祭壇前に立って唱える。かめから酒をくみ、祭壇上の碗に数回注ぐ。 趙金付は祭壇前で外に向かって立ち、唱えごと。卦。		廣田	



番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1114	11/20	15:06	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂中央	歌娘	馮友妹はテキストを見つつ歌う。 3人の女性ば祭壇の方を向いて並ぶ。		廣田	
1115	11/20	15:07	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂中央	歌娘	3人の女性ば庁堂左側で祭壇に向かつて横に並ぶ。 馮友妹はテキストを見つつ歌う。		廣田	
1116	11/20	15:08	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂中央	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「送王歌化〔糸+帛〕用」の頁。
1117	11/20	15:08	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂内	盤保古 趙金付 馮友妹 歌娘	盤保古は正面祭壇に向かつてかめの酒を献酒。 趙金付は祭壇前で外を向きフシをつけてそらで唱える。 馮友妹は祭壇の方を向いてテキストを見つつ歌う。 歌娘は並ぶ。		廣田	
1118	11/20	15:09	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	かめの酒を献酒。		廣田	
1119	11/20	15:10	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂中央	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「厩板甲上送神去～」の頁。
1120	11/20	15:10	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂内	盤保古 趙金付 馮友妹 歌娘	盤保古は祭壇前でしやがみ、卦の後、酒かめに封をする。 趙金付は祭壇前で立ち、そらで唱える。 馮友妹は庁堂中央でテキストをもって歌う。 歌娘は変わらず並ぶ。		廣田	
1121	11/20	15:11	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	祭壇前に立って唱える。		廣田	
1122	11/20	15:11	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	しやがんで卦。唱える。		廣田	
1123	11/20	15:12	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂中央	盤保古	師棍で紙銭の山をつつき、燃やす。		廣田	
1124	11/20	15:13	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂中央	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「厩板甲上送神去～」の頁。 哀愁のある響きの歌で神を送る。
1125	11/20	15:13 ~ 15:21	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂	盤保古 趙金付 馮友妹 歌娘	盤保古は祭壇前で師棍をもち、紙銭が燃えるのを眺めつつ唱える。 趙金付は祭壇横に座り、唱える。卦。 馮友妹は庁堂中央でテキストをもって歌う。 歌娘は居並ぶ。		廣田	
1126	11/20	15:14	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	左頁1行目上段「送神去」 2行目上段「送神情去神州郷廟」の頁。
1127	11/20	15:23	盤王愿	送王	盤栄富宅	庁堂	馮友妹 歌娘	テキストを抱える。終了。 中央の歌娘はかぶり物を取る。		廣田	

9. 種別祭儀礼順序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1128	11/20	15:24～ 15:25	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古 趙金付	盤保古は酒かめから献酒。祭壇上の碗の米を撒く。 趙金付は唱えごとを続ける。		廣田	
1129	11/20	15:25～ 15:27	盤王愿	送王	盤栄富宅	正面祭壇前 ～ 戸外	盤保古	祭壇上の香炉と水盃をもって戸外へ出る。家の前の戸外で碗を伏せて灰を出し、線香で符を描く。唱えごと。		廣田	紙銭はすでに燃え尽きてい る。
1130	11/20	15:27	拝師		盤栄富宅	正面祭壇前	趙金付	唱えごとを続ける。卦。		廣田	
1131	11/20	15:28	拝師		盤栄富宅	正面祭壇前	盤保古	祭壇に戻って鈴をもち、礼。紅衣を脱ぐ。		廣田	
1132	11/20	15:29			盤栄富宅	庁堂	趙金付	角笛・笛・カスタネット・テキストを片付ける。		廣田	
1133	11/20	15:32～ 15:53			盤栄富宅	庁堂	馮基華 お手伝いの女性	祭壇上を片付ける。ちまきをかごに入れ、庁堂右脇の部屋に運ぶ。血は外の田に捨てる。神画等を掛けていたワイヤーを外す。米は袋に入れる。豚の頭は庁堂脇の部屋に運ぶ。肉は庁堂隣の部屋に運ぶ。		廣田	
1134	11/20	16:20～ 16:45			盤栄富宅	戸外	全員	記念撮影。		廣田	
1135	11/20	16:59～ 17:05	散楸酒		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤保古 趙桂仔 趙橋古 趙子清 馮基華 歌娘3人 馮友妹 嚙子方 友亮 女性 受礼者	趙金付・盤保古・盤保古・趙桂仔・趙橋古・趙子清・馮基華・歌娘3人・馮友妹・嚙子方男性(盤友亮)・女性は長テーブルを囲んで座る。その後ろで5人の受礼者が礼拝。師父3人は唱えごと。酒盃に箸を1本入れる。		廣田	テーブルには酒盃・箸・肉の 入った碗。
1136	11/20	17:05～ 17:07	散楸拝師		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤保古 受礼者及び家族	テーブルから立ち上がり、師父3人が残り、5人の受礼者及びその家族から礼拝を受ける。 趙金付が何かのたまう。		廣田	
1137	11/20	17:07	散楸拝師		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤保古 盤保古 受礼者及び家族	もう1度着席する。		廣田	
1138	11/20	17:11～ 17:24	唱賛歌		盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌い言祝ぐ。	Z-29	廣田	「唱歌賀 唱歌来賀貴門楼 前～」の頁。

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1139	11/20	17:25～ 17:26	唱賀歌		盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌い言祝ぐ。	Z-29	廣田	「今年賀郎還良愿五穀陰禾 千万年～」の頁。
1144	11/20	17:29～ 17:46	唱賀歌		盤栄富宅	庁堂右隣部 屋	馮基華	重さを量りながら肉を分ける。		廣田	
1140	11/20	17:32	唱賀歌		盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌い言祝ぐ。	Z-29	廣田	右頁1行目上段「来賀主」 左頁最終行「来賀仔来賀歌 堂拜天師」の頁。
1141	11/20	17:35～ 17:38	唱賀歌		盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌い言祝ぐ。	Z-29	廣田	「難为拜天師爷○門前寄言奇 語説～」の頁。
1142	11/20	17:41	唱賀歌		盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌い言祝ぐ。	Z-29	廣田	「書表師人一年四季身迎也 ○○～」の頁。
1143	11/20	17:47	唱賀歌		盤栄富宅	庁堂	馮友妹	テキストを歌い言祝ぐ。	Z-29	廣田	「娘小不曾接得当初劉三妹 娘～」の頁。
1145	11/21	06:04～ 06:37	分紅		盤栄富宅	庁堂右隣部 屋	馮基華 馮栄軍 男性	書き付けを見ながら肉を分配。 馮栄軍らが手伝う。		廣田	
1146	11/21	06:40～ 06:43			盤栄富宅	戸外	—			廣田	ご祝儀の表
1147	11/21	06:43～ 06:45	拆兵		盤栄富宅	庁堂祖先壇 前	馮基華 盤喜古	厨官はドラを叩く。祖先壇の灯明に火を 点す。 盤喜古は祖先壇に火の点いた蠟燭を供え る。		廣田	
1148	11/21	06:47～ 07:20	拆兵		盤栄富宅	庁堂祖先壇 前	盤喜古	家先単を見ながら唱える。時々卦を打っ て音を立てる。卦、礼、献酒を繰り返す。		廣田	
1149	11/21	07:00～ 07:42	分紅		盤栄富宅	庁堂右隣部 屋	馮基華 馮栄軍	肉を分配する。それぞれの分量と役割名 を書いた紙を貼る。		廣田	書き付け
1150	11/21	07:04～ 07:15	分紅		盤栄富宅	庁堂右奥	趙桂仔 趙子清	弟子は蓄積された米を分配。		廣田	
1187	11/21	07:12～ 07:13	拆兵		盤栄富宅	庁堂祖先壇前机	盤友亮 趙桂仔	盤友亮は紙銭を切る。 弟子は紙銭を打つ。		廣田	
1151	11/21	07:21	拆兵		盤栄富宅	庁堂右奥	—			廣田	師父たちの帰り支度。 包まれた神画には師棍が挿 してある。
1152	11/21	07:23	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	机の上に紙銭を積む。唱えごと。机の上 に家先単を置き、見ながら唱える。		廣田	
1154	11/21	07:24～ 07:31	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	床に紙銭を積む。唱えごと。家先単を見 ながら唱えごと。		廣田	
1156	11/21	07:33～ 07:37	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	しゃがんで紙銭を積み、唱える。卦。		廣田	

9. 種別別儀式順序

番号	日付	時間	大儀式名	小儀式名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1155	11/21	07:37	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	祖先壇に献酒。		廣田	
1157	11/21	07:38 ～07:42	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	紙銭を燃やす。卦。唱える。		廣田	
1158	11/21	07:38～ 07:39	拆兵		盤栄富宅	庁堂右側	馮友妹 歌娘	脇に3人の歌娘が座って並ぶ。テキストを歌う。	Z-29	廣田	「香炉水碗倒落地水碗不回神不回行」の頁。
1159	11/21	07:40～ 07:41	奉倉庫		盤栄富宅	庁堂左隣部 屋	趙子清	倉庫を作る。		廣田	
1160	11/21	07:43	拆兵	唱拆兵歌	盤栄富宅	庁堂右側	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	「装馬去大所装馬出宮当～」の頁。
1161	11/21	07:43～ 07:47	拆兵	唱拆兵歌	盤栄富宅	庁堂	馮友妹 歌娘3人 盤喜古	盤喜古は祖先壇下で紙銭を燃やす。卦。歌娘は右側に並ぶ。馮友妹はテキストを見ながら歌う。	Z-29	廣田	「装馬去大所装馬出官当～」の頁。
1162	11/21	07:47	拆兵	唱拆兵歌	盤栄富宅	庁堂右側	馮友妹	テキストを歌う。	Z-29	廣田	左頁1行目上段「収什歌詞装馬去」2行目上段「歌曲行前妹行后」の頁。
1163	11/21	07:48～ 07:49	拆兵	唱拆兵歌	盤栄富宅	庁堂	盤喜古 馮友妹 歌娘3人	祖先壇に向かって立って神画の包みと師棍をもち、唱えごと。馮友妹は庁堂右側に座り、テキストを見ながら歌う。歌娘は庁堂右側に立ち並ぶ。		廣田	
1164	11/21	07:49～ 07:50	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	しゃがんで何回も卦。立ち上がって祭壇に向かい、唱えごと。		廣田	
1165	11/21	07:51	拆兵		盤栄富宅	戸口	盤喜古	戸口に行つて卦。神画の包みと師棍を入口脇に立て掛ける。		廣田	
1166	11/21	07:52	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	祖先壇に戻り、趙金付の神画の包みと師棍をもって唱えごと。		廣田	
1167	11/21	07:52～ 07:54	分紅		盤栄富宅	庁堂	基華 歌娘 馮友妹 離子方 趙金付 趙橋古	厨官は歌娘・羅鼓・羅鼓・趙金付等の紅包の中身を回収。弟子に渡す。		廣田	
1168	11/21	07:54	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	しゃがんで卦。		廣田	
1169	11/21	07:55	拆兵		盤栄富宅	戸口	盤喜古	趙金付の神画の包みと師棍を戸口に立てる。		廣田	爆竹が鳴らされる。
1170	11/21	07:55～ 07:56	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	盤保古の神画の包みと師棍をもち唱えごと。		廣田	
1171	11/21	07:56～ 07:58	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	しゃがんで何回も卦。		廣田	

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1172	11/21	07:59	拆兵		盤栄富宅	戸口	盤喜古	盤保古の神画の包みと師棍を戸口に立てる。唱えごとをしつつ卦。		廣田	
1173	11/21	07:59	拆兵	唱拆兵歌	盤栄富宅	戸口	歌娘 馮友妹	馮友妹は歌いつつ歌娘と共に外へ。歌娘は帽子を取って家の中に入る。馮友妹は帽子を片付ける。		廣田	
1174	11/21	08:00～ 08:08	拆兵		盤栄富宅	祖先壇	盤喜古	祖先壇前に戻り、唱えごと。家先単をもつて名を読む。座って何回も卦。唱えごとをして1回卦。祖先壇に向かって唱える。祖先壇上に献酒。さらに唱えごと。卦を打って礼。		廣田	
1175	11/21	08:09			盤栄富宅	庁堂右隣部 屋	—			廣田	肉・卵・餅等が分配して置かれていた。
1176	11/21	08:10			盤栄富宅	戸外	趙金付	バイクに荷物を載せる。		廣田	
1177	11/21	08:21			盤栄富宅	戸外	盤栄富 客人	盤栄富から返礼。		廣田	
1178	11/21	08:21～ 08:23	上馬酒		盤栄富宅	入口脇	嚙子方	チャルメラ等を鳴らす。		廣田	
1179	11/21	08:22	上馬酒		盤栄富宅	庁堂	馮基華	テーブルに豆腐・鶏・豚の料理・碗・盃・箸を並べる。		廣田	
1180	11/21	08:34～ 08:37	上馬酒		盤栄富宅	庁堂	趙金付 盤喜古 盤保古 馮基華 歌娘 馮友妹 趙桂子 趙子清 趙橋古 盤栄富 盤明古	テーブルに着く。酒が注がれる。宴会が始まる。歌娘たちはお金のやり取りを始める。		廣田	
1181	11/21	09:19～ 09:32	上馬酒		盤栄富宅	庁堂～ 各自祖先壇	趙金付 盤喜古 盤保古 受礼者	師父たちは盆の上の碗に酒を注ぎ、その上に兵庫・金銀の包み5らずつ、その上に紅包を載せる。その上にコイン入り紅包を載せる。趙金付は盆をもち礼、唱えごと。“有庫”とのたまう。趙金付の右に盤保古、左に盤喜古が並ぶ。趙金付は手をおまねいて礼。趙金付と盤保古が盆を運び、受礼者に渡す。受礼者は碗をそれぞれの祖先壇へ置く。		廣田	

9. 種別別儀礼程序

番号	日付	時間	大儀礼名	小儀礼名	場 所 (大項目)	場 所 (小項目)	行動主	行動	読誦テキスト	記録者	備考
1182	11/21	09:32			盤栄富宅	庁堂	歌娘	帰り支度をすする。		廣田	
1183	11/21	09:33 ~ 09:35			盤栄富宅	戸外	—			廣田	「歌娘法師酬礼」の紅包と 「厨官男女」の紅包、たば こが置かれた盆がある。
1184	11/21	09:38 ~ 09:48	分紅		盤栄富宅	庁堂	馮基華	厨官は肉等を分配する。		廣田	
1185	11/21	09:50	—		—	—	—			廣田	現地を離れる。

# 7. ヤオ族文化研究所所蔵 テキスト目録





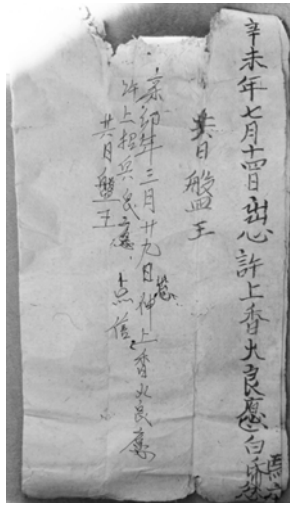


## ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録




今回還家愿儀礼で使用され、調査時に確認できたテキストについて目録化した。前号に当る『中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告 I』で目録化したものの中にすでに含まれているテキスト B-8・A-32a・A-11・A-22 も使用されていることを確認できたが、今回の目録からは外した。重複して撮影したテキストには、複数の整理番号がついていることをおことわりする。盤家の家先単 (X-1・X-2) 及び盤家が以前行なった願掛けの願書 (X-3) はテキスト化されたものではない文書であるが、今回の儀礼で作成使用された家先単 (Z-3b・Z-4・Z-5・Z-6・Z-7) を作成するにあたり参考とされた文書であるので目録に加えた。

(文：廣田 律子)


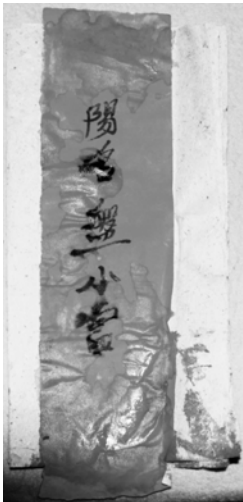

7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	X-1	X-2	X-3
題名			
ジャンル	家先単	家先単	願書
紀年・記名			辛未年七月十四日出心許上香火良愿 辛卯年三月廿九日出心伸上香火良愿
用語・備考	還家愿儀礼施主の盤家の家先単(原本) 盤家先祖の法名・妻の名・生没年 全1頁 竹筒に入れ祖先の祭壇に置かれる	還家愿儀礼施主の盤家の家先単(原本) 盤家先祖の法名・妻の名・生没年 全1頁 裏表使用 竹筒に入れ祖先の祭壇に置かれる	盤家が以前行なった願掛けの願書 全1頁 竹筒に入れ祖先の祭壇に置かれる
冒頭	盤姓甫名龍登天堂	盤姓甫名龍登天堂	辛未年七月十四日
末尾			
静止画			
撮影日	2011年11月16日	2011年11月16日	2011年11月16日

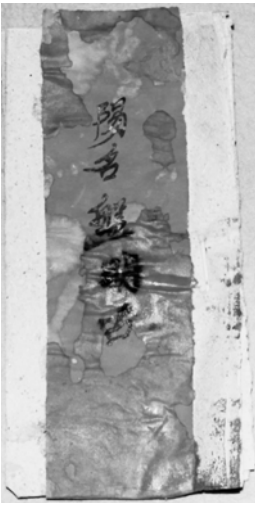

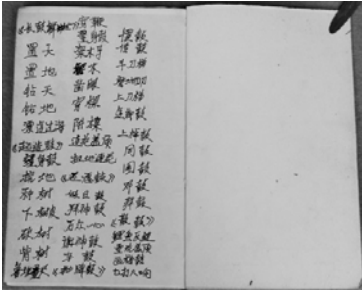
## 7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	Z-1b	Z-2b	Z-3b
題名		趙氏門戸 家先名单	家先单 家主盤栄富
ジャンル	意者書（御名意者）	家先单	家先单
紀年・記名	盤法旗 湖南道永州府藍山県滙源郷大源冲 申辰歳中十一月初〇亥時懐胎（中略） 乙丑年十一月初八日中深交林相配夫妻（中略） 戊子歳中十月二十九中深日正度師引度師帯兵本壇（中略）十一月初三中深日十二名霊師（中略） 初四深日辰巳〇時呑飲黄禾米（中略） 初五中深日中夜道場（中略）	趙氏家門中	
用語・備考	盤保古祭司の人生儀礼の受礼の状況、意者書、儀礼に必要な呪文 全 34 頁	趙金付（金仔）祭司の家先单 全 3 頁 趙家先祖の法名・妻の名	掛三灯儀礼受礼者盤栄富用に作られた家先单 10 頁 願書の写し 盤家先祖の法名・妻の名
冒頭	主醮師 趙法明～ 度戒儀礼時の祭司の役割と法名	趙氏門戸 家先名单（表紙）	家先单 家主盤栄富（表紙）
末尾			
静止画			
撮影日	2011 年 11 月 16 日	2011 年 11 月 16 日	2011 年 11 月 16 日


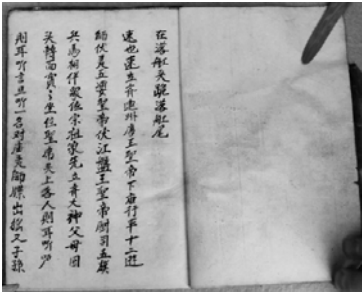

7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	Z-4	Z-5	Z-6
題名	陽名 盤継生	陽名 盤小富	陽名 盤運仔
ジャンル	家先単	家先単	家先単
紀年・記名			
用語・備考	掛三灯儀礼受礼者盤継生用に作られた家先単 8頁 盤家先祖の法名・妻の名	掛三灯儀礼受礼者盤新富用に作られた家先単 8頁 盤家先祖の法名・妻の名	掛三灯儀礼受礼者盤認仔用に作られた家先単 10頁 盤家先祖の法名・妻の名
冒頭	陽名 盤継生 (表紙)	陽名 盤小富 (表紙)	陽名 盤運仔 (表紙)
末尾			
静止画			
撮影日	2011年11月16日	2011年11月16日	2011年11月16日



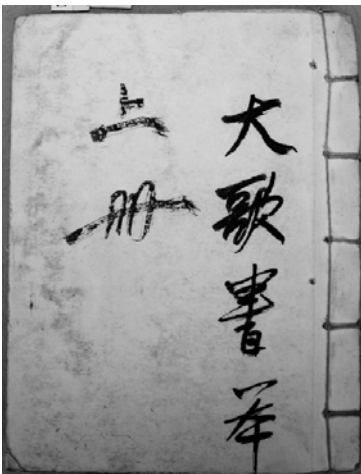
## 7. ヤオ族文化研究所蔵テキスト目録

テキスト番号	Z-7	Z-8	Z-12
題名	陽名 盤明古	度亡書一本	
ジャンル	家先単	超度書	歌堂書
紀年・記名		趙金仔 滙源郷湘蘭村黄竹埂組	
用語・備考	掛三灯儀礼受礼者盤明古用に作られた家先単 10頁 盤家(妻方)先祖の法名・妻の名・盤明古の生父母の名	掛三灯儀礼の呪文・罡歩 七言上下句 懐胎経／二十四孝喃詞 全78頁	七言上下句 全92頁
冒頭	陽名 盤明古 (表紙)	自從盤古開天立地罡立	《長鼓舞出世》罡天・罡地・鈎天・鈎地・漂遊過海
末尾		十愁孫兒未成家	吉時相用不○連留卡出王
静止画			
撮影日	2011年11月16日	2011年11月17日	2011年11月17日

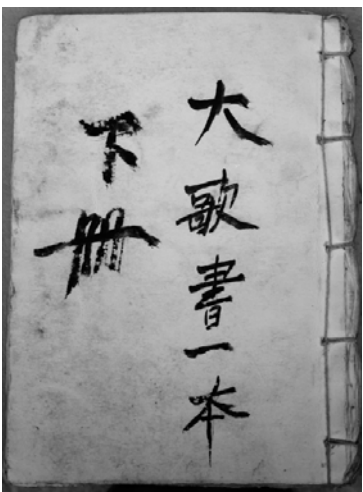

7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	Z-13	Z-15 (Z-25)	Z-16 (Z-27)
題名			善果書〇乙本
ジャンル	伝度書	意者書・歌堂書	賞光書（還愿用）・歌堂書
紀年・記名	滙源湘蘭黄竹埂 趙金仔の印	馮榮軍	
用語・備考	掛三灯儀礼の呪文・儀礼歌 七言上下句 全 38 頁	七言上下句 全 63 頁	神名・神々に関する歌・呪文 三十六段歌曲目次 歌書／差光／接福江廟／福江廟 七言上下句 全 224 頁
冒頭	傳燈用 勅変水碗 一変此水化為酒埠之水	在落舡頭跪落舡尾 速也速立齊連州唐五聖帝	請上連州聖帝唐一郎王劉教四郎王
末尾	元盆要在招兵后還要要看栽兵	逆産胞衣不下併落妃胎	牙笏便是天地造日裡定陽夜定陰
静止画			
撮影日	2011 年 11 月 17 日 2006 年 1 月 6 日	2011 年 11 月 17 日	2011 年 11 月 17 日

## 7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録


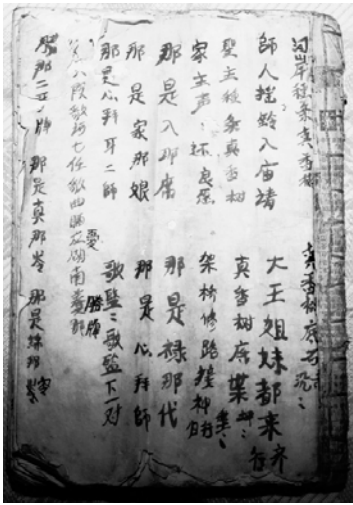
テキスト番号	Z-17 (Z-28)	Z-18	Z-19
題名			大歌書上冊
ジャンル	歌堂書	請聖書	歌堂書
紀年・記名	湖南 南京十宝殿 盤古聖王置天地	藍山県滙源郷鄧脚岭馮榮軍代筆 抄録 1999年巳卯歳正月十八日酉時	
用語・備考	七言上下句 全 136 頁	呪文・神に関する歌・神名・符 七言上下句 全 122 頁	七言上下句 全 122 頁
冒頭	拜神聖一拜高王二拜師	三炉香請完用太極分高後	三十六段歌詞 起聲唱初入席歌詞
末尾	香炉把娘運運去運回山過山	黄姓未音江南郡生在申官在亥財 在酉日玉在子庫在辰絶在巳	听音齐耳听〔口+声〕
静止画			
撮影日	2011年11月17日	2011年11月17日	2011年11月17日

7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	Z-20	Z-23	Z-24
題名	大歌書下冊		
ジャンル	歌堂書	賞光書（還愿用）	賞光書（還愿用）
紀年・記名		黄玉輝筆 甲辰歳季秋月七月下完抄 黄元富記	生在湖南
用語・備考	七言上下句 120 頁	呪文・儀礼歌・神名・神々に関する歌 差光／土地歌／接三廟／運銭歌 七言上下句 全 240 頁	剥落激しい 儀礼歌・神々に関する歌・掛三 灯儀礼の呪文・神名 上光／羅帯歌／土地歌／盤王出世／猷四府歌／運銭歌／分兵歌 七言上下句 全 254 頁
冒頭	新新愛入桃源洞	鬼の字 甲辰歳季秋月七月下完抄	○声便柴頭差把火光
末尾	開籠放鷄滿天飛行	擇官任々収榜文	時時李付師男
静止画			
撮影日	2011 年 11 月 17 日	2011 年 11 月 18 日	2011 年 11 月 18 日



## 7. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	Z-26	Z-29
題名		
ジャンル	歌堂書・意者書	歌堂書
紀年・記名	藍山県滙源〇〇〇民公社愛瑤委員會の印 盤中典記号 景定元年四月初八 南京十保山 湖南道州黄土塘・寧遠西洞・黄土塘・宝塞山・桂陽州・藍山・廣州坭洞	湖南 過海望廣東 盤古聖王置天地 遊到廣東招平果 南京十保殿 出世落昌府 四廟書写完了 1984 年 光緒拾捌年甲子辰歲十月中旬盤明福置立慶盤王歌書乙本永〇千古
用語・備考	儀礼歌・還愿保書・愿歌 福江廟／盤王起計／盤古置天／三十六歌／四廟 七言上下句 全 194 頁	七言上下句 全 98 頁
冒頭	入〇唱歌 入〇唱制竹花開入〇頭	河岸種案真香樹真香樹底石〇沉々
末尾	垃利連羅拉利里〇過木頭〇子〇	冬季万坦入郎家
静止画		
撮影日	2011 年 11 月 19 日	2011 年 11 月 20 日



## 8. ヤオ族儀礼神画

トレース画と複製画

湖南省藍山県湘藍村に居住する宗教職能者の趙金付氏が所有している。ヤオ族が儀礼中使用する神の像が描かれた神画は剥落がひどく、所有者の意向もあり、ヤオ族文化研究所が修復を依頼され、修復作業を譚静が担当した。修復に際しては、ヤオ族文化研究所所蔵の写真資料を原画として用い、神画に描かれた神々の姿（衣服の色、柄、皮膚の色、持ち物、眷族、背景など）や神画の制作年代、奉納者や所有者に関する銘文などについて詳細な読み取りをするため、まず神画のトレースをした。また画像処理ソフトの PHOTOSHOP を用い、トレース図を修整し、色を塗り、原画に忠実に複製した。現時点では、トレース図 15 枚・複製図 5 枚ができている。この一覧に示しているものである。

（文：譚 静）



鑿斎大王 トレース画



張天師① トレース画



把壇師 トレース画



地府 トレース画



天府 トレース画



李天師 トレース画

8. ヤオ族儀礼神画 トレース画と複製画



張天師② トレース画



聖主 トレース画



玉皇 トレース画



十殿 トレース画



大海番 トレース画



海番張趙二郎 トレース画



三將軍 トレース画



総壇 トレース画



太尉 トレース画



元始天尊 複製画



靈寶天尊 複製画



道德天尊 複製画

8. ヤオ族儀礼神画 トレース画と複製画



太尉 複製画



海番張趙二郎 複製画

トレース画及複製画担当：譚静



## 9. 藍山県ヤオ族の年中行事



## 藍山県ヤオ族の年中行事

歴史民俗資料科学研究科博士後期課程

李 利

2009年8月5日から12日に中国湖南省長沙市韶山北路の省委招待所において、補足調査（宗教者や施主への聞き取り）が行われたが、この機会にヤオ族の年中行事についての調査を行った。以下に藍山県のヤオ族である馮基華氏<sup>(1)</sup>・盤榮富氏<sup>(2)</sup>から聞き取り調査した年中行事資料に基づいてまとめた。また張勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』湖南岳麓書社出版2002年に書かれた年中行事と、2010年5月吉野晃・廣田律子が趙金付氏<sup>(3)</sup>らに聞き取った年中行事に関する報告及び2012年3月に実施された送船儀礼調査の報告を参考にしながら、筆者が調査で聞き取ることはできなかった内容や、異なった内容について記述した。行事の月日はすべて陰暦で記している。

### 正月

15日の「元宵節」まで続く。初一（元日）から朝から晩まで新しい茶葉に換えて飲まなくてはならない。他人にお金、米を借りてはいけない。特別の理由がないかぎり簡単には大門の正面から出てはいけない。特に商人の家ではこのようなことが避けられる（馮基華氏・盤榮富氏）。

#### 初一 「春節」

年間最大の行事である。家先堂に線香、茶、酒が供えられる。必ず酒杯を洗う。茶が5杯置かれる。茶葉を多めに入れて、味が濃いほどよい。食べ物は供えない。紙銭を燃やさない。爆竹を鳴らすのは夜が明けてから、時間は早いほどよい。深夜12時から夜が明けるまでという家もある。紙銭で竹の底部を巻いて、大門の入り口、大庁、家先堂に置かれる。それには、金銀を取って帰って来たという意味がある（馮基華氏・盤榮富氏）。

新年時には〈供家先〉（〈家先〉に対する祭祀）は行わない。〈供家先〉は、家族内にトラブルがあるときのみ行う。謝龍を行う。藁やチガヤで作られた龍を香龍という。龍の上に線香を挿し、夜に5人で担ぎ、ドラ等の囃子方とともに家々を回る。戸口・家の前で東南西北四方を清め、除災送瘟を行う。昼間、長鼓を打ち、瑶歌を歌う（趙金付氏）

初日は春節であり、寅卯の刻に起床してから、客間に提灯や色紙で飾って、爆竹を鳴らして扉を開くとされる。これから神々、先祖に供え、一年の間の運勢アップをお願いする。また家の外に、当年のいい方向に向けて線香紙銭を燃やし、交通安全、よい財産運を祈る。元日から村人が新年の挨拶と祈りを交わす。他人に縁起が悪い言葉を出したら、村の長老に告げ、詫びのことにする。香龍を舞うという。なお初一、二を「新年」と称している。2日間に婿入りと嫁娘が父母の家に訪ねって新年の挨拶にする（張勁松 『藍山県瑶族伝統文化田野調査』湖南岳麓書社出版 2002年 11-12頁）。

#### 初五 「送懶鬼」

初日から初四までできるだけ掃除しないという習慣がある。やむを得ず掃除する場合にはゴ

(1) 2008年に行った度戒儀礼の第八会首であり、藍山県江源郷湘蘭村大団源組に居住している。1964年生まれた男性である。今回の主な話者である。

(2) 藍山県所城鎮幼江洞林に出身であり、現在藍山県県城に住んでいる。2009年調査するときに藍山県民族委員会主任である。1951年生まれた男性である。

(3) 2008年に行った度戒儀礼の主醮師であり、藍山県江源郷湘藍村黄垭組に居住している。1963年生まれた男性である。

## 9. 藍山県ヤオ族の年中行事

ミを正面から出さず、側門から出す。このときまでに出たゴミは「福」とみなされるからである。朝ご飯と昼ご飯の間に初日から出たゴミを箕で十字路のところに運んで、この場で線香が焚かれ、紙銭が燃やされ、爆竹が鳴らされ、「送懶鬼」が行われる。当日にはその箕を置いたままにしておき、何日か過ぎてから家に持ち帰る（馮基華氏・盤榮富氏）。

これを「小元宵」と称している。「送懶鬼」の同時に「勤神」を迎えるとされる。この日からベッドを移動すること、家を建つこと、家を修繕することがすべて占って決める日にする（張勁松 前掲書 2002年12頁）。

### 15 「元宵節」

正月の最終日である。初一のように家先堂に線香、茶、酒を供える。爆竹を鳴らす。食事する。12月30日に春聯などの祝紙を燃やすという習慣がある。なお、モモ、ナスの樹幹に紅紙を貼る行事「掛紅」が行われる。「掛紅」を施した果樹から収穫された果物は形もよく、味もよいといわれる。現在、藍山県ではこの風習は少なくなっている。隣県の寧遠県で「掛紅」がよく行われる（馮基華氏・盤榮富氏）。

この日に何も特に盛大にはやらない（趙金付氏）。

### 2月初一 「敬鳥節」<sup>(4)</sup>

竹で鳥の形を作り、もち米を用いて鳥の口を作る。もち米の粘着力で鳥の口は閉じたまま接着されてしまうが、鳥が五穀を食べないようにという願いがこめられているといわれる。農耕生活の人々は「五穀豊穰」を願うからである。作った鳥を家先堂の外側、大門、野菜棚に置いておく。もともと瑶族に特有な行事とみられる（馮基華氏・盤榮富氏）。

この日にヤオ族の青年たちは登山し、お互いに歌う。これを「歌仙」に記念し、「五穀豊穰」にも願う（張勁松 前掲書 2002年12頁）。

### 3月初一 「禁雷節」<sup>(5)</sup>

要するに「雷神」を敬意することである。家先堂、門の外には線香、紙銭を供える（馮基華氏・盤榮富氏）。

この日は、家に居静かに過ごす（趙金付氏）

### 清明節

清明節の一週間前にお墓に詣でる。お墓の前に線香1本、酒5杯、水1杯、豆腐、蒸鶏を丸ごと1羽、豚肉1塊、紅蠟燭2本、紙銭が供えられる。「過橋」といい、お墓の上にビニールの布を敷く。また親指の太さの樹木を伐採し、真ん中を紙銭で包んだものを置く。線香が半分燃えたところで爆竹を鳴らす（馮基華氏・盤榮富氏）。

3月墓参り掃墓、拜先祖。供物は鶏・猪肉・魚・粍々・線香・紙銭・酒・蠟燭・爆竹がある。墓に常葉樹に紙銭付けたものを挿す。代々男子を授かった家は色付きの紙を付ける。焼紙は土地（土公・土母）・龍神（龍公・龍母）・龍神土地に対しても行い、祖先を守って貰うよう念誦する（趙金付氏）。

### 4月初八 「牛日節」

耕牛を休息させて慰労する「牛日節」が行われる。家先堂に線香を供え、祖先を敬う。門の左に置いた竹筒にも火をつけた線香を入れて敬意を示す（馮基華氏・盤榮富氏）。

競牛を行う。（張勁松 前掲書 2002年14頁）。

(4) これを「赶鳥節」と称している（張勁松 前掲書 2002年12頁）。

これは「禁鳥」とも称する（趙金付氏）。

(5) これを「禁雷神」とも称する（趙金付氏）。

### 5月初五 「端午節」

家先堂に線香3本、線紙、ヨモギ、「青果藤」（藤に似て産毛のある植物）を供える。門の上にヨモギ、「青果藤」を飾っておくのは「避邪」とされ、蛇が入らないためとされる。朝、男子は冷たい水を身体に洗い、女子は近い山に登っているいろいろな薬草<sup>(6)</sup>、を採りに行き、採った薬草を煮る。これを「端午菜」という。塩を入れて食べたり、お風呂に入れたりする。「端午菜」は活血駆風の効果があるといわれる。これによって一年の健康が守られると信じられている。産婦も食べたりお風呂に入れたりしてもよい。女子を出産した場合は、産後一晩を経て、「端午菜」で身体を洗えば外に出かけることができる。男子の場合は産後三晩を経て同様にし、出かけることができるという習慣がある（馮基華氏・盤榮富氏）。

蛇（老鼠蛇・銀花蛇・菜花蛇・五步蛇）が来ないようにと、米酒に雄黄と水井佛を入れ家の周りに撒く。家先に対して焼紙。薬剤（楓木・葛騰等）売る。門戸に葛騰（葛籐？）を飾り、右の端に水井佛（水井符？）、左の端に「六月艾」を付ける（趙金付氏）。

雄黄酒を飲む。毒蛇を防ぐために雄黄酒を家の周りに撒く。治病のために薬草を採る。当晚採った「風寒薬」を煎じて沐浴する（張勁松 前掲書 2002年 14頁）。

### 6月初六 「試新節」<sup>(7)</sup>

一年の中で初めての収穫を祝う。家先堂と門の外で祝う。家先堂の家神を祀り、門の外に地藏菩薩を祀る。供物として線香3本、収穫したトウモロコシ、紙銭を供える。祀るまえに食べると口がひん曲がったままになるといわれる（馮基華氏・盤榮富氏）。

地藏菩薩の誕生日のために、地藏菩薩を祀る（張勁松 前掲書 2002年 13頁）。

### 7月14日 「敬神節」<sup>(8)</sup>

ヤオ族の年中行事の中で重要な行事とされる。「包紅包」という習慣がある。5、6人の「法師」を招き、紙銭のような紙を用い、紅包を作ることを行う。日暮れ後から家先堂で行事を行う（馮基華氏・盤榮富氏）。

7月14日～15日に行われる行事が「目連節」と称する。14日に家先を祀る。供物は酒・豚肉・鶏・紙銭・蠟燭・線香がある。請神には A32「請上【土+玄】兵」～「請本主家先」女人家先まで家先壇にいる神々の名を念誦する。「請上壇兵」「請下壇兵」「請福江」「請宅住龍神」紙銭は祖先が揚州で観劇や旅行等をする費用となる。紙銭は貯めることができない銭。15日は設外里鬼：外の神（外里鬼）、弧神や野鬼を祀り、蠟燭・線香・1杯の冷飯・紙銭を供え、念誦する。家先を祀るときとは異なるテキスト（見つからなかった）を読む。出稼ぎ者はこの時期には戻って来ない。出稼ぎ先で焼紙をする（趙金付氏）

14日は人の祭りで、15日は神の祭りである。（張勁松 前掲書 2002年 13頁）。

### 8月15日 「中秋節」

「糯 ba<sup>(9)</sup>」を食べる習慣がある。初日から新鮮なバショウ（芭蕉）の葉を買ってきて、初十ごろに包みはじめ、棗、落花生、干葡萄、緑豆などをもち米の中に入れ、一晩煮ておく。大きい「糯 ba」は2、3キロあり、食べるときには薄く切って砂糖をつけて食べる。毎年7キロぐらいの糯米が利用される。普通の家では妻や子供をつれて、妻の実家に行く習慣がある。その際「月餅」と「糯 ba」

(6) 日本語にすると誤解が生じる恐れがあるので中国語でも記しておく。追骨風、半邊風、艾葉、大活血藤、千斤撥、楓葉、松勁草。

(7) これを「過半年」と称する（張勁松 前掲書 2002年 13頁）

(8) これを「目連節」と称する。「孝子節」ともいえる（張勁松 前掲書 2002年 13頁）。

(9) 米へん+巴という漢字である。

## 9. 藍山県ヤオ族の年中行事

を必ず土産とする。その他、果物や、肉などを適切な土産とする。新婚（結婚一年目）の男性は14日に、酒2瓶、鴨、豚肉、粽2キロぐらい、月餅を義父及び義兄弟の家に持って行って、一緒に食事をします。家が近い場合には当日帰る。遠い場合には一晩泊まり、翌日帰る。帰るときに「15日にうちに食事に来てください」という習慣がある。15日に妻側の親戚が来るときには粽、果物、月餅を土産とし、肉類は持って来ない。このような行ったり来たり（来来回回）ということを楽しむという意味で（歡歡喜喜）という。夜になると、家先堂において敬香と紙銭が焼かれる（馮基華氏・盤榮富氏）。

14日の晩にヤオ族の青年たちは「偷秋」ということをやる。当地の最も強い婦人の畑に、気づかれないようにスイカ、トウモロコシ、落花生などをとって、「盗窃者」といわれたら、好運に恵まれてくると信じている（張勁松 前掲書 2002年 13 - 14頁）。

### 9月初九 「重陽節」

家々がもち米を用いて、酒を作る習慣がある。初九で作った酒を「もち米酒」、「重陽酒」「拖干酒」と称する。一年中で最もよい酒といわれる。毎年地元の野生の梅を用い梅酒も造られる。40個ぐらい野生の梅を洗い、干して、蚊帳用の紗に包んで酒に漬け、1ヶ月以上経てば飲むことができる。長く置きすぎると梅がくさくなるおそれがある（馮基華氏・盤榮富氏）。

早禾を食べる。喫新である。祖先を祀る（趙金付氏）。

### 10月16日 盤王節

ヤオ族にとって最大の行事で、集団で行う。藁で作られた龍の形の「香龍」を手に持って舞う独特な舞や、「唱対歌」、「長鼓舞」などがある（馮基華氏・盤榮富氏）。

盤王節は行わない（趙金付氏）。

ヤオ族盤王は、10月16日に戦功を立てたと伝えられている。各村で豚、羊を殺し、各家に糍ba、酒、豆腐を作ってお互いに訪ね、盤王廟に唱歌を歌いたり、長鼓を舞いたり、「調盤王」という行事を行う。「過年」のような盛大な行事であると書かれている（張勁松 前掲書 2002年 14頁）。

### 12月（蠟月）

20日ごろからどこの家も正月の準備を始め、豚を殺して、「臘肉」<sup>(10)</sup>、「五花肉」<sup>(11)</sup>、「卷子」<sup>(12)</sup>を作り、正月の来客に備える。25日から30日まで神々は映画を見に行くため、家にはいないとされる。そのためこの期間は神棚、お墓の繕い、山林の伐採が自由にできる。お墓を繕う日は「家神看映画」と「清明」の以外の日を占って決められる。それをしないと家族のどれかの体がおかしくなる（馮基華氏・盤榮富氏）。

### 24日 「過小年」

24日は「過小年」という。「家神看映画」ともいう。5ヶ所で祀られる。家先堂に線香3本、酒5杯、紙銭、水1杯、豆腐、豚肉1つ、紅蠟燭2本を供える。1盞の茶油を朝までともす。祖先が祀られる。庭、竈に線香3本、酒1杯、紙銭、水1杯を供える。「竈王神」を祀るとされる。門の内側に線香3本、酒1杯、水1杯、紙銭を供える。「把門將軍」を祀るとされる。門の外側に線香3本、酒1杯、紙銭、灯1油を供える。「yongfei」を祀るとされる。門の外の丁字路或は十字路に「土地公公」、「七星姉妹」、「一二四位夜鬼」、「六郎廟王」を祀るとされる。その日の夜に家族が揃ってご馳走を食べる（馮基華氏・盤榮富氏）。

(10)「臘肉」：丸々1頭の豚を小さく切って、大鍋或桶に入れ、酒（度数が高いほどよい）を入れ、2、3日漬けて置いた後、竈の上に数10日吊るして食べ頃にする。

(11)「五花肉」：小さく切った豚肉、水、大根と一緒に蒸す。また茶油で揚げるもの。

(12)「卷子」：豚もも肉を湯葉で巻いて、油を用いて揚げて切って蒸すもの。

人々が出稼ぎから帰って来る。祖先を祀り、灶王も祀り、鶏や豚肉を食べる。祖先が家族の数を確かめるので、祖先に誰が帰っていないか報告する（趙金付氏）。

### 29、30日 「過大年」

「過小年」の供える物とはほぼ同じであるが、紙銭を燃やさない。家先堂に置かれる酒杯を洗ってから使う。庭に酒が置かれる。線香をともし。紅紙に紙銭のような紙を貼る、米倉、豚小屋、大小の門などにおいておく。蠟燭は夜が明けるまでともし続けられる。30日の夜一家族が揃ってご馳走を食べる。魚料理は「年々有余」、豊かになるという意味を表わし、当地では鯉、草魚などがよく使われる（馮基華氏・盤榮富氏）。

祖先を祀り、家族団欒（趙金付氏）。

2010年5月吉野晃と廣田律子が、趙金付氏から年中行事に関して聞き取り調査と2012年3月に送船儀礼を行ったが、筆者が2009年の聞き取り調査で得られなかった内容が含まれているので、以下に記述していきたい。

### 正月初一日・初十日・20日・30日「禁風」

家の敷地の4角に草標（草の印）を置く。音を出さず静かに過ごす。この草標は乳飲み子を1人にするときも悪鬼除けに置いておく（趙金付氏）。

### 正月初六日・16日・26日「禁老鼠」

倉を開けてはいけない日（趙金付氏）。

### 2月初三日「禁蚕虫」

外に出ない、畑に出ない日（趙金付氏）。

### 2月初四日「禁野猪」

農作業をやらない日（趙金付氏）。

### 正月・2月・3月の間に行う。「送船送瘟」

年は他の村で3月4日（丁酉日）にやった。1つのグループでは、出稼ぎ者が多くて今年には行わなかった。執行の1ヶ月前に日取りを決める。来年やりたいが、若い人がいないとできない。テキスト『不明』「送瘟神吉凶日」で送神去1千里か送神去1万里の日を選んで行なう。「丙申丁酉 送瘟神去万里大吉」開天門は行わない（接兵しないから）。藁で五節龍を作り、竹製の船に付け、家々を回った後水辺で焼く。「送船呪」を念誦するという（趙金付氏）。

### 2012年3月8日に送船儀礼調査

荊竹村の寒鶏沖組と荊竹坪組で、年に1度春のこの時期に、六郎廟において除災招福を目的として行なわれる。趙金付及び盤保古の両宗教職能者が祭司を務める儀礼は六郎廟・靈官廟・土地廟・招壇土地廟・白公廟等において行なわれる廟祭を趙が担当する。一方同時進行で盤は楽隊香龍及び龍船を率い家々を回り除災を担当する。

具体的に廟祭は祭壇上に線香・蠟燭・肉とあげ入り碗・酒5・水1・米が供物とされ、唱えごと・經典の読誦・卦具による占い・紙銭の焼化・罡歩・手訣等で進められる。

經典『送瘟書乙本』の「送水用」及び「唱造船歌」の部分が読誦される。

2つの組に属する30軒あまりの家々を回って行なわれる送船に用いられる香龍は、草を芯に稲わらを巻いて作られる胴体部3と稲わらを編んで龍の口を作り木の舌や角等を挿した頭部1、わらを編んだ尾部1からなり、竹の棒が挿されて5人で運ばれる。船は竹を編んで作り、胴体部分は家々から

## 9. 藍山県ヤオ族の年中行事

受け取る包み（トウモロコシ殻・こうりゃん殻・〔米+産〕子殻・米殻・木炭）を入れられるように容器状になっていて上から鱗の描かれた紙が掛けられる。頭部と尾部も竹が編まれて作られ、頭部には稲わらの龍の口が香龍同様につけられている。

ドラとシンバルの楽隊を先頭に龍船と香龍が列をなし家に赴く。まず香龍が家の入口正面の部屋に入って舞う。庁堂の正面の三廟大王を祀るとされる壁中央部下、祖先の祭壇の下、戸口及び外に置かれた龍船のところで紙銭が燃やされる。

戸口外で盤保古が唱えごとを行ない、紙銭を丸めたものを2つ作る。1つは家族全員の魂魄を祖先が守ってくれるように家人に渡され祖先の祭壇に置かれる。もう1つは火災が起こったり病気がはやらないようにと龍船に入れられる。

家人は龍船に穀物の殻と木炭を入れた包みを入れ、さらに龍船と共に運ばれるバケツにかまどの灰と水を入れ、香龍を運ぶ人に線香を渡して龍の胴体に挿してもらう。最後に扉が閉ざされ、盤保古が符（魁字）を描く。

朝9時頃から始まった儀礼は、夕刻6時半頃に祭場を川べりに移し、川の中に薪が積み上げられ、火がかけられ、川べりで祭祀が行なわれる中、家々を回り終えた龍船と香龍が到着し、香龍がひと舞いした後、全て火にくべられ終了する（廣田律子「湖南省ヤオ族送船儀礼調査報告」<http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/research/group6/result.php>）。



10. 張 勁松著

『藍山県瑶族传统文化田野調査』

「第三章 還家願」 翻訳



# 張 勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』

## 「第三章 還家願」

### 岳麓書社出版 pp.89 ~ 130 翻訳

訳

譚 静

大木 都志男

財津 直美

岡田 浩司

校閲

内藤 久義（博士前期課程修了生）

#### 一、儀式の基本資料

家願は、藍山県「過山系瑶族」に古くから代々傳承されている独特な家の儀礼である。その始まりとも言える「還家願」中の伝灯儀礼及び度戒儀礼<sup>1</sup>は道教を源流とし、瑶族社会に入ってから瑶族の文化と結合し双方の信仰文化を混交している。決まりによると一代ごとに必ず掛灯儀礼<sup>2</sup>を一回とさらに一回の家願を行わなければならない。もし三代続けて掛灯と還願を行わなければ、祖先の盤王はその子孫として認めなくなる。また分家する場合は、掛灯儀礼を通して認可されなければならない。香炉を分け家々の香火を受け継ぐのである。

還家願儀礼はいつ行うか、厳密な日取りの規定はなく、ただ一代に少なくとも一回は行わなければならないと定められている。瑶族の人々はこれによって先祖を受け継ぐ任務をまっとうし、災厄から逃れ、福を得ることができると考えている。

七十歳近い女主人趙小妹は、匯源瑶族郷黄竹坪の生まれで、家は貧しく十数歳ごろ父親が事故死してしまい、母親は彼女と一人の妹を連れて生活していた。家に男手がなく、大黒柱がないため何をするのも難しく、母親は再婚相手を探し家に婿を迎え、家を支えるしかなかった。双方相談の上、妹が義父の家の香火を受け継ぐと定めた。趙小妹は成人した後、瑶族の決まりによって家に婿を迎え、亡くなった実父の香火を受け継ぐことにした。入婿の李貴崽は寧遠県九嶷山の人で、趙家を受け継ぐために、李貴崽に掛灯、還願をさせ、趙家の後継者にならせた。「集体化<sup>3</sup>」の時、彼女たちの一家は黄竹坪から離れ幾つかの地域を点々とし、最後に紫良瑶族郷高源村石頭地に定住した。ここで三十数年間住み続けている。十年前、夫と趙小妹は相談して、妹にも婿を迎えて独立させた。彼女らの息子たちも成人し、瑶族の決まりによって願掛けもした。両家の人たちは一緒に還願を行って香炉の灰を分け独立し、各々香火を受け継ぎ、これで彼女たちの年長者としての願いが叶えられることになる。

今回の還願の主な受礼者は、趙小妹の妹婿の趙新貴と娘婿の鄧昌文で、彼らは妻方の香火を受け継ぐために婿入りしたのである。掛灯儀礼を通して家先単に一代の法名が書き加えられる。決まりによれば受礼者は儀礼が開始されてから齋戒すなわち精進料理を食し、いかなる女性にも接してはいけない

1 宗教者としての最高位を得る儀礼である。

2 掛灯儀礼を受けることにより、司祭の資格および法名を得ることができる。

3 旧ソ連が1930年に推進した政策を参考にし実施された農業共同組合化政策のこと。

い。妻子を含めいかなる女性とも話してはならず、夜は祭場で寝なければならない。

儀礼は師道公（宗教職能者）によって取り行われる。伝統によって、還願師、掛灯師、招兵師と歌娘がいなくてはならない。三人の師道公は弟子に伝授をするためと自分の仕事の量を減らすために、通常は儀礼の助手として弟子を連れてくる。今回の還家願儀礼は三人の正式な師道公と、二人の弟子、一人の歌娘及び三人の歌女が参加した。

瑶族には元々持っていた宗教があるが、そこに道教が入り、巫師もいれば道師もいる。ただし宗教職能者は一般的に、巫術も道法も理解しているので我々は師道公と呼んでいる。師道公の報酬は高額ではない。一回数日間の還家願儀礼では、宗教職能者はただ盤王に供えた豚一頭を得るのみである。豚の頭は還願師に、豚肉は師道公が担当した職務とその他の人の仕事の量によって、料理長が分配する。

ここで強調したいのは、瑶族では還家願儀礼において料理長を規縁師と呼び、一日三食の食事の準備の他、いつ何の儀礼をするか差配する。規縁師の差配の方法は排盞を出すことである。排盞とはすなわち、規縁師が赤いお盆に酒と肉あるいは豆腐を載せて出し、儀礼を行うよう師道公に招請することである。師道公は排盞を受け取り、飲み食いし、その後儀礼を行う。もし規縁師が排盞を出さなければ、師道公は儀礼を行うことができない。

## 二、祭場の設置とコントロール

還家願の祭場は「願堂」「神堂」と呼ばれ、儀礼の時に二回装堂<sup>1</sup>しなければならない。一回目の装堂は還催春願、還縁盆願、還五穀願等のためである。この三つの願は道教儀礼で、祭場は入口正面の部屋に設け、祭場の左・正面・右に神画（神の像の描かれた軸）を掛ける。左と右に各四幅ずつ掛ける。正面に十幅掛け、全部で十八幅である。左から正面に向かって掛けられ、神画の名称は、馬元帥、地府、大海番、小海番、李天師、十殿、聖主、太清、玉清、上清、玉皇、総聖、張天師、太上老君、天府、水府、雷神、鑒斎使者などである。正面神画の前に一脚の供物台を設け、供物台の上に四

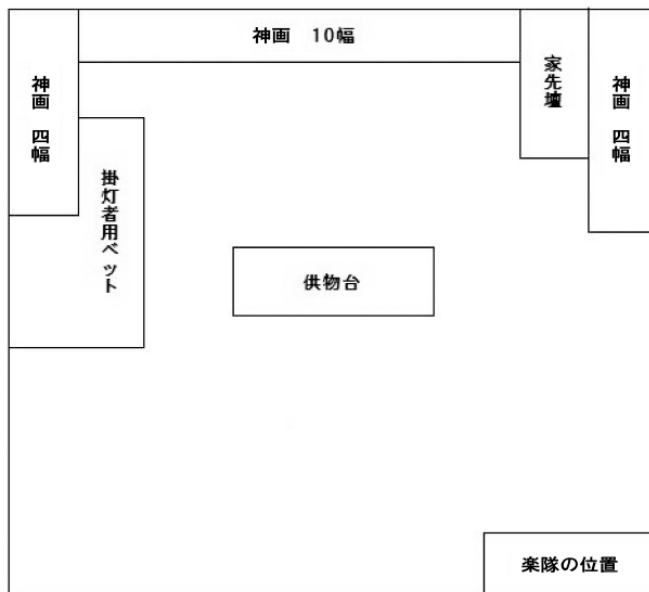


図1：道教祭場平面図

つの香炉を置く。四つの香炉は四箇所の供える場所を意味し、天地水陽四府の神を祀る。一箇所毎に一杯の水、一つの灯明、一つの酒盃、一つの碗（中には油揚げが入っている）を置く。また酒を入れた五つの盃を置き、東西南北中央の五方の神を祀ることを表す。神を招聘する時に、竹筒でできた香炉に竹の枝を挿す。竹の葉は竹葉花・金花・銀花を表す。供物台の前は師道公が儀礼を行う場所である。祭場正面の右側に家先壇があり、還家願の時祖先を祀るために用いる。祭場の入口の右側は楽隊の位置である。

1 行われる儀礼にふさわしいように、供物や神画などを祭場に配置すること。

二回目の装堂は還盤王願のためである。一回目の祭場を片付け、新たに装堂する。祭場には如何なる神画も掛けない。正面には赤い紙で作った「紅羅緞」を掛け、紅羅緞の上から下に至る図案が表現しているのは、太陽花<sup>1</sup>、油茶樹葉<sup>2</sup>、猪心<sup>3</sup>、盤王印、香炉、魚等である。盤王大歌を歌う時に、紙の紅羅緞の他に布で作った紅羅緞を掛ける。この紅羅緞は大小異なる正方形の図案を組み合わせたもので、この種の紅羅緞は紙の紅羅緞より更に古いものと思われる。紅羅緞の前に一脚の供物台を置き、その上に一頭の豚を供える。豚の頭と尻尾の両端に紙で作った三十六本の花旗<sup>4</sup>と三十六本の花覧（花のつぼみ）を挿し、花旗と花覧は粽の上に挿す<sup>5</sup>。この他、「蓮華酒碗」と呼ぶ六つの碗、「銀盞」と呼ばれる七つの酒杯、「銀筷」と呼ばれる七膳の箸、「光油小茶」と呼ばれる一つの灯明を置く。供物台の前は儀礼を行う場所である。祭場内の家先壇は先祖を祀る場所である。祭場入口の右側は楽隊の場所である。

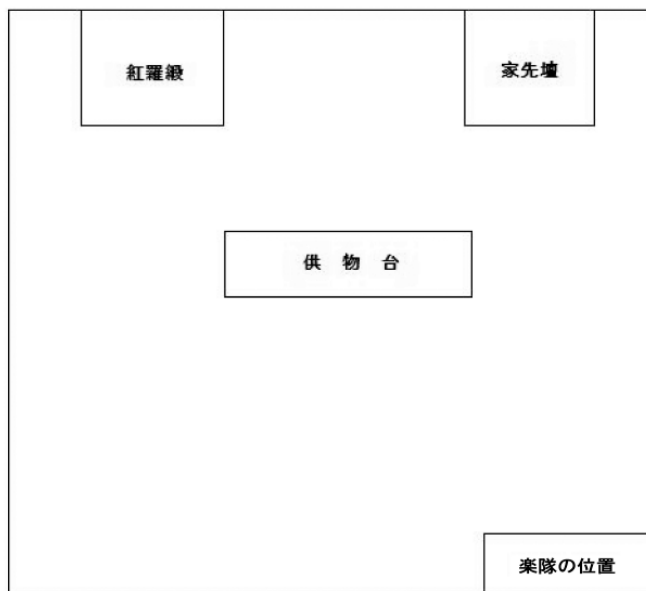


図2：還盤王願祭場平面図

祭場は「浄堂」儀礼の後、神聖な空間となる。ふざけたり騒いだりすることは禁止され、不浄なことも禁止される。還盤王願の時、漢族が入ることや漢語を話すことも禁止される。

### 三、儀礼の程序と内容

施主は巫師の占いによって還家願を行うことを決定した後、すぐに最も徳が高く、祭儀によく通じている師道公の首席に還願師になってもらうように依頼する。依頼の際には「塩信」を送る。すなわち施主が依頼をする首席の師道公に一包の塩（笹を用いて塩を包んで長方形の形にし、赤い絹糸で縛り封筒のようにする）を渡し、師道公は塩信を受け取った後、家先壇の上に置くことによって同意を表す。この後還願師は還願をするのに良い日を選び、還家願儀礼を行いに施主の家に行く。一般的に願掛け後一年、或いは数年後に還願を行うが、願掛け後すぐに還願を行う事もできる。還願儀礼を実施する師道公と歌娘が施主の家に集まり、規縁師が施主の代わりに爆竹を鳴らして迎える。師道公は施主の家の祭場にそのまま入り、自分の家の家先壇から率いてきた「兵馬」を「巫術」を用いて施主宅の家先壇に入れる。その後すぐに施主は酒や食事の御馳走で師道公をもてなし、いわゆる落脚酒を飲ませる。以前に願掛けがなされていれば、落脚酒を飲む時、首席の師道公が三清に向かって、いつ

1 ひまわりの花。

2 ツバキの葉。

3 豚の心臓。

4 赤や黄色などの色紙を三角形に切って作った旗。

5 2011年11月21日～26日に湖南省藍山県所城郷の盤家で行われた還家願儀礼では、豚は解体され、頭は供物台の中央に、尻尾は壁にかけられていた。供物台には豚の頭を挟んで両脇に胴体部分が置かれており、招兵旗と呼ばれる旗（三角形の切紙で作られた旗）が豚の胴体の上に並べられた粽に刺されていた。

何のために願掛けをしたのか、今回は、施主が誠心誠意還願を行おうとしていること、師道公がすでに到着し還願がすぐに始まることも告げ、神々にも同じように落脚酒を飲むように招請する。これは、まず神に還家願儀礼を行うことを知らせるという意味がある。夜になると儀礼が正式に始まる。夜から行われる還家願儀礼の程序は以下のとおりである。

### 1. 許願（願かけ）

家先壇の下には供物台が置かれており、その上には五つの酒盃が供えられている。鶏を殺し、紙銭が燃やされる。師道公は、なんのために願をかけるか、供物はどのくらいか、どの神や祖先に、それぞれどれくらいの紙銭を供えるか、どのような加護を求めるといったことを口の中で唱える。願かけの時、紙縁師によって銭の型に叩いて紙銭が作られる。「馬棒」（正方形の木には、運銭童子が馬や鳳凰や龍などに乗っている図案が彫刻されている）に墨を塗り、「紙馬」を印刷する。紙馬は馬や鳳凰や龍などに乗っている運銭童子がそれぞれの神の部署に紙銭を運ぶことを表している。紙縁師は紙銭と紙馬を分けてセットをつくる。一枚の紙馬と二枚の紙銭のセットと、一枚の紙馬と四枚の紙銭のセットがある。師道公は位の高い神及び度戒した先祖に対して紙銭四枚の大きい方のセットを供えることを約束し、その他の神に対しては紙銭二枚の小さい方のセットを供えることを約束する。願かけが完了した後、持っているセット全てを縛って、家先壇の中に置き、後日願ほどきの時に燃やす。師道公による願かけの順番は、まず「還縁盆願」、次に「還招五穀兵願」、最後に「還盤王願」となっている。願かけ毎に、許願師は神々が願かけを受け入れたかどうかの占いを行なう。占いが一陰一陽（二つ一組のト具の表と裏がそろ）となれば願かけを受け入れたとされる。願かけが終わると、師道公は会食で紙縁酒を飲むという。

### 2. 装堂掛聖

ドラが数回鳴らされると、祭場は静かになり、還家願儀礼が始まる。師道公たちは供物台の上に供物を置き、祭場に十八幅の神画を掛ける。神画を掛ける時には角笛を吹き、太鼓や鉦、ドラなどの楽器が一斉に鳴らされる。それに伴って爆竹も鳴らされ、劇が開幕する時のような賑やかな雰囲気となる。

### 3. 献香

献香とは、香炉の煙を天界まで届かせることによって、招聘することを神々に伝えており、また祭場を浄化する効果もある。楽器が再び鳴らされ、三人の師道公が法衣を手に掛けて持ち四方に向かって礼をし、その後にこれを着る。三人の師道公は一本目の線香を持ち先祖に向かい三度捧げる。次に二本目の線香を持ち神々の像に向かい三度捧げる。最後に三本目の線香を持って祭場の外の天の神に三度捧げる。一回目の線香は家先壇の香炉の中に挿し、二回目の線香は神画の前の供物台の香炉の中に挿し、三回目は入口の外の右側の香炉の中に挿す。献香の時には「献香舞」を舞う。まず家先壇と神画に向いて舞い、次に入口の方を向いて舞う。舞が終わる度にそれぞれの香炉に向かって跪き、紙縁師が線香を受け取って、香炉あるいは香筒に挿し、線香が供えられた後に跪いて三度礼をする。その後神画と家先壇に十回跪いて礼をする。献香の全過程の中で、還願師の盤法良はまず神々に向かって還願の開始を報告し、その後「請聖書<sup>1</sup>」の中の「献香起根」「献香呪」「三献香」などの内容を

1 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-31, A-32a, A-18, A-16b, A-20 などが「請聖書」にあたる。

読誦する。儀礼全体を通して楽器が打ち鳴らされており、盛り上がった雰囲気となっている。

#### 4. 異水浄壇

「去濁解穢」とも称する。祭場の穢れを取り除くことを意味し、これを行うことによって神聖な空間となり、神々の降臨を待つ。師道公はまた、儀礼を通して他界へと入る。儀礼では還願師は「浄壇呪<sup>2</sup>」を唱え、あわせて左手で水碗を持ち、右手に持った「師刀」で水面に符を書き、呪文を唱える。これは「化九龍聖水」や「化真武水」と呼ばれる。その後師刀を水に浸けたまま水を口に含み、プーと吹き出す。これを三回連続で行い、再び浄壇呪を唱える。還願師はかまどの前と入り口においても同じように行う。聞くところによればこの場所はよく神が行来するので、水で清めておく必要があるという。

#### 5. 啓師請聖

三人の弟子たちが神画の前で銅鈴を振る。還願師は請聖の「呪」あるいは「歌」を唱え、さらにテキストにはなく自分で追加した「意者書」（意とは状況を見て述べる書の意味）も唱える必要がある。その内容は、施主はいつ、どのような理由で願かけの許願を行ったか、いつ願ほどきの還願を行うか、どの師に依頼をしたか、師道公はいつ施主宅に来たか、願ほどきはすでに開始したということ、何を供えるか、どの神を招聘するか、この後はどのような儀礼を行うかなどといったことである。神画に描かれた神々及び先祖を次々招聘し、あわせて陰陽師父<sup>3</sup>の護法を求め、招聘した神が来たかどうかを占う必要がある。巽卦<sup>4</sup>が出れば招聘された神が来たと判断し、神がまだ来ていないと出れば再び神を招聘しなくてはならない。最後に神々と陰陽師父に紙銭を燃やして送る。

#### 6. 掛家灯

掛灯は掛家灯と掛衆灯の二種類に分けられ、掛家灯では灯明を三個かかげ、掛衆灯は灯明を十二個かかげる。掛家灯の機能は二つある。一つ目は、掛灯者は受礼者すなわち施主本人が自分の家の香炉を受け継ぎ、先祖を祀ることを受け継ぐことで先祖の守護を得ることである。二つ目は、宗教職能者にさせるということである。掛家灯を行うと法名がつけられ、六十名の家先壇に属する陰兵の守護を得る。また、自分を守る法術だけでなく、他人を助けるための法術を得ることも可能となる。今回の施主である受礼者は趙新貴と姪婿の鄧昌文である。儀礼は以下のとおりである。

##### (1) 化変

ドラや太鼓が鳴らされ、掛灯の開始を告げる。二人の掛灯師が竹竿を用いて、受礼者が座る竹の腰掛と真新しい瑶族の民族衣装を持ち上げて運ぶ。まず天地に対して、次に祭壇に対して化変呪語を唱える。これは普通の衣服が靈妙な物に変わることを意味する。竹の腰掛は老君の腰掛に変化し、白布は金の橋に、銅銭は勇兵に、米は千兵万馬に変化する。

##### (2) 蔵身、変身

受礼者は民族衣装を着て、神画に直面して老君の腰掛に座る。そして両足で碗を踏む。これは日月を踏むと呼ばれる。掛灯師は受礼者の前に立ち、まず「蔵身呪」を唱え、法服の前裾をまくって受礼者を隠す。蔵身とは邪悪な者に見つからないようにし、その害に遭うのを免れさせることである。

2 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-32a IMG\_4312-4321 「洒浄用」。

3 あの世の師父とこの世の師父のこと。陰師と陽師。

4 一陰一陽の卦のこと。

その後「変身呪」を唱える。その意味は受礼者の頭、手、脚、体および五官などの全てを霊妙なものに变化させ、あわせて天神地祇および師父の守護を得させることである。掛灯師は再び「騎馬呪」を唱え、神馬に受礼者を天上の庭まで送らせる。

### (3) 昇灯

二人の掛灯師が灯明をお盆にのせて持って来る。まず祭場の入り口で天の神に対して、掛灯を証明するよう求める。次に祭場の神々の神画に対して掛灯を証明するよう求める。あわせて「昇灯呪」を唱える。内容は「此灯不是非凡之灯、灯是化為老君之灯、壇前化為老君之殿、白布金橋化為白鶴天上来、師男飛上三十三天、靈神尋不見、靈鬼无踪跡、速变速化速化速变、吾奉太上老君急急如律令（この灯は非凡な灯ではないが、灯は老君の灯と化し、祭壇の前で老君の宮殿と化す。白布金橋は白鶴と化して天上を訪れ、師男は三十三天まで飛び上がる。靈神は探すことはできず、靈鬼も跡を探せない。すみやかに変化せよ、我は太上老君を奉じ、律令のように急いで行え）」である。唱え終わると、昇灯したかどうかを占う。最後に灯明を受礼者の前の竹で作った灯明立てに置く。置かれる三つの灯明に関して二説がある。一つは最も上に置かれた灯明は受礼者の先祖を表し、それ以外の二つの灯明は「三清祖師」と「本師」（受礼者の師父）を表すとす。もう一つの説は、三つの灯明はそれぞれが師道公の先師である、李十六・李十二・李十一を表すとす。「昇灯詞」には、「第一盞明灯、李十六祖師常明灯、師男受得師父李十六这盞灯、如同明月出山頭；第二盞明灯、李十二祖師常明灯、師男受得師父李十一这盞灯、強如江水一般長；第三盞明灯、李十一祖師常明灯、師男受得師父李十一这盞灯、心如江水一般明（第一の灯は李十六祖師の常明灯である。師男がこの師父李十六の灯を受け得るといふことは、明るい月が山の頂から出てくるようなものである。第二の灯は李十二祖師の常明灯である。師男がこの師父李十二の灯を受け得ると、強きこと大河のように長い。第三の灯は李十一祖師の常明灯である。師男がこの師父李十一の灯を受け得ると、心は河水のように澄んでいる）」とある。

### (4) 解厄

師道公は人が生きていれば罪を犯したことがあると考えている。解厄は受礼者の罪及び罪から生まれた困苦と災難から解き放つ事である。掛灯師は「解厄呪」を唱え、北斗七星の神通力を借りると言われる。そして「七星訣」と呼ばれる手訣を結び、解厄をする。「長命訣」を結び、受礼者の長寿を求める。その後邪悪なものから解放させる為に、師道公は罡歩を踏み、「起箭法呪」を唱え、また矢を射る姿勢をとり、心がけのよくない邪悪な師道公が受礼者に与える危険を解き去らせる。

### (5) 取法名

師道公は受礼者のために法名を付ける。掛灯師は三清像の前で、右手に黄色の細長い紙を持ち、三清に面し、黄色の細長い紙を三清像の下方に置く。まず法名を受ける者の身分を説明する。そして法名を唱える。三清がその中の一つの法名を認めたら、黄色の細長い紙を三清像に貼り付け、法名が決まる。ある人は家先堂<sup>5</sup>で法名を付けたことがあるとしても、掛灯儀礼の際に再度三清の認可を得なければならない。占いで「巽卦」が出て、初めて神界に認められたとし、法名が決まる。受礼者は法名を得ると「師男」と称され、宗教職能者になったことを意味する。

### (6) 退灯

法名を付けた後すぐに灯明を片付け、さらに「退灯呪」を唱える。呪文は「一退貪狼反文曲、文曲水中出玉珠、壇前法寶後有縁、法寶青青門下寄；二退六存反五曲、五曲水中出宝珠、師男橋上来聽法、法主青青門下寄；退了二盞留一盞、只留一盞照師男、若有十方人相請、靈兵救去十方人（一番に貪狼

5 先祖を祀る祭儀の場の意と思われる。



星<sup>6</sup>を退け、文曲星に返ると、文曲星の水中に玉珠を出だす。壇前に法宝、後に禄があり、法宝は青青として門下に寄る。二番に禄存星を退け、武曲星に返る、武曲星の水中に宝珠を出だす。師男は橋の上に来たりて法を聞く、法主は青青として門下に寄る。二つの盞を退けて一盞を残す。一盞だけ残して師男を照らす。もし十方の人から招聘されるならば、霊兵は行って十方の人を救う)」である。

#### (7) 分兵

師男ごとに米の入った木箱がひとつずつ置かれ、三尺六寸の白布で受礼者と米箱を繋ぎ、「搭橋」と呼ばれる。白布の上には、三十六枚の銅銭を置く。掛灯師は化変の呪文を唱える。化変を通して米は千兵万馬に変化するとされる。三十六枚の銅銭は三十六隊の勇兵と変化する。白布は兵馬が通行する金の橋に変化する。米を兵に化す呪文は「此米不是非凡之米、化為天星養人之米、吾師將來化千兵万馬、拋運上壇前、拋把師男、速變速化、吾奉太上老君急急如律令（この米は非凡な米ではないが、天星が人を養う米と化す。わが師はやって来てこの米を幾千万の兵馬と化す。投げ運んで壇前に上らせる、師男に投げ与える。すみやかに変化せよ、我太上老君を奉じる。律令の如く急いで行え）」である。呪文を唱えるときに掛灯師は占いを行い、化変が成功したかどうかを確認する。逆さまにした銅鈴に「六磔米」（すなわち六銅鈴米）を盛り、白布にこぼし、六十兵馬の意とする。白布の下に竹の竿を置き、白馬になぞらえる。のちに白布で米を包んで家先壇の上に置き、「分兵呪」を唱える。師男に六十兵馬を分け、兵馬を家先壇に入れたことを意味する。

#### (8) 退碗

師男の足下に置かれた碗をはずして「退蓮華碗呪」を唱える。師男は既に天庭から祭場まで降りてきたことを意味する。それから掛灯師は家先壇の香炉を持ち受礼者に匂いを嗅がせる。家先の香火をすでに受け継ぎ、先祖として祀られる資格を得たことを意味する。

#### (9) 撥法

掛灯師は師男に法術を伝授する。自分を守ることと他人を助けることを可能にさせる。さらに師男に法具の使い方を教える。例えば、ソーナを吹き、角笛を吹き、ドラを叩き、鉞を打ち、師棍を用い、笏牌を持ち、師刀を握り、銅鈴を振り、占うことなどである。同時に掛灯師は占いをし、検証して、巽卦が出たら、法術が既に伝授されたことを意味する。

#### (10) 定陰陽

師男は七枚の銭（或いは銅銭）を銅鈴に入れる。笏牌で蓋をし、銅鈴を振る。掛灯師は呪文を唱える。師男はぱっと銭を地面に撒き、銭の表裏を確認する。四陽三陰（四枚が表三枚が裏）が出れば吉祥の意とみなし、家の中は陽光が満ち、万事がうまくいき、吉祥は意のままになる。そうでなければ、不吉とみなす。四陽三陰が出るまで占いを続ける。吉の卦が出た後、二人の掛灯師は二本の竹竿を持ち師男の前後を挟んで輿を担ぐしぐさになぞらえる。お祝いの言葉「九嶷山、九嶷山、九嶷山上月穹穹、抬起貴人做大官（九嶷山よ、九嶷山よ、九嶷山の上には月が三日月となる。貴人を擡げ起こして大官とする）」を唱える。

#### (11) 行罡

一枚の白布を用いて地面に敷く。七枚の銭を白布の上に「罡歩七歩」の位置に置く。その後師男は銅鈴と笏牌を持ち、掛灯師について罡歩舞を舞う。これをもって、掛灯儀礼は終了する。

#### (12) 許催春願

掛灯儀礼が終わる直前に、還願師は家先壇の前で「許還催春願」を行う。催春願は受礼者のために

6 この貪狼・文曲は北斗七星の中の星の名前である。

かけた願であり、故にここで願をほどく。

#### 7. 招五穀兵

招五穀兵は略して「招兵」と称し、五穀豊穰を祈るための儀礼である。招兵儀礼は度戒した「三戒弟子」が招兵師を担当する。招兵師はまず諸々の神及び家の先祖に申し立て、それが終わると儀礼が始まる。

##### (1) 請禾魂

箕に粟の穂を入れ、祭壇前の供物台の下に置く。招兵師は呪文を唱え禾公・禾母・禾花姉妹などを招聘する。そして紙銭を焼いて送る。

##### (2) 昇禾米

ドラと太鼓を鳴らす。二人の師道公は粟の穂を入れた箕を持ち、まず入口に立って天の神に対して、次に供物台の前に立ち神画に対して祈願をこめ、「昇禾米呪」を唱える。

##### (3) 差兵招禾

入口の外に供物台を設け、上には白布で包んだ一包みの米、米を入れた二つの竹筒、そこに紅紙で切った人型図案の旗を挿す、一束の紙銭の上に一本の師刀を置く、一羽の鶏、一碗の肉、三個の玉子、五杯の酒、一杯の水、茶葉、春雨等を置く。この供物台に置かれたのは開天門の際に諸々の神に捧げる供物である。還願師は旗を「招兵旗」に変化させ、米を「五穀兵」に変化させる。差兵招禾儀礼は招兵師が「開天門」を行い、還願師が供物の祭祀を行う。開天門は、三つの木の棒を組んで上にボウルを載せ、紙銭を燃やし天を祀る壇と為す。招兵師は木の板を踏んで地面と接しないように立つ。まず角笛を吹き、次に腰掛に座って「意者書」を唱えるが、重点は自分の修行の経過を述べる内容である。再び角笛を吹き、天門を開き、天の神が降りて来るよう招聘し、施主家のために穀物を招く。「祭献」は供物台前で経を唱え、供物を献じ祀ることである。

##### (4) 救糧

施主は一束の粟の穂を準備し、招兵師はその重さを量り三斤八両に釣り合うようにする。施主は粟の穂を背負い、招兵師は粟の穂に対して法を施す。罡歩を踏み、呪文を唱え、救水を施す。穢れを除き、経を唱え、小米（粟）を変化させたりする。招兵師は粟の穂を受け取り、四方の稲魂を招いて更に卜具で検証する。再び粟の穂を量り四斤六両に釣り合うようにする。多くなったところの八両は「救糧」である。ドラと太鼓を鳴らし、師道公は粟の穂を施主の家の倉に送り届ける。

##### (5) 救幡

よく茂った竹を選び、竹の枝に精選した粟の穂・稲の穂・高粱・トウモロコシ・大豆などの五穀をぶら下げる。ただ大豆だけぶら下げても良い。ぶら下げる穀物毎に一枚の紙銭をかぶせ加え、この竹を「五穀幡」と称する。招兵師は五穀幡の前に立ち、まず招兵旗を用いて東南西北の四方向から五穀兵を招く。また米を入れた竹筒を用いて四方向の稲魂を招く。更に米筒を施主に渡して家先壇に供え、いわゆる五穀神位を安置する。後に招兵師は五穀幡の前に戻り、「救幡呪」を唱える。最後にドラと太鼓を鳴らし、五穀幡を家先壇の脇に立て、施主の家の五穀豊穰の証とする。聞くところによれば、この五穀幡の竹と穀物は、百年は腐ったり落ちたりせず、ネズミにも食べられないという。

##### (6) 賀兵

五穀幡を立てると同時に賀五穀兵儀礼を行う。まず二人の師道公はお互いに脚をかけて双人舞<sup>7</sup>を

7 二人で舞う舞のこと。

舞う。さらに師道公は施主の手に粟の穂を握らせて集体で舞うのだが、いずれも「賀兵舞」と称する。同時に施主の家を「五穀堆成山、千年土吃不尽、万年吃不完（五穀は山のように積まれ、食糧は千年たっても万年たっても食べ尽きることはない）」といっためでたい言葉で言祝ぐ。

#### (7) 踢兵帰壇

招兵師は家先壇の前に立ち、師刀を右の素足の甲の上に置き、口で呪文を唱え、家先壇に対面し、師刀を足で持ち上げて家先壇の中に蹴り入れる。これは五穀兵が家先壇に安駐することを意味し、施主の家の五穀豊穡を守護することとなる。

#### (8) 閉天門

招兵師は門の外で「閉天門」を唱え、招五穀兵の儀礼を終える。

### 8. 還縁盆願、還催春願、還五穀願

縁とは即ち血縁で、それゆえ還縁盆願は「還血盆願」「還家先願」「還伝宗接代願」とも称する。催春願は受礼者のために解く願である。五穀願はまたの名を「招五穀兵願」という。三つの願は同時に解くが、具体的な手順は一つ一つ順序に従って解き、テキストの読誦、供物を祭るなど、儀礼の行為は同じだが、ただ唱える願名が異なっている。

#### (1) 請師

還願師はテキストを唱えて本師と祖師を招聘し還願の助けとする。

#### (2) 上光

上光は師道公の弟子が祭場で実施し、三つの願に対し三回上光する。師道公は上光用のテキストを読誦し、例えば「差光<sup>8</sup>」「上光」「引光歌」「引光歌」「開神頭<sup>9</sup>」「唱神頭<sup>10</sup>」「唱師棍<sup>11</sup>」「羅帶歌<sup>12</sup>」「馬出世<sup>13</sup>」等を唱える。一部の歌や呪文は唱える時に双人舞を伴い、「神頭舞」「羅帶舞」「師棍舞」「騎馬舞」等、舞いあり歌ありで、賑やかな雰囲気である。

#### (3) 献祭

三杯の茶杯と碗は、願ごとに一つずつ用意し、三つの箕にのせる。箕の中には笹の葉で包んだ粽をのせる。三回献酒し、献酒の時に「献歌」「献酒<sup>14</sup>」等を唱える。

#### (4) 祭兵

師道公は「唱神頭」「竹席出世<sup>15</sup>」歌を唱える。二人の弟子のうち一人は一丈二尺の長さの羅帶を持ち、もう一人は竹の莫菴を持ち、両者は向かい合って舞う。その後に竹の莫菴を地面に敷き、羅帶は両者の首にかけ、神々に跪いて拝礼し三回繰り返す。これは「還招五穀兵願」の特殊な儀礼で、五穀兵に五穀神幡がネズミにかじられないよう加護してくれるよう祈る意味がある。最後にドラや太鼓を鳴らして施主の家の五穀豊穡を慶賀する。還願師は祭場に粟の穂を撒き散らし、両家の施主はその粟の穂を拾い、布で包んで穀物倉に入れる。

8 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-19 IMG\_2306-2307 にも「差光白語」が見え、A-30a IMG\_3419-3421 にも「差光」が見え、A-32a IMG\_4356 にも「又唱差光」が見える。

9 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-19 IMG\_2311-2312 にも「開神頭」が見え、A-30a IMG\_3422-3423 にも「開神頭」が見える。

10 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-19 IMG\_2308-2311 にも「唱神頭歌」が見え、A-30a IMG\_3421-3422 にも「唱神頭歌」が見える。

11 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-19 IMG\_2358 にも「又唱師棍」が見える。

12 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-32a IMG\_4357 にも「羅帶出世」が見える。

13 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-32a IMG\_4301 にも「馬出世呪」が見える。

14 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-19 IMG\_2319-2323 にも「献酒」が見え、IMG\_2366-2367 にも「開酒瓮立聖領酒 請下台献酒」が見え、A-30a IMG\_3430-3438 にも「献酒」が見える。

15 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-11 IMG\_1185-1188 にも「竹席出世」が見える。

## 10. 張 勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳

### (5) 還紙銭

願掛けの時の紙銭を家先壇から下ろし、還願師は「銭呪<sup>16</sup>」を唱えながら、紙銭を一枚一枚ひろげ、最後に燃やす。

### (6) 上馬打馬

運銭童子が馬に乗り銭を運び出す様を演じる。施主は運銭童子に扮し、手に師棍を持って鞭とする。二人の弟子と観客は馬に扮し、手に手をとって、運銭童子を囲みながらぐるぐる回り馬が走る動作をし、あわせて「馬出世呪<sup>17</sup>」「紙馬呪<sup>18</sup>」を唱える。最後にお互いお尻を叩き合うが、これは馬を打って紙銭を運ばせることを意味している。演じている時、演者と観客は大笑いし、盛り上がる。

### (7) 運銭

運銭は運銭童子が紙銭を各神々と各先祖に運送する演目である。二人の師徒が運銭童子に扮する。竹棍の両端に紙銭をくくりつけて担ぎ、運銭童子は肩に銭を担ぎ、まず祭場で「運銭舞」を舞い、還願師は同時に運銭歌<sup>19</sup>「大運銭」を唱える。その後、運銭童子は銭を担ぎながら出て行くが、これは銭を家の外の神々に運ぶことを意味する。運銭童子は門の外に少しの間とどまると再び入り口にやって来るが、これは先祖に銭を運ぶことを意味する。この時、祭場の入口は閉まっており、運銭童子が「開門」と叫ぶと、施主は門の内から繰り返し問いかけ、問答をする。その内容は施主は強盗が来たのではないかと疑い、運銭童子は銭を運んで来たのだと答え、施主に運搬費を要求し、施主の還願を恭賀する。この時の繰り返しの問答もまた観客に笑いを引き起こす。施主は入口を開けて運銭童子を迎え入れると、運銭童子は「運銭舞」を舞い、還願師は同時に「小運銭」を唱える。最後に罡歩を踏み、師棍舞を舞う。

### (8) 送聖

還願師はテキストを読誦し神を送る。

### (9) 撤壇

還願師は師棍を用いて祭場にあるすべての物を点検し、その後に片付ける。最後に「脱童歌<sup>20</sup>」を唱え、法衣を脱ぐ。

## 9. 還盤王願

還盤王願は始祖神盤王の祭祀であり、吉祥を求め災いから逃れるための宗教儀礼である。これには三種類の形式があり、一つ目は「酬謝盤王行傘宝書歌堂良願」で、三日四晩、集落単位で挙げる大型の衆願である。二つ目は「酬謝盤王行賀宝書歌堂良願」で、一日二晩、一族単位で挙げる中型の願である。三つ目は「酬謝盤王行喜宝書歌堂良願」で、一晩だけ行う、現在ではほとんど行われない願である。以下に記すのは二つ目の「酬謝盤王行賀宝書歌堂良願」である。

### (1) 装堂

還盤王願は瑶族独自の宗教儀礼にちなみ、道教及び他の神々とは関係がない。また瑶族の家の厅堂はみな盤王の厅堂であり、自由に去来できるので、盤王の神面を掛ける必要はないとされる。

### (2) 請王

盤王を招聘するとともに、龍城廟高王、連州廟唐王、伏靈廟吾婆聖帝等、瑶族に関係のある神々

16 A-32a IMG\_4299-4301にも「銭出世呪」が見え、IMG\_4408-4409にも「銭呪」が見える。

17 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-32a IMG\_4301にも「馬出世呪」が見える。

18 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-32a IMG\_4409にも「紙馬呪」が見える。

19 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-30a IMG\_3499-3508にも「唱大運銭歌」が見える。

20 ヤオ族文化研究所蔵文献 A-30a IMG\_3513-3520にも「又脱童」が見える。

も招聘する。還願師は主に「過山根」を唱え、瑶族の歴史、神話、伝説および移動を説く。唱えた後に紙銭を燃やし、あわせて占いで招聘した神々が祭場に來たかどうかを確認する。

(3) 点女

還願師は歌娘に、三人の歌女を引き連れて祭場に來るように指示する。歌娘は「女人詩歌」を歌い、三人の歌女は歌娘に合わせて「盤王大歌」を歌い、盤王を喜ばせ祀る。

(4) 上光

先述の上光と同じなので省略する。

(5) 祭家先

一頭の仔豚を屠って家先壇の前に供え、還盤王願を行うにあたって先祖を忘れないことを示す。

(6) 迎送盤王入祖廟

盤姓を主とする過山瑶族は福江廟を祖廟とし、この廟を盤王廟と称する。願ほどきの時には盤王を祖廟に迎え入れて祀らなければならない。儀式は以下の通りである。

A. 打鉄、架橋、修路

打鉄（鉄を打つ）は路を修理する工具を作ることであり、架橋（橋をかける）と修路（道をなおす）は盤王が祖廟へ行く交通の問題を解決するためのものである。物を道具とする動作は、三人で演じる。打鉄は鉞をもって金床の代わりとし、木の棒をふいごの代わりとし、薄い竹の板を金槌の代わりとし、碗の中で紙銭を燃やし炉の火の代わりとし、鉄を打つ動作を真似る。架橋は木の棒を二つの銅鈴の上に掛け、修路は木の棒を回して地面を引っ掻く動作をする。仕上げると盤王を廟に迎え入れ、あわせて占いをして盤王が廟に入ったかどうかを確かめる。

B. 盤連州郎

瑶族が代々伝承する「評皇券牒」の記録は唐王が与えた「准令」である。瑶族の民は唐王を民族神として奉り、かつて連州に廟を設けて唐王を祀っていた。還盤王願の時に唐王を喜ばせる願ほどきの演目を行わなければならない。一人の若者が入口の外から門を叩き、門の内の師道公は、お前は何者で何のために來たのかと問い、若者は連州廟唐王が願ほどきを祝福するために派遣した者と答える。師道公は驚き喜んで門を開け、連州の若者を祭場に迎え入れ、人々に笑いを引き起こす冗談を挿し挟み、祭場内は喜びや楽しみに満ち溢れる。

C. 跳長鼓舞

長鼓は胴の真ん中がくびれて両端に羊の皮をかぶせた木の鼓である。手に長鼓を持って舞うのがいわゆる「跳長鼓舞」である。長鼓舞は盤王を祀る舞踊である。還家願の長鼓舞は一人で象徴的に一舞いし盤王を記念する。

(7) 圉願

出願ともいう。一人の瑶師（宗教職能者）が三人の歌女及び臨時に選んだ三人の青年を連れて屋外で演じる。若い男女は向かい合って立ち、瑶師は右手に銅鈴を持ち、左手に竹の板で作った「雲板」（ささら）とヨシタケの笛を持つ。瑶師は若い男女の周りをぐるぐる回って鈴とささらを鳴らす。歌娘は傍で「圉願歌」を歌う。

(8) 唱「盤王大歌」

盤王大歌は、宗教職能者によって民間の歌謡を収集して創作されたものである。還盤王願儀礼の時、祖先神である盤王の前で喜び楽しみながら歌う。湖南瑶族の盤王大歌は、伝承されて今に至るが、三つの形式がある。即ち、十二段の詞、二十四段の詞、三十六段の詞で、内容が詳しいものと省略されたものがあるが同じではない。歌詞が最も詳しいもので三千行余り有り、内容も富んでいる。これ

## 10. 張 勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳

は盤姓を中心とする過山瑶族の中で最も完全に整理され保存されている史詩である。還家願儀礼中の還盤王願では二十四段のものを唱える。「盤王大歌」は「七任曲」を用いて歌う。これは盤王大歌の中の挿曲であり、必ず歌う曲である。「任」は即ち「層」であり、「七層曲」ともいう。この七曲の曲名は、「黄条沙」「三逢閑」「万段曲」「荷叶杯」「南花子」「飛江南」「梅花相送曲」等である。これらは挿曲であり、また儀礼の順序である。即ち盤王大歌を七つの大きな段落に分けて歌い、大きな段落毎に一曲ずつ挿入される。曲毎に衬詞を「歌母」とし、曲の旋律となる。歌い方は、まず一段の歌母を前奏として歌い、その後に正詞を続けて歌う。この起源を考察してみると、当時楽譜を記録する符号がなく、ただ衬詞を用いたと思われる。衬詞が分かれば、歌い慣れているものにとっては、楽譜があるのと同様であるため、歌い出しには衬詞を用いる。考察によれば、盤王大歌は九つの挿曲がある。還家願儀礼の時、大底その中の「亜六曲」と「牛尖曲」の両曲は歌わない。その理由は不明である。

盤王大歌の中で男性が歌う歌詞は、既に整理されて出版されているので、ここでは繰り返して述べない。以下に収録した盤王大歌の歌詞は歌娘の歌う所であり、歌詞の多くは四句、実際には八句からなる。ただこの上下句の歌詞はやや異なっており、歌の本の中には、異なる歌詞を上下句の句末のカッコの中に書いている。例えば「黄師歌」の中では、

人話青山学堂歌堂到、桃源雲霧漸分分（排排）、  
瑶人出世捧山出、瑶人担水伴山源（来）。

この四句、実際には八句ある。即ち、  
人話青山学堂歌堂到、桃源雲霧漸分分、  
瑶人出世捧山出、瑶人担水伴山源。  
人話青山学堂歌堂到、桃源雲霧漸排排、  
瑶人出世捧山出、瑶人担水伴山源来。

歌娘もこの順と書式によって歌う。今回歌娘が歌った「盤王大歌」を以下のように整理する。

### 又黄師歌（此三条太平願唱）

人話青山学堂堂到、桃源雲霧漸分分（排排）、  
瑶人出世捧山出、瑶人担水伴山源（来）。  
人話青山学堂歌堂到、得見青山補也光（憂）、  
瑶人出世捧山出、瑶人担水伴山香（炉）。  
人話青山学堂歌堂到、青山青嶺転弯弯（遊遊）、  
瑶人出世南京十宝殿、盤王発散管青山（過州）。

### 黄師歌（家願従自啓）

人話娘村歌堂到、湖南江口插条牌（系）、  
共村姐妹開書読、書字不真娘自来（知）。  
人話郎村歌堂到、娘少得知自得来（行）、  
行過県門千人見、買木合船随路来（行）。  
人話郎村歌堂到、娘少聴風聴後來（行）、

聽風不得半句話、下水聽龍娘正來（行）。  
 人話娘村歌堂到、屋底撐船水面涼（遊）、  
 從少不會出遠路、今日正行出遠鄉（州）。  
 人話郎村歌堂到、踏上一階（庁）踏二階（庁）、  
 手拿酒盞相挨坐、怕娘不念賤郎來（情）。  
 娘到久、到久渠門娘出聲（歌）、  
 風過樹頭木葉落、娘來路遠不嫌情（茶）。  
 踏到地、六笛催苗踏地來（行）、  
 六笛催苗三江口、娘今踏地入歌堂（詞）。  
 伏問仔、問仔月頭上哪江（辺）、  
 問仔日頭上哪岸、幾個行遊來等雙（親）。  
 月光光照誰樣、銅鏡光照誰頭（辺）、  
 大州買得誰油傘、誰傘門開遮誰頭（辺）。  
 伏問郎村几条水、几条江水几条沙（流）、  
 几条煎飯把誰吃、几条洗面出溜羅（風流）。  
 伏問郎村几条水、几条江水几条齊（寬）、  
 几条煮飯把誰吃、几条洗面出秀才（秀官）。  
 河岸鷄啼誰入屋、誰人屋底誰門樓（楣）、  
 誰木架橋過誰底、誰炭批過百攸攸（系系）。  
 河岸鷄啼誰入屋、誰人屋底誰管堂（田）、  
 屋底官堂（田）有几席、水底鯉魚有几千（雙）。  
 河岸鷄啼誰入屋、誰人屋底誰門階（前）、  
 誰木架橋過誰底、誰炭批過白連連（齊齊）。  
 伏問仔、問仔家中幾個郎（人）、  
 幾個在家伏侍姐、幾個行遊來等雙（親）。  
 伏問仔、問仔家中几合錢（珠）、  
 几合出來把誰使、几合出來把誰連（囡）。  
 伏問仔、問仔姓錢（珠）不姓錢（珠）、  
 姓錢（珠）不報娘來念、姓錢（珠）不報妹來連（囡）。  
 伏問仔、問仔桂花誰月開（新）、  
 問仔花朵有几朵、几朵拗來插誰齊（辺）。  
 伏問仔、問仔桃花誰月開、  
 誰月花開誰花謝、謝落誰辺成誰台。  
 伏問仔、問仔李花誰月開、  
 誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰塵。  
 伏問仔、問仔桐花誰月開、  
 誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台。  
 伏問仔、問仔金花誰月開（新）、  
 誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
 伏問仔、問仔南棗誰月開（新）、

10. 張 勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳

誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
伏問仔、問仔芙蓉誰月開（新）、  
誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
伏問仔、問仔蓮花誰月開（新）、  
誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
伏問仔、問仔禾花誰月開（新）、  
誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
伏問仔、問仔梅花誰月開（新）、  
誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
伏問仔、問仔山茶誰月開（新）、  
誰月花開誰月謝、謝落誰辺成誰台（塵）。  
踏上岐頭有几日、踏上峴門有几朝、  
衣衫綉花有几任、羅帶綉花有几条。  
今朝行来几日路、身上帶有几日涼（陰）、  
雲開得見誰様日、門開得見誰官娘（人）。  
今朝行来几日路、身上帶有几日涼（陰）、  
誰人手拿細線掛壁上、誰人引妹入歌堂（詞）。  
今朝出門誰人装起妹、誰人装起妹身齐（完）、  
衣衫誰人報妹綉、羅帶誰人報妹開（収）。  
今朝出門見誰様、誰様園園誰路頭（辺）、  
誰様園園会使瓦、使瓦几圈（千）有几圈（千）。  
今朝行来見誰様、誰様浣浣誰路頭（辺）、  
誰様浣浣誰路口、誰様花笄誰門楣（楼）。  
伏問仔、問仔船流（来）随哪流（来）、  
船来不到娘村江水埠、馬來不到妹門州（街）。  
伏問仔、問仔船来（行）随哪来（行）、  
船来（行）不到娘村江水埠、馬來不到妹門街（門）。  
伏問仔、問仔船停随哪停、  
船停不到娘村江水埠、馬停不到妹門庁。  
伏問仔、問仔哪州哪峴娘（人）、  
几席官糧落哪峴、几斗碎金落哪郷（州）。  
郎会監歌過娘意、不会監歌過意錢（珠）、  
郎会撐船過大海、不会撐船送上京（州）。  
歌監監歌桑系線、歌監監歌系線錢（珠）、  
監開歌堂討我念、監入歌堂討我連（図）。  
歌監監歌郎自淨、歌監監歌白淨錢（珠）、  
白淨細錢人要使、白淨好双人要連（図）。  
分歌唱、地能管人分糯塘（田）、  
官人分塘（田）無娘忿、分出歌唱無万双（千）。  
平平唱、平地晒禾反復扇（補）、



平地晒禾反復晒、平平說話得双連（囡）。  
 紅線綉鞋細線纏、踏入歌堂討我連（囡）、  
 踏入歌堂討我念、貴地有花插一扇（補）。  
 第一歌堂出青草、第二草堂出草青（隨）、  
 出得草青青草死、望郎相伴唱歌声（詞）。  
 心便協、地龍烏鴉協担方（系）、  
 烏鴉協協心協樣、船協歌詞心又良（思）。  
 心便正、白鱗鯉魚正下灘（池）、  
 鯉魚下灘（池）心正樣、娘今心正入歌堂（詞）。  
 心便灰、白鱗鯉魚着水隨（推）、  
 唱到五更心但定、一更唱歌二更歸（陪）。  
 從少不會到貴地、不知貴地几層籬（庁）、  
 不知貴地几層鎖、几把銅鎖几鎖匙（声）。  
 不少不會到貴地、不知貴地好人家（門樓）、  
 不知貴地人家（門樓）好、几条江水几条流（沙）。  
 娘是遠鄉遠來到、不知郎屋向南西（京）、  
 郎屋向西（京）面向後、門前車確轉鷄啼（声）。  
 初到郎、一郎不認外鄉人（娘）、  
 便有光油煮蕪菜、遠里聽聞蕪菜香（甘）。  
 娘是遠鄉遠來客、娘是客人不敢來（声）、  
 娘是客人不敢話、且聽主人先出來（声）。  
 娘是遠鄉遠來客、娘是客人不敢來（声）、  
 便有金鷄籠里關、且聽師人先出歌（声）。  
 初到來、初到門樓不到州（街）、  
 初到門樓不到屋、望郎相伴入郎州（街）。  
 初到來、初到門樓不到門（庁）、  
 初到門樓不到屋、望郎相伴入郎門（庁）。  
 娘在湖南清水上、湖南清水浪遊遊（排排）、  
 娘今朝來夜又去、望郎相伴入郎州（門）。  
 娘在湖南清水上、湖南清水浪平平（興興）、  
 娘今朝來夜又去、望郎相伴入郎門（庁）。  
 娘在湖南清水上、便有裙脚綉含逢（系）、  
 便有裙脚含逢（系）綉、頭插一双金鍍龍（思）。  
 人話郎村歌堂到、娘隨路遠架車流（來）、  
 架得車來車上轉、車箱坐娘入貴州（鄉）。  
 人話郎村歌堂到、娘隨路遠架車停（主）、  
 架得車行車上轉、車箱坐娘入貴門（庁）。  
 人話郎村歌堂到、娘村無馬置船遊（涼）  
 第一置船到水埠、第二置船入貴州（鄉）。  
 人話郎村歌堂到、娘村無馬置船行（來）

10. 張 勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳

第一置船到水埠、第二置船入貴街（門）。  
人話郎村歌堂到、娘今無馬置船行（停）  
第一置船到水埠、第二置船入貴堂（庁）。  
人話郎村歌堂到、先到門樓不到州（街）、  
門樓隨娘安傘底、門扇隨娘下馬遊（來）。  
人話郎村歌堂到、先到門樓不到門（庁）、  
門樓隨娘安傘底、門扇隨娘下馬行（停）。  
人話郎村歌堂到、娘在娘鄉獨自閑（思）、  
獨自過山無同伴、金鷄拍翅妹心閑（思）。  
人話郎村歌堂到、腳踏沙洲步步休（興）、  
娘來路遠無親勸、望郎担水養閑魚（閑人）。  
人話郎村歌堂到、趕村不到伏沙洲（灘）、  
伏得沙洲（灘）受寒冷、思着歌堂雙淚流（難）。  
人話郎村歌堂到、四邊江埠轉悠悠（灣灣）  
四邊江埠悠悠（灣灣）轉、思着歌堂州過州（山過山）。  
今朝若來若不來、人雙黃鳥伴娘來（行）、  
陽鳥伴娘樹上動、娘今下地入歌堂（詞）。  
今朝若來若不來、四邊無伴伴娘來（行）、  
也有彈琴過屋背、也有吹笛下街來（行）。  
今朝若來若不來、爺娘不把妹能來（行）、  
竹枝点火不光亮、貴地歌堂娘正來（行）。  
今朝若來若不來、爺娘不把妹能來（行）、  
大哥下河磨刀劍、娘今能過前邊來（行）。  
今朝若來若不來、大哥不把妹能來（行）、  
大嫂難離來送傘、小嫂難離來送衫（衣）。  
今朝若來若不來、爺娘不把妹能來（行）、  
正話不來事不了、瓦片砌橋也要來（行）。  
青山青嶺青悠悠、娘今來看水平沙（平流）、  
人話青山娘有我、青山有影我風流（流羅）。  
踏沙踏石來作笑、急水洩河來唱歌（聲）、  
娘來不是爭人我、娘來貴地看風流（流羅）。  
來時行過白藤嶺、去時行過白藤江（邊）、  
白藤好織千年籠、見娘好合萬年歡（親）。  
拋心過江來作笑、拋落娘村屋底田（塘）、  
拋落娘村屋里好、過鄉作笑看人親（雙）。  
來時腳踏劉州石、劉州石板石排排（平平）、  
娘今歸去路遙遠、貴地歌堂娘正來（行）。  
來是行街踏着石、轉向番婦踏着船（針）、  
手拿銅錢細惹火、三日不溶正是金。  
白馬口含真綠豆、燕子口含沙石糧（州）、

娘村这里無我念、無我正行出遠鄉（州）。  
 來時脚踏龍橋椅、脚踏龍橋水流沙（声）、  
 白紙写書插郎路、歸家单限仔流落（聰明）。  
 來時脚踏劉州石、脚踏劉州瓦椽齊（飛）、  
 白紙写書插郎路、大州瓦椽起青苔（系）。  
 五更踏上白馬背、白馬回頭看本州（鄉）、  
 白馬思着貴鄉草、娘今思着貴鄉人（娘）。  
 五更踏上白馬背、馬頭馬背尾拖生（随）、  
 今朝出門爺姐細声話、不是争人我行（歸）。  
 五更踏上白馬背、踏上馬鞍馬鎖開（声）、  
 山高騎馬馬不過、下馬随風踏地台（塵）  
 南風吹上劉岩洞、北風吹下洞里香（烏）、  
 有双同行一世路、無双一世斷踪跡（由）。  
 好松樹、松油紛紛踏過江（山）、  
 松葉紛紛踏過嶺、過鄉作笑看人双（親）。  
 好松樹、松葉葉多織細麻（系）、  
 娘今歸轉思量着、思着好双在遠鄉（州）。  
 人話路遠真路遠、人話路長真路長（遥）、  
 路遠路長去不到、變成雲霧降娘鄉（橋）。  
 一更風發随風轉、单怕風吹落草中（辺）、  
 单怕風吹落草死、遠路好双難得逢（連）。  
 路遠路途長、十三條竹架重梁（橋）、  
 架得重梁過大海、思義思量娘路長（遥）。  
 路遙遠、風吹竹葉路頭長（遥）、  
 又憂無船過大海、又憂無伴轉娘鄉（橋）。  
 急急唱、急急唱条娘要歸（行）、  
 家里有哥又無嫂、銅盆浸米望娘炊（蒸）。  
 上村抽手娘歸去、下村抽手妹歸鄉（家）、  
 來時白鳩心里嫩、吃了主人多謝漿（茶）漿。  
 娘要歸、不怕二十四路下網行（囿）、  
 剪刀剪破羅網脚、衫袖扯破能過行（歸）。  
 娘要歸、不怕大家担竹織籬埂（囿）、  
 娘是變成大塘野鴨子、也會鑽籬也會飛（行）。  
 歸去也、借問主人双甑炊（蒸）、  
 借問主人双蒸甑、打開甑籠飯魁魁（興興）、  
 歸去也、報郎裝飯莫裝金（糧）、  
 歸到半路開飯吃、吃了辣姜心憶娘（人）。  
 歸去也、上面主人留不留、  
 主人留娘娘站住、外客留娘娘便行（遊）。  
 歸去也、借問主人裝飯香（燒）、

冬間不比春間日、冬間日短路頭長（遙）。  
婦去也、正月不來二月來（行）、  
二月不來娘村有事了、寫書龍背水推來（行）。  
郎村鷄啼雙淚落、思着娘鄉路正長（遠）、  
台頭說報爺娘姐、無我難回婦本鄉（覓）  
郎且撿起隨娘去、又怕爺娘說話長（高）、  
床頭又置苧麻鎖、手中又置殺人鎗（刀）。  
婦去也、拋筧油麻神屋邊（頭）、  
拋筧油麻神屋背、油麻生子意神連（愁）。  
婦去也、裝起大船水埠頭（邊）、  
來時白藤過船底、去時銀錢過船頭（邊）。  
婦去也、官子雙雙送娘行（婦）、  
又憂半船人來問、又有半路着風爭（吹）。  
婦去也、踏上船頭細換衫（衣）、  
有心換衫（衣）換一合、婦去愁郎撲出看（思）。  
婦去也、踏上船頭細換珠（錢）、  
有心換珠（錢）換一合、婦去愁郎撲出凶（連）。  
婦去也、船頭開傘上魁魁（興興）  
船頭開傘興興（魁魁）轉、要念人雙傘底來（連）。  
婦去也、船頭開傘上逢逢（魁魁）  
船頭開傘逢逢（魁魁）轉、要連人雙傘底逢（婦）。  
婦去也、腳踏郎村傘底頭（邊）、  
担傘出門風打破、空把傘柄捧門樓（前）。  
婦去也、但飛同伴去悠悠、  
收拾歌詞婦本巢、莫放歌詞落仔門（庁）。  
不唱了、收拾歌詞歌曲齊（聲）、  
莫讓四邊人亂開、唱得千條萬對收。  
不唱了、收拾歌詞箱里裝、  
檢安箱里齊整了、金鎖鎖箱伴妹身。

#### 師官曲

踏到地、踏到一階（庁）踏二階（庁）、  
主人排位在聖殿、得見金花插滿台。  
主人有心請聖到、香炉排位聖來齊、  
聖主台上好花朵、大王脚底好花街。  
主人請師還良願、銅鈴聲聲請聖王、  
聖王台上寬坐位、師人請聖下席來。  
家主有心還聖願、大王所保主家財、  
抄手胸前相借問、借問席中老聖人（思）。  
齊作劉三敬神聖、借問銅鈴妹參言（師）。

不会唱、手接銅鈴不会声（抛）、  
一段二段師人唱、第三万段妹齐言（師）。

### 連羅哩利

高楼望見好葉段、望見高楼門扇開、  
門開得見県官人、人貌寬寬好做官。  
大官要縛絲光段、小官要縛絲線索、  
官索羅帶尾拖垂、正是官人飲酒歸。  
官人飲酒官庁底、門前白馬踏地声。

### 羅哩排衍送上京

前世王爺騎白馬、後世子孫帶色絲。  
帶色三圈兒、一任着衫二任困、  
三尺紅羅纏馬尾、官縮羅帶伏郎腰、  
紅絲好綉手巾段、今世能有花一条、  
流綉絲、一心着笑二心思、  
綉絲好織綾羅緞、思着当初年少時、  
日頭便把東南上、照見県門成秀才、  
秀才讀書般般有、書筆下台書字齐。  
郎也郎、郎是三歲上書堂、  
人話書堂書好誦、誦了正知書一郎。  
娘也娘、娘是三歲上書場、  
人話書場書好誦、誦了正知書一娘。  
一歲正入学、二歲正知書字真、  
伶俐不使爺娘教、娘是三歲自聰明。  
第一鷄啼官正起、第二鷄啼官起身、  
第三鷄啼官洗面、第四鷄啼官着衫、  
第五鷄啼官出屋、門前白馬踏蹄声。  
今朝騎馬上大路、逢着一双成秀才（官）、  
秀才身着黄衣屋、脚踏皮靴花朵齐（元）。  
今朝騎馬上大路、逢着一双成秀龍、  
秀龍身着黄衣屋、脚踏皮靴花朵玩。  
日過州門怕不怕、夜過県門惊不惊、  
惊犬原随巷上吠、主人養狗草成城。  
一更落下郎屋里、二更落下仔門前、  
三更落下州門里、四更落下県州庭。  
三個官人齐出看、官人出看能聰明。

### 又曲羅哩

娘随十五少年少、朝朝抄手落胸前、

落得胸前州樣圓、有爺有姐操心眼。  
一心抄限好眼郎、不久讀書成秀才、  
秀才会着九經字、九經字尾有文章。  
不久秀才管万鄉、羅哩、  
從小不曾去遠路、今日正行去遠鄉、  
遠鄉遠路貴人家、正是官人飲盞茶。  
飲盞清茶当榴樹、且去難回入進州、  
大州貧事來思量、無我難回歸本鄉。

#### 羅哩又過鄉詩

風流屋蓋琉璃瓦、琉璃瓦衣自排上、  
正話出心來連仔、郎話不連不心難。  
好花丹、郎話不連心里愁、  
好花屋瓦屋瓦、屋瓦屋瓦求對求。  
大州買得光油傘、光油傘底好遮涼、  
大州買得千年木、合得大船撐下州。  
大州買得光油傘、光油傘底好遮涼、  
大州買得長沙紙、抄仔音容掛壁頭。  
白鵝仔、拍着遊上飛下州、  
娘是白鵝樹上勸、思着爺娘雙淚流。  
一歲有爺姐、二歲有爺成大人、  
不信便看人有我、去過聲傳州過州。  
大上小下心暗憶、遠鄉姊妹能聰明、  
遠鄉姊妹來作笑、但作風流來聽聲。  
好花席上官厅底、得把娘連世不愁、  
好花席上門前去、姊妹着衫照下襟。  
好花遊上官厅底、姊妹遊上去遠州、  
好花席上門前去、姊妹看衫且下襟。  
県里人、朝朝行過県門前、  
有名好花借朶插、步步撐船到水邊。  
遠鄉姊妹都連了、坪地晒禾葉對單、  
大州買得白涼扇、白涼紙扇扇胸前。  
遠方姊妹都連了、坪地晒禾行對行、  
台上插花台席邊、回轉共鄉作笑連。  
花也花、今夜撐船不在家、  
今夜撐船不在屋、人來客去但清茶。  
娘來水深撐船到、來到郎村好酒漿、  
台頭排得貴龍漿、飲了台頭台尾香。  
好酒飲盞把娘飲、郎會台頭娘本身、  
單身飲了龍貴漿、歸去聲傳富貴鄉。

### 曲羅哩

官人飲得富貴酒、請得一席富貴人、  
主人買得好銅鈴、交把少娘不会声。  
主人買得双杯盞、排落台頭好香花、  
主人買得双銀筷、銀匙銀筷能銀花。  
婦去声伝富貴郷。

### 連羅・詩女曲

白鵝年生一對卵、娘姐生娘独一人、  
一人嫁去落人郷、磨利殺刀剛断腸。  
不信便看正二月、一双黄鳥叫啾啾、  
思着爺娘在遠州、羅哩。  
第一層門斉出唱、第二層門斉出歌、  
第三層門斉作笑、大家作笑解愁憂、  
第四層門押竹木、押去押回成木囿。  
且放火、天上也有天過星、  
天堂有女娘到久、几時対執爺官人。  
河岸江、好種一林細葉桑、  
蕉絲好踏手中断、羅帶能有伏一双。  
河岸岐、好種一林細葉蕉、  
蕉絲好踏手巾段、羅帶能有伏一条。  
一歲娘爺老、二歲哥嫂当爺娘、  
三歲同村共姊妹、四歲出嫁落人郷。  
爺娘養女枉養女、養女抛定養蚕兒、  
養蚕也得蚕絲織、養女不大転離郷。  
五更担水着風飄、天光雲霧起寒衣、  
漿嫁衣衫都着了、天光不望繡羅衣。

### 羅利

郎口于、行過路辺三月菇、  
三月菇苗能好吃、屋背能有花一条。  
風過樹頭不使住、馬過路頭不使鞍、  
从少不曾離父母、世今離了几多難。  
但作风流把子看、行出門前看雲霧、  
雲霧漸山地暗烏、南風吹上落排梅。  
多謝主人娘去回、連羅哩利。

不曾行過山辺不知山路、不曾行過水辺不知水路、不曾行過三朝流落門外、不曾行過九州廟堂門外、  
不曾執得劉三妹娘歌章、不曾執得劉三妹娘歌曲。

思着不唱又是劉三妹娘歌章、又是劉三妹娘歌曲、行來歌堂地中但唱三句、賤言粗語不曾過連州。  
唐王、聖帝心中之意、不過下廟十二瑶師心中之意；不過伏靈吾婆聖帝心中之意；不過福江盤王聖

10. 張 勁松著『藍山泉瑶族傳統文化田野調查』「第三章 還家願」翻訳

帝心中之意；不過厨司五旗兵馬心中之意；不過揚州宗祖家先心中之意；不過四行坐席老人心中之意。  
天光早起丹古衣衫、席中老人莫談莫笑、先是歌詞、散是歌章。

**歌謝・執鈴歌**

難為仔、難為貴仔執銅鈴、  
娘不曾執得劉三妹娘真歌曲、難為坐席老人記妹言（聽妹声）。  
鑒紙鑒錢掛壁上、還願牲頭席上鋪、  
將起明香對聖座、清油点火照風流。  
當許銀錢掛壁上、珍珠四脚滿台鋪、  
日夜燒香還聖願、大王歸去世無憂。  
聖王面前插条桑絲樹、師人架橋請聖來、  
師人瑤鈴入廟請、白米穴入聖席齊。  
大王台前好花朵、聖王脚底好花街、  
難為主人請師到壇、剪起紅羅花帳脚底金魚三。  
十六洞花朵樣神聖、大王保主萬千年。  
上席排得好銀盞、下席銀筷白演演、  
連州唐王聖帝有聖神、保主千年旺正來。  
唱歌坐席仔、聖王面前唱好歌、  
唱歌解得衆王聖帝千年旺、金銀財帛付郎家。  
門前掛白紙、門前白紙纏門樓（前）、  
請得貴郎樣神聖、請得賤娘無好歌（言）。  
門前掛白紙、門前白紙纏門樓（楣）、  
難為主人細線掛壁上、細線掛娘夜夜愁（思）。  
單身妹、來到歌台但造言（歌）、  
娘是白話造歌曲、爺娘生妹不聰明（流羅）

**抽酒來歌唱**

大州客壳琉璃碗、客人但碗下階來、  
主人使錢定客買、交把厨官抄酒來。  
多謝主、深深多謝主家人（娘）、  
一來多謝主家酒、二來驅避四街人（娘）。  
好酒漿、台頭飲了台尾香、  
行來大庁飲老酒、歸家說報妹爺娘。  
好酒漿、台頭飲了台尾香、  
好酒飲盞當干盞、主人萬歲得寬涼。  
銀瓶載酒錫瓶回、雙手托來不敢推、  
難為托出富貴龍把娘飲、飲了龍漿回轉杯。  
酒味濃、家里也有做酒王、  
不知青山丙葯押、不知主人手上強。  
酒味甘、家里也有做酒娘、



也有三年四年收老酒、酒獻客人心便良。  
 來賀主、金砌門樓砌街、  
 大庁種条搖錢樹、搖動金銀四路來。  
 好瓶酒、深房揀出好瓶漿、  
 一來多謝深房甕里酒、二來騙避主家人（娘）。  
 月蒙妹、爺娘生妹不聰明、  
 不曾接得真歌曲、衆家老人莫笑言。

### 遊願歌（飛江梅）

騎馬過鄉來到願、騎龍便把馬龍頭（辺）、  
 莫放少娘落馬去、今世能有倫願頭（辺）。  
 銅鍋煮茶定水熟、師人結願使高台（銅鈴）、  
 師人着衫定鬼話、掛頭落地鬼來齊（分明）。  
 当初結願師人結、結了神安掛壁頭（辺）、  
 当初願斷壁開葉、壁葉未開願便勾（還）。  
 当初結願使清茶、世今還願使銅鈴（長沙）、  
 單使銅鈴（長沙）還不過、又請外人來唱歌（聽聲）。  
 当初結願使張紙、世今還願使万千（秋）、  
 單使万千（秋）還不過、出路又逢折花添（補）。  
 当初結願師人結、結了茶安箱底收（頭）、  
 当初不過心便憶、世今還了世無憂（愁）。  
 当初結願師人結、結了茶安沙木浪（流）、  
 天光落日歌堂散、水推杉木斷中央（遊）。  
 遊願到、遊願到郎郎便涼（遊）、  
 今年遊過娘門外、後人遊過別人州（鄉）。  
 遊願到、遊到江邊水急頭（辺）、  
 江邊水急船難上、願是大庁今夜勾（還）。  
 遊願到、銅鈴有骨願有勾（還）、  
 銅鈴解得衆神願、歌詞解得衆神愁（思）。  
 遊願到、遊到天平（斜）地也平（斜）、  
 遊到天平（斜）下細雨、遊到地平（斜）轉入門（收早禾）。  
 遊願到、遊到天齊（円）地也齊（円）、  
 遊到天齊（円）下細雨、遊到地齊（円）成秀才（官）。  
 鴉色樹頭色便色、色下大州酒盞鳥（腰）、  
 今年色破還良願、色破願頭放火收（燒）。  
 鴉色樹頭色便色、色下大州酒盞盅（街）、  
 天光落日歌堂散、大王歸去世無憂（來）。  
 筆是大州兔毛筆、墨是貴子松子鳥、  
 天光落日歌堂散、筆頭咬破万年書。  
 不唱了、大王歸去下流洲（灘）、

人話流洲江水大、大船撐下又無憂（難）。  
不唱了、黃桿扶排撐下灘（洲）、  
撐到半灘黃桿亂、變成烏鴉滿天遊（飛）。  
不唱了、芦笛花開扶大排（船）、  
扶得大排撐下海、還願轉歸交把師（下地燒）。  
不唱了、收拾歌詞籠里藏（收）、  
三更夜半人相請、不曾把火去連双（過人鄉）。  
不唱了、風吹木葉轉魁魁（排排）、  
風吹木葉魁魁（排排）轉、試唱一條轉入歸（背）。  
不唱了、風吹木葉轉興興（平平）、  
風吹木葉興興（平平）轉、收執歌詞轉入門（行）。

#### 回来伏願歌

門前荔枝樹、得步六辺荔子垂（齊）  
唱歌說披众神願、妹是門前遊願歸（來）。  
門前遊願轉、門前遊願到台頭（辺）  
遊到台頭交把仔、交把師人願便勾（還）

#### 送王化紙歌

歌堂林林伝是散、白紙林林下地収（燒）、  
不成火燒成白紙、燒了變成陰世珠（錢）。  
大王要去且慢去、且听師人納紙錢（珠）、  
師人納錢莫嫌少、嫌少師人難得添（補）。  
琶板甲甲送神去、白米排排友出厅（門）、  
白米排排友出外、相送大王出外厅（門）。  
琶板甲甲送神去、白米排排友出街（村）、  
白米排排友出外、相送大王出外街（村）。  
琶板甲甲送神去、銅桂樹上挂銅鑼（鍾）、  
歌堂也当今日散、姐妹也当今夜送神行（歸）。  
送神去、送神歸去到連州（行平）、  
送神歸去到連州（行平）廟、廟前車碓遊遊（平平）。  
送神去、送神歸去伏灵（福江）、  
送神歸去伏灵（福江）廟、廟前車対轉興興（双双）。  
送神去、送神歸去到神州（郷）、  
送神歸去到神州（郷）廟、神男神女笑悠悠（吟吟）。  
送神去、送神歸去到神村（家）、  
送神歸去到神村（家）廟、神男神女笑完完（甸甸）。  
送神去、送神歸去到神厅（堂）、  
送神歸去到神屋、神男神女挖泥塘（田）。  
送神去、師人托香送出門、

香炉水碗倒落地、水碗不回神不回。

### 又送龍城廟歌

送神去、送神歸去到龍城、  
 送神歸去龍城廟、一世不行出廟序。  
 担傘協協送神去、中序送出外門街（樓）、  
 神今手拿光油傘、相送大王出路頭（辺）。  
 担傘協協送神去、送上大王上馬随（行）、  
 大王行過青草嶺、三日不行草便垂（生）。  
 下路去、抛糞油麻神屋頭（辺）、  
 抛糞油麻神屋背、油麻生子憶神愁（連）。  
 送神去、莫在郎村水埠頭（辺）、  
 莫在郎村水埠口、人村死灾頼神倫（連）。  
 歌堂散、天人收節已頼散（离痴）、  
 神屋有双收檢点、妹屋无双收筋難（財）。  
 歌堂散、瑶人鑿紙納陰間（陽）、  
 瑶人要納陰間紙、后世子孫得久連（長）。  
 風過樹頭無處沙、船行水面亮光光（油油）、  
 大王歸去寬坐落、娘今歸去得寬涼（遊）。  
 石榴花開滿堂白、叶枝生子叶生生（垂垂）、  
 神今歸去不来了、相送大王上廟門（歸）。  
 解神意、歌堂林里解神愁（思）、  
 解得神愁神歸去、歸去莫伝還願頭（詞）。  
 解神意、歌堂林里解神難（憂）、  
 解得神意神歸去、客人看見船過灘（洲）。  
 送神去、送到青山樹底涼（陰）、  
 相送大王一年当百歳、一世不行半路堂。  
 斑竹織籠関燕子、燕子声声要討行（飛）、  
 天光落日歌堂散、開籠放燕滿天行（飛）。  
 送神分解真分解、分解分离分上灘（洲）、  
 一只把神衣衫袖、二只把神說淚灘（流）。

### 賀主歌

白鴿飛来還良願、娘少開言賀主人。  
 家主有心清師還聖願、大秤称量斗打金。  
 金鷄拍着賀半夜、娘少開声賀一条、  
 一賀家主、二賀大王、  
 席上三十六段七任歌詞。  
 歌曲都是完滿了、金銀財帛付郎序。

多謝主、深深多謝主龍漿、  
行來歌堂三朝四夜安樂台頭台尾飲、几時幸得主龍漿。  
來賀主、娘少賤言賀主人（娘）、  
家主有心還良願、門前石壁變成金（銀）。  
來賀主、娘少行來來賀郎（人）、  
家主声声還良願、五谷豐登千萬倉（年）。  
唱歌賀、唱歌來賀貴門樓（前）。  
家主有心清師到伝奉還元盆招兵大王歌堂、  
三座寶書都是完滿了、綾羅寶緞纏門樓（前）。  
來賀主、賤言來賀主家郎（人）、  
家主有心奉還元盆招兵大王願、  
子子孫孫出流羅（官人）、  
來賀主、金砌門樓銀砌階、  
大庁種条搖錢樹、搖動金銀四路來。  
再賀主、娘少賤言再賀声、  
賀郎蓮花紙朶、賀郎耕種全收、賀子賀孫、上元。  
添子添孫、人財千年、財旺萬歲、賀得家主安樂。  
大王心寬喜、大王保主萬千年。  
門前海岸種當基、大王席上散歌詞、  
一賀家主、二賀大王、  
席上三十六段歌詞歌曲都是完滿了、也有大王轉面回（思）。  
來賀主、娘少賤言賀主家、  
賀郎金柱銀柱、金磚砌過銀瓦蓋過、地下金水淋過金裝  
斗過、龍台騎椅、金瓶銀盞、金桌銀凳、得見都是龍纏過、  
地比北京皇帝家。  
多謝主、深深多謝主龍漿（茶）、  
難為揀出富貴龍漿台頭飲、全靠陰間填補郎（娘）。  
口吃珍珠多謝寶、銀盞双双落下台、  
家主有心還聖願、賀主家中百樣齊。

#### 又賀新卦男

來賀仔、來賀歌堂新卦男、  
難為二位師爺引帶新卦師男行過七星八步橋梁路、  
年年人請上人鄉。  
來賀仔、來賀歌堂新卦師、  
難為二位師頭帶師男行過七星橋梁路、  
年年人請在人階。

#### 賀存行師

來賀仔、來賀歌堂對廟師、

对廟師人香門旺、年年双倍入壇来。  
来賀仔、来賀歌壇拜天師、  
大法師人站在門前拜天拜地具言具語說報天上賀玉皇天子女、賀仔天門回路来。  
来賀仔、来賀歌堂賞兵師、  
執兵師人香門旺、四路香門分不開。  
来賀仔、来賀歌堂開教師、  
開教師爺一年四季香門旺、不得停馬在人階。  
来賀仔、来賀歌堂相陪師、  
下席起曲過神意、香門興旺万年財。  
来賀仔、来賀歌堂相攢師、  
相攢師男也有二十四条香火花路、朝朝人請在歌堂。  
来賀仔、来賀歌堂相攢師、  
相攢師人一年四季香門旺、四路歌堂分不開。  
来賀仔、来賀歌堂行動郎、  
行来歌堂地中抽点妹，貴仔有名過九江。  
来賀妹，来賀歌堂辛苦娘、  
行来歌堂三朝四夜抽茶抽酒把娘飲、貴妹有名通廣鄉。  
月光光四海夜、灯盞排排照下階（四边）、  
娘少不曾執得劉三妹娘真歌曲、不無好歌賀衆師（人）。

#### 奉酒歌

細問主、寒單細問主家郎（娘）、  
家有龍漿安在高台上，奉盞衆師各轉覓（鄉）。  
当初記歌記不得、娘少賀歌賀不齊、  
賀歌不齊奉盞酒、娘少奉酒衆席師。  
錫瓶載酒双双落、銀瓶載酒白央央、  
馬脚双盞娘飲了、娘少奉盞衆席人。  
上村抄手娘歸去、下村抄手妹歸堂（鄉）、  
富貴龍漿舖台飲、娘少奉盞家主郎（娘）。

#### 裝馬歌

裝馬去、裝起馬頭歸本鄉（州）、  
裝起馬頭歸本界、師人歸去得寬良（遊）。  
起馬去、手拿卦子伏行司（大堂）、  
馬脚双盞娘飲了、回轉層陽付主堂。  
起馬去、大庁裝馬出官庁（堂）、  
裝起馬頭拜三拜、虧娘眼泪落双双（連連）。  
收拾歌詞裝馬去、踏上馬頭馬轉州（鄉）、  
歌曲行前妹行後、莫放賤歌落仔州（鄉）。  
收拾歌詞送哥去、踏上馬鞍馬轉州（鄉）、

歌曲行前妹行後、莫放賤歌落仔家（疍）。  
唱了一对収一对、唱了一千収一千、  
唱得千条万对閑散歌曲收拾安箱籠、  
金鎖鎖箱伴妹歸。  
唱了一对又一对、收拾歌詞歌曲齊、  
唱得千条万对三十六段歌詞收拾安箱籠、  
金鎖鎖箱伴妹行。  
不唱了、收拾歌詞歌曲齊、  
唱得三十六段歌詞七任歌曲收拾安箱里、  
莫讓四边人乱開。

### 高皇出世歌

九江金水青龍過、北京涼傘好遮涼、  
南京共守北京道、共紙金文過二鄉。  
主人排位在聖殿、得見金花插滿台、  
主人有心請聖到、香炉排位聖來齊。  
家主台上寬坐位、師人請聖下席來、  
家主有心還良願、大王所保主家財。  
盤古聖王置天地、置立天堂置山源、  
置立山源向水口、又置江河無万源。  
未置五谷奉神聖、置下人民無万千、  
京殿元年四月八、逢着聖王改換天。  
大王換天又換水、又換江河無万千、  
無万山源向水口、大王換轉聖神恩。  
大王換天向水口、解換天地無余人、  
重留伏羲兩妹妹、結成夫妻万千年。  
先置瑶人置百姓、百姓耕田無万千、  
聖王置下金鑾殿、管下人民無万千。  
雷主聖王置五谷、劉王種樹好遮涼、  
竹王造下千百姓、唐王造下好花朵。  
魯班將樹置金屋、桃源聖子置学堂、  
置下間山学堂里、讀書把筆字成行。  
未置官人置學梟、一管錢糧二管鄉、  
管下人民無万姓、黃金造換納錢糧。  
劉王出世行天底、江水長流無万千、  
解下唐王在聖殿、瑶人退下聖王前。  
盤古聖王置天地、置立天堂無万千、  
生下六男有六女、六男六女吉相連。  
分下五音有五郡、流來伝下万千年、  
置立連州福江廟、又置黃竹廟門前。

五百年間王母転、敗了南京十里州、  
 寅卯二年天地旱、敗了江河龍鳳寛。  
 青山竹木着了火、江河無水又無魚、  
 十二姓瑶人無計奈、飄洋過海望広東。  
 過了三百六十日、愁愁記憶在船中、  
 在落船中全靠聖、五旗兵馬保人民、  
 未曾三日船過岸、燒香心謝聖神良。  
 遊到広東招平県、抛了弓情理補郷、  
 置立天堂安楽了、子孫多謝聖神良。  
 安楽広東招平県、多謝聖王父母恩、  
 家主有心多謝聖、聖王坐位万千年。  
 瑶人出世南京十宝殿、東門行過南門街、  
 入山起屋来遮妹、無屋遮娘天下来。  
 瑶人出世南京十宝殿、東門行過南門橋、  
 皇爺朝命管天地、發散瑶人天地遊。  
 瑶人出世樂昌府、地各安在校枝灘、  
 青山万水流三合、盤王清水路中難。  
 出世瑶人十二姓、盤王發散管青山、  
 当初劉爺劉姐置有金斗香炉十二个、盤古流伝到世今。  
 出世瑶人十二姓、盤王發散管青山、  
 当初劉爺劉姐置有金斗香炉把娘運、運去運回山過山。

## (9) 遊願

遊願は必ず明け方に行う。屋外で焚火を起こす。法師は歌女と若者及び傍観者を連れて焚火を囲んで談笑する。これを「流楽歌堂」と呼び、よく遊ぶことを意味する。歌娘はとなりにおいて「遊願歌」を歌う。

## (10) 解神意

解神意とは、還願が終わる時、盤王に向って福を賜るように祈求することを指す。施主の家の人は、供物台の前で跪き、巫師（宗教職能者）は「解神意」を唱える。その文言は例えば「解神意、歌堂里内解伏江、解得盤王真意転、子孫代代出聡明（神の意思を解く。歌堂で伏江の意思を解く。盤王の真意を解くことができたら、子孫代々は賢くなる）」である。唱え終わると、還願師はまた堂々と語るが、その内容は子孫の繁栄を助け、代々秀才を輩出し、官吏を出し、金のかんざしを挿すという盤王の真意を解き明かすことである。その後還願師は占いし、吉の卦を求めた後に施主の家に対して「卦合到了所求的願転、很円満（良い占いが出て、求める願は叶い、全て円満となります）」と報告する。施主の家の人は立ち上がり、意気揚々とする。

## (11) 送盤王

巫師（宗教職能者）は長鼓を打ち、還願師は酒を供え、紙銭を燃やし、「送王歌」を唱える。還願師は師棍を用いて祭場の全ての物を点検し、再び片付ける。最後に施主の家と巫師を賀し、あわせて関係する歌を歌う。

10. 張 勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳

10. 勾願

勾願は「了願」「結卦」ともいう。還願師は紙銭を燃やし、「了願歌」を唱える。歌詞は「了落落脚谷花米酒卦神頭、了落立齊衆聖卦神頭……了落招兵招将卦神頭、了落解神意卦神頭、了落相送大王卦神頭……（穀物・花・酒が受納されたか確認し占う、神々がそろったかどうか確認し占う、…兵や将が集まったかどうか確認し占う、神の意志を確認し占う、大王をお送りしたか確認し占う）」である。一句唱える毎に占いをし、巽卦が出ると唱え終わる。最後に還家願の完了を宣告し、還家願儀礼はこれで終わりとなる。

儀礼時間表

日期	時刻	儀礼名称
23 日	午後	儀礼前の準備、願かけ
	晩	装堂掛聖、献香、巽水浄壇、啓師請聖
24 日	朝	化変、藏身変身
	午後	昇灯、解厄、取法名、退灯、分兵、退碗
	晩	撥法、定陰陽、行罡、許催春願
25 日	朝	請禾魂、升禾米
	午後	神堂外：差兵招禾、救糧、閉天門 神堂内：請神、上光、救幡、賀兵、踢兵帰壇
	晩	献祭、祭兵
26 日	朝	還紙銭、上馬打馬
	午後	運銭、送聖、撤壇、盤王願之装堂、請神
	晩	点女、上光、祭家先、迎送盤王入祖廟
27 日	朝	困願、唱「盤王大歌」
	午後	唱「盤王大歌」
	晩	唱「盤王大歌」
28 日	朝	遊願、解神意、送盤王、勾願

四、儀礼のテキスト

還家願のテキストは『請聖書』『許願法用書』『招五穀兵用書』『盤王大歌』などがあり、すべて手書きの写本である。『請聖書』の中には請神、祭神、娛神（上光）およびその他の一般儀礼に使われる歌と呪文が記されている。歌と呪文は例えば、「拜祖師歌」「唱神頭」「開神頭」「三清呪」「馬元帥呪」「雷霆呪」「北斗呪」「李十一呪」「献香呪」「海番呪」「紙馬呪」「濁浄呪」「献香起根」「三献香」「請家先」「接四府」「唱師棍」「牛解呪」「差光用」「上光用」「引光用」「引光献」「本命歌」「李天師歌」「黄衣歌」「鑑齋歌」「銭呪」「運銭歌」などである。『許願法用書』には還家願中の四つの願においてどのような神に、どのような物を供え、どのくらいの量の紙銭を捧げるかが記されており、すべて唱えごとであり歌詞は無い。『伝灯用書』は掛灯儀礼に用いるテキストであり、「化水」「化米」「化布」「化銭」「脚踏蓮花碗唱歌」「一件変起開」「蔵師男」「唱騎馬」「起箭法」「行罡」「三元変吾身」「一件抄灯」「一件念纏解厄」「退灯」「補橋」「六笛米」「分兵敬用」「退蓮花碗」などがある。歌もあり、呪文もあり、唱えごともある。『招五穀用書』には「請禾魂」「升禾米」「差兵招禾」「勅旗用招兵旗」「勅米」「勅幡」「勅粮用旗」「勅粮」「開口招五穀」などがある。

また、テキストの中に見られない『意者書』もある。「意者」とは瑶語で「意思陳述」の意味である。『意者書』は師道公が暗記しているテキストであり、ひとつには自分の基本情報と法を学び従事した経歴を述べ、二つ目は施主の基本情報を述べる。一般的には請神と願掛けの時に述べる。



## 五、儀礼の法服と法具

儀礼の法衣は道師衣、巫師衣、神頭、師公帽、羅帯などがある。道師衣は赤の地の花柄の布とし、巫師衣は赤色の衣とし、巫師の法服である。他の物は「度戒」儀礼の法服と同じである。法具は太鼓、大ドラ、小ドラ、大鈸、ソーナ、角笛、劍、銅鈴、笏牌、師公棒、ポエ、紙馬棒などである。形状、象徴及び効用は度戒儀礼の法具と同様である。

## 六、結語

この調査資料によると、われわれはこれに対して少なくとも二点の理論的見解を示すことが出来る。ひとつは還家願儀礼の意義の多様性である。還家願儀礼の宗教的目的は先祖を祭ることと除災招福にあり、これらは還催春願、還招五穀兵願、還縁盆願、還盤王願の四つの願から成っている。掛灯儀礼および受礼者のために行われる還催春願の意義の一つ目は、家の祖先祭祀を受け継ぐためであり、二つ目は施主が自分と他人のために除災招福を行える宗教職能者になるためである。招五穀兵と還招五穀兵願は家の五穀豊穰と六畜繁栄のためである。還縁盆願と還盤王願は家の先祖と一族の祖先を記念するためのものであり、また家の先祖と一族の祖先の承認と守護を得、子孫の発展と繁栄をさせるためである。ゆえに五穀豊穰と子孫繁栄、およびその安泰と繁栄などの様々な願いが還家願儀礼の中に含まれている。これは還家願儀礼の明確な特徴である。

二つ目は道教儀礼と瑶族独自の儀礼が融合しているということである。テキストの内容と儀礼の両面から見ると、還催春願、還招五穀兵願と還縁盆願は道教儀礼である。しかし還盤王願は瑶族独自の儀礼である。時代から見ると晋代にすでに盤瓠神話および「用糝雜魚肉、叩槽而号、以祭盤瓠、其俗至今（穀類を細かく挽いたものと魚肉を混ぜ、桶を叩きながら大きい声で叫ぶ。このような形式で盤瓠を祀る。この風俗は今に至る）」の記載があった。道教は明清時代頃に瑶族社会に伝わり、その後瑶族の師道公はその人々の求めに応じて道教儀礼と瑶族独自の儀礼を融合させた。これも還家願儀礼の顕著な特徴である。



## 11. 還家願儀礼の調査参加記



## 還家願儀礼における対聯と<sup>W U G U</sup>五谷について

歴史民俗資料学研究科博士後期課程

三村 宜敬

還家願儀礼は2011年11月16日から21日までの6日間にわたり湖南省藍山県において執り行われた。小生は2008年に行われた瑶族の通過儀礼において最高の儀礼であるところの「度戒儀礼」以来の藍山県での調査であった。度戒儀礼の折には瑶族村の山間に木造の平屋が建てられたり、雲台と呼ばれる祭場が設けられたりと最高の通過儀礼であるだけの規模で行われた。しかしこの還家願儀礼はそれとは異なり、個人宅において行われたため、祭場の規模こそ小さく異なるものの、儀礼の行われた祭場に掛けられた神画の掛軸や祭壇の設え、五色（赤・緑・黄・青・白）の紙に七言の句が書かれた「対聯」、巫師の弟子達が紙銭や紙馬を作る様子、祭場内で漢語を話すと罰として飲まされる唐辛子水など度戒儀礼と共通した箇所も多くあり、まるで度戒儀礼を縮小したような雰囲気であった。

小稿では儀礼の設えや祭壇の供物などに疑問点があったため、ここに列記し今後の課題としたい。

### 対聯の様相について

還家願儀礼における対聯は儀礼の行われた家屋の軒先と納屋の間に吊るされた五色の紙である。そこには「男勤女儉定家」「隋勞隋苦由天命」「作福修喜得安康」「事業興隆家道盛」の様な語句が書かれている。聯は赤・緑・黄・青・白・赤の順で、6枚を1セットとし、5セット計30枚が吊るされている（写真1）。

ここではなぜ6本の聯が吊るされているのであろうか。用いられた聯の色からして、陰陽五行説に則っているのであろう。陰陽五行説における方位と色の関係は東＝青・西＝白・南＝赤・

北＝黒・中央＝黄となっている。今回の儀礼の場合、北の黒は緑に置き換えられると考えると、陰陽五行説に相当するが、吊るされた聯の順番は、赤（南）、緑（北に相当）、黄（中央）、青（東）、白（西）、赤（南）となり、中国において方位を指し示すところの「東南西北中央」を表す順番とは異なる事がわかる。さらに、ここで用いられた聯は6本であり、再び南を示す色が用いられている。

この事から私見ながら単に陰陽五行説の色を用いているだけではなく、6という数が意味を持っているのではないだろうか。

### 五谷について

還家願儀礼で特徴的なものに「五谷樹」がある。これは竹を根元から切ったものに、コウリヤン、稗、粟、トウモロコシ、稲を七夕の短冊のごとく吊り下げているものである（写真2）。この五谷（wugu）（五穀）とは、すなわち五種類の穀物の事であり、



写真1：軒先に吊るされる対聯



写真2：五谷樹

## 11. 還家願儀礼の調査参加記

日本では諸説あるものの、一般には米、麦、粟、稗、豆を指す。しかし、今回行われた儀礼においては日本の五穀とは異なる5種の穀物を用いている。

この五谷について過去に行われた儀礼の事例を『藍山县瑶族传统文化田野調査』「招五谷兵」の項から参照すると、用いられる五種類の穀物は、

在竹枝上吊掛精选的粟穗、谷穗、高粱、玉米棒、黄豆等五谷，也可只黄豆一种<sup>1</sup>

訳：竹の枝の上によりぬいた粟、稲穂、高粱、トウモロコシ、大豆などの五穀、大豆一種でも良いだろう。（※谷穂は「谷穂儿」と書き、粟の穂、稲の穂の意があるため、ここでは「稲穂」と訳した。）と書かれており、今回用いられた五谷と異なっている。こうした違いは、儀礼を執り行った巫師の違いによるために起こったのか、施主によって異なるのか確認する必要があると考える。



写真3：五谷をエプロンで受け止める

ていた（写真3）。こうした儀礼における五谷の使われ方を鑑みるに、五穀豊穰の意が込められているであろう。

この様な儀礼で使用される穀物は、単に中国における五穀を用いているのではなく、この藍山県における耕作の歴史や風土を表しているのではないだろうか。藍山県に住む瑶族の穀物について『藍山県瑶族志』には、

古代，瑶族先民“种禾，黍，粟，豆，山芋，杂以为粮，截竹筒而炊，暇则猎取山兽以续食”。

明代，部分瑶族开始少量种植水稻，食品类逐步增多。但仍以包谷、红薯为主食，次为小米、糝子、芋头等旱杂粮，稻米极少。清代瑶官钟才濂在瑶俗轶闻录中记载：（中略）家庭较宽裕瑶民，杀一头过年猪须保一年食用；穷苦人家只有靠出售山货后购买少许猪肉品尝，平时煮菜则缺油少盐<sup>2</sup>。

訳：古代、瑶族の先祖は“稲、モチキビ、粟、豆、山芋を植え、様々なものを食糧と考え、竹筒を切断したもので炊く。暇があれば山で獣を獲り食を繋げる。

明代には、一部の瑶族は水稻耕作を始め食品類が次第に増加した。ただし相変わらずトウモロコシ、サツマイモを主食とし、次いで粟、穀物をひき割ったもの、里芋など雑穀を陸地栽培し、稲作は極めて少ない。清代の瑶族の役人鐘才濂は瑶族の風俗の逸話を聞き記録に記載している。（中略）瑶民の家庭はやや裕福であり、新年には豚を1頭屠り1年の食用としなければならない。困窮した人の家では山地の産物を売り出すより他は無く、その後わずかばかりの豚肉を吟味して購入するしかない。普段は野菜を煮ており油と塩に欠乏している。

この様に記述されており、藍山県の瑶族の食生活について知る事ができる。この様な事例を踏まえて、儀礼にいて使用される穀物を他地域に居住する瑶族の事例と比較する事によって、藍山県の特徴が見えてくるのではないかと。

### 五谷神の祭壇

11月18日の招兵儀礼において五谷神を祀った祭壇は、戸外の五谷樹の前に設けられた。祭壇として用いられた四角い机の上には、線香を中心として、右側に供物の碗2個（鶏1羽の碗、豚の脂身と油揚げの碗）、5つの杯、竹筒の中に米を入れ紅包を置いたもの、左側に餅と卵の入った碗（餅と卵5個）、キクラゲ、スルメの下足1本、ハルサメ、豆腐片の入った碗、灯明、水の入った杯、7つの杯が置かれている。更に細身の竹筒にも米を入れ、「招兵旗」と呼ばれる赤い切り紙を挿す（写真4）。そして招兵師のZ法明が五谷の束を箕に入れたものを机の下に置き儀礼を行う。この五谷の束は、受礼者の家に運ばれ、穀物貯蔵用の桶に入れられていた。

さらに儀礼が進行すると、この机には竹筒に挿された招兵旗と大碗に盛られた鶏卵と鶏の骨付き肉、杯と箸が7つ置かれる。そこでは、Z法明が杯に酒を注ぎつつ唱えごとを行う（写真5）。



写真4：五谷神の祭壇



写真5：酒を注ぐZ法明



写真6：キクラゲ、スルメの下足、ハルサメ、豆腐片



写真7：七星の儀礼の祭壇

それとほぼ同時時間帯に祭場の中にはもう1つ机が用意され、招兵儀礼で使われたキクラゲ、スルメの下足、ハルサメ、豆腐片の入った碗に餅を乗せたものが七星の儀礼に用いられた（写真6・7）。

この日の儀礼において用いられた供物は、正面の祭壇に供えられたものとは明らかに異なってい

## 11. 還家願儀礼の調査参加記

る。この日までに正面の祭壇に供えられたのは、豚の脂身と油揚げである。ただし、招兵儀礼と七星の儀礼に用いられた供物は上記したように鶏1羽、豚の脂身、油揚げ、米、餅、卵、キクラゲ、スルメの下足、ハルサメ、豆腐が確認できる。これら供物の中で奇異に感じられたのはスルメの下足である。それは藍山県のような山地において、これまで耕地や山から採取可能なものばかりであったのに、海産物が用いられているからであろうか。

ここで頭を過ぎったのが、日本における山の神の祭祀である。山の神の祭祀には海産物であるところの秋刀魚を食べる習俗が秩父の奥山と信州の伊那谷にあり<sup>3</sup>、山の神を喜ばせるために醜いオコゼを供える習俗がある。

こうした日本の事例と藍山県の事例とを同系列で扱う事はできないが、なぜ藍山県で行われた儀礼にスルメの下足が用いられているのか、海と山とにどういった関係があるのか興味深い。

### おわりに

今回行われた還家願儀礼では、我々廣田ゼミ院生は主に儀礼の映像を残すため、交代でビデオによる撮影を行っていた。今回は巫師達の理解と協力もあり、ワイヤレスマイクを用い儀礼中になされる唱えごとのほとんどを記録する事ができた。また、この儀礼が度戒儀礼と異なった点に、巫師の弟子がテキストを唱える場面も何回かあった。しかし、巫師とは習熟度の差からか、時々聞え聞えしながら唱えごとを行っていた。巫師として成長してゆく過程にはこうした儀礼の経験を重ねながら、最後には一切のテキストを見ないで唱えごとを行うB法良のような巫師になってゆくのであろう。

一連の還家願儀礼を見終わった感想として、小稿において触れた五谷の事例のように儀礼と作物との関係から非常に生活に密着した儀礼のような印象を受けた。還家願儀礼は6日間にわたり、「勾愿(又は結卦)」において締めくくられる。しかし、受礼者宅に運び込まれた五谷樹がその後どのように処分されるのかについては『藍山県瑶族传统文化田野調査』には記述されていない。この五谷樹が処分の際、燃されるにしても、打ち捨てられるにしても、「いつ、いかなる方法」でなされるのであろうか。改めて受礼者に確認する必要があるだろう。

小稿では筆者が感じた疑問点を列記するのみに留まった。こうした儀礼で用いられる穀物や供物について今後日本との比較も含め、その意味の分析に取り組んでいきたい。

### 参考・引用文献

- ・ 张劲松 赵群 冯荣军 『藍山県瑶族传统文化田野調査』 岳麓书社出版 2002年
- ・ 藍山県瑶族志编纂委员会 『藍山県瑶族志』 1997
- ・ 小倉美恵子 『オオカミの護符』 新潮社 2011年

1 张劲松 赵群 冯荣军 『藍山県瑶族传统文化田野調査』 p. 98

2 『藍山県瑶族志』 pp. 225-226

3 小倉美恵子 『オオカミの護符』 p. 149



## 還家願儀礼における神画の使用について

歴史民俗資料科学研究科博士前期課程

譚 静

私はこの度、神奈川大学ヤオ族文化研究所の一員として、湖南省藍山県で行われた還家願儀礼の調査に参加することができ、非常に幸いであった。この還家願儀礼は2011年11月16日から21日まで行われ、期間は長くなかったが、儀礼内容は非常に豊富であると感じた。私は2010年から、湖南省藍山県に在住している宗教職能者の趙金付氏所蔵のヤオ族儀礼神画の複製を担当している。複製の際には、神奈川大学ヤオ族文化研究所所蔵の神画静止画データを利用し研究をしていたが、実際に本物の神画を見たことがなかった。そのため、私にとって、今回の還家願儀礼は初めての調査であるばかりでなく、実際の儀礼においてどのように神画が使われるのかを自分の目で確認できた非常に重要な機会であった。本稿では、この還家願儀礼に使われたヤオ族儀礼神画について報告したいと思う。

### 儀礼における神画の使用

今回還家願儀礼を行った盤家は、長男の盤栄富（61歳）が跡継ぎなのだが、盤栄富は既に藍山県県城に引っ越しているため、実家は妹婿の盤明古が継いでいる。盤栄富は県城の家へ実家の神棚の香炉を移す必要があり、また、自分と妹婿は神棚の香炉に象徴される家を継ぐ資格を得るため、法名を得たいと考え、掛灯儀礼を行う運びとなった。なお、今回一緒に掛灯儀礼に参加するのは、盤栄富の従兄弟の長男盤継生（55歳）・次男盤認仔（50歳）・三男盤新富（44歳）である。彼らもそれぞれの祖先の香炉を分け、家を継ぐ資格を得るために、法名を得る必要があった。また盤栄富の父は以前願掛けを行ったことがあり、その願ほどこきをするのも今回の還家願の目的となっている。

儀礼を行う際、儀礼内容に合わせて宗教職能者は還願師、招兵師・賞兵師と掛燈師の役割を分担する。今回は、それぞれ盤保古（1964年生れ、法名：法旗、荊竹村桐古坪組）・趙金付（1963年生れ、法名：法明、匯源郷湘藍村）・盤喜古（1933年生れ、法名：法良、所城郷団源村）が担当し、盤喜古は賞兵師と掛燈師の2職を担当した。また、3人の弟子趙子清・趙橋古・趙桂仔も一緒に儀礼を行った。供物の準備など、儀礼の進行係ともいえる主厨官を馮基華（1963年生れ、法名：法青、匯源郷湘藍村大団圓組）が担当し、その他楽器を演奏する人たちや歌娘或いは歌女と称される歌を歌う女性などもいた。

祭場（本書祭場の平面図〈図4〉）は、入り口を入れて正面の部屋である。向かって部屋の奥に長方形の供物台が設けられ、正面の壁に神棚（図1：盤栄富の神棚）がある。神棚の中に財神を描いた年画<sup>1</sup>が張っており、周囲に対聯が張られている。神



図1：盤栄富の神棚 撮影者：財津直美

## 11. 還家願儀礼の調査参加記

棚の左右に盤栄富の父母の生前の写真が置かれており、線香を焚く香炉、蠟燭2本、酒を入れた盞5個・灯明が供えられている。

今回の還家願儀礼では、宗教職能者の趙金付・盤保古・盤貴古それぞれの所有する神画が用いられた。具体的には、趙金付の神画が14点（元始天尊・靈寶天尊・道德天尊・玉皇・聖主・張天師①・張天師②・李天師・大海番・天府・地府・十殿・鑿斎大王・把壇師）、盤保古が4点（海番張趙二郎・総壇・三將軍・太歳）、盤喜古が4点（海番張趙二郎・総壇・三將軍・太歳）であり、合計22点の神画が祭壇に掛けられた。なお、趙金付の所有する神画は本報告書の「神画トレース画と複製画」に示し、盤保古と盤貴古の所有する神画は本報告書のカラーページに示してある。

儀礼程序（本報告書の還家願程序）によると、ヤオ族儀礼神画の使用は掛聖（神画を掛ける）→請聖（神々を招聘する）→謝聖（神々に感謝する）→神画を片付けるという構成となっている。以下この4つの構成について紹介する。

### I 掛聖（神画を掛ける）

今回の還家願儀礼では、装堂<sup>ii</sup>は2回行われていた。1回目の還家願の装堂は神画を掛けて供物を供えるが、2回目の還盤王願の装堂は1回目の祭壇を全て片付けて新たに祭壇を作り、供物を供えなければならない。このことから、ヤオ族儀礼神画は儀礼によって使用される場合と使用されない場合があると分かる。還盤王願で祭られた盤王はヤオ族の祖先神であるので、儀礼の際に他の神々を招聘したり、神画を掛けたりする必要はないと考えられる。

「掛聖」は神画を祭壇に掛けることである。今回の「掛聖」は宗教職能者の盤貴古と弟子の趙桂仔・趙子清の3人で協力して行われた。祭壇に掛けられた神画の位置は、5章祭場平面図 図5に示したように、祭壇の右側から左側まで、鑿斎大王・天府・三將軍（盤喜古所蔵）・三將軍（盤保古所蔵）・張天師・張天師・総壇（盤保古所蔵）・総壇（盤喜古所蔵）・玉皇・靈寶天尊・元始天尊・道德天尊・聖主・太歳（盤保古所蔵）・太歳（盤喜古所蔵）・十殿・李天師・地府・大海番・海番張趙二郎（盤保古所蔵）・海番張趙二郎（盤喜古所蔵）・把壇師とし、全部で22点ある。重複の神画を除き、祭壇に17種類の神画が掛けられていることが分かる。

還家願儀礼の神画配置に関しては、廣田律子と張勁松の著書<sup>iii</sup>にも報告されているが、神画の祭壇配置は今回とは少し異なっている。例えば、今回盤家の祭壇に掛けられた三清神画の「道德天尊」と「靈寶天尊」の掛け位置は、馮家の祭壇配置とは逆になっていることが分かる。漢族道教の中で三清神画の掛け方は、中心に元始天尊、向かって左側に道德天尊、右側に靈寶天尊神画とする。この掛け方を基準とすれば、今回の還家願儀礼の三清神画の祭壇配置が正しいと考えられる。

### II 請聖（神々を招聘する）

「請聖」は、儀礼をうまく運ぶために諸々の神々を祭壇に招聘することである。請聖の際に、宗教職能者たちはテキストを唱える。内容は主に神々に関する歌である。中には神画に描かれた神々に関する歌や呪文も含まれている。

### III 謝聖（神々に感謝する）

儀礼がうまく完了すると、祭場に招聘した神々に感謝しなければならない。謝礼は酒や紙銭などである。酒はその場で祭壇に置かれている酒盃に注ぐが、紙銭は宗教職能者が1枚1枚重ねて数える。唱えごとをしながら、卦で占い、神々は満足しているのか、喜んでいるのかを確認し、最後に紙銭を

燃やして神々の所へ送る。

#### IV 神画を片付ける

還盤王願儀礼が行われる前に、1回目の祭壇を片付けて神画を下ろして巻き、祭場の右の隅に立てて置く。全ての儀礼が終了後、神画は祭場の隅から入口の門の外に置かれ、宗教職能者たちはそれぞれの神画を持って帰宅する。このことについては、張勁松の著書<sup>v</sup>にも報告がある。報告によれば、神画を祭壇から戸口の外に置くことは神々を送るという意味であるとする。以上で儀礼における神画の使用は完了する。

#### 神画に関わる儀礼

還家願儀礼の進行中、宗教職能者は時々祭壇正面に掛けられた道德天尊・元始天尊・靈寶天尊の神画に向かい、銅鈴をもち、唱えごとをしつつ、生年月日などを記した紅紙を神画に順に貼り付けようとする。例えば、道德天尊の神画に吸い付かないと、次の元始天尊の神画に吸い付ける。吸い付いたら、紅紙にのりを塗り、その神画に貼り付ける。今回の還家願儀礼では何枚の紅紙が貼られたか確をおこなったが、神画を出して祭壇に掛ける時点で、元始天尊・靈寶天尊・道德天尊各神画の真ん中あたりに紅紙が数多く貼られていた。儀礼進行に伴い、宗教職能者盤保古は、すでに貼られている紅紙の上に新しい紅紙を追加して貼っていた。しっかり貼りつかず、そのまま供物台に落ちてしまっている紅紙も何枚が見られた。紅紙に書かれた内容は2つのパターンがあり、それは以下のとおりである。

パターン①： 投拝三清為父 謝武楊 生於丁亥年九月廿四日巳時建生  
 投拝三清為父 盤龍帥 生於巳午年三月廿七日卯時建生  
 投拝三清為父 趙江国 生於庚寅年九月廿七日 建生  
 投拝三清為父 盤富兵 生於癸未年九月廿四日巳時建生

パターン②：

地		久
趙敏■	生於 2008 年 4 月 10 日	建生巳時建生
天		長
地		久
馮敏君	生於丙戌年十月十一日	子時健生拜三清為父消出八難
天		長
地		消除八難
趙佳寧	生於二〇一一年 4 月 28 日	戌時建生拜三清為父
天		長大成人
		長

このような内容が記された紅紙はまだたくさんあるが、ここでは上の7つの例だけ挙げた。紅紙の内容は、先に述べたように2パターンに分かれているのだが、内容はほぼ変わらず、即ち、三清神の子になり、元気で大人まで育つよという意味が書かれている。1枚の紅紙に必ず姓名と生年月日書かれている。3点の三清神画の中では、道德天尊の神画にこのような紅紙が1番多く貼られてい

## 11. 還家願儀礼の調査参加記



図3：紅紙を貼られた三清神画 撮影：譚静

る。

三清神画に生年月日を書いた紅紙を貼るのは還家願儀礼だけでなく、度戒儀礼<sup>v</sup>にも見られる。度戒儀礼の場合は、三清神画にこのような紅紙を貼り付けることによって災難を解くことを意味する。まだ確認できていないが、還家願儀礼においても同じ意味を表していると推測する。

### 今後の課題

還家願儀礼の調査は既に去年の経験となってしまうが、私に深い印象を与えてくれた。初めての調査であったため、ビデオの撮影や家族関係の聞き取りなどで精一杯で、他のことを調べる余裕はほとんどなかった。自分としてはヤオ族儀礼神画に深い興味を持っているが、結局、神画の使用を自分の目で確認することだけに留まり、もっと詳しい聞き取り調査ができなかったのは一番残念だった。今度は、どうやれば短い時間を利用して効率の良い調査を行えるか考えなければいけないと痛感している。

今回の自分にとっての大きな成果は、還家願儀礼における神画の使用方法が確かめられたことである。今後は、儀礼における神画の機能を明らかにしたい。また、今回の調査で、趙金付のほかに盤保古と盤貴古も神画を所有していることを確認したので、今後、藍山県でのヤオ族儀礼神画に関する調査が発展する可能性を感じた。他の地域との比較などを行い、最終的には藍山県ヤオ族儀礼神画の特徴を明らかにできるよう試みていければ幸いである。

i 旧正月に掛ける吉祥やめでたい気分を表す絵

ii 祭壇を作ったり、供物を供えたりすることである。

iii 廣田律子 2011年『中国民間芸能祭祀の研究』「中国湖南省ヤオ族儀礼の道教的性格—湖南省藍山県馮家実施の還家願儀禮」風響社、317頁～385頁

iv 張勁松 2002年『藍山縣瑶族傳統文化田野調査』岳麓書社

v 『神奈川大学歴史調査報告第十二集・中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告I』 2011年3月31日発行 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 31頁

参考文献：

- ① 廣田律子 2011年 『中国民間芸能祭祀の研究』 風響社
- ② 張 勁松 2002年 『藍山縣瑶族傳統文化田野調査』 岳麓書社
- ③ 『神奈川大学歴史調査報告第十二集・中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅰ』 2011年  
3月31日発行 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科

## ヤオ族の文化に触れて

歴史民俗資料学研究科博士前期課程

大木 都志男

私がヤオ族の歴史や文化に触れたのは、昨年4月からであった。それまでは、ヤオ族に関する知識は皆無に等しい状態であったため、テキストにおける翻訳では大漢和辞典や道教事典等を用いて漢字一字の意味を引き、単語の意味を考え、テキストに描かれている内容を理解するように努めていった。とりわけ翻訳においては意味が理解できていない内容も多くあったが、ヤオ族文化研究所で蓄積された写真資料や動画資料を参考にさせていただき、テキストに文章として描かれた儀礼内容や法具などもどのようなものであるかということを経視覚的にも少しは理解できたのではないかと思う。

張勁松著『藍山県瑶族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」岳麓書出版社 翻訳の作業では主に盤王を祭る舞踊や盤王大歌の詳細について描かれていた箇所がとりわけ印象に残っている。たとえば還盤王願の時に、祖先神である盤王の前で喜び楽しみながら歌われるという盤王大歌は「巫師によって民間の歌謡を収集して創作したもの」であり、その歌い方や、盤王大歌の起源にも触れている。また、盤王大歌の中には「七層曲」と呼ばれる挿曲があり、その曲名は「黄条沙」「三逢閑」「万段曲」「荷叶杯」「南花子」「飛江南」「梅花相送曲」といわれ、歌娘によって歌われるという。今回の還家願調査に私は参加することができなかったが、テキスト上で書かれた歌娘とはどのような容姿であるかということを経資料の写真で、還家願調査の後に確認させていただいた。

日々の生活空間の中で、ヤオ族の文化には儀礼があるということを知った。また私は、とりわけヤオ族の生活の中に儀礼があるということに関して、とても興味深く思われた。ヤオ族文化の研究に触れて得た貴重な体験は、今後の私自身の研究にもつなげていきたいと思う。

## ヤオ族の調査に関わって

歴史民俗資料学研究科博士前期課程

財津 直美

私がヤオ族という少数民族のことを知ったのは、歴史民俗資料学研究科に入学してからであった。最初のゼミで先生や先輩方から、数年前より、中国湖南省藍山県に住んでいるヤオ族の宗教儀礼を主に調査しているという話を聞き、度戒儀礼で撮影した映像資料などを見せていただいたのが始まりだったように思う。こうして、修士1年の4月以来、ゼミでの儀礼文書の読解をはじめ、研究会への参加、度戒儀礼の映像資料整理、国際シンポジウムの手伝い、南山大学での文献資料撮影の補助など、さまざまなかたちでヤオ族の文化にふれる機会が与えられてきた。それら一つ一つを通して、学んだことや考えたことは多い。

例えば、ゼミでの儀礼文書の読解では、先輩方が印刷および活字化してくださった資料に基づいて一字一字の意味を考え、読み下して日本語に訳していくのだが、ヤオ族の宗教世界はもちろん、道教に関する知識も満足に持ち合わせていない身としては、最初は、先生のご指摘や先輩方の解釈を聞いて理解するので精一杯という状態であった。また、数カ月ごとに開催されるヤオ族文化研究所の研究会では、それぞれの専門分野の視点から研究テーマや問題意識を打ち立て、調査なさっている先生方のご発表を聞く機会が多々あった。そうした場合は、今となっては多様な角度からヤオ族と向き合える絶好のものだと思えるのだが、ゼミでは深くふれなかったような資料が次々と出てくるので、何度か回を重ねるまでは話についていくこともままならなかった。

しかし、初めはこのように先生方や先輩たちの説明を理解することさえおぼつかなくても、ゼミや研究会への参加を繰り返すうちに、少しずつだが話の内容や資料の位置づけのみこめるようになっていった。ゼミでの文書の読解についても、先生や先輩方の解釈を受動的に聞いて終わるのではなく、自分なりに資料と向き合い考える割合が増えていったように感じる。そうした意味では、わずかではあるが歴民入学当初に比べるとヤオ族に関する知識が蓄えられてきたといえるのだが、最大の落とし穴は、そうした知識や情報はあくまでも他者から聞いて得たものであり、私自身は一回もヤオ族の村に足を運んだことがないという点であった。

民俗学に取り組むうえでフィールドワークは欠かせない調査方法であり、実際に現地に赴き、その地の気候風土や人々の暮らしなどを直接体感したうえで資料を読み解いていくことが重要なのだが、これまでの私には、その肝心な部分が抜け落ちていた。そのため、2011年の11月に同行させていただいた還家願儀礼の調査は、民俗学を専攻するうえでも、ヤオ族のことを知るうえでも、非常に貴重な経験であった。すでに述べたように、ヤオ族の儀礼については、かつて行われた度戒儀礼の調査時に撮影した映像資料や先生方のさまざまな研究発表などによって、おおまかな雰囲気をつかむことはできたと思っていた。しかし、このたび初めてヤオ族の村を訪れ、自分の目でじかに儀礼を見てみると、実際の文書の使い方、儀礼の流れ、宗教職能者のもつ役割や存在感の大きさなど、直接肌で感じなければわからない発見があることに気づかされた。同時に、映像資料のみでは何かばらばらな印象を受け、今ひとつピンとこなかったことがつながりをもって理解できたり、すでに何度も調査に参加している先生方や先輩が時折話す、ヤオ族の宗教世界の奥深さをなんとなく実感することができたりと、実物を見ることの重要性を改めて思い知ったのであった。特に、話でしか聞いていなかった複数の儀礼の同時進行や、文字をもっているのに膨大な量の文献を暗唱できる宗教職能者たちなど、

## 11. 還家願儀礼の調査参加記

目の当たりにしなければ浮かんでこない疑問もあるということがわかった。

なお、個人的に興味をひいたのは、儀礼場の出入り口の上部に小さな丸い鏡が吊るしてあったことである。私は、日本の庶民の禍福観を研究テーマにしているのだが、中国では、鬼や虚耗（＝日本では、貧乏神のようなものとして位置づけられている）といったよからぬ存在を、鏡で照らすことによって追い払うという除災の方法があるという。もちろん日本でも、鏡を御神体にしたたりまじないの道具に使ったりと、その力を神聖視する傾向がある。先生方の研究成果によれば、ヤオ族は、独自の風習に漢族の文化を巧みに取り入れつつ、その特有の宗教世界をつくり上げてきた民俗だとのことである。今回見かけた鏡は、気づいた限りではその儀礼場にしか吊るしていなかったうえ、実際にヤオ族の人へ聞き書きをしたわけでもないのだから、漢族の風習なのか、ヤオ族にももともとそうした観念があったのか、正確なことはわからない。しかし、いずれにせよヤオ族の人々にとって霊的な世界や存在というのは、現代の日本人が考える以上に身近なものであり、かつ、それを自分たちに適したかたちで日々の生活に組み込める柔軟性をもった民族であることを実感した一例であった。

日本のことを研究しているからといって日本のことだけ見ているのは、果たしてそれが本当にその国や地域の特色といえるのかどうか、判断に迷うこともある。そのような時、今回の調査やこれまでの学びでふれてきたような異なる国や地域の風習などを知っていれば、自分が研究対象としているものをとらえ直す一つのヒントになることだろう。ヤオ族の宗教世界という、一見すると自身の研究テーマとはかけ離れた調査対象ではあったが、研究手法や資料の扱い、フィールドワークの方法など、学び応用できることは多々あった。何かを深く研究するためには常に広い視野と意識を備え、他分野にも積極的に目を向けて学び取ろうとする姿勢が必要なのだと知った、この2年間だった。



## 還家願儀礼に見る儀礼に対する意識

歴史民俗資料科学研究科博士前期課程

岡田 浩司

今回の還家願調査に参加できたことは、非常に幸運な経験であった。普段、海外には観光旅行にすら行かない自分にとっては、このような機会でもなければ日本から片道2日もかかる中国の少数民族の住む土地などというものは、生涯縁のない土地であったことだろうし、その少数民族が行う儀礼を直接目にする機会も生涯訪れることはなかったことであろう。しかし、運命の妙というべきか、廣田先生を始めとする諸先生方や先輩方のご好意により今回の還家願調査に参加することができ、約1週間に及ぶ儀礼の全てを映像に収める一大作業に加わるという貴重な経験をすることができた。このような機会を与えて下さった先生方には非常に感謝している。今回の調査で得た経験は、今後の自分の研究においても大いに活かしていきたいと考えている。

さて、この度の還家願儀礼全体を通して印象に残ったことは、儀礼を執り行っている場の雰囲気が非常に「ゆるい」ということであった。師父たちは儀礼中にタバコを吸いながら唱えごとをし、唱えごとをしている最中にも携帯電話が鳴ればそれに應對し、その弟子は儀礼の撮影中にカメラに向かってお菓子を勧めてきた。もちろん厳かな雰囲気の中行われる儀礼もあったが、基本的には唱えごとの内容や手順に間違いがなければ問題ないとも言えるような空気のゆるさであった。このような儀礼のあり方は、テレビで採り上げられるような神事や伝統芸能のように、厳かに行うのが普通であると思っていた自分にとってはカルチャーショックとも言えるようなことであった。例えば、日本の地鎮祭などで神職が祝詞を奏上している最中に、突然神職の携帯電話が鳴り、あまつさえその電話に出て祝詞が途絶えるというような場面は少々想像しづらいのではないだろうか。しかし、ヤオ族にとっては儀礼とは必ずしも厳かな雰囲気ですらなく、粛々と行われなければならないというものではないようであり、くわえタバコで唱えごとをするといったような振る舞いも決して神や先祖を蔑ろにしているわけではないようなのである。もし神や先祖を蔑ろにしているのであれば、招聘した神々が満足しているかということを何度も占って確認するようなことはしないだろうし、そもそもこのような儀礼が行われること自体がないだろう。一見すると不真面目にも見えてしまうヤオ族の儀礼であったが、これはヤオ族のような儀礼の執り行い方と厳粛な神事の執り行い方のどちらが良い悪いというような話ではなく、ヤオ族の持つ儀礼や神というものに対する意識が、厳粛な神事を執り行っている人々とは根本的に異なっているのではないかとと思われる。

また、還家願儀礼の中には「大運銭」のように宗教者と観客とが一緒になって盛り上がるような儀礼があった。この儀礼は宗教者が運銭童子に扮し、舞を舞ったり、問答を行ったりする儀礼であるが、本報告書に翻訳を載せた張勁松先生の『藍山県瑶族伝統文化田野調査』においても「演者と観客は大笑いし、盛り上がる」とあるように、この儀礼は娯楽的要素が強く、戸を挟んで問答をする場面などでは特に観客に対して笑いを起こさせようとしているように見受けられた。ただ神を招聘するという目的のためだけならば、このような娯楽的要素は不必要であるのかもしれないが、この大運銭を含む還家願儀礼が「厳粛な儀式」というよりも娯楽的な村の「お祭り」としての側面を強く持ち合わせているようにも思えた。還家願儀礼が始まったばかりの時に行っていた昇香や請聖などにおいては観客と呼べるような人々は見られなかったにも関わらず、大運銭の際には願堂に入りきらないほどの人が集まっていたことから、この娯楽性の強い儀礼を楽しみにしているヤオ族の人々の意識を見

## 11. 還家願儀礼の調査参加記

ることができた。

「お祭り騒ぎ」という言葉があるように、日本の儀礼、祭礼においても厳粛な面だけではなく、賑やかな娯楽性の強いイベントとしての面を持ち合わせていることは決して珍しいことではない。むしろ現代においてはイベントとして行われる「お祭り」の方が一般的であると言えることができるであろう。しかし現代の祭りが持つ娯楽性とは、かつて庚申講が庚申の遊びと称されるようになったのと同様に、本来の宗教的意義が次第に忘れられ祭祀に伴っていた賑やかなイベント的要素のみが強調されているという例が少なくない。この還家願儀礼の持つ娯楽性が、時代の変化によって大衆向けに変化していった過程で生じたものなのか、それとも本来の形を留めているものなのか、私には判断することはできなかった。

ところで、私の出生地でもある東京都板橋区には「板橋の田遊び」と呼ばれる民俗芸能がある。この田遊びは豊穰予祝儀礼のひとつであり、種蒔きから収穫に至る稲作の一連の作業を、所作と唱えごとを用いて再現していくというものであるが、この田遊びも今回の還家願儀礼のように、決して厳かな雰囲気とは言えない、くだけた雰囲気の中で行われていた。地域の祭りということで、演者も観客の多くも知った仲であるということも大きいのだろう。もちろん祝詞など厳粛な雰囲気のなかで行われている場面もあったが、神職が牛に扮した演者に向って囃したてたり、儀礼の中で子どもが登場した際には「俺の孫だ」との声が聞こえたりと、実に格式張らない楽しい儀礼であった。

近年の民俗芸能や伝統芸能と注目されている祭や儀礼では観光化が進み、このように見知った間柄の中で行われるような、くだけた雰囲気の儀礼というものは少なくなっているように思える。しかし、かつてのムラの祭や儀礼が見知った間柄の中で行われていたことを考えると、ヤオ族の儀礼のような「ゆるい」儀礼のあり方こそ、かつての日本においても見られた、本来の芸能のあり方であったのかもしれない。このような儀礼の行われ方を通して儀礼に対する意識の違いを考察していくことも、文化資源、観光資源として注目され、それに合わせて変化をしていく現代の民俗芸能のあり方に対する一つの視座となるかもしれない。

## おわりにかえて

本報告書は、昨年作成した神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科の報告書の第二弾にあたるのだが、今回の主眼は、2011年11月に中国湖南省藍山県にてヤオ族文化研究所が行った、還家願儀礼の調査報告だといえよう。

内容を見ればわかるように、還家願儀礼に関する調査日程や詳細な程序、儀礼場の平面図や儀礼関係者の人間関係、冒頭の口絵には程序をふまえた儀礼の写真を掲載するなど、現時点で可能な限り正確かつ詳細な報告を行っている。実際、昨年11月の本調査にとどまらず、その後、少人数ではあるが補足調査も行っている。

儀礼調査については、われわれ大学院生は至らないところが多く、ヤオ族文化研究所の先生方から学ばせていただいていたばかりであった。例えば、院生はおもに儀礼のビデオ撮影を担当したのだが、儀礼のどの段階ではどのような動きに注目し、どういった映像を撮るようにするのが望ましいのかなど、長年の調査経験や儀礼に対する予備知識がなければ気付けないような見方を教わることも少なかった。

また、参加した院生の半分は、ヤオ族の村への訪問はもちろん、海外での本格的なフィールド調査をするのは今回が初めてという状態でもあり、いろいろな意味で貴重な経験となる調査であった。そうした部分についても、院生各自の感想文として掲載している。もっとも、さまざまな事情が重なり、今回の調査に同行できなかった院生もいるのだが、そのような事態となっても、これまで自身が参加してきたヤオ族文化研究所の研究会や国内調査での経験を思い起こして、原稿を寄せてくれた者もいる。

なお、本報告書の作成に際しては、儀礼程序はもちろんのこと、「伝度大疏」の書き下し作業など、先生方のお力添えやゼミ生以外の院生との協力が欠かせないものであった。

現在、はやくもこのシリーズの報告書第三弾の作成案が提案されており、おそらく次年度には実現することであろう。当然のことだが、年度が変わるごとに報告書に携わる顔ぶれも変わっていく。

しかし、例えメンバーは入れ替わっても、歴民の院生たちであるならば、大学の内外を問わず謙虚にさまざまな先生方に学び、院生同士で協調しあい、学術的に信頼のおける報告書を変えることなく作成していけるであろうと信じている。

2012年3月 財津 直美(M2)

三村 宜敬(D3)、譚 静(M2)、  
大木 都志男(M2)、財津 直美(M2)  
岡田 浩司(M1)

感謝の辞

本研究に終始惜しまないご支援ご尽力を賜わり、湖南省民間文芸家協会の張勁松主席、そして地元藍山县政府、伝承者の祭司、儀礼の主催の盤家の方々をはじめとする関係各位に心より感謝申し上げます。

廣田律子

---

神奈川大学歴史民俗調査報告第14集

中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅱ

2012年3月31日印刷発行

発行 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1 (〒221-8686)  
TEL 045-481-5661

---

(印刷 株式会社 江森印刷所)